

# 橋本市民病院

2021年度



病 院

年 報

HASHIMOTO MUNICIPAL HOSPITAL  
HOSPITAL ANNUAL REPORT





2021年度の病院年報が完成しました。2021年度もコロナから逃れられない1年でした。

夏の第4波、年末から年始にかけての第5波、第5波もおさまらない中での爆発的な第6波へと繋がり、原稿作成の時点で「第7波がやってきた」という状況です。

そのような中、当院は和歌山県との相談の中、2021年4月よりこれまでの協力医療機関から、50床の1病棟単位で入院対応する（その他病棟での妊婦感染者用の1床と疑い対応病床として3床確保）重点医療機関となりました。2021年度の感染者入院受け入れ数は526名、1日最大在院患者48名という日もありました。発熱外来対応患者3099名（月平均266名）、院内PCR検査1025件、抗原検査1283件、そして延べワクチン接種15448件という大変な状況の中、ICTおよび関係スタッフ各位には感謝しかありません。

また、コロナ対応が日々必要な院内状況で、一時的に救急や入院などの一般診療の制限をせざるをえない状況もありましたが、救急を含めた一般診療を継続するという病院方針の中、意欲的に対応していただいた全スタッフの方に対しても感謝申し上げます。

一般病床数縮小のなかで2021年度は過ぎました。この年報の中に記載されていますが、1日平均入院患者数は236.3人と、コロナ前の2019年度の245.0人、コロナが始まり協力医療機関として対応した2020年度の241.8人に比べ減少しております。医業収益については外来収益がもどつつあることもあり、2020年度よりは少し回復しております。

各科別でみると、各種数値の上がり下がりは見られますが、スタッフの入れ替わりなどの事情などもあり、決して科としての診療内容が大きく変化している状況ではないと考えます。今後、コロナ（第7波）の状況も考えながらではありますが、地域医療機関や在宅福祉関係、地域住民に対する広報活動が重要となると思います。

総務省から公的病院経営強化プランの策定を来年度にむけて求められています。各病院の在り方を検討するポイントとして、急性期機能の集約化などの役割・機能の最適化と連携の強化、タスクシフト・シェア、ICT活用などによる働き方改革と研修プログラムの充実などによる医師・看護師等の確保、新興感染症の感染拡大時などに備えた平時からの取り組みなどが挙げられています。

目の前の対応はしっかり行いながら、ポスト（ウィズ）コロナを踏まえた中長期的な方向性ふくめ橋本市民病院としてのあるべき姿を明らかにしていく重要な時期となります。スタッフの方々にはご理解ご協力をお願い申し上げるとともにいろいろご意見をいただきながら進めていければと思います。

またこの病院年報をお手にしていただいた医療機関や地域の方々につきましても今後ともご指導ご鞭撻のほどほどよろしくお願い申し上げます。

# 目次

## 巻頭言

## ごあいさつ

## 目次

### I 病院の概況

病院の理念 基本方針	1
患者の権利と義務	1
病院の沿革	2
病院の概要	4
病院組織図	8
職員数推移	9
施設基準一覧	10
経営状況	12

### II 医事統計

1日平均患者数（入院・外来）	14
新入院患者数・退院患者数	15
平均在院日数・病棟別稼働率	16
紹介率・逆紹介率	17
救急搬送患者数	18
橋本市消防本部・伊都消防搬送先状況	19
医業収益	20
診療科別単価	23
行為別収益	24

### III 診療情報（年次報告）

月別退院患者数	26
診療科別退院患者数	30
診療科別上位5疾患	34

### IV 診療科紹介

総合内科	40
消化器内科	43
代謝内科	45
呼吸器内科	46
小児科	48
産婦人科	49
外科	51
整形外科	55
脳神経外科、脳血管内治療センター	57
眼科	59
泌尿器科	60

麻醉科 .....	62
放射線科 .....	63
歯科口腔外科 .....	64
皮膚科 .....	66
病理診断科 .....	67
循環器内科 .....	68
救急科 .....	70
健診センター .....	71
<b>V 看護部紹介 .....</b>	<b>73</b>
看護部 .....	74
外来 .....	83
3階西病棟 .....	84
3階東病棟 .....	85
4階西病棟 .....	86
4階東病棟 .....	87
5階西病棟 .....	88
5階東病棟 .....	89
H C U病棟 .....	90
中央手術室 / 中央材料室 .....	91
<b>VI 診療技術部紹介 .....</b>	<b>93</b>
薬剤部 .....	94
臨床検査科 .....	96
放射線科 .....	99
臨床工学科 .....	101
リハビリテーション科 .....	103
栄養管理科 .....	107
歯科技工室 .....	110
地域医療部 .....	111
医療安全管理部 .....	120
<b>VII 事務局紹介 .....</b>	<b>121</b>
総務課 .....	122
医事課 .....	123
診療情報課 .....	124
<b>VIII 委員会紹介 .....</b>	<b>125</b>
委員会組織図 .....	126
薬事委員会 .....	127
診療材料検討委員会 .....	127
システム委員会 .....	128
救急医療対策委員会 .....	128
クリニカル・パス推進委員会 .....	129
診療管理 (QC) 委員会 .....	129

健診センター運営委員会	130
中央手術室運営委員会	130
内視鏡センター運営委員会	131
病床運営管理委員会	131
放射線運営委員会	132
臨床検査運営委員会	133
輸血管理委員会	134
栄養管理委員会	135
NST ワーキング	136
嚙下ワーキング	136
糖尿病ワーキング	137
がん診療対策委員会	138
緩和ケアワーキング	138
化学療法ワーキング	139
キャンサーボードワーキング	139
医療機器選定・購入委員会	140
診療情報管理委員会	140
電子カルテ運営委員会	141
院内感染対策委員会	142
AST	143
ICT	144
ICT ワーキング	145
褥瘡対策委員会	146
医療安全管理対策委員会	147
緊急医療安全管理対策委員会	148
医療ガス安全管理委員会	148
災害医療対策委員会	148
DMAT 部会	149
防火委員会	149
教育・研修・年報作成委員会	150
まごころ委員会	150
病院広報委員会	151
図書運営委員会	152
職員安全衛生管理委員会	153
福利厚生委員会	154
働き方改革推進委員会	154
医療連携運営委員会	155
倫理・治験審査委員会	156
臓器提供ワーキング	157
医薬品適応外使用検討委員会	158
臨床研修管理委員会	158
専門研修管理委員会	160

<b>IX 連携登録医名簿</b>	<b>161</b>
-------------------	------------

# I 病院の概況





## 理 念

1. 医療を介して地域の発展に尽くす
2. こころの通う医療で地域住民の健康の保持・増進に尽くす
3. 中核病院としての機能の向上に尽くす

## 基本方針

1. 患者の権利を尊重し、理解と納得に基づいた信頼される医療を目指します
2. 急性期医療を中心に、安全・良質で適切な医療を提供します
3. 病病連携、病診連携に努め、地域完結型医療を推進します
4. 医学の研鑽に励み、地域での医療の進歩と後進の育成に寄与します
5. 行政の医療、保健、福祉施策に積極的に参画します
6. 公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます

## 患者の権利

1. 人格を尊重される権利
2. 質の良い医療を平等に受ける権利
3. 病気について納得できるまで説明を受ける権利
4. 自分の病気に対する治療・検査等を自分で選択し、自分で決定する権利
5. 自分の受けている医療に対する情報を知る権利
6. 医療上生じたプライバシーを保護される権利

## 患者の義務

1. 診療にあたって正しい情報を提供する義務
2. 医療へ積極的に参加する義務
3. 規則を遵守して他の患者に対して迷惑をかけない義務

## 病院の沿革

1947年	伊都郡橋本町大字妻に1町6ヶ村組合立「国保橋本病院」開設
1952年	全館焼失
1953年	橋本市東家に移転
1954年9月	橋本町外七ヶ町村組合立国保病院 (内科、産婦人科、小児科、放射線科)
1957年	結核診療所(50床)開設、病床数163床 (内科、外科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、歯科)
1963年11月	新築第一期工事完成 「国保橋本市民病院」(総合病院)として事業開始 (内科、外科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、歯科、 整形外科、眼科、神経精神科)
1964年11月	新築第二期工事完成 病床数323床(一般130、結核70、精神100、伝染23) 付設准看護婦養成所開校(1991年3月閉所) 救急告示病院の指定
1965年	地方公営企業法適用(一部適用)
1970年5月	有志で託児を開始(市役所別館)
1991年	医療事務業務の委託開始
1992年	伝染病床、精神病床を閉鎖し、一般病床255床となる
1993年	脳神経外科、循環器科開設
1993年10月	病院託児所「ひまわり園」を開設
1994年	訪問看護ステーション併設、橋本市介護支援センター併設、 健診センター(人間ドック)開設
1995年	看護基準2.5対1(13対1)の届出
1996年	泌尿器科開設、眼科の常勤化
1997年	麻酔科開設 地域災害拠点病院に指定
1999年	物品管理システムの導入(3月)、給食業務の全面委託(4月)
2000年	(橋本市) 歯科保健センター開設
2001年	院外処方完全実施(11月)、ナースキャップの廃止(11月)
2003年4月	地域医療連携室開設 院内託児所で給食を開始(病院給食委託業者に依頼)
2003年11月	臨床研修病院(管理型)に指定
2004年4月	地方公営企業法全部適用(市長が管理者を兼務)
2004年10月	放射線科の常勤医化
2004年11月	橋本市小峰台に許可病床数300床(稼働250床)で新築移転(11月) 病院名を「橋本市民病院」に改名 訪問看護ステーション・健診センター・歯科保健センターは併設継続、橋本市介護支 援センターは併設せず、東家地区で継続 院内託児所「ひまわり園」リニューアル
2005年1月	院内託児所において24時間保育を開始
2005年10月	病院事業管理者を設置
2006年3月	DPC(診断群分類包括評価)対象病院の許可(厚生労働省)
2006年4月	心臓血管外科、呼吸器科(4月)、循環器センターの開設(4月) 看護基準10対1看護の届出 女性専門外来、女性泌尿器外来、男性更年期外来開設

2006年 6月	乳腺・呼吸器外科開設
2006年 7月	D P Cによる包括診療開始 和歌山県立医科大学第二病理教室より病理医派遣 (毎週水曜日：病理診断開始)
2006年 9月	皮膚科外来診療科開始
2006年11月	日本医療機能評価機構の認定病院となる
2007年 1月	がん診療連携拠点病院に指定
2007年 3月	地域包括医療・ケア認定施設に認定
2007年 7月	5階東病棟 30床稼働（うち亜急性期病床 20床）
2008年 4月	5階東病棟 20床稼働（300床フルオープン）
2008年 5月	急性期病床 288床、亜急性期病床 12床に変更
2008年 8月	病理診断科開設（常勤病理医着任）
2009年 4月	皮膚科常勤化、耳鼻咽喉科の非常勤体制に変更
2009年 6月	臨床研修病院（基幹型）の返上 和歌山県立医科大学の協力型として継続
2009年 8月	呼吸器内科常勤医 2名退職し、非常勤体制に変更
2009年 9月	和歌山県立医科大学より内科地域枠常勤医師の派遣（2010. 3月まで）
2009年10月	眼科常勤医師 2名体制
2010年 1月	5階東病棟閉鎖（稼働病床数 250床）、亜急性期病床の廃止 呼吸器内科常勤化（近畿大学医学部より常勤医赴任）
2010年 2月	和歌山 DMAT 指定病院に指定
2011年 4月	腎臓内科の開設 5階東病棟の再開、3階東病棟を産婦人科病棟に変更し 46床から 20床に減床 (稼働病床数 274床：うち亜急性期病床 8床) (医療安全管理部、医療安全管理室の開設)
2011年 7月	病院敷地内禁煙の実施 禁煙外来の実施
2011年 9月	基幹型臨床研修病院の指定
2012年 1月	日本医療機能評価機構認定更新 Ver. 6 (認定期間 2011.11.20～2016.11.19)
2013年 2月	医療情報システムの更新
2013年 7月	医療安全管理部、医療安全管理室と独立して医療安全管理部、感染管理室を開設
2013年10月	診療技術部 超音波検査室を開設 H C U 6床開設、地域包括ケア病棟開設 (稼働病床数 280床：うち H C U 6床、地域包括ケア病棟 50床) 救急科の開設、診療情報部を開設
2014年 9月	リハビリテーション科を東館に新設・移転
2015年 4月	へき地医療拠点病院に指定 (稼働病床数 300床：うち H C U 6床、地域包括ケア病棟 50床)
2016年 4月	卒後臨床研修センター開設、総合内科の開設
2016年12月	内視鏡センター開設
2017年 4月	腫瘍内科の開設
2017年 8月	血液内科の開設
2018年 4月	血管内治療センター開設、地域医療部に入退院支援室を開設
2019年 3月	乳腺・呼吸器外科常勤医 2名退職し、非常勤体制に変更
2020年 1月	病院マイクロバスの運行停止
2020年 4月	リウマチ・膠原病科の開設
2022年 2月	医療情報システムの更新（NEC 社製 MegaOak/iS）

# 病院の概要

施設名	橋本市民病院
開設者	橋本市長
管理者	橋本市病院事業管理者
所在地	和歌山県橋本市小峰台二丁目8番地の1
開設年月日	昭和38年11月18日
診療科	内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、呼吸器内科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科、病理診断科、消化器内科、代謝内科、救急科、腫瘍内科、血液内科、リウマチ・膠原病科
橋本市人口	60,628人（2022年5月31日現在）
地方公営企業法適用	1965年4月1日
指定及び指定医療機関	保険医療機関、救急告示病院、労災保険指定病院、生活保護法指定医療機関 母体保護法医療機関、未熟児養育指定医療機関、原爆被害者一般疾病指定医療機関 妊婦一般健康診査取扱機関、国民健康保険療養取扱機関、結核予防指定医療機関 地域災害拠点病院、小児慢性特定疾患治療研究事業指定病院 特定疾患治療研究事業指定病院、指定自立支援医療機関、日本医療機能評価機構認定病院 地域がん診療連携拠点病院、臨床研修病院、助産施設、公害医療機関 産科医療補償制度加入機関、地域包括医療・ケア認定施設、日本がん治療認定研修施設 和歌山 DMAT 指定病院、基幹型臨床研修病院、へき地医療拠点病院
学会認定施設	日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本内科学会認定教育関連施設 日本高血圧学会専門医認定施設、日本消化器病学会専門医認定施設 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設 日本整形外科学会専門医研修施設、日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設 日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本口腔外科学会専門医研修機関 日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設 日本脳神経外科学会専門医プログラム研修施設、日本呼吸器学会認定施設 日本呼吸器外科学会認定修練施設、日本呼吸器内視鏡学会認定施設 日本周産期・新生児医学会周産期母体・胎児専門医研修施設 日本消化器外科学会専門医修練施設、日本乳癌学会認定医・専門医認定関連施設 日本臨床栄養代謝学会NST稼働施設、日本病理学会研修登録施設 日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設、日本手外科学会基幹研修施設 日本脳卒中学会認定研修教育病院、マンモグラフィ検診施設、呼吸器外科学会関連施設 日本皮膚科学会認定専門医研修施設、日本麻酔科学会認定専門医研修施設 日本脈管学会認定研修関連施設

## 許可病床数

病棟	病床数
3階西病棟	54床
3階東病棟	40床
4階西病棟	50床
4階東病棟	50床
5階西病棟	50床
5階東病棟（地域包括ケア病棟）	50床
HCU病棟	6床
合計	300床

## 施設の概況

地域・地区	第一種中高層住居専用地区
防火地域	指定なし
法 22 条地域	指定あり
日影規制	4 時間 / 2.5 時間 測定面積 4 m
敷地面積	43,904.08m <sup>2</sup>

## 本館

建築面積		6,894.80m <sup>2</sup>
延床面積	6 階	378.18m <sup>2</sup>
	5 階	2,894.00m <sup>2</sup>
	4 階	2,894.00m <sup>2</sup>
	3 階	3,051.61m <sup>2</sup>
	2 階	2,931.13m <sup>2</sup>
	1 階	5,882.99m <sup>2</sup>
	地 階	3,975.95m <sup>2</sup>
	計	22,007.86m <sup>2</sup>
階数		地下 1 階 地上 6 階
構造		鉄筋コンクリート造 (免震構造)
高さ		最高高さ 22.98m 軒の高さ 29.50m
駐車台数	総数	674 台
	① 一般用(うち身体障害者用)	344 台 ( 15 台)
	② 職員用	330 台
部門別面積	(1) 病棟部門	8,659.59m <sup>2</sup>
	H C U	352.35m <sup>2</sup>
	(2) 外来部門	2,114.70m <sup>2</sup>
	一般外来部	1,923.75m <sup>2</sup>
	救急部	190.95m <sup>2</sup>
	(3) 診療部門	3,389.10m <sup>2</sup>
	検査部	789.96m <sup>2</sup>
	放射線部	1,224.18m <sup>2</sup>
	手術部	813.57m <sup>2</sup>
	分娩部	180.02m <sup>2</sup>
	特殊診療部	29.02m <sup>2</sup>
	(4) 供給部門	2,702.24m <sup>2</sup>
	薬剤部	206.40m <sup>2</sup>
	材料滅菌室	211.89m <sup>2</sup>
	給食室	389.78m <sup>2</sup>
	洗濯室	25.04m <sup>2</sup>
保管搬送室	313.95m <sup>2</sup>	

部門別面積	機械室	1,555.18㎡
	(5) 管理部門	3,061.91㎡
	運営関係	1,929.21㎡
	講堂	318.81㎡
	厚生関係	813.89㎡
	(6) その他	2,080.32㎡
	健診センター	87.66㎡
	総合待合	495.37㎡
	地域医療・健康情報プラザ	43.60㎡
	地域医療部	192.69㎡
	その他	1,261.00㎡
合計	22,007.86㎡	

## 東館

建築面積		754.74㎡
延床面積	2 階	676.62㎡
	1 階	725.31㎡
	計	1,401.93㎡
階数		地上 2 階
構造		鉄筋造（耐震構造）
高さ		最高高さ 9.93m 軒の高さ 9.28m
部門別面積	(3) 診療部門	520.01㎡
	リハビリテーション部	520.01㎡
	(5) 管理部門	705.80㎡
	運営関係	705.80㎡
	(6) その他	176.12㎡
	その他	176.12㎡
合計		1,401.93㎡

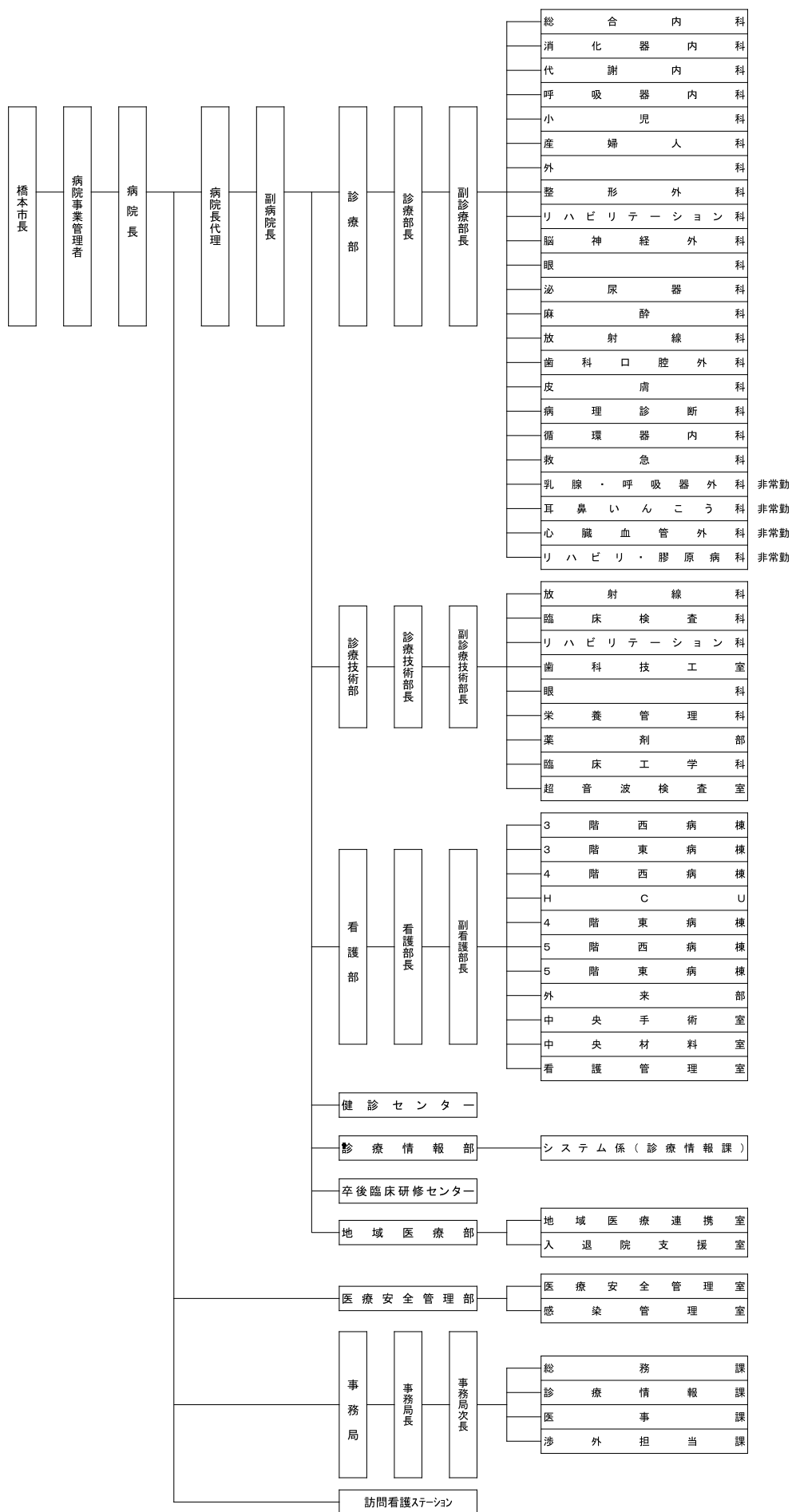
## 付帯設備概要 本館

(1) 電気設備	受電方式／常用・予備2回線受電方式 変圧器容量／4.825 KVA 予備電源／ガスタービン発電機、無停電電源装置 電池式(MSE型)
(2) 空調設備	空調方式／単一ダクト、VAV、外気処理空調機+ ファンコイルユニット 空冷ヒートポンプ パッケージエアコン 熱源／排熱投入型冷温水発生器×2台 ブラインチラー コージェネレーション発電機185KW×2
(3) 衛生設備	給水／加圧給水ポンプ方式 給湯／中央方式 排水／汚水、雑排水分流方式
(4) 防災設備	消火／スプリンクラー設備 連結送水管設備 固定式泡消火設備 ハロン消火設備
(5) 昇降機	一般乗車4基、寝台用2基(自家発管制運転) 人荷用4基(内1基自家発管制運転) 小荷物用1基

## 東館

(1) 電気設備	予備電源／エンジン発電機、無停電電源装置
(2) 空調設備	空調方式／空冷ヒートポンプ パッケージエアコン
(3) 衛生設備	給水／加圧給水ポンプ方式 給湯／中央方式 排水／汚水、雑排水分流方式
(4) 防災設備	消火／スプリンクラー設備
(5) 昇降機	寝台用1基

# 病院組織図





## 職員数推移

(単位：人)

病 院		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
診療部	医師	47	41	49	44	48	46	48	47	54	49
	歯科医師	1	1	2	1	2	1	2	1	2	1
小 計		48	42	51	45	50	47	50	48	56	50
看護部	看護師	170	30	169	33	167	31	160	32	154	38
	助産師	10	2	12	2	11	3	11	3	13	4
	准看護師	2	8	2	6	1	5	1	5	1	5
	看護助手等	0	40	0	39	0	40	0	55	0	59
小 計		182	80	183	80	179	79	172	95	168	106
診療技術部	薬剤師	12	0	10	2	10	1	10	1	13	1
	放射線技師	10	1	10	1	10	1	10	1	10	1
	臨床検査技師	12	3	11	4	10	3	12	2	12	2
	超音波検査士	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
	理学療法士	23	0	23	0	23	0	22	0	23	0
	作業療法士	4	0	4	0	4	0	3	0	4	0
	言語聴覚士	3	0	3	0	4	0	3	0	3	0
	臨床工学技士	6	0	6	0	7	0	7	0	7	0
	管理栄養士	3	1	3	0	3	0	3	0	3	0
	歯科技工士	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
	歯科衛生士	0	3	0	2	0	4	0	2	0	3
	その他技師	0	3	0	3	0	3	0	4	0	4
	小 計		75	11	72	12	73	12	72	10	77
事務局	事務職員	19	27	21	31	21	31	22	32	22	36
	社会福祉士	5	0	5	0	4	0	4	0	5	0
	その他職員	0	11	0	10	0	12	0	12	0	8
小 計		24	38	26	41	25	43	26	44	27	44
合 計		329	171	332	178	327	181	320	197	328	211
訪問看護ステーション		常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
訪問看護ステーション	看護師	-	-	-	-	-	-	0	7	0	8
	事務職員	-	-	-	-	-	-	0	4	0	4
合 計		-	-	-	-	-	-	0	11	0	12
病院事業合計		329	171	332	178	327	181	320	208	328	223

※ 2020年度に訪問看護ステーションを統合

※各年度3月31日時点の実人数

## 届出施設基準等一覧

2022年3月31日現在

基本診療料の施設基準(届出)				
項目		受理日付	受理番号	備考
地域歯科支援病院歯科初診料		2019年4月1日	(病初診) 第14号	
歯科外来診療環境体制加算2		2018年4月1日	(外来環2) 第21号	
歯科診療特別対応連携加算		2018年4月1日	(歯特連) 第7号	
オンライン診療料		2018年4月1日	(オン診) 第3号	
一般病棟入院基本料	急性期一般4	2018年5月1日	(一般入院) 第948号	
救急医療管理加算		2020年4月1日	(救急医療) 第30号	
超急性期脳卒中加算		2008年4月1日	(超急性期) 第5号	
診療録管理体制加算1		2014年5月1日	(診療録1) 第9号	
医師事務作業補助体制加算1	50対1	2014年4月1日	(事補1) 第4号	
急性期看護補助体制加算	50対1	2016年10月1日	(急性看護) 第144号	
療養環境加算		2014年7月1日	(療) 第457号	
栄養サポートチーム加算		2017年11月1日	(栄養チ) 第25号	
医療安全対策加算1		2018年4月1日	(医療安全1) 第67号	
医療安全対策地域連携加算1				
感染防止対策加算1		2018年4月1日	(感染防止1) 第37号	
感染防止対策地域連携加算				
抗菌薬適正使用支援加算				
患者サポート体制充実加算		2013年3月1日	(患サポ) 第38号	
ハイリスク妊娠管理加算		2009年4月1日	(ハイ妊娠) 第35号	
ハイリスク分娩管理加算		2010年5月1日	(ハイ分娩) 第19号	
呼吸ケアチーム加算		2017年6月1日	(呼吸チ) 第6号	
後発医薬品使用体制加算1		2018年4月1日	(後発使1) 第8号	
病棟薬剤業務実施加算1		2021年6月1日	(病棟薬1) 第47号	
病棟薬剤業務実施加算2		2021年6月1日	(病棟薬2) 第7号	
データ提出加算	2イ(200床以上の病院)	2014年10月1日	(データ提) 第46号	
入退院支援加算1		2020年4月1日	(入退支) 第156号	
入院時支援加算				
総合評価加算				
地域連携診療計画加算				
せん妄ハイリスクケア加算		2020年4月1日	(せん妄ケア) 第15号	
地域医療体制確保加算		2020年4月1日	(地医確保) 第5号	
ハイケアユニット入院医療管理料1		2014年5月1日	(ハイケア1) 第1号	
小児入院医療管理料4		2015年8月1日	(小入4) 第411号	
地域包括ケア病棟入院料2		2014年11月1日	(地包ケア2) 第96号	
補助者配置加算				
※入院時食事療養費1		2006年3月1日	(食) 第453号	

特掲診療料の施設基準(届出)				
項目		受理日付	受理番号	備考
歯科疾患管理料の「注11」に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料		2016年4月1日	(医管) 第55号	
糖尿病合併症管理料		2008年4月1日	(糖管) 第4号	
がん性疼痛緩和指導管理料		2010年4月1日	(がん疼) 第21号	
がん患者指導管理料イ		2011年5月1日	(がん指イ) 第10号	
がん患者指導管理料ロ		2014年4月1日	(がん指ロ) 第2号	
がん患者指導管理料ハ		2014年4月1日	(がん指ハ) 第2号	
糖尿病透析予防指導管理料		2013年7月1日	(糖防管) 第17号	
小児運動器疾患指導管理料		2022年2月1日	(小連指管) 第20号	
乳腺炎重症化予防ケア・指導料		2018年4月1日	(乳腺ケア) 第3号	
婦人科特定疾患治療管理料		2020年4月1日	(婦特管) 第81号	
小児科外来診療料		2020年4月1日	(小外診) 第76号	
地域連携夜間・休日診療料		2010年4月1日	(夜) 第2号	
院内トリアージ実施料		2018年4月1日	(トリ) 第16号	
夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算		2020年4月1日	(救搬看護) 第31号	
ニコチン依存症管理料		2017年7月1日	(ニコ) 第313号	
がん治療連携計画策定料		2017年12月1日	(がん計) 第188号	
肝炎インターフェロン治療計画料		2010年4月1日	(肝炎) 第1号	
薬剤管理指導料		2010年9月1日	(薬) 第435号	

特掲診療料の施設基準(届出)				
項目		受理日付	受理番号	備考
地域連携診療計画管理加算		2016年4月1日	(地連計) 第1号	
医療機器安全管理料1		2008年4月1日	(機安1) 第19号	
在宅療養後方支援病院		2014年4月1日	(在宅病) 第1号	
在宅酸素療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算		2018年4月1日	(遠隔酸素) 第1号	
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算		2018年4月1日	(遠隔持続陽) 第11号	
精密触覚機能検査		2019年11月1日	(精密触覚) 第2号	
B R C A 1 / 2 遺伝子検査		2021年8月1日	(B R C A) 第9号	
先天性代謝異常検査		2020年4月1日	(先代異) 第1号	
H P V 核酸検出及びH P V 核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)		2014年4月1日	(H P V) 第58号	
検体検査管理加算(Ⅰ)		2008年4月1日	(検Ⅰ) 第468号	
検体検査管理加算(Ⅱ)		2008年4月1日	(検Ⅱ) 第15号	
ヘッドアップディスプレイ試験		2016年1月1日	(ヘッド) 第10号	
コンタクトレンズ検査料1		2017年4月1日	(コン1) 第391号	
小児食物アレルギー負荷検査		2006年4月1日	(小検) 第3号	
画像診断管理加算		2020年4月1日	(画1) 第436号	
画像診断管理加算		2020年7月1日	(画2) 第411号	
C T 撮影及びM R I 撮影	64列以上のマルチスライスCT	2020年7月1日	(C・M) 第404号	
	MRI(1.5テスラ以上)	2012年4月1日	(C・M) 第275号	
冠動脈C T 撮影		2020年7月1日	(冠動C) 第13号	
心臓M R I 加算		2020年7月1日	(心臓M) 第14号	
抗悪性腫瘍剤処方管理加算		2010年4月1日	(抗悪処方) 第11号	
外来化学療法加算1		2017年1月1日	(外化1) 第450号	
連携充実加算		2020年10月1日	(外化連) 第9号	
無菌製剤処理料		2008年4月1日	(菌) 第420号	
心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)		2016年4月1日	(心Ⅰ) 第13号	
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)		2017年1月1日	(脳Ⅰ) 第108号	
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)		2010年4月1日	(運Ⅰ) 第114号	
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)		2006年4月1日	(呼Ⅰ) 第88号	
がん患者リハビリテーション料		2011年5月1日	(がんリハ) 第18号	
集団コミュニケーション療法料		2008年4月1日	(集コ) 第17号	
歯科口腔リハビリテーション料2		2014年4月1日	(歯リハ2) 第3号	
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1		2015年2月1日	(医処休) 第2号	
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1		2015年2月1日	(医処休) 第2号	
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1		2015年2月1日	(医処休) 第2号	
口腔粘膜処置		2018年4月1日	(口腔粘膜) 第69号	
レーザー機器加算		2018年4月1日	(手光機) 第65号	
歯科技工加算		2010年4月1日	(歯技工) 第85号	
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術	過活動膀胱に係るもの	2017年11月15日	(仙神交便) 第2号	
乳がんセンチネルリンパ節加算1	併用法	2019年9月1日	(乳セ1) 第12号	
食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂) 腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)		2018年4月1日	(穿瘻閉) 第5号	
経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)		2020年4月1日	(経特) 第420号	
経皮的中隔心筋焼灼術		2020年2月1日	(経中) 第9号	
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術		2006年3月1日	(ペ) 第412号	
大動脈バルーンパンピング法(ⅠABP法)		2006年3月1日	(大) 第407号	
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術		2013年4月1日	(早大腸) 第7号	
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術		2006年3月1日	(腎) 第406号	
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍摘出術		2017年1月1日	(腹前) 第6号	
医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1		2015年2月1日	(医手休) 第3号	
医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1		2015年2月1日	(医手休) 第3号	
医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1		2015年2月1日	(医手休) 第3号	
医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術		2014年4月1日	(胃瘻造) 第14号	※胃瘻造設術
輸血管理料Ⅱ		2012年9月1日	(輸血Ⅱ) 第25号	
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算		2012年10月1日	(造設前) 第9号	
胃瘻造設時嚥下機能評価加算		2014年4月1日	(胃瘻造嚥) 第6号	
広範囲顎骨支持型送致埋入手術		2019年10月1日	(人工歯根) 第4号	
麻酔管理料(Ⅰ)		2006年3月1日	(麻管1) 第412号	
保険医療機関間の連携による病理診断		2019年5月1日	(連携診) 第7号	
病理診断管理加算1		2012年4月1日	(病理診1) 第3号	
悪性腫瘍病理組織標本加算		2018年4月1日	(悪病組) 第4号	
口腔病理診断管理加算1		2014年4月1日	(口病診1) 第1号	
クラウン・ブリッジ維持管理料		2006年3月1日	(補管) 第727号	
※酸素の届出		2020年4月1日	(酸素) 第7335号	

## 経営状況

(単位：千円)

科目	年度	2004年度 (平成16年度) (移転開設年度)	2009年度 (平成21年度)	2014年度 (平成26年度)	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度) 予算額
病院事業収益①		3,429,768	6,227,460	7,006,482	7,409,804	7,367,059	7,612,252	7,780,613	7,394,520	7,907,330	8,701,608	7,314,771
医業収益		3,128,080	5,478,757	6,227,436	6,623,296	6,590,838	6,805,643	7,000,592	6,601,594	6,395,859	6,417,410	6,477,669
入院収益		2,070,774	3,615,003	4,294,039	4,587,464	4,575,553	4,737,257	4,886,803	4,585,608	4,554,455	4,458,340	4,555,200
外来収益		840,087	1,392,571	1,563,996	1,671,288	1,676,299	1,737,326	1,782,960	1,694,017	1,459,597	1,676,533	1,622,754
その他医業収益		217,219	471,183	369,401	364,544	338,986	331,060	330,829	321,969	381,807	282,537	299,715
医業外収益		300,191	472,198	775,011	786,443	776,164	805,704	746,519	751,276	1,269,438	2,031,056	579,620
訪問看護収益		-	-	-	-	-	-	-	-	70,237	74,831	72,548
特別利益		1,497	276,505	4,035	65	57	905	33,502	41,650	171,796	178,311	184,934
病院事業費用②		4,972,217	6,533,493	6,888,215	7,312,963	7,506,585	7,600,554	7,764,277	7,662,237	7,553,227	7,462,961	7,646,035
医業費用		3,784,633	6,136,873	6,302,983	6,865,220	7,075,737	7,183,635	7,333,838	7,238,511	6,928,484	6,924,588	7,356,597
給与費		2,269,406	2,894,863	3,254,903	3,587,627	3,780,798	3,837,742	3,969,878	4,041,264	3,878,200	4,079,083	4,039,841
材料費		838,491	1,340,444	1,392,014	1,357,889	1,301,673	1,362,822	1,491,093	1,376,567	1,238,827	1,190,483	1,333,343
経費		619,620	909,645	1,036,176	1,297,699	1,357,291	1,316,145	1,269,849	1,238,850	1,252,487	1,291,365	1,546,529
減価償却費		50,127	983,281	607,284	605,920	618,468	649,261	588,208	564,904	545,592	319,072	416,632
その他医業費用		6,989	8,640	12,606	16,103	17,507	17,665	14,810	16,926	13,378	44,585	20,252
医業外費用		247,814	386,135	411,728	437,734	425,876	409,503	408,511	414,416	428,459	467,553	205,216
訪問看護費用		-	-	-	-	-	-	-	-	65,682	66,998	75,508
特別損失		939,770	10,485	173,504	10,009	4,972	7,416	21,928	9,310	130,602	3,822	8,714
差引①-②		△1,542,449	△306,033	118,267	96,841	△139,526	11,698	16,336	△267,717	354,103	1,238,647	△331,264
資本的収入③		6,989,142	570,255	68,900	276,243	259,900	116,827	409,495	396,757	491,907	1,038,443	757,038
資本的支出④		7,012,542	1,172,169	714,583	939,467	966,828	802,948	711,272	717,858	830,366	1,339,974	1,031,584
差引③-④		△23,400	△601,914	△645,683	△663,224	△706,928	△686,121	△301,777	△321,101	△338,459	△301,531	△274,546

備考：病院事業収益・費用は税抜き額、資本的収入・支出は税込み額

# Ⅱ 医事統計



- ① 1日平均患者数（入院・外来）
- ② 新入院患者数・退院患者数
- ③ 平均在院日数・病棟稼働率
- ④ 紹介率・逆紹介率
- ⑤ 救急搬送患者数
- ⑥ 橋本市消防本部・伊都消防搬送先状況
- ⑦ 医業収益
- ⑧ 診療科別単価
- ⑨ 行為別収益

① 1日平均患者数 (入院・外来)

● 1日平均患者数 (入院)

24時患者基準

(単位：人)

診療科	2019年度 平均	2020年度 平均	2021年			2021年												2022年			2021年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	29.4	34.2	37.8	41.5	41.9	48.7	45.6	42.0	34.5	52.9	44.5	32.3	39.2	38.2	58.6	55.6	47.8	44.9			
消内	13.3	12.4	8.6	12.1	12.1	11.2	15.7	19.2	12.7	14.9	14.5	13.0	12.9	11.0	14.7	16.9	10.7	13.9			
代内	5.0	2.8	3.7	2.6	2.0	2.0	0.6	2.6	1.9	3.2	1.2	1.4	2.5	0.8	0.7	2.3	2.5	1.8			
呼内	7.9	5.3	6.2	6.6	5.7	8.6	6.3	4.6	6.0	7.7	13.3	11.5	17.0	23.0	26.6	31.2	29.2	15.3			
循内	47.6	37.0	37.5	41.4	39.3	40.2	37.4	29.4	26.5	25.2	25.7	26.2	25.7	24.3	20.9	28.2	25.6	27.9			
外科	34.7	46.5	58.7	48.8	44.3	37.8	36.0	37.5	35.8	44.6	42.8	42.5	38.4	25.2	19.9	20.4	21.1	33.5			
整形	44.4	47.0	58.1	48.1	49.9	46.0	43.0	38.0	34.2	37.4	42.9	42.3	39.2	36.8	41.0	44.9	44.7	40.8			
脳外	23.4	17.7	22.3	20.1	20.5	15.9	13.1	14.2	13.9	15.5	16.2	15.4	14.1	17.2	19.1	16.2	15.9	15.6			
乳腺	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
心外	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
泌尿	9.3	7.7	7.2	8.1	9.5	8.2	7.7	7.7	8.3	7.4	6.2	8.0	8.8	6.7	9.3	11.1	9.5	8.2			
皮膚	0.6	0.9	2.2	1.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.0	0.6	0.0	0.2	2.4	3.0	2.9	0.8			
眼科	3.2	2.9	3.0	2.0	3.9	1.0	3.0	3.7	2.7	2.3	2.6	3.4	2.3	2.7	1.4	2.4	3.3	2.6			
放射	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
耳鼻	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
麻酔	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
小児	3.2	2.2	2.5	2.8	3.5	3.0	4.1	6.2	6.2	8.6	6.6	3.0	2.3	2.3	6.5	2.4	3.1	4.5			
産婦	20.7	21.4	8.6	21.5	25.2	19.0	21.7	27.0	27.3	27.2	21.0	23.5	24.6	23.5	22.5	20.7	21.8	23.3			
救急	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1			
歯科	1.8	3.4	3.2	3.8	4.3	4.3	4.1	3.2	1.8	3.6	2.6	2.6	2.2	2.8	1.6	2.3	3.6	2.9			
リハ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
リ膠	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
合計	245.0	241.8	259.8	260.3	263.1	246.0	238.4	235.5	211.8	250.5	241.1	225.7	229.2	214.7	245.4	257.6	241.8	236.3			
退院含	261.2	256.5	273.3	275.8	280.1	261.7	252.0	251.8	228.0	268.8	258.4	241.8	244.4	230.0	261.4	274.2	259.0	252.4			

● 1日平均患者数 (外来)

(単位：人)

診療科	2019年度 平均	2020年度 平均	2021年			2021年												2022年			2021年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	31.9	28.6	29.4	29.1	26.6	26.2	30.4	27.3	29.6	31.5	31.3	29.1	28.0	32.8	36.4	32.5	29.7	30.3			
消内	25.0	22.7	25.1	24.8	22.5	23.9	22.9	20.9	22.6	22.4	26.2	23.5	25.0	24.2	22.1	24.2	22.8	23.4			
代内	28.5	28.9	34.2	27.9	29.1	31.7	32.0	28.4	32.4	28.6	31.4	31.0	27.6	34.8	31.4	31.1	30.4	30.8			
呼内	25.5	25.0	27.5	27.5	24.2	24.5	26.1	24.0	26.6	23.9	25.2	24.4	25.1	25.0	25.4	24.9	22.0	24.7			
循内	50.5	44.6	45.5	44.3	43.4	45.6	46.3	39.5	45.9	44.0	42.5	43.5	45.5	48.8	46.9	45.9	43.3	44.7			
外科	31.4	28.3	28.9	30.8	27.5	27.7	28.3	28.3	33.0	29.3	29.2	29.6	29.8	30.0	30.5	28.9	27.8	29.3			
整形	80.4	71.5	76.8	73.4	74.0	75.3	69.1	62.0	69.6	63.0	69.1	67.2	72.5	67.0	71.3	61.1	63.9	67.5			
脳外	38.2	36.1	36.8	38.9	35.8	34.6	35.9	32.7	35.9	33.5	36.1	34.6	38.3	39.9	35.8	37.1	36.2	35.8			
乳腺	5.7	4.9	3.9	4.1	5.9	4.6	5.0	4.9	5.1	4.0	5.5	4.9	4.7	5.3	4.4	4.8	5.6	4.9			
心外	2.8	2.6	3.0	2.4	2.8	2.6	2.1	2.9	2.5	2.1	3.8	2.5	2.8	2.8	2.9	1.8	3.0	2.6			
泌尿	61.9	56.7	63.5	59.3	57.9	59.5	60.1	53.1	63.4	56.1	63.4	60.0	57.9	63.4	62.8	58.3	60.5	59.8			
皮膚	24.0	20.4	20.1	20.6	19.7	19.7	20.7	22.6	23.8	23.4	22.5	19.6	20.3	21.9	19.5	19.1	19.9	21.1			
眼科	45.2	37.3	39.2	34.7	37.3	36.6	33.4	37.5	38.7	37.0	38.4	38.9	36.2	39.9	39.5	35.7	41.3	37.8			
放射	8.4	10.2	10.7	11.6	12.3	10.0	12.8	9.9	13.4	11.2	7.0	9.4	10.1	6.8	5.4	12.4	9.1	9.8			
耳鼻	19.9	16.8	16.5	16.4	15.7	16.9	18.7	17.7	20.0	17.1	19.6	17.9	16.2	17.7	15.8	14.6	16.9	17.4			
麻酔	1.5	1.6	1.6	2.1	1.6	1.3	1.6	1.3	2.1	1.4	1.9	1.4	1.6	2.0	2.2	1.7	1.5	1.7			
小児	33.6	18.6	16.1	18.6	20.1	25.4	28.2	33.8	38.6	25.4	26.0	29.7	31.0	24.3	25.5	23.4	24.9	28.1			
産婦	36.3	31.0	31.1	35.0	33.0	31.3	35.9	34.8	38.8	34.7	38.7	31.5	34.0	35.8	35.1	33.1	34.3	34.8			
救急	8.3	5.3	4.7	4.7	5.2	5.6	5.8	5.0	5.6	5.4	4.4	6.1	7.1	6.9	4.7	5.0	4.1	5.5			
歯科	24.0	22.0	23.3	24.4	23.0	21.5	23.8	24.5	22.9	22.0	23.2	21.7	22.4	26.1	22.2	19.9	22.4	22.7			
リハ	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.1	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
リ膠	0.0	2.5	3.3	3.7	4.0	3.6	2.8	4.5	3.4	3.2	4.5	3.4	4.2	3.9	4.1	3.7	5.9	3.9			
合計	583.2	515.6	541.2	534.2	520.8	528.1	542.0	515.7	573.5	519.3	549.3	529.9	539.7	558.8	543.8	519.2	524.3	536.6			



## ● 全入院患者数

(単位：人)

診療科	2019年度 平均	2020年度 平均	2021年			2021年												2022年			2021年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	48.3	52.1	49	63	58	90	88	59	71	157	98	57	64	68	176	91	86	92.1			
消内	44.8	41.7	40	42	47	38	38	38	34	43	44	49	53	41	59	57	50	45.3			
代内	11.8	9.9	11	8	7	3	8	9	6	8	3	3	7	4	4	6	7	5.7			
呼内	12.4	12.4	16	15	9	16	10	11	16	15	25	18	8	13	8	12	9	13.4			
循内	64.2	48.2	54	55	44	49	35	43	37	53	33	47	49	42	40	35	48	42.6			
外科	63.0	58.8	58	54	67	57	51	57	50	63	55	61	66	45	42	46	66	54.9			
整形	57.0	60.5	58	58	71	40	45	48	49	56	63	64	67	55	62	50	57	54.7			
脳外	36.2	31.0	34	26	32	22	18	23	17	18	21	17	24	19	22	19	22	20.2			
乳腺	0.1	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0.1			
心外	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
泌尿	39.5	42.7	43	38	67	34	42	42	45	48	49	43	50	49	49	45	56	46.0			
皮膚	0.5	0.4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0.2			
眼科	34.0	32.2	35	24	45	13	37	34	26	31	27	36	26	30	24	24	32	28.3			
放射	0.3	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
耳鼻	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
麻酔	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
小児	23.8	11.7	10	8	14	15	23	46	59	50	28	17	13	6	34	12	15	26.5			
産婦	45.3	37.8	29	46	52	45	45	57	53	62	44	47	40	33	48	48	35	46.4			
救急	4.9	1.5	3	0	0	4	0	3	1	2	0	2	2	2	3	4	2	2.1			
歯科	7.1	10.4	16	8	14	11	8	8	6	15	10	7	9	8	9	13	11	9.6			
リハ	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
リ膠	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
合計	493.0	451.3	457	445	527	437	448	478	470	621	500	469	478	416	581	462	496	488.0			

## ● 全退院患者数

(単位：人)

診療科	2019年度 平均	2020年度 平均	2021年			2021年												2022年			2021年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	49.3	49.6	50	55	52	73	81	61	53	136	116	60	57	60	141	98	95	85.9			
消内	43.8	42.5	27	44	54	35	38	40	43	45	45	54	51	59	40	56	60	47.2			
代内	9.3	7.0	7	6	4	5	2	4	6	11	2	4	3	5	0	1	10	4.4			
呼内	14.2	13.8	14	18	11	17	13	14	16	14	27	25	22	29	23	34	33	22.3			
循内	70.2	48.5	39	46	55	50	40	44	50	39	35	47	45	53	37	28	53	43.4			
外科	70.3	74.5	77	82	81	79	63	69	74	68	66	74	81	58	44	49	59	65.3			
整形	36.9	37.6	34	33	49	26	19	34	20	31	32	46	32	31	34	20	31	29.7			
脳外	36.0	31.3	36	28	32	33	20	23	23	15	22	24	21	20	24	22	24	22.6			
乳腺	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
心外	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
泌尿	40.5	42.8	42	39	59	45	40	42	45	50	51	42	47	53	44	48	63	47.5			
皮膚	0.8	0.6	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0.3			
眼科	33.9	31.6	35	24	39	19	31	34	32	31	19	44	21	35	17	26	30	28.3			
放射	0.3	0.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
耳鼻	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
麻酔	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
小児	26.0	13.3	11	13	16	13	22	51	62	43	40	21	13	11	33	16	17	28.5			
産婦	51.8	45.1	29	40	64	59	47	57	71	69	54	46	52	48	50	53	42	54.0			
救急	2.3	1.1	3.0	0.0	0.0	4	0	3	1	1	0	2	1	2	2	2	2	1.7			
歯科	7.5	10.1	14	7	12	13	6	13	5	15	9	9	8	10	6	12	12	9.8			
リハ	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
リ膠	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
合計	492.9	449.6	418	436	529	471	422	489	501	568	518	498	454	475	495	465	533	490.8			

③ 平均在院日数・病棟別稼働率

● 実際の平均在院日数 (単純計算)

(単位: 日)

診療科	2019年度 平均	2020年度 平均	2021年			2021年												2022年			2021年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	18.4	20.5	23.7	19.7	23.6	17.9	16.7	21.0	17.2	11.2	12.5	17.1	19.4	18.5	11.5	16.5	16.4	15.4			
消内	9.1	9.0	7.9	7.9	7.4	9.2	12.8	14.7	10.2	10.5	9.8	7.8	7.4	6.8	9.2	8.4	6.1	9.1			
代内	14.5	10.2	12.9	10.3	11.5	14.8	4.0	12.2	10.0	10.5	14.8	12.0	15.2	5.3	11.0	18.6	9.2	10.9			
呼内	18.1	12.2	12.9	11.2	17.6	15.6	17.0	11.0	11.6	16.4	15.4	16.6	34.1	34.0	53.3	38.0	43.1	26.2			
循内	21.6	23.3	25.0	23.0	24.6	24.3	30.9	20.3	18.9	17.0	22.6	17.3	16.4	15.8	16.8	25.1	15.7	19.7			
外科	15.9	21.2	27.0	20.1	18.6	16.7	19.6	17.9	17.9	21.1	21.2	19.5	15.7	15.2	14.4	12.0	10.4	17.0			
整形	28.9	29.1	39.1	29.6	25.8	41.8	41.7	27.8	30.8	26.6	27.1	23.8	23.8	26.6	26.5	35.9	31.5	29.4			
脳外	19.8	17.3	19.8	20.8	19.9	17.4	21.4	18.6	21.6	29.0	22.6	23.3	18.8	27.3	25.7	22.1	21.4	22.1			
乳腺	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	-	-	-	-	-	0.0			
心外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
泌尿	7.1	5.5	5.2	5.9	4.7	6.3	5.8	5.5	5.7	4.7	3.7	5.9	5.4	4.1	6.2	6.7	4.9	5.4			
皮膚	28.1	57.5	138.0	58.0	58.0	-	-	-	-	-	-	-	-	7.0	148.0	-	90.0	122.8			
眼科	2.9	2.8	2.7	2.4	2.9	1.9	2.8	3.3	2.9	2.3	3.4	2.6	2.9	2.6	2.1	2.6	3.3	2.8			
放射	40.6	19.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
耳鼻	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
麻酔	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
小児	3.9	5.4	7.3	7.4	7.3	6.5	5.6	3.8	3.2	5.7	5.9	4.8	5.4	8.4	6.1	4.9	5.9	5.0			
産婦	13.0	15.7	9.2	14.0	13.5	11.0	14.6	14.2	13.6	12.9	12.8	15.7	16.0	18.0	14.2	11.5	17.6	14.1			
救急	1.9	1.2	1.0	-	-	1.0	-	1.0	1.0	1.3	-	1.0	0.7	1.0	0.8	1.0	1.0	1.0			
歯科	7.7	10.2	6.6	14.0	10.2	10.7	18.3	9.1	10.4	7.5	8.2	10.1	7.9	9.7	6.7	5.0	9.7	9.1			
リハ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
リウマチ膠原病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
合計	15.2	16.3	18.4	16.5	15.4	16.3	17.0	14.6	13.5	13.1	14.2	14.5	14.8	14.9	14.1	15.6	14.6	14.7			

● 施設基準上の平均在院日数

(単位: 日)

	2019年度 平均	2020年度 平均	2021年			2021年												2022年			2021年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
単月	14.7	15.4	17.4	15.5	15.4	14.5	16.0	14.3	12.6	12.2	13.0	13.7	13.7	13.5	12.7	15.3	14.3	13.7			
直近3か月			16.8	16.2	16.1	15.6	15.5	14.9	14.2	12.9	12.6	12.9	13.4	13.7	13.3	13.7	14.0				

※ 健康保険適用のみ 通知別表 2 に該当する患者を除く

● 稼働率

(単位: %)

診療科	病棟数	2019年度 平均	2020年度 平均	2021年			2021年												2022年			2021年度 平均
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
3階西	54	75.8	79.9	85.5	86.4	87.7	84.1	89.4	92.3	76.9	87.5	82.2	86.9	88.7	79.2	82.2	87.8	84.3	85.1			
3階東	40	68.1	72.8	75.6	76.3	83.1	66.8	80.5	89.8	74.6	83.3	80.7	81.6	88.3	71.3	76.8	84.9	80.8	79.9			
4階西	50	82.2	89.4	97.9	93.1	96.3	96.4	91.5	98.1	89.1	91.7	91.1	90.9	94.9	91.5	90.6	96.9	94.8	93.1			
4階東	50	79.9	86.2	94.6	95.4	95.4	93.8	91.1	89.9	81.2	87.2	88.3	89.9	88.5	86.6	91.5	96.7	92.8	89.7			
5階西	50	82.2	54.4	64.5	68.1	63.1	48.5	23.5	0.9	2.2	50.9	40.7	1.4	0.0	0.0	48.9	49.5	29.8	29.4			
5階東	50	99.9	99.8	99.5	99.8	99.8	99.6	99.9	100.0	99.6	99.8	99.9	99.8	99.9	99.4	99.5	99.6	99.9	99.7			
HCU	6	79.1	76.8	85.5	82.1	85.5	78.9	82.8	89.4	72.6	86.0	74.4	85.5	73.3	78.0	84.4	79.8	87.6	81.1			
全体	300	81.7	80.6	86.6	86.8	87.7	82.0	79.5	78.5	70.6	83.5	80.4	75.2	76.4	71.6	81.8	85.8	80.6	78.8			

## ● 紹介率

(単位：%)

項目	2019年度 平均	2020年度 平均	2021年			2021年												2022年			2021年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
初診	1,296	1,096	1,007	974	1,256	1,235	1,031	1,276	1,306	1,262	1,089	1,126	1,157	1,029	911	922	1,114	1,121.5			
紹介	376	361	333	335	468	398	339	436	462	436	400	428	421	399	338	344	411	401.0			
紹介率	29.0	32.9	33.1	34.4	37.3	32.2	32.9	34.2	35.4	34.5	36.7	38.0	36.4	38.8	37.1	37.3	36.9	35.8			

## ● 逆紹介率

(単位：%)

項目	2019年度 平均	2020年度 平均	2021年			2021年												2022年			2021年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
初診	1,296	1,096	1,007	974	1,256	1,235	1,031	1,276	1,306	1,262	1,089	1,126	1,157	1,029	911	922	1,114	1,121.5			
提供書	610	548	470	528	659	627	485	614	583	563	561	572	622	636	611	647	799	610.0			
逆紹介率	47.1	50.0	46.7	54.2	52.5	50.8	47.0	48.1	44.6	44.6	51.5	50.8	53.8	61.8	67.1	70.2	71.7	54.4			

## ● 初診算定患者数（救急、時間外を除く）

(単位：人)

診療科	2019年度 平均	2020年度 平均	2021年			2021年												2022年			2021年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	140	161	155	125	139	170	113	123	140	204	144	108	116	139	243	162	180	153.5			
消内	26	27	30	25	31	49	24	30	20	33	32	28	29	29	42	33	31	31.7			
代内	8	7	5	6	10	13	4	6	6	13	4	6	5	5	6	5	10	6.9			
呼内	10	16	13	20	23	32	16	12	21	26	16	22	23	17	12	12	17	18.8			
循内	54	47	41	38	59	49	43	42	41	43	40	38	58	45	27	41	32	41.6			
外科	34	30	25	31	29	40	29	47	45	47	42	40	34	27	32	28	33	37.0			
整形	131	114	98	105	136	110	61	72	84	60	54	68	68	54	58	50	60	66.6			
脳外	52	53	60	59	64	54	36	38	38	55	36	51	53	47	42	38	45	44.4			
乳腺	9	7	3	3	10	13	8	5	12	9	7	13	5	7	2	7	9	8.1			
心外	5	4	7	1	8	4	1	5	3	2	12	2	8	1	4	2	3	3.9			
泌尿	53	51	54	50	69	52	44	42	57	58	45	51	57	52	38	43	46	48.8			
皮膚	70	56	60	38	59	39	59	73	80	97	55	46	55	42	35	30	50	55.1			
眼科	70	38	36	17	49	26	21	29	36	35	32	40	26	28	27	31	35	30.5			
放射	52	48	38	57	54	48	40	60	50	44	61	62	64	52	34	57	53	52.1			
耳鼻	39	30	31	33	29	37	34	44	35	42	37	38	32	31	16	18	42	33.8			
麻酔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
小児	306	205	161	161	232	289	282	403	393	297	286	308	316	211	114	224	258	281.8			
産婦	76	66	65	72	83	77	82	79	102	62	75	63	64	74	57	42	71	70.7			
救急	48	31	24	27	47	31	32	34	40	32	28	30	44	46	20	21	27	32.1			
歯科	113	100	98	100	120	98	100	126	96	100	78	106	97	119	100	75	109	100.3			
リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
リ膠	0	5	3	6	5	4	2	6	7	3	5	6	3	3	2	3	3	3.9			
合計	1,296	1,096	1,007	974	1,256	1,235	1,031	1,276	1,306	1,262	1,089	1,126	1,157	1,029	911	922	1,114	1,121.5			

## ● 紹介患者

(単位：人)

診療科	2019年度 平均	2020年度 平均	2021年			2021年												2022年			2021年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	18	25	13	14	19	17	12	20	17	32	27	21	21	31	24	16	26	22.0			
消内	18	18	19	12	21	27	18	21	12	24	19	19	20	19	28	21	18	20.5			
代内	7	6	4	5	10	9	3	5	5	11	2	5	5	4	5	4	6	5.3			
呼内	7	9	7	7	11	7	6	9	14	16	11	9	17	15	6	7	12	10.8			
循内	30	28	29	7	33	36	27	27	26	27	27	27	38	26	18	24	22	27.1			
外科	25	22	20	24	25	25	19	37	30	35	36	34	31	24	27	21	28	28.9			
整形	38	35	30	35	44	38	41	49	65	42	39	56	50	37	43	41	43	45.3			
脳外	17	18	18	21	26	27	15	18	14	26	14	22	24	19	23	22	21	20.4			
乳腺	1	2	1	2	3	3	2	2	2	3	3	1	1	0	0	2	2	1.8			
心外	4	4	7	1	7	4	1	4	3	2	8	1	7	1	4	2	2	3.3			
泌尿	26	24	27	23	32	25	22	17	29	24	19	24	27	29	17	25	24	23.5			
皮膚	8	6	6	5	11	7	5	11	8	10	3	7	13	5	8	1	5	6.9			
眼科	26	23	30	15	44	19	16	19	32	30	28	37	22	24	24	26	29	25.5			
放射	47	41	34	52	50	45	37	60	47	39	53	58	59	48	32	51	52	48.4			
耳鼻	10	7	6	5	5	10	7	6	12	5	10	11	6	9	9	4	9	8.2			
麻酔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
小児	12	10	7	7	13	9	17	25	39	17	10	9	5	9	1	7	9	13.1			
産婦	21	19	14	22	28	23	30	25	29	17	25	14	16	14	10	17	23	20.3			
救急	8	6	6	5	10	6	6	7	9	8	7	9	10	8	5	5	7	7.3			
歯科	56	53	52	52	71	57	53	68	62	65	55	58	47	74	52	45	70	58.8			
リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
リ膠	0	5	3	6	5	4	2	6	7	3	4	6	2	3	2	3	3	3.8			
合計	376	361	333	335	468	398	339	436	462	436	400	428	421	399	338	344	411	401.0			

⑤ 救急搬送患者数

● 救急車受入件数

(単位：件)

診療科	2019年度 平均	2020年度 平均	2021年			2021年												2022年			2021年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	29.3	41.7	44	36	51	55	53	49	51	50	49	50	47	58	66	57	64	54.1			
消内	14.0	11.2	16	10	8	6	3	8	8	7	8	5	7	8	8	9	7	7.0			
代内	6.3	6.4	9	2	3	5	7	3	1	5	2	2	2	0	4	1	1	2.8			
呼内	1.5	1.6	1	0	2	5	1	0	0	3	4	7	0	1	2	2	0	2.1			
循内	30.8	20.7	21	16	25	16	11	13	7	17	15	22	17	16	20	24	18	16.3			
外科	10.3	12.5	17	13	12	13	9	17	13	21	10	13	15	18	13	8	11	13.4			
整形	27.0	27.3	34	36	29	26	32	23	26	21	32	27	27	34	26	22	20	26.3			
脳外	22.4	21.3	24	21	25	9	16	16	14	8	16	9	25	14	17	8	18	14.2			
乳腺	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
心外	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
泌尿	5.8	5.2	3	5	15	0	3	4	2	5	2	3	4	5	3	1	8	3.3			
皮膚	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0.1			
眼科	0.0	0.1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1			
放射	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
耳鼻	0.1	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
麻酔	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
小児	6.7	5.8	6	5	3	7	10	7	12	2	7	7	7	6	4	1	5	6.3			
産婦	0.8	1.5	2	1	2	1	1	1	1	2	0	1	0	0	0	2	1	0.8			
救急	35.2	27.1	29	23	26	32	33	27	30	25	19	35	35	32	23	28	21	28.3			
歯科	0.0	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
リハ	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
リ膠	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
合計	190.3	182.3	206	168	201	175	179	168	166	166	164	181	186	193	186	163	174	175.1			

● 救急別受入件数

(単位：件)

搬送元	2019年度 平均	2020年度 平均	2021年			2021年												2022年			2021年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
橋本	113.9	111.3	126	99	126	100	110	96	105	102	94	115	120	119	99	92	100	104.3			
伊都	45.2	41.2	47	41	42	53	46	43	38	46	53	46	48	43	64	45	47	47.7			
高野	6.3	6.8	10	5	1	8	10	6	8	7	6	8	3	7	7	6	6	6.8			
那賀	1.3	1.5	1	1	0	2	2	3	1	1	1	0	5	1	0	3	3	1.8			
医大	0.1	0.2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0.1			
近大	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
長野	0.4	0.5	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0.2			
五条	18.0	16.1	12	19	25	6	8	10	14	9	9	10	8	18	14	10	13	10.8			
その他	2.5	3.7	10	3	3	4	1	8	0	0	0	1	1	4	1	5	4	2.4			
Dへリ	1.9	0.7	0	0	1	2	2	2	0	0	1	1	0	1	1	1	1	1.0			
合計	190.3	182.3	206	168	201	175	179	168	166	166	164	181	186	193	186	163	174	175.1			

● 橋本市消防収容率

(単位：%)

診療科	2019年度 平均	2020年度 平均	2021年			2021年												2022年			2021年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
発生件数	181.3	175.3	195	164	190	159	177	174	189	187	160	187	204	198	177	187	165	180.3			
収容件数	113.9	111.3	126	99	126	100	110	96	105	102	94	115	120	119	99	92	100	104.3			
収容率	62.8	63.5	64.6	60.4	66.3	62.9	62.1	55.2	55.6	54.5	58.8	61.5	58.8	60.1	55.9	49.2	60.6	57.9			

● 伊都消防収容率

(単位：%)

診療科	2019年度 平均	2020年度 平均	2021年			2021年												2022年			2021年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
発生件数	145.9	126.7	130	127	128	124	120	124	142	150	164	149	148	153	171	146	120	142.6			
収容件数	45.2	41.2	47	41	42	53	46	43	38	46	53	46	48	43	64	45	47	47.7			
収容率	31.0	32.5	36.2	32.3	32.8	42.7	38.3	34.7	26.8	30.7	32.3	30.9	32.4	28.1	37.4	30.8	39.2	33.4			

## ● 橋本市消防本部搬送先状況

(単位: 件)

搬送先	2020年度 平均	2021年			2021年												2022年			2021年度 平均
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
橋本市民病院	111.3	126	99	126	100	110	96	105	102	94	115	120	119	99	92	100	104.3			
紀和病院	26.8	33	33	33	24	29	26	29	33	24	28	35	27	27	23	26	27.6			
山本病院	11.7	17	13	5	16	13	22	17	18	16	14	17	15	18	21	10	16.4			
紀北分院	2.8	0	1	3	0	1	1	2	0	0	0	0	2	1	3	0	0.8			
和歌山医大	5.0	7	4	4	7	3	5	9	8	5	6	7	6	4	9	5	6.2			
日赤和歌山	2.5	2	3	5	4	10	4	6	6	3	4	3	4	4	13	4	5.4			
和歌山県他	3.9	1	4	2	3	3	5	7	3	6	4	7	6	4	10	3	5.1			
近大病院	6.8	5	5	6	3	4	8	8	11	10	12	11	12	14	7	10	9.2			
大阪府他	3.3	1	1	4	1	3	6	4	3	1	2	4	4	5	7	5	3.8			
奈良県	1.2	3	1	2	1	1	1	2	3	1	2	0	3	1	2	2	1.6			
合計	175.3	195	164	190	159	177	174	189	187	160	187	204	198	177	187	165	180.3			

## ● 橋本消防本部搬送先状況

(単位: 件)

診療科・区分	2020年度 平均	2021年			2021年												2022年			2021年度 平均
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	発生	73.6	87	63	81	73	75	79	79	99	75	68	83	69	88	82	73	78.6		
	収容	37.3	44	27	46	39	37	34	36	47	42	37	39	35	42	37	38	38.6		
外科	発生	9.8	16	13	7	6	10	10	17	14	6	13	21	18	12	11	8	12.2		
	収容	6.5	11	7	5	5	4	6	11	10	4	9	11	9	6	5	3	6.9		
小児	発生	4.7	3	4	4	6	6	6	6	1	6	10	6	4	4	3	4	5.2		
	収容	3.8	3	4	3	6	5	5	6	0	6	7	6	3	2	0	4	4.2		
産婦	発生	2.6	3	3	2	2	1	3	4	1	0	2	0	1	1	1	3	1.6		
	収容	0.8	2	1	1	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0.4		
眼科	発生	0.1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0.3		
	収容	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
整形	発生	17.1	14	19	26	16	21	13	15	10	19	25	20	26	21	24	20	19.2		
	収容	8.8	9	12	11	8	11	5	7	3	6	10	9	11	7	6	6	7.4		
耳鼻	発生	0.8	0	0	1	0	0	0	1	3	0	0	1	0	1	1	0	0.6		
	収容	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
脳外	発生	8.4	6	10	4	5	6	11	9	8	8	7	16	13	5	9	10	8.9		
	収容	4.8	4	8	2	1	1	3	3	0	2	2	6	1	2	1	2	2.0		
泌尿	発生	4.1	3	6	7	3	4	6	2	4	3	3	5	6	2	3	6	3.9		
	収容	3.7	3	5	7	1	3	5	1	2	2	3	4	4	2	2	5	2.8		
循内	発生	11.8	16	13	10	5	9	7	6	7	9	9	6	11	9	14	7	8.3		
	収容	8.3	12	7	8	2	4	1	2	4	6	5	2	6	3	9	5	4.1		
心外	発生	1.8	2	0	4	1	1	2	3	0	2	5	1	0	1	1	0	1.4		
	収容	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
救急	発生	41.4	44	32	48	41	50	40	44	38	30	46	47	55	40	42	38	42.6		
	収容	37.3	38	28	43	37	44	36	39	35	26	41	43	50	35	32	37	37.9		
他	発生	0.9	3	2	0	2	1	1	3	6	2	3	2	1	1	5	0	2.3		
	収容	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
合計	発生	177.0	197	165	194	160	185	178	189	192	160	193	208	204	185	196	169	184.9		
	収容	111.3	126	99	126	100	110	96	105	102	94	115	120	119	99	92	100	104.3		

## ● 伊都消防本部搬送先状況

(単位: 件)

搬送先	2020年度 平均	2021年			2021年												2022年			2021年度 平均
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
橋本市民病院	41.2	47	41	42	53	46	43	38	46	53	46	48	43	64	45	47	47.7			
紀和病院	33.2	42	38	34	41	38	41	48	46	56	61	35	29	47	23	35	41.7			
山本病院	10.3	13	11	7	7	11	7	14	19	13	9	16	12	12	18	5	11.9			
紀北分院	15.5	0	2	13	0	0	4	10	1	0	0	11	31	9	4	1	5.9			
和歌山医大	2.9	3	3	4	4	4	4	7	6	8	3	12	9	9	12	2	6.7			
日赤和歌山	2.2	4	4	1	1	3	1	3	0	1	2	2	3	2	7	1	2.2			
和歌山県他	19.5	21	27	25	16	16	23	19	31	27	24	22	25	22	35	23	23.6			
近大病院	0.8	0	1	0	2	1	0	0	1	4	1	2	0	4	2	3	1.7			
大阪府他	0.9	0	0	2	0	1	0	2	0	1	0	0	1	0	0	2	0.6			
奈良県	0.2	0	0	0	0	0	1	1	0	1	3	0	0	2	0	1	0.8			
合計	126.7	130	127	128	124	120	124	142	150	164	149	148	153	171	146	120	142.6			

⑦ 医業収益（入院外来合計）

● 科別収益（入院＋外来）

※室料・文書等自費を含む

（単位：千円）

診療科	2019年度 平均	2020年度 平均	2021年			2021年												2022年			2021年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	42,850	49,518	53,389	53,737	58,540	76,624	76,362	60,898	56,511	90,875	74,862	52,399	57,918	59,228	97,674	103,218	88,331	74,575			
消内	29,583	27,031	19,849	26,509	28,527	24,869	31,553	36,344	30,005	33,192	33,563	28,993	28,950	26,051	31,212	30,727	28,908	30,364			
代内	13,575	12,262	14,200	10,417	12,252	11,474	9,989	12,493	12,074	14,000	10,385	10,858	11,272	11,062	9,813	10,895	12,844	11,430			
呼内	20,284	19,289	19,610	21,377	21,194	25,886	19,279	18,426	21,215	23,573	31,385	26,036	27,130	36,902	40,350	42,558	43,474	29,684			
循内	96,737	74,260	78,328	74,529	74,011	78,636	76,456	68,325	57,894	63,204	55,564	64,575	56,515	54,940	58,138	50,807	57,541	61,883			
外科	76,874	89,451	91,100	80,004	96,432	77,827	68,128	85,320	77,097	87,084	86,019	94,587	79,834	67,739	58,765	55,742	70,029	75,681			
整形	77,114	80,290	92,330	76,593	92,191	74,888	72,714	69,796	68,673	73,635	73,767	78,083	74,988	71,033	76,075	85,383	84,693	75,311			
脳外	50,555	42,379	44,523	46,649	44,344	32,046	25,289	29,087	33,666	30,030	29,259	28,361	32,527	33,182	35,975	28,552	32,416	30,866			
乳腺	4,450	3,351	2,854	1,793	4,250	2,643	3,258	2,957	2,291	2,315	3,159	2,748	2,430	3,388	2,685	3,018	3,187	2,840			
心外	641	738	919	721	1,128	799	447	853	673	621	988	734	960	631	846	513	856	743			
泌尿	40,424	37,342	37,830	37,072	44,963	40,723	35,381	38,430	39,002	36,499	39,040	40,151	37,968	37,521	38,037	37,728	43,581	38,672			
皮膚	2,195	2,243	3,340	2,075	2,484	1,711	1,205	3,674	2,174	1,765	3,318	2,550	1,790	2,618	4,340	3,714	5,312	2,848			
眼科	15,620	14,189	14,522	10,114	18,661	8,168	14,132	16,756	13,287	12,485	12,769	16,361	11,915	14,127	9,350	11,017	15,941	13,026			
放射	4,184	4,234	3,574	3,714	4,873	3,647	3,774	3,763	4,706	3,863	2,768	3,303	3,386	4,106	3,440	5,373	5,602	3,978			
耳鼻	1,860	1,637	1,586	1,547	1,699	1,854	1,781	2,058	1,990	2,126	1,966	1,979	1,612	1,747	1,370	1,401	1,855	1,812			
麻酔	16	11	5	13	5	5	9	6	11	7	13	7	5	3	4	6	7	7			
小児	14,214	8,712	8,192	11,022	10,328	13,085	10,876	20,069	21,660	20,629	20,186	9,753	13,316	7,764	15,451	12,608	11,408	14,734			
産婦	40,017	38,977	22,040	37,110	50,564	37,627	41,543	51,549	54,849	52,459	43,059	45,011	44,807	41,256	42,472	38,919	44,952	44,875			
救急	2,809	1,796	2,065	1,460	1,754	2,323	1,719	2,262	1,941	2,066	1,317	2,506	2,886	2,777	1,575	1,674	1,594	2,053			
歯科	6,698	9,373	9,578	9,239	11,273	10,807	9,988	9,093	7,359	11,467	7,793	7,231	7,960	8,439	7,519	6,941	11,494	8,841			
Uハ	12	13	8	11	21	12	12	4	10	0	0	0	0	0	0	0	0	3			
U膠	0	622	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	878			
合計	540,699	517,718	520,726	506,349	580,379	526,569	504,536	533,199	507,850	562,743	532,096	517,196	498,994	485,455	536,017	531,492	565,080	525,102			

## ● 科別収益 (入院)

※室料・文書等自費を含む

(単位:千円)

診療科	2019年度 平均	2020年度 平均	2021年			2021年												2022年			2021年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	35,784	42,609	47,108	47,190	51,695	69,295	69,343	52,726	48,275	82,512	65,314	42,594	48,469	50,250	88,053	94,733	79,493	65,921			
消内	19,925	18,792	11,970	16,719	19,079	16,391	22,120	28,252	20,556	24,341	22,613	21,587	21,123	19,505	24,306	25,184	20,549	22,210			
代内	5,585	3,603	4,884	3,040	2,612	2,135	1,016	3,821	2,809	4,817	1,570	1,555	2,697	1,199	944	2,520	3,485	2,381			
呼内	9,436	7,088	8,202	7,750	7,599	10,496	7,787	6,093	7,433	11,079	16,791	12,997	17,749	25,236	28,222	29,778	30,473	17,011			
循内	83,949	63,244	66,815	63,637	61,005	66,672	65,856	58,297	46,392	52,157	46,056	53,407	46,445	44,291	47,446	40,766	47,759	51,295			
外科	59,500	73,344	76,294	64,728	79,347	60,755	53,654	67,770	60,425	71,712	68,976	75,633	62,904	50,917	40,689	39,991	48,503	58,494			
整形	66,988	71,211	83,176	67,966	81,302	64,591	64,605	60,923	59,505	65,836	65,051	68,888	65,945	62,383	67,777	78,077	75,300	66,573			
脳外	44,101	36,667	39,268	40,478	38,108	26,319	20,345	23,573	28,345	24,536	23,505	22,721	26,738	27,912	31,630	23,430	26,764	25,485			
乳腺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
心外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
泌尿	18,523	17,528	18,268	18,187	23,265	18,845	17,589	19,949	20,243	18,205	18,393	19,823	19,567	19,131	20,004	20,341	20,969	19,422			
皮膚	591	928	2,036	924	978	0	0	0	0	63	933	625	0	340	2,600	2,562	2,906	836			
眼科	10,577	9,917	10,374	6,704	13,810	3,483	10,796	12,139	8,815	8,331	8,397	11,719	7,556	9,857	5,197	7,415	10,954	8,722			
放射	423	176	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
耳鼻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
麻酔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
小児	5,793	3,777	4,893	4,093	5,603	4,571	6,905	11,489	12,388	16,391	11,405	5,072	3,626	3,452	11,014	4,081	5,722	8,010			
産婦	32,677	31,967	14,719	30,115	42,406	31,180	34,395	42,481	44,648	44,173	34,228	37,400	36,064	32,887	34,519	31,864	35,952	36,649			
救急	462	112	251	0	0	273	0	248	93	220	0	195	119	245	176	294	150	168			
歯科	3,123	5,450	5,532	5,212	6,963	6,683	5,800	4,281	3,469	7,152	3,965	3,382	4,274	4,173	3,765	3,705	6,998	4,804			
リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
リ膠	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
合計	397,438	386,413	393,790	376,741	433,772	381,691	380,210	392,040	363,396	431,524	387,196	377,597	363,276	351,777	406,342	404,740	415,977	387,981			

⑦ 医業収益 (外来収益)

● 科別収益 (外来)

※室料・文書等自費を含む

(単位：千円)

診療科	2019年度 平均	2020年度 平均	2021年			2021年												2022年			2021年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	7,067	6,910	6,281	6,547	6,845	7,329	7,019	8,172	8,236	8,363	9,548	9,805	9,449	8,978	9,621	8,485	8,838	8,654			
消内	9,658	8,239	7,880	9,791	9,448	8,478	9,433	8,091	9,449	8,852	10,950	7,406	7,828	6,546	6,906	5,543	8,359	8,153			
代内	7,990	8,659	9,316	7,377	9,640	9,340	8,973	8,672	9,264	9,182	8,815	9,303	8,575	9,863	8,869	8,375	9,359	9,049			
呼内	10,847	12,200	11,409	13,626	13,595	15,390	11,492	12,333	13,782	12,494	14,594	13,039	9,381	11,666	12,128	12,780	13,001	12,673			
循内	12,787	11,016	11,512	10,893	13,006	11,964	10,600	10,028	11,502	11,047	9,508	11,168	10,070	10,649	10,693	10,041	9,782	10,588			
外科	17,374	16,107	14,806	15,277	17,085	17,072	14,474	17,550	16,672	15,372	17,043	18,953	16,930	16,822	18,076	15,751	21,525	17,187			
整形	10,126	9,079	9,153	8,627	10,889	10,296	8,109	8,873	9,167	7,799	8,716	9,195	9,042	8,650	8,298	7,306	9,394	8,737			
脳外	6,454	5,712	5,256	6,172	6,236	5,726	4,944	5,514	5,321	5,494	5,754	5,640	5,789	5,271	4,344	5,122	5,652	5,381			
乳腺	4,450	3,351	2,854	1,793	4,250	2,643	3,258	2,957	2,291	2,315	3,159	2,748	2,430	3,388	2,685	3,018	3,187	2,840			
心外	641	738	919	721	1,128	799	447	853	673	621	988	734	960	631	846	513	856	743			
泌尿	21,901	19,814	19,561	18,885	21,698	21,878	17,792	18,481	18,759	18,294	20,647	20,328	18,401	18,390	18,033	17,387	22,613	19,250			
皮膚	1,603	1,315	1,304	1,151	1,506	1,711	1,205	3,674	2,174	1,702	2,385	1,925	1,790	2,277	1,740	1,153	2,406	2,012			
眼科	5,043	4,272	4,149	3,411	4,851	4,685	3,336	4,617	4,472	4,154	4,371	4,642	4,359	4,271	4,153	3,602	4,988	4,304			
放射	3,761	4,058	3,574	3,714	4,873	3,647	3,774	3,763	4,706	3,863	2,768	3,303	3,386	4,106	3,440	5,373	5,602	3,978			
耳鼻	1,860	1,637	1,586	1,547	1,699	1,854	1,781	2,058	1,990	2,126	1,966	1,979	1,612	1,747	1,370	1,401	1,855	1,812			
麻酔	16	11	5	13	5	5	9	6	11	7	13	7	5	3	4	6	7	7			
小児	8,421	4,935	3,299	6,929	4,725	8,514	3,971	8,580	9,272	4,238	8,781	4,682	9,691	4,313	4,437	8,526	5,687	6,724			
産婦	7,339	7,010	7,321	6,995	8,158	6,446	7,147	9,068	10,201	8,286	8,831	7,611	8,743	8,369	7,953	7,055	8,999	8,226			
救急	2,347	1,684	1,814	1,460	1,754	2,051	1,719	2,015	1,848	1,845	1,317	2,311	2,767	2,533	1,399	1,379	1,444	1,886			
歯科	3,575	3,923	4,046	4,026	4,309	4,123	4,188	4,813	3,891	4,315	3,828	3,849	3,686	4,265	3,754	3,236	4,496	4,037			
リハ	12	13	8	11	21	12	12	4	10	0	0	0	0	0	0	0	0	3			
リ膠	-	2	883	642	886	918	641	1,036	762	849	914	971	825	941	927	702	1,053	3			
合計	143,261	131,305	126,936	129,608	146,607	144,879	124,326	141,159	144,454	131,218	144,900	139,599	135,718	133,678	129,675	126,752	149,103	137,122			
診療日数	20.0	20.3	19	18	23	21	18	22	20	21	20	21	20	20	19	18	22	20.2			



● 診療単価 (入院)

24 時患者基準

(単位：円)

診療科	2019年度 平均	2020年度 平均	2021年			2021年												2022年			2021年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	39,129	40,502	39,903	40,309	39,291	46,853	48,488	41,535	44,522	49,704	48,511	41,923	40,757	41,722	47,677	60,526	53,193	47,708			
消内	47,893	48,590	44,441	48,054	49,306	47,948	44,290	48,089	50,676	51,127	50,555	52,558	53,377	55,932	52,996	52,231	60,987	51,358			
代内	35,689	40,932	41,297	41,037	41,067	35,575	50,776	47,569	45,807	46,875	42,364	37,010	35,397	49,720	42,152	34,530	44,292	42,206			
呼内	37,875	42,805	41,849	41,057	42,039	39,620	39,608	43,865	39,858	46,044	41,208	36,318	33,795	34,223	33,457	33,605	32,756	35,733			
循内	56,687	55,136	56,316	54,176	48,851	54,119	55,129	64,704	55,455	65,876	58,956	64,758	59,396	58,382	72,289	51,275	59,684	59,457			
外科	54,603	50,471	40,886	45,993	56,413	52,335	47,297	58,776	53,208	50,716	52,456	56,223	53,295	63,974	64,422	68,137	73,191	56,086			
整形	48,339	48,838	45,457	49,418	51,667	46,057	47,688	52,268	54,912	55,496	49,872	51,979	55,474	53,988	52,511	61,189	53,472	52,760			
脳外	60,541	67,029	56,027	71,568	59,064	53,936	49,752	54,972	65,555	50,787	48,194	47,396	62,353	51,683	52,718	51,230	54,157	53,382			
乳腺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
心外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
泌尿	62,861	73,030	79,892	77,385	77,278	74,416	72,100	85,098	76,343	77,664	95,592	77,830	72,235	90,302	67,855	64,077	69,754	75,809			
皮膚	32,903	31,291	27,350	31,487	33,720	-	-	-	-	31,420	30,904	31,023	-	45,449	32,708	28,584	30,342	30,882			
眼科	107,282	110,987	110,597	116,837	111,075	111,483	113,492	107,651	105,212	117,169	106,261	111,441	109,663	113,968	117,995	111,342	104,719	110,303			
放射	35,763	43,878	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
耳鼻	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
麻酔	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
小児	57,905	55,055	62,304	51,645	49,844	49,671	53,234	61,303	64,167	61,259	56,769	54,523	49,735	47,010	53,571	58,989	59,695	57,215			
産婦	47,085	44,289	47,154	45,491	49,319	49,678	46,352	47,050	47,931	46,069	48,857	45,658	43,856	41,690	44,505	51,004	49,367	46,686			
救急	64,008	68,791	73,673	-	-	62,910	-	76,660	84,560	104,015	-	88,623	109,820	110,320	79,225	89,260	66,150	83,657			
歯科	53,331	49,618	52,394	47,690	51,152	50,154	44,236	42,281	57,553	61,881	49,263	41,544	60,373	46,195	71,430	57,545	60,226	52,479			
リハ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
リ膠	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
合計	51,621	51,147	47,771	50,439	51,747	50,412	50,172	54,014	53,813	53,993	52,264	52,670	51,436	51,639	52,148	55,064	54,449	52,676			
退院含	51,429	49,243	45,414	47,591	48,594	47,388	47,462	50,518	49,998	50,313	48,771	49,170	48,251	48,199	48,962	51,728	50,834	47,388			

● 診療単価 (外来)

(単位：円)

診療科	2019年度 平均	2020年度 平均	2021年			2021年												2022年			2021年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	10,703	11,460	11,060	12,269	11,032	13,141	12,557	13,371	13,675	12,294	15,073	15,728	15,375	12,930	13,704	14,307	13,154	13,762			
消内	19,144	17,785	16,412	21,837	18,069	16,810	22,722	17,441	20,758	18,590	20,762	14,960	15,563	13,358	16,309	12,561	16,529	17,166			
代内	13,972	14,759	14,339	14,686	14,360	14,002	15,546	13,876	14,281	15,287	14,008	14,293	15,471	14,145	14,848	14,940	13,987	14,523			
呼内	21,237	24,032	21,843	27,508	24,396	29,853	24,453	23,347	25,851	24,920	28,952	25,402	18,613	23,306	25,097	28,477	26,876	25,408			
循内	12,457	11,985	13,150	13,493	12,780	12,277	12,536	11,319	12,394	11,707	11,006	12,084	10,889	10,706	11,861	11,940	10,062	11,552			
外科	27,494	27,883	26,647	27,321	26,655	29,096	28,300	27,962	25,015	24,667	29,045	30,245	28,237	27,708	30,999	30,133	35,030	28,826			
整形	5,791	5,729	5,766	5,986	5,794	6,113	5,959	5,971	6,209	5,556	5,894	6,112	5,915	5,968	5,787	6,062	6,169	5,979			
脳外	8,155	7,542	7,279	8,523	7,305	7,545	7,321	7,286	7,192	7,593	7,706	7,517	7,314	6,275	6,072	7,435	6,768	7,160			
乳腺	39,136	33,891	38,483	24,218	31,358	27,370	36,166	27,574	22,397	27,405	28,930	26,404	25,746	31,714	31,889	34,963	25,532	28,629			
心外	11,479	13,886	16,039	16,376	17,611	14,798	11,974	13,320	13,649	13,804	13,061	13,951	16,966	11,305	15,100	15,272	12,969	13,813			
泌尿	17,601	17,180	16,134	17,606	16,223	17,396	16,411	15,747	14,726	15,434	16,215	16,035	15,794	14,385	15,016	16,468	16,853	15,868			
皮膚	3,262	3,109	3,337	3,045	3,241	4,092	3,162	7,321	4,489	3,359	5,248	4,528	4,247	5,060	4,548	3,213	5,332	4,617			
眼科	5,492	5,578	5,540	5,388	5,574	6,049	5,471	5,502	5,708	5,299	5,628	5,612	5,956	5,316	5,515	5,534	5,423	5,582			
放射	22,280	19,609	17,477	17,837	16,972	17,299	16,164	17,145	17,499	16,176	19,500	16,586	16,732	30,072	33,225	23,931	27,655	20,043			
耳鼻	4,586	4,732	5,006	5,117	4,530	5,134	5,227	5,186	4,938	5,829	4,954	5,076	4,789	4,823	4,490	5,234	4,837	5,047			
麻酔	497	329	167	348	140	169	306	226	258	237	347	222	150	76	88	188	196	203			
小児	12,031	12,329	10,022	20,151	10,019	15,639	7,679	11,435	11,687	7,584	16,580	7,124	14,258	8,167	8,614	19,541	9,905	11,411			
産婦	8,456	9,461	10,375	9,273	8,973	8,137	9,018	10,209	11,398	9,466	9,770	9,701	11,117	10,083	10,241	10,444	10,379	10,018			
救急	13,723	15,302	19,864	16,526	14,051	17,163	16,120	17,607	16,292	15,638	14,798	17,701	18,921	17,902	14,954	14,984	15,344	16,652			
歯科	7,340	8,722	9,059	9,037	8,075	9,059	9,700	8,867	8,465	9,291	8,206	8,329	8,086	7,986	8,786	8,907	9,008	8,711			
リハ	3,740	4,153	8,240	5,740	4,140	5,790	5,790	4,290	3,290	-	-	-	-	-	-	-	-	4,665			
リ膠	-	12,326	14,200	9,728	12,299	12,238	12,576	10,468	11,046	12,361	10,079	13,457	9,912	12,041	12,009	10,636	9,916	11,257			
全体	11,971	12,251	12,047	13,161	11,912	12,791	12,435	12,156	12,314	11,725	12,914	12,260	12,156	11,604	12,270	13,272	12,610	12,364			

⑨ 行為別収益

● 行為別収益（入院）

(単位：千円)

項目	2019年度 平均	2020年度 平均	2021年			2021年												2022年			2021年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
初診	530	478	514	481	523	555	569	489	544	1,013	681	489	418	456	920	625	588	612			
指導	1,633	2,179	2,794	2,622	2,865	2,681	3,298	4,043	3,888	4,939	4,077	4,160	4,323	4,338	4,460	4,125	4,377	4,059			
在宅	706	592	412	608	664	768	532	619	521	806	712	443	521	484	891	444	543	607			
投薬	2,064	1,695	1,727	1,622	1,865	2,085	1,595	1,743	1,446	1,563	1,403	1,585	1,323	1,949	1,696	1,672	1,971	1,669			
注射	1,272	910	1,421	756	1,593	1,688	2,139	1,075	1,025	1,773	1,300	3,470	1,358	2,517	3,874	8,244	10,042	3,209			
処置	911	758	1,040	741	861	730	738	693	644	798	868	887	704	737	893	1,145	767	801			
手術	103,073	96,365	80,452	93,037	113,517	82,358	78,483	98,634	89,689	92,623	81,290	92,145	88,990	79,259	84,496	93,541	96,638	88,179			
検査	3,805	3,346	3,547	3,302	3,899	4,552	5,003	3,889	4,240	6,647	5,308	4,845	4,238	4,657	6,744	5,475	5,083	5,057			
画像	910	1,125	1,189	1,069	1,040	1,494	1,592	1,022	994	2,669	1,831	975	1,055	1,167	3,447	1,963	1,514	1,644			
他	17,633	16,504	16,803	14,793	17,382	15,244	14,837	16,209	14,156	15,141	14,180	14,164	14,865	15,462	13,519	13,379	15,876	14,753			
入院	74,214	74,288	83,262	71,884	77,071	89,763	99,771	81,831	76,569	121,226	107,013	76,463	69,017	70,580	114,387	115,241	106,240	94,008			
DPC	165,721	164,507	176,667	163,255	185,923	156,516	148,706	158,855	147,816	156,156	146,275	156,400	154,506	150,144	147,666	138,277	151,053	151,031			
食事	13,337	13,373	14,873	13,380	14,791	13,605	13,555	12,559	11,803	13,958	13,137	12,555	12,408	11,957	13,698	12,934	13,402	12,964			
計	385,810	376,120	384,701	367,548	421,993	372,039	370,820	381,661	353,335	419,311	378,075	368,582	353,726	343,709	396,690	397,066	408,094	378,592			
室料	9,087	7,422	6,647	6,493	8,247	6,912	6,111	6,372	7,137	7,661	5,816	5,445	6,111	5,850	5,907	5,197	5,688	6,184			
文書	135	124	130	99	142	134	119	175	112	173	109	142	112	107	131	127	102	129			
産科	1,809	2,055	1,623	1,950	2,698	1,859	2,424	3,080	2,282	3,613	2,591	2,797	2,655	1,482	2,615	1,659	1,534	2,382			
他	598	691	691	651	692	746	737	753	530	766	606	630	673	630	999	692	559	694			
計	11,628	10,293	9,090	9,193	11,779	9,651	9,390	10,380	10,061	12,213	9,121	9,015	9,551	8,069	9,652	7,675	7,883	9,388			
入院計	397,438	386,413	393,790	376,741	433,772	381,691	380,210	392,040	363,396	431,524	387,196	377,597	363,276	351,777	406,342	404,740	415,977	387,981			

● 行為別収益（外来）

(単位：千円)

診療科	2019年度 平均	2020年度 平均	2021年			2021年												2022年			2021年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
初診	4,611	3,338	3,184	2,962	3,588	3,501	3,187	3,448	3,656	3,442	3,084	3,399	3,312	3,240	3,277	2,659	3,244	3,287			
再診	6,912	6,259	6,151	5,819	7,140	6,967	6,105	7,006	7,019	6,893	7,024	6,580	6,337	6,697	6,052	5,537	6,890	6,592			
指導	5,503	5,345	5,336	4,910	5,915	7,071	6,616	7,969	8,714	6,550	6,513	6,988	6,811	6,891	7,560	6,505	7,556	7,145			
在宅	11,588	10,156	9,241	11,999	8,746	12,127	8,921	12,354	12,679	8,989	12,394	9,404	12,466	9,282	8,506	12,683	8,571	10,698			
投薬	2,448	1,487	1,719	2,378	281	966	2,549	1,045	2,542	953	2,518	259	194	242	258	133	156	984			
注射	31,856	29,087	25,298	29,678	33,484	33,925	26,082	29,576	27,553	26,131	33,861	31,359	25,476	26,491	28,967	29,451	39,036	29,826			
処置	1,411	1,194	1,113	1,184	1,349	1,448	1,202	1,299	1,353	1,431	1,338	1,597	1,391	1,446	1,281	1,467	1,558	1,401			
手術	3,232	2,862	2,559	2,781	3,628	3,506	3,764	4,326	3,915	2,642	4,132	4,362	4,605	2,856	3,281	2,641	3,210	3,603			
検査	38,882	35,526	36,427	33,661	40,246	37,551	33,978	37,631	39,798	37,986	39,451	39,232	37,585	38,846	37,257	32,337	39,168	37,568			
画像	24,272	24,106	24,625	23,628	28,526	25,842	20,914	24,936	24,648	24,286	24,196	25,018	25,274	24,733	21,668	21,042	24,824	23,948			
他	8,902	8,541	8,217	7,559	9,791	8,964	7,994	8,321	9,352	8,562	7,362	8,213	7,758	8,950	8,681	9,585	11,242	8,749			
計	139,617	127,901	123,871	126,558	142,695	141,869	121,312	137,909	141,228	127,865	141,872	136,413	131,209	129,673	126,790	124,040	145,457	133,803			
文書	1,686	1,589	1,452	1,539	2,179	1,513	1,453	1,759	1,494	1,540	1,434	1,254	1,221	1,640	1,122	1,294	1,770	1,458			
他	1,958	1,815	1,612	1,511	1,732	1,497	1,561	1,491	1,733	1,813	1,594	1,932	3,288	2,365	1,764	1,418	1,877	1,861			
計	3,644	3,404	3,064	3,050	3,911	3,010	3,014	3,250	3,226	3,353	3,028	3,186	4,509	4,005	2,886	2,712	3,646	3,319			
外来計	143,261	131,305	126,936	129,608	146,607	144,879	124,326	141,159	144,454	131,218	144,900	139,599	135,718	133,678	129,675	126,752	149,103	137,122			

# Ⅲ 診療情報



## Ⅲ 診療情報（年次報告）

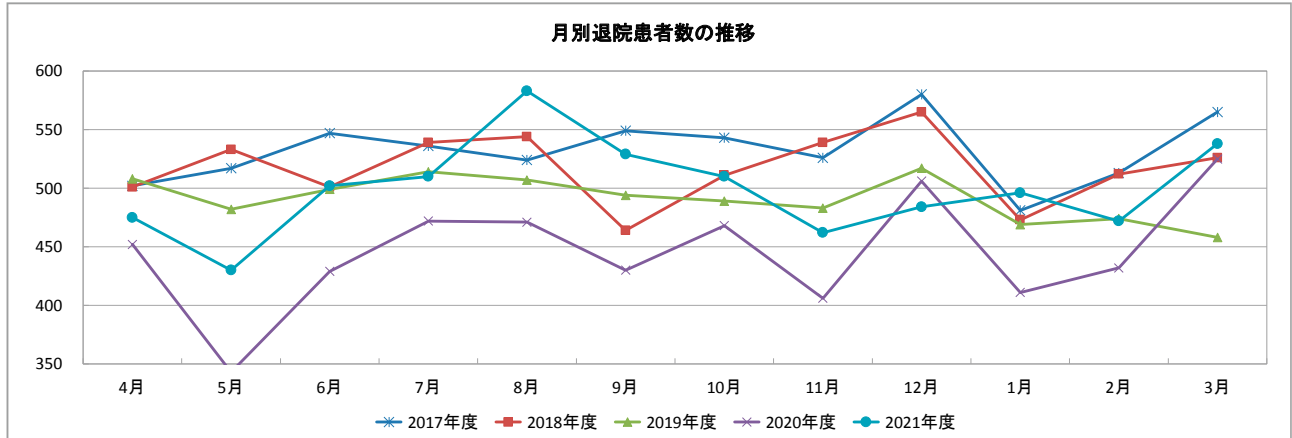
### 【分類及び集計方法】

- ① この病歴年報は 2021 年 4 月 1 日～ 2022 年 3 月 31 日までの間に退院した患者 5,991 名を対象として作成した。
- ② 疾病分類は世界保健機関（WHO）により定められた「疾病および関連保健問題の国際統計分類第 10 回改正」に基づいて作成された厚生労働省大臣官房統計調査部編第 10 回改正「疾病・傷病および死因統計分類提要」ICD-10（2013 年度版）準拠を使用した。
- ③ 退院患者情報はすべて、橋本市民病院 退院サマリシステム「Medi-Bank」より抽出した。
- ④ 同一患者がこの期間に数回退院した場合、各退院時の退院サマリからそれぞれ情報を抽出した。
- ⑤ 地域包括ケア病棟の患者については、主治医の診療科を主科として抽出した。

①月別退院患者数 (2021年度)

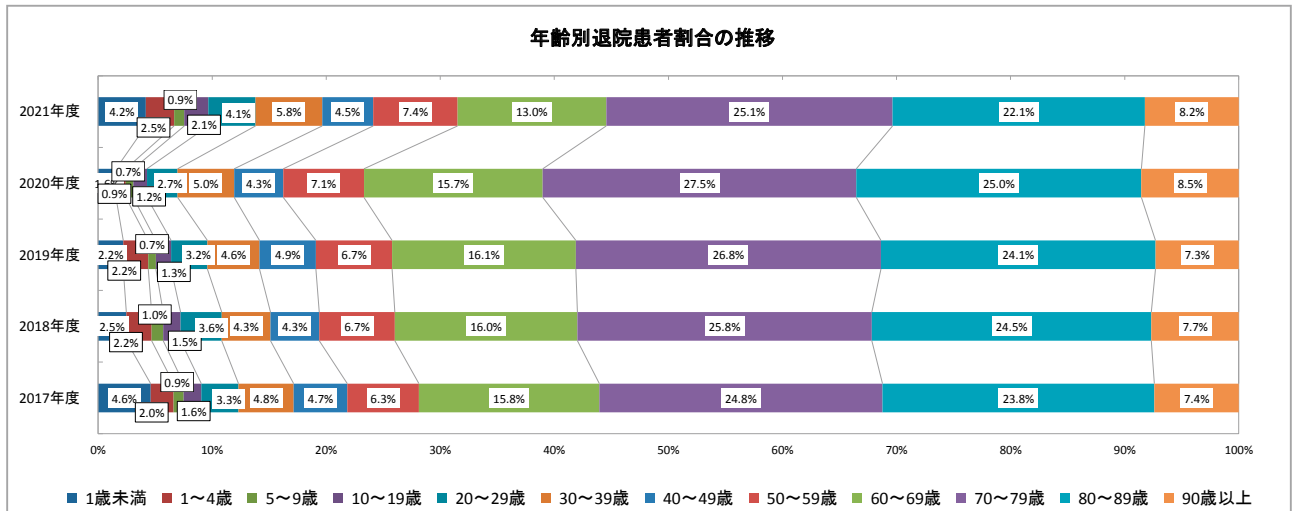
① - I : 性別 (月別)

性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差異	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
男	236	234	249	265	274	247	266	241	251	245	222	291	3,021	280	2,741	3,029	3,249	3,304
女	239	196	253	245	309	282	244	221	233	251	250	247	2,970	366	2,604	2,865	2,959	3,079
合計	475	430	502	510	583	529	510	462	484	496	472	538	5,991	646	5,345	6,208	6,383	6,354
前年度差異	23	87	73	38	112	99	42	56	-22	85	40	13	646					
2019年度	452	343	429	472	471	430	468	406	506	411	432	525	5,345					
2018年度	508	482	499	514	507	494	489	483	517	469	474	458	5,894					
2017年度	501	533	501	539	544	464	511	539	565	473	512	526	6,208					
2016年度	502	517	547	536	524	549	543	526	580	481	513	565	6,383					



① - II : 年齢別

性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差異	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
1歳未満	14	21	30	32	30	20	23	18	17	17	14	15	251	167	84	131	153	294
1～4歳	8	10	30	39	16	14	9	2	3	9	5	3	148	102	46	128	138	128
5～9歳	1	0	7	2	6	11	1	3	7	9	3	4	54	19	35	40	64	56
10～19歳	7	6	6	11	28	20	11	3	3	17	8	6	126	62	64	79	94	100
20～29歳	16	15	13	20	43	35	10	18	15	29	19	15	248	104	144	187	224	208
30～39歳	22	28	30	29	50	37	31	15	19	42	21	26	350	85	265	270	265	308
40～49歳	19	16	19	18	34	38	25	15	18	27	21	18	268	38	230	291	265	301
50～59歳	34	33	40	34	35	46	31	33	34	43	38	42	443	65	378	394	413	400
60～69歳	57	58	80	56	60	58	81	61	74	58	52	86	781	-57	838	949	993	1,010
70～79歳	126	113	121	129	124	122	144	133	143	107	110	132	1,504	35	1,469	1,577	1,602	1,585
80～89歳	118	103	94	106	117	93	104	128	109	97	124	132	1,325	-11	1,336	1,418	1,522	1,521
90歳以上	53	27	32	34	40	35	40	33	42	41	57	59	493	37	456	430	475	472
合計	475	430	502	510	583	529	510	462	484	496	472	538	5,991	646	5,345	5,894	6,208	6,383

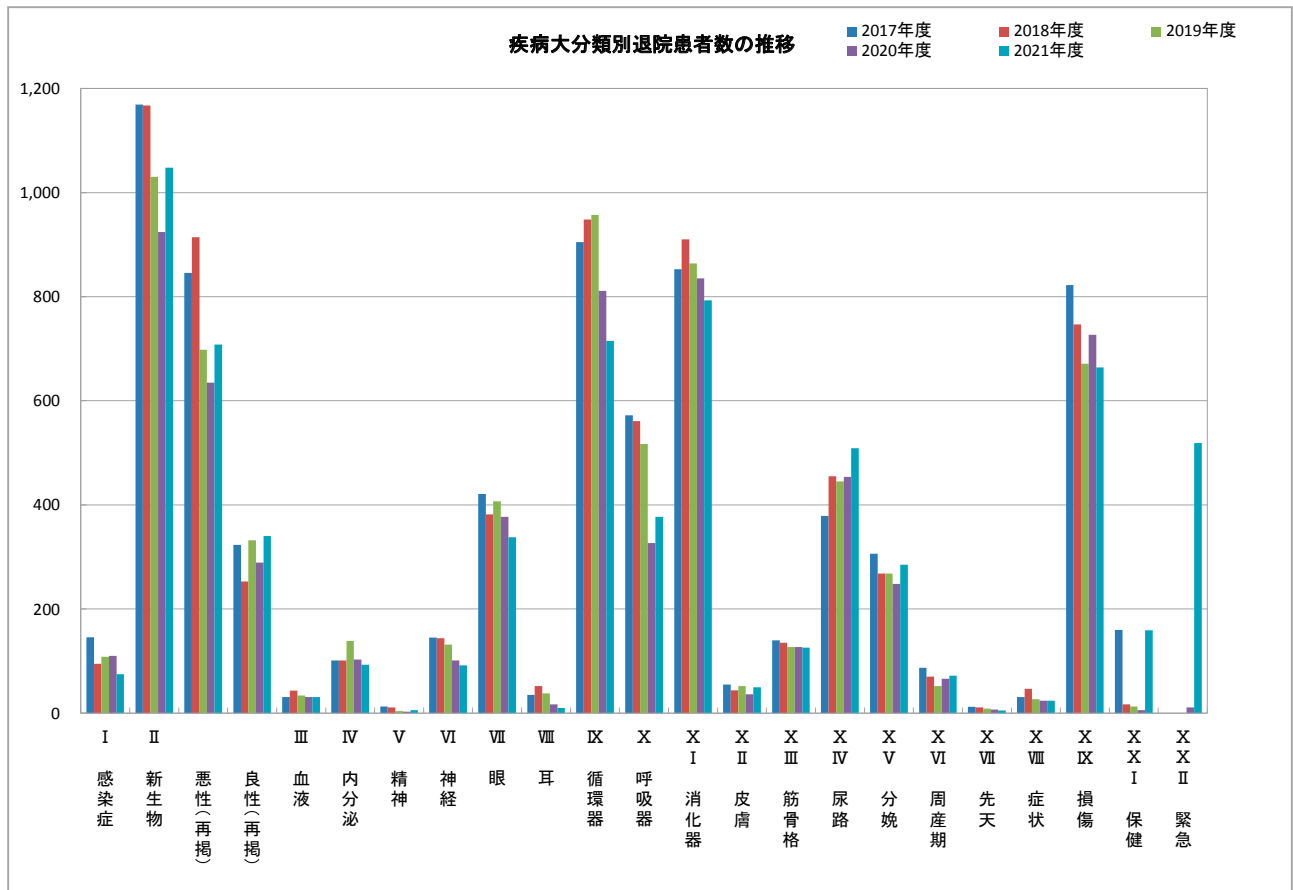


①月別退院患者数 (2021年度)

①-Ⅲ：疾病大分類

疾病大分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差異	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
感染症および寄生虫症	8	3	3	7	7	8	6	5	9	9	4	6	75	-35	110	108	95	146
新生物	90	66	92	95	89	91	88	86	93	65	84	109	1,048	124	924	1,030	1,167	1,169
悪性(再掲)	55	49	65	63	69	59	54	57	63	49	51	74	708	73	635	698	914	846
良性(再掲)	35	17	27	32	20	32	34	29	30	16	33	35	340	51	289	332	253	323
血液・造血器疾患、免疫機構の障害	1	4	4	1	3	2	2	4	4	1	1	4	31	0	31	34	43	31
内分泌、栄養および代謝疾患	8	5	8	10	17	5	9	6	7	6	3	9	93	-10	103	139	101	101
精神および行動の障害	0	1	0	1	0	1	0	1	1	1	0	0	6	3	3	4	11	13
神経系の疾患	12	6	8	10	7	4	12	11	7	3	8	4	92	-9	101	132	144	145
眼および付属器の疾患	19	31	34	32	31	19	43	21	35	17	26	30	338	-39	377	407	382	421
耳および乳突突起の疾患	1	1	2	0	1	2	0	0	0	0	3	0	10	-7	17	38	52	35
循環器系の疾患	72	52	65	65	50	47	69	61	68	56	43	67	715	-96	811	957	948	905
呼吸器系の疾患	26	34	61	65	30	21	36	20	24	24	18	18	377	50	327	517	561	572
消化器系の疾患	66	57	48	63	67	60	69	81	73	61	70	78	793	-42	835	864	910	853
皮膚および皮下組織の疾患	5	1	4	4	5	3	8	4	3	5	2	6	50	14	36	52	44	55
筋骨格系および結合組織の疾患	11	7	8	10	13	15	10	13	11	11	4	13	126	-1	127	127	135	140
泌尿器系の疾患	43	37	34	45	45	39	38	51	51	41	46	39	509	55	454	445	455	379
妊娠・分娩・産じよく	21	24	27	31	37	24	24	21	20	23	20	13	285	37	248	268	268	306
周産期に発生した病態	1	6	10	10	7	7	6	8	4	7	3	3	72	6	66	52	70	87
先天奇形・変形・染色体異常	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	5	-2	7	9	11	12
症状・徴候、他に分類されないもの	2	2	3	5	1	4	2	0	1	1	1	2	24	0	24	27	47	31
損傷・中毒・外因の影響	55	40	67	43	54	53	67	56	60	56	49	64	664	-63	727	671	747	822
保健サービスの利用	13	13	17	10	21	13	15	11	13	9	11	13	159	153	6	13	17	160
原因不明の新たな疾患	21	39	7	2	98	111	5	1	0	100	76	59	519	580	11	0	0	0
合計	475	430	502	510	583	529	510	462	484	496	472	538	5,991	646	5,345	5,894	6,208	6,383

Ⅲ 診療情報

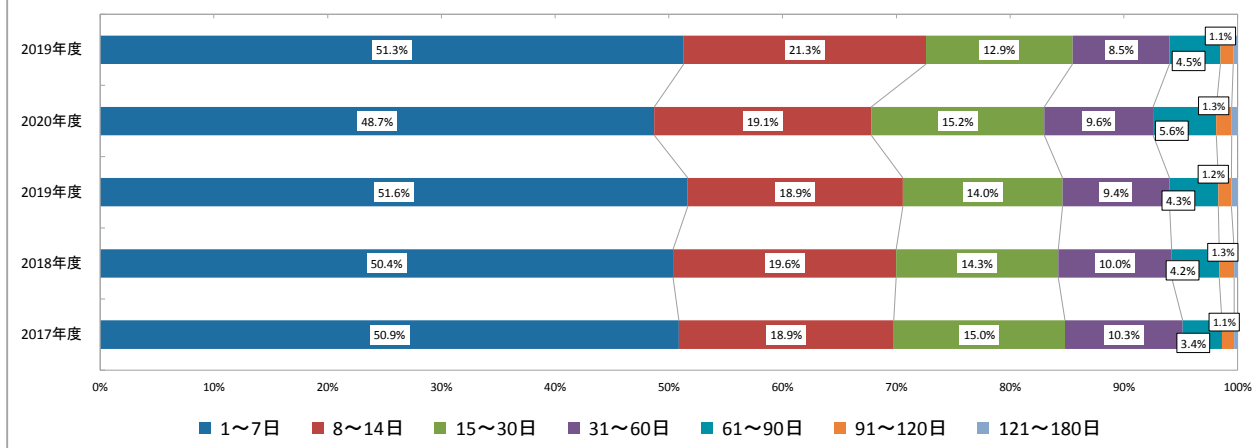


①月別退院患者数 (2021年度)

①-Ⅳ：在院期間別

在院期間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差異	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
1～7日	195	204	263	291	295	272	271	222	249	283	256	271	3,072	469	2,603	3,043	3,126	3,246
8～14日	111	104	89	81	159	135	98	100	87	100	104	108	1,276	257	1,019	1,114	1,217	1,205
15～30日	67	57	73	68	67	59	68	65	75	54	46	72	771	-42	813	826	885	960
31～60日	60	39	46	41	24	41	40	47	50	34	40	49	511	0	511	554	619	660
61～90日	26	22	20	24	30	16	25	23	16	19	21	26	268	-29	297	253	260	220
91～120日	13	3	7	4	4	3	7	4	5	4	4	9	67	-5	72	68	81	69
121～180日	2	1	4	1	3	3	1	1	2	2	1	2	23	-5	28	32	19	19
181日以上	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3	1	2	4	1	4
合計	475	430	502	510	583	529	510	462	484	496	472	538	5,991	646	5,345	5,894	6,208	6,383

在院期間別退院患者割合の推移

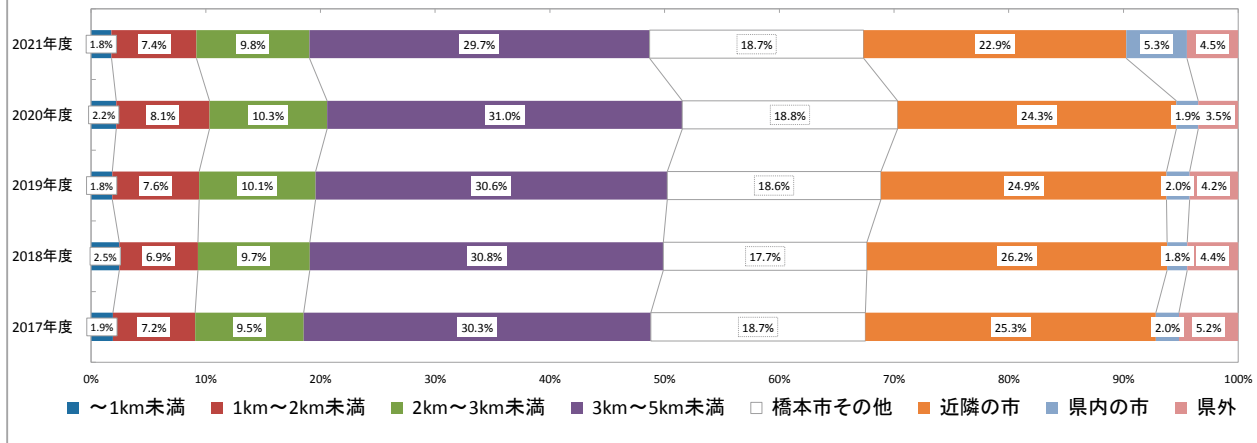


①-Ⅴ：地区別

地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差異	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
～1km未満	9	6	6	9	13	10	9	12	5	12	7	9	107	-11	118	109	153	121
1km～2km未満	40	27	34	33	40	38	38	32	37	44	33	48	444	10	434	447	426	458
2km～3km未満	37	29	62	65	48	55	59	48	45	39	41	61	589	41	548	597	604	604
3km～5km未満	141	133	161	163	157	145	164	142	150	131	134	156	1,777	122	1,655	1,806	1,914	1,932
橋本市その他	90	84	87	95	113	86	95	91	95	79	99	104	1,118	115	1,003	1,098	1,101	1,193
近隣の市※	116	104	115	107	122	115	109	107	119	133	102	122	1,371	72	1,299	1,466	1,624	1,617
県内の市	24	26	5	9	61	52	15	9	10	43	40	23	317	215	102	119	110	128
県外	18	21	32	29	29	28	21	21	23	15	16	15	268	82	186	250	275	330
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0
合計	475	430	502	510	583	529	510	462	484	496	472	538	5,991	646	5,345	5,894	6,208	6,383

※近隣の市・・・九度山町、かつらぎ町、高野町、五條市、河内長野市

地区別退院患者割合の推移



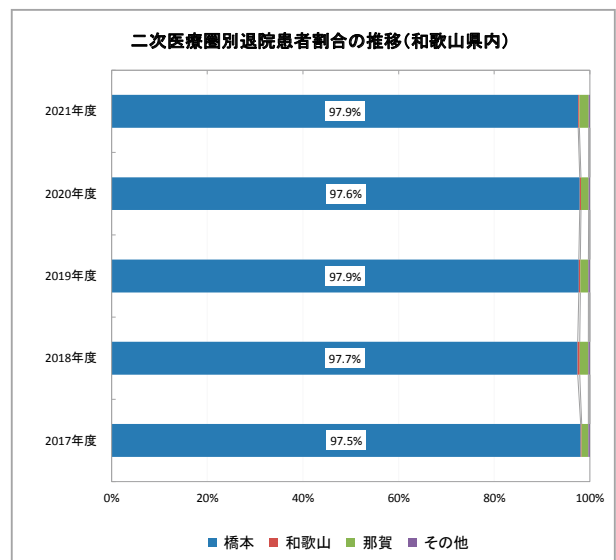
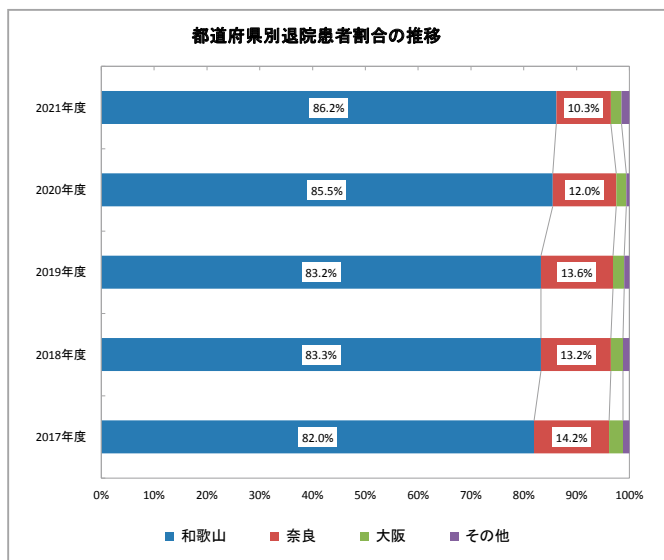


# ①月別退院患者数 (2021年度)

## ① - VI : 二次医療圏別

都道府県	二次医療圏	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差異	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
大阪	豊能	1	2		1	1	1							6	4	2	4	5	4
	三島			1			1							2	-1	3	3	7	2
	北河内			3	1		1							5	0	5	6	5	6
	中河内		1										1	2	-8	10	4	3	7
	南河内	1	2	4		7	3	2	3	1	2	4	3	32	-1	33	40	48	53
	堺市	1	1	2			1	1	2	2	2	1		13	-1	14	23	22	41
	泉州		1	3	4	1	1			4		2	1	17	-4	21	33	24	26
	大阪市	5	7	2	9	3	8	4	2	1	1		2	44	30	14	14	26	30
奈良	北和				2					2				4	1	3	5	2	11
	中和	3	3	2	4	1	3	4	5	2		3	1	31	8	23	27	29	55
	南和	45	41	54	51	50	41	52	53	57	52	40	48	584	-34	618	772	791	841
和歌山	和歌山	13	13	1	4	28	36	1	2	2	29	30	11	170	149	21	12	14	16
	那賀	11	11	4	4	29	9	12	6	8	13	7	12	126	60	66	96	81	88
	橋本	390	343	411	425	446	409	426	381	398	388	378	451	4,846	373	4,473	4,786	5,061	5,111
	有田		2			2	7	1				2		14	10	4	4	4	4
	御坊							1				1		2	-1	3	5	6	2
	田辺				1	2					1			4	3	1	2		
その他		5	3	15	4	13	8	6	8	7	8	4	8	89		31	58	80	86
合計		475	430	502	510	583	529	510	462	484	496	472	538	5,991	646	5,345	5,894	6,208	6,383

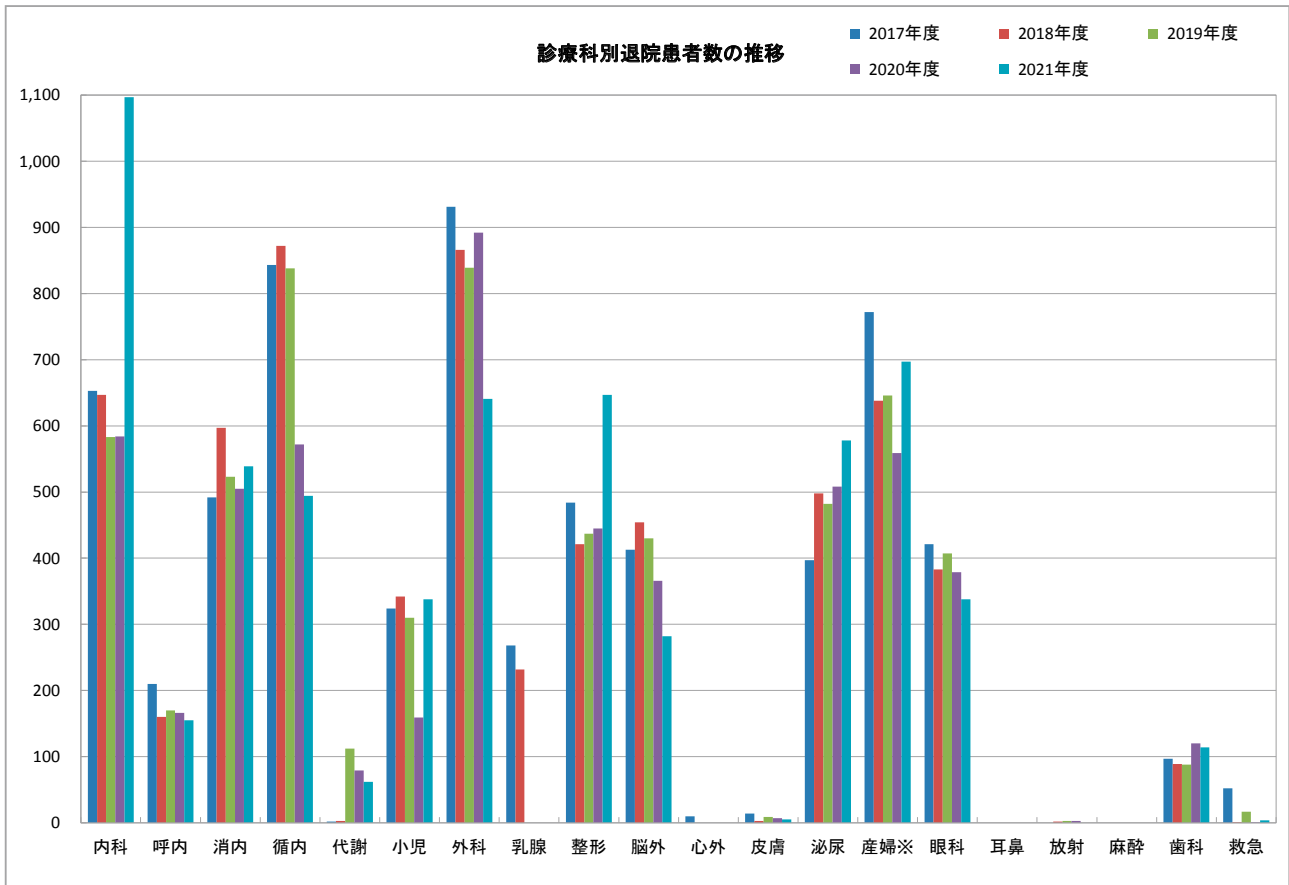
\*外国 / その他は前年度以前に退院した二次医療圏で2021年度退院のないもの



## ②診療科別退院患者数 (2021年度)

### ②- I : 性別 (診療科別)

性別	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計
男	571	55	218	189	31	158	261		389	119		1	107	624	195				51	1	2,970
女	526	100	321	305	31	180	380		258	163		4	471	73	143				63	3	3,021
合計	1,097	155	539	494	62	338	641	0	647	282	0	5	578	697	338		0		114	4	5,991
前年度差異	513	-11	34	-78	-17	179	-251	0	202	-84	0	-2	70	138	-41		-3		-6	3	646
2020年度	584	166	505	572	79	159	892	0	445	366	0	7	508	559	379		3		120	1	5,345
2019年度	583	170	523	838	112	310	839	0	437	430	0	9	482	646	407		3		88	17	5,894
2018年度	647	160	597	872	3	342	866	232	421	454	0	3	498	638	383		2		89	1	6,208
2017年度	653	210	492	843	2	324	931	268	484	413	10	14	397	772	421		0		97	52	6,383



※健常新生児含む

### ②- II : 年齢別

年齢	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計
1歳未満						106								145							251
1～4歳						148															148
5～9歳						37	1		7										9		54
10～19歳	27		2		1	47	7		19	3			3	11					6		126
20～29歳	77	3	4	1	4		13		10	1				126					9		248
30～39歳	74	4	9	1	2		23		22	2			6	197					10		350
40～49歳	65	6	14	10			20		23	8			22	87	4				9		268
50～59歳	88	12	54	45	10		61		45	21		1	32	53	8				13		443
60～69歳	94	28	102	65	10		126		116	31			115	23	52				19		781
70～79歳	180	57	200	125	17		217		155	91			249	36	154				22	1	1,504
80～89歳	319	37	111	171	13		146		182	81		1	129	16	101				15	3	1,325
90歳以上	173	8	43	76	5		27		68	44		3	22	3	19				2		493
合計	1,097	155	539	494	62	159	641		647	282		5	578	697	338				114	4	5,991

②診療科別退院患者数（2021年度）

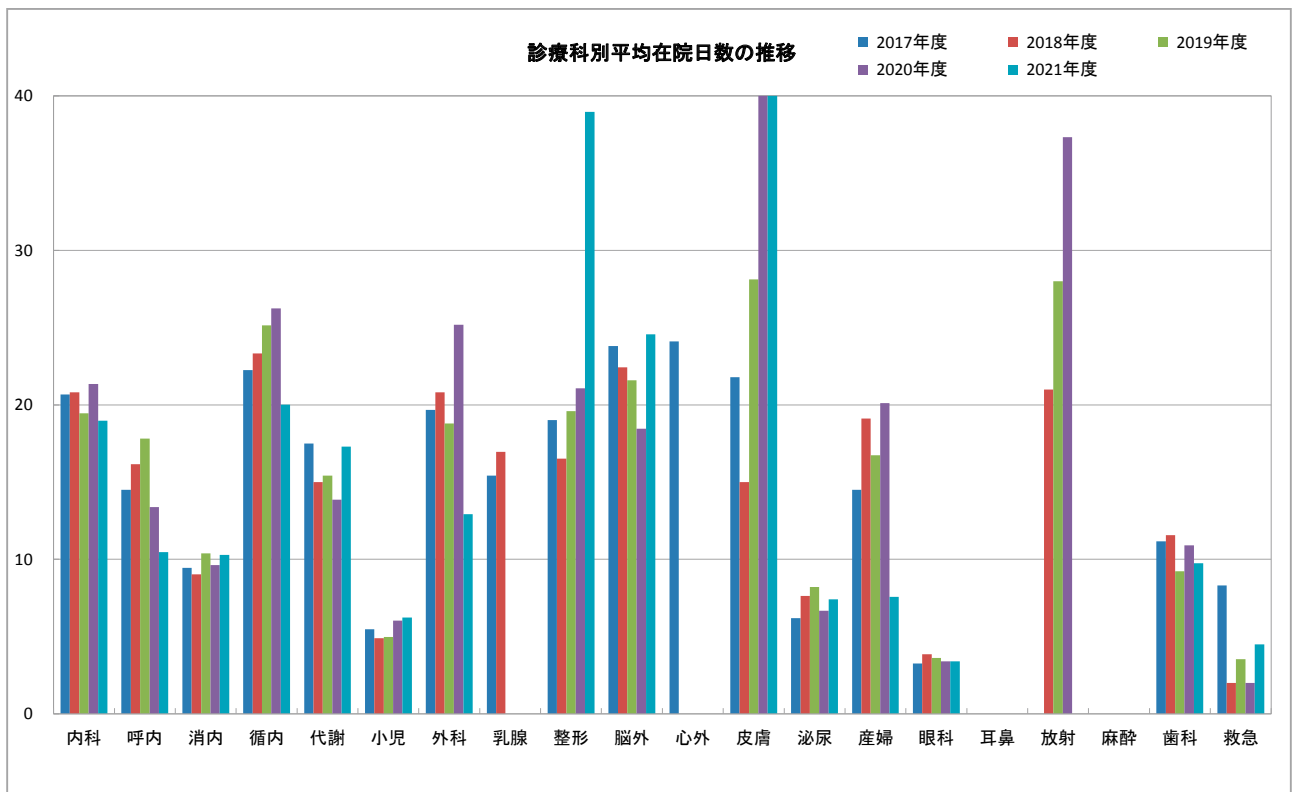
② - III：疾病大分類																					
疾病大分類	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計
感染症および寄生虫症	39	7	3	2	2	12	7							3							75
新生物	49	53	287	1	1		188		5	9		1	289	120					45		1,048
悪性（再掲）	46	53	87	1	1		164			5		1	280	49					21		708
良性（再掲）	3		200				24		5	4			9	71					24		340
血液・造血器疾患、 免疫機構の障害	13		10		1		4						1	2							31
内分泌、栄養および 代謝疾患	40		6	3	41	2				1											93
精神および行動の障害	3		1				1							1							6
神経系の疾患	17	28	2	1	1	4			13	25										1	92
眼および付属器の疾患															338						338
耳および 乳様突起の疾患	1	6				2				1											10
循環器系の疾患	53		12	455	1				2	189			2							1	715
呼吸器系の疾患	163	48	7	7	5	139	2		1				1	1					2	1	377
消化器系の疾患	119		203	2	5	1	403		2				1	2					54	1	793
皮膚および 皮下組織の疾患	15			3		5	5		11	2		3	1						5		50
筋骨格系および 結合組織の疾患	30					6			90												126
尿路性器系の疾患	83	1	3	4	4	6	5						276	127							509
妊娠・分娩・産じょく														285							285
周産期に発生した病態						72															72
先天奇形・変形・ 染色体異常			1				3												1		5
症状・徴候、 他に分類されないもの	9	9	1	1		1	2						1								24
損傷・中毒・外因の影響	36	3	3	10	1	2	13		523	55		1	6	4					7		664
保健サービスの利用				5			8							146							159
原因不明の新たな疾患	427					86								6							519
合計	1,097	155	539	494	62	338	641	-	647	282	-	5	578	697	338	-	0	-	114	4	5,991

②診療科別退院患者数（2021年度）

②-Ⅳ：在院期間別

在院期間	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計
1～7日	379	101	319	199	19	271	271		172	50		1	432	466	338				52	2	3,072
8～14日	335	17	119	83	24	62	180		48	67			105	193					41	2	1,276
15～30日	185	22	64	119	10	3	137		80	84		1	22	26					18		771
31～60日	117	13	26	57	6	1	43		168	57			9	11					3		511
61～90日	62	2	9	22	2		6		137	18		1	8	1							268
91～120日	14		2	10			2		34	4		1									67
121～180日	5			3	1	1	1		7	2		1	2								23
181日以上				1			1		1												3
合計	1,097	155	539	494	62	338	641	0	647	282	0	5	578	697	338	-	-	-	114	4	5,991
平均在院日数※	19.0	10.5	10.3	20.0	17.3	6.2	12.9		39.0	24.6		72.6	7.4	7.6	3.4				9.7	4.5	15.6
前年度差異	-2.4	-2.9	0.7	-6.2	3.4	0.2	-12.3		17.9	6.1		28.3	0.7	-12.5	0.0				-1.2		-1.7
2020年度	21.3	13.4	9.6	26.2	13.9	6.0	25.2		21.1	18.5		44.3	6.7	20.1	3.4		37.3		10.9	2.0	17.4
2019年度	19.5	17.8	10.4	25.2	15.4	5.0	18.8		19.6	21.6		28.1	8.2	16.7	3.6		28.0		9.2	3.5	16.2
2018年度	20.8	16.2	9.0	23.3	15.0	4.9	20.8	17.0	16.5	22.4		15.0	7.6	19.1	3.9		21.0		11.6	2.0	16.3
2017年度	20.7	14.5	9.5	22.3	17.5	5.5	19.7	15.4	19.0	23.8	24.1	21.8	6.2	14.5	3.3				11.2	8.3	15.7

※小数点第2位を四捨五入



②-Ⅴ：地区別

地区	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計
～1km未満	21	3	12	7		3	11		15	6			9	14	5				1		107
1km～2km未満	78	7	61	26	4	5	49		59	22			57	31	37				8		444
2km～3km未満	107	24	53	33	4	59	46		50	30			56	79	38				9	1	589
3km～5km未満	289	43	181	174	23	96	223		183	80		3	163	173	110				34	2	1,777
橋本市その他	184	32	98	107	16	46	137		125	70		1	118	112	51				20	1	1,118
近隣の市※	221	44	119	135	13	62	153		178	61		1	139	124	92				29		1,371
県内の市	175	2	9	3		37	16		20	4			12	27	2				10		317
県外	22		6	9	2	30	6		17	9			24	137	3				3		268
住所不明等																					
合計	1,097	155	539	494	62	338	641		647	282		5	578	697	338		0		114	4	5,991

※近隣の市・・・九度山町、かつらぎ町、高野町、五條市、河内長野市

②診療科別退院患者数 (2021 年度)

② - VI : 二次医療圏別																						
都道府県	二次医療圏	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計
大阪	豊能				2		1								3							6
	三島														2							2
	北河内	1													2	2						5
	中河内			1		1																2
	南河内	3			2		1	1		3	1				7	12	2					32
	堺市	1		1	1					4					2	4						13
	泉州	1		2			3				1				8	2						17
	大阪市	4			1		6	1		3						29						44
奈良	北和				1		1									2						4
	中和	1		1	1		4	1		2	2			1	16					2		31
	南和	73	16	54	61	10	17	47		44	19			44	93	97				9		584
和歌山	和歌山	135			1		22	4		3	1				3					1		170
	那賀	36	2	9	2		7	11		16	3			12	17	2				9		126
	橋本	827	137	470	422	51	255	573		570	254		5	500	449	237				92	4	4,846
	有田	4					8								2							14
	御坊														2							2
	田辺									1					3							4
	新宮	11		1			13	3		1	1			2	56					1		89
その他		1,097	155	539	494	62	338	641	-	647	282	-	5	578	697	338	-	-	-	114	4	5,991
合計		583	170	523	838	112	310	839	-	437	430	-	9	482	646	407	-	3	-	88	17	5,894

### ③診療科上位5疾患

診療科	順位	2021年度			2020年度			2019年度		
		疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数
内科	1位	COVID 関連	427	9.8	固形物および液状物による肺臓炎	71	27.0	腸のその他の疾患	69	2.0
	2位	固形物および液状物による肺臓炎	73	34.5	尿路系のその他の障害	47	21.1	固形物および液状物による肺臓炎	67	27.5
	3位	尿路系のその他の障害	52	23.8	肺炎, 病原体不詳	40	19.6	肺炎, 病原体不詳	44	17.3
	4位	心不全	24	33.1	腸のその他の疾患	39	2.4	尿路系のその他の障害	37	29.6
	5位	その他の敗血症	21	37.0	細菌性肺炎, 他に分類されないもの	26	22.8	胆石症	14	9.2
呼吸器内科	1位	気管支および肺の悪性新生物	49	9.4	気管支および肺の悪性新生物	28	7.1	肺炎, 病原体不詳	32	23.0
	2位	睡眠障害	24	2.0	睡眠障害	26	2.0	睡眠障害	30	2.0
	3位	肺の画像診断における異常所見	8	2.0	肺炎, 病原体不詳	19	32.2	気管支および肺の悪性新生物	18	3.5
	4位	気胸	8	16.5	その他の間質性肺疾患	12	14.9	その他の非結核性抗酸菌による感染症	17	7.5
	5位	その他の間質性肺疾患	7	30.4	肺気腫	8	9.8	固形物および液状物による肺臓炎	15	41.5
循環器内科	1位	狭心症	142	5.4	心不全	174	37.6	狭心症	236	5.7
	2位	心不全	138	34.3	狭心症	122	6.5	心不全	139	37.0
	3位	急性心筋梗塞	53	20.6	急性心筋梗塞	54	22.4	急性心筋梗塞	63	22.3
	4位	アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	27	12.1	アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	43	16.8	アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	36	14.9
	5位	慢性虚血性心疾患	14	10.1	慢性虚血性心疾患	20	12.9	大腿骨骨折	30	71.5
代謝内科	1位	インスリン非依存性糖尿病<NIIDDM>	29	13.1	インスリン非依存性糖尿病<NIIDDM>	37	13.6	インスリン非依存性糖尿病<NIIDDM>	56	15.6
	2位	インスリン依存性糖尿病<IDDM>	5	13.6	下垂体機能低下症およびその他の下垂体障害	5	3.4	インスリン依存性糖尿病<IDDM>	6	22.2
	3位	肺炎, 病原体不詳	3	96.7	尿路系のその他の障害	5	14.6	前庭機能障害	4	2.0
	4位	下垂体機能低下症およびその他の下垂体障害	2	4.0	インスリン依存性糖尿病<IDDM>	4	10.0	その他の瞬分泌障害	3	9.0
	5位	消化器系のその他の疾患	2	4.5	その他の体液, 電解質および酸塩基平衡障害	2	4.0	その他の体液, 電解質および酸塩基平衡障害	3	11.7

③診療科上位5疾患

診療科	順位	2021年度			2020年度			2019年度		
		疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数
小児科	1位	COVID 関連	86	7.1	肺炎, 病原体不詳	24	3.4	肺炎, 病原体不詳	85	4.4
	2位	ウイルス肺炎, 他に分類されないもの	62	3.8	妊娠期間短縮および低出生体重に関連する障害, 他に分類されないもの	17	9.2	急性気管支炎	34	3.9
	3位	肺炎, 病原体不詳	49	3.7	その他および詳細不明の原因による新生児黄疸	12	8.5	ウイルス肺炎, 他に分類されないもの	26	4.3
	4位	新生児の呼吸窮<促>迫	24	8.6	新生児の呼吸窮<促>迫	11	7.5	妊娠期間短縮および低出生体重に関連する障害, 他に分類されないもの	15	9.8
	5位	妊娠期間短縮および低出生体重に関連する障害, 他に分類されないもの	16	10.2	胎児および新生児に特異的な一過性糖質代謝障害	10	6.7	感染症と推定される下痢および胃腸炎	14	3.6
外科	1位	そけい<峯径>ヘルニア	87	5.8	腸のその他の疾患	88	5.6	そけい<峯径>ヘルニア	85	5.6
	2位	胆石症	64	11.4	そけい<峯径>ヘルニア	78	5.6	胃の悪性新生物	77	26.8
	3位	結腸の悪性新生物	57	19.4	胆石症	74	13.2	胆石症	72	10.7
	4位	急性虫垂炎	45	10.2	大腿骨骨折	54	72.3	結腸の悪性新生物	65	21.6
	5位	腸のその他の疾患	44	8.2	結腸の悪性新生物	51	20.9	腸のその他の疾患	62	4.2
乳腺呼吸器外科	1位									
	2位									
	3位									
	4位									
	5位									
整形外科	1位	大腿骨骨折	143	62.9	前腕の骨折	61	11.0	前腕の骨折	58	8.6
	2位	前腕の骨折	74	14.8	下腿の骨折, 足首を含む	56	16.6	大腿骨骨折	46	42.0
	3位	下腿の骨折, 足首を含む	71	38.4	大腿骨骨折	47	46.6	下腿の骨折, 足首を含む	44	30.4
	4位	肩および上腕の骨折	65	32.1	肩および上腕の骨折	44	13.5	手首および手の骨折	31	11.5
	5位	腰椎および骨盤の骨折	51	56.3	手首および手の骨折	25	7.0	上肢の単ニューロパチ<シ>-	28	3.0

### ③診療科上位5疾患

診療科	順位	2021年度			2020年度			2019年度		
		疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数
脳神経外科	1位	脳梗塞	128	26.9	脳梗塞	157	20.0	脳梗塞	162	24.2
	2位	頭蓋内損傷	53	15.9	頭蓋内損傷	59	11.9	頭蓋内損傷	60	25.2
	3位	脳内出血	35	31.9	脳内出血	48	26.7	脳内出血	58	29.9
	4位	てんかん	15	19.3	その他の脳血管疾患	19	8.6	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	33	7.8
	5位	その他の脳血管疾患	9	8.7	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	14	12.8	てんかん	27	16.8
心臓血管外科	1位									
	2位									
	3位									
	4位									
	5位									
泌尿器科	1位	前立腺の悪性新生物	176	4.1	前立腺の悪性新生物	172	3.9	前立腺の悪性新生物	142	4.1
	2位	腎結石および尿管結石	98	6.5	腎結石および尿管結石	94	5.4	膀胱の悪性新生物	77	12.0
	3位	前立腺肥大(症)	96	6.4	前立腺肥大(症)	54	6.9	腎結石および尿管結石	73	6.2
	4位	膀胱の悪性新生物	84	7.9	膀胱の悪性新生物	52	10.6	前立腺肥大(症)	63	6.7
	5位	尿路系のその他の障害	38	11.5	その他の膀胱障害	19	3.3	急性尿管間質性腎炎	15	11.4
皮膚科	1位	有害作用、他に分類されないもの	1	6.0	熱傷および腐食、部位不明	2	49.5	蜂巣炎<蜂窩織炎>	2	9.0
	2位	類天疱瘡	1	23.0						
	3位	下肢の潰瘍、他に分類されないもの	1	70.0						
	4位	乾せん<癬>	1	92.0						
	5位	丹毒	1	172.0						



③診療科上位5疾患

診療科	順位	2021年度			2020年度			2019年度		
		疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数
産婦人科	1位	出生児, 出生の場所による	145	6.8	単胎自然分娩	100	6.6	単胎自然分娩	140	7.5
	2位	単胎自然分娩	139	7.0	大腿骨骨折	33	76.7	子宮平滑筋腫	39	9.1
	3位	女性性器のポリープ	35	1.1	女性性器のポリープ	32	1.1	女性性器脱	38	11.8
	4位	子宮平滑筋腫	30	8.3	早産	25	20.1	女性性器のポリープ	36	1.3
	5位	卵巣の良性新生物	25	7.3	腰椎および骨盤の骨折	24	64.7	大腿骨骨折	31	64.8
眼科	1位	老人性白内障	330	3.4	老人性白内障	373	3.4	老人性白内障	406	3.6
	2位	その他の白内障	6	2.0	その他の体内プロステシス, 挿入物および移植片の合併症	2	1.0			
	3位	水晶体のその他の障害	2	3.0	水晶体のその他の障害	2	3.0			
	4位									
	5位									
耳鼻咽喉科	1位									
	2位									
	3位									
	4位									
	5位									
放射線科	1位							乳房の悪性新生物	2	34.5
	2位									
	3位									
	4位									
	5位									

③診療科上位5疾患

診療科	順位	2021年度			2020年度			2019年度		
		疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数
麻酔科	1位									
	2位									
	3位									
	4位									
	5位									
歯科・口腔外科	1位	埋伏歯	27	5.1	埋伏歯	22	4.3	その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物	18	8.2
	2位	その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物	19	8.2	その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物	22	7.6	歯髄および根尖歯周組織の疾患	12	6.2
	3位	歯髄および根尖歯周組織の疾患	9	5.2	歯髄および根尖歯周組織の疾患	18	7.1	顎骨のその他の疾患	8	9.1
	4位	顎骨のその他の疾患	8	10.9	頭蓋骨および顔面骨の骨折	11	27.0	頭蓋骨および顔面骨の骨折	7	10.3
	5位	その他および部位不明の骨および関節軟骨の悪性新生物	7	14.9	歯肉炎および歯周疾患	8	5.6	歯肉炎および歯周疾患	6	6.2
消化器内科	1位	結腸、直腸、肛門および肛門管の良性新生物	198	2.7	結腸、直腸、肛門および肛門管の良性新生物	164	2.7	結腸、直腸、肛門および肛門管の良性新生物	169	3.4
	2位	胃の悪性新生物	30	16.8	腸の憩室性疾患	26	7.4	腸の憩室性疾患	35	9.3
	3位	腸のその他の疾患	23	2.5	胆石症	25	12.8	腸のその他の疾患	27	3.1
	4位	腸の憩室性疾患	22	6.8	消化器系のその他の疾患	22	7.1	胆石症	27	14.6
	5位	胆道のその他の疾患	22	11.9	腸の血行障害	21	10.1	胃の悪性新生物	20	19.9
救急科	1位	気胸	1	1.0	下腿の血管損傷	1	2.0	その他および詳細不明の胸腔内臓器の損傷	4	5.8
	2位	心停止	1	1.0				利尿薬、その他および詳細不明の薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒	3	1.3
	3位	胆石症	1	8.0				有毒動物との接触による毒作用	2	5.5
	4位	続発性パーキンソン<Parkinson>症候群	1	8.0						
	5位									

# IV 診療科紹介



## IV 診療科紹介

総合内科

消化器内科

代謝内科

呼吸器内科

小児科

産婦人科

外科

整形外科

脳神経外科

眼科

泌尿器科

麻酔科

放射線科

歯科口腔外科

皮膚科

病理診断科

循環器内科

救急科

健診センター

# 総合内科

## 【概要】

当院の総合内科の特徴は、①どこに受診したらよいかわからない方の窓口の役目をする外来、②様々な問題を抱え、一つの科のみでは対応が難しい方（特に高齢者）の入院、③院内でのチーム医療への積極的な参加、この3つが挙げられます。①については、発熱や倦怠感といったどこを受診したらよいかわからない方の外来診療を行い、そのまま検査や治療を行ったり、必要に応じて専門科へつなぐ役割を果たしています。②については、さまざまな問題を抱え入院となる方が多く、特に感染症や原因がはっきりしない症状に対する入院精査・治療を行っています。③に関しては、緩和ケアや感染管理といったチーム医療が必要とされ、内科医としてその中核的な役割を果たしております。2020年からは新型コロナウイルス感染症の対応も担っており、発熱患者の対応やワクチン接種業務を中心に活動しております。

## 【実績】

1日平均患者数

外来 30.3名

入院 44.9名

## 【取り組みや今後の展望、その他一言】

上記に加え以下の内容にも取り組んでおります。

### ①教育

医学部を卒業し、医師になった後は系統だって教育を受ける機会が少ないのが日本の現状です。総合内科は教育も重要であると考え、とくに研修医の教育に力を入れており、臨床研修病院として病院のバリエーションを高めることに貢献しております。また看護師やコメディカルとも研修会や実技講習会を開催することで、病院全体のレベルアップに貢献していく予定です。

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：堀谷 亮介 補職名：医長 専門領域：総合内科	日本内科学会 / 認定内科医 (同上) / 総合内科専門医 (同上) / JMECC インストラクター 日本救急医学会 / ICLS ディレクター 日本感染症学会 / インфекションコントロールドクター (ICD 制度協議会) 日本化学療法学会 / 抗菌化学療法認定医 臨床研修指導医 熱帯医学衛生学位 (DTMH) 熱帯医学専攻修士課程修了 (MTM)
氏名：橋本 忠幸 補職名：副医長 専門領域：総合内科 (2022年3月退職)	日本内科学会 / 認定内科医 (同上) / 総合内科専門医 日本プライマリ・ケア連合学会 / プライマリ・ケア認定医 日本救急医学会 / 救急専門医 臨床研修指導医 Master of Public Health (公衆衛生修士号) AHA ACLS Experienced プロバイザー
氏名：青木 達也 補職名：副医長 専門領域：総合内科	日本内科学会 / 認定内科医 日本救急医学会 / ICLS ディレクター 日本感染症学会 / インфекションコントロールドクター (ICD 制度協議会) 臨床研修指導医 Master of Public Health (公衆衛生修士号)
氏名：有吉 彰子 補職名：副医長 専門領域：画像診断 医学教育 (2021年4月入職)	検診マンモグラフィ読影認定医 日本医学放射線学会 / 放射線科専門医 (同上) / 放射線診断専門医・指導医 John Hopkins Bloomberg School of Public health 入学 (2022年3月) 臨床研修指導医

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：有吉 平 補職名：副医長 専門領域：内科 小児科 (2021年4月入職)	日本小児科学会 / 小児科専門医 日本小児感染症学会 / 小児感染症認定医
氏名：平山 陽士 補職名：副医長 専門領域：消化器内科	日本内科学会 / 認定内科医 (同上) / JMECC インストラクター 日本消化器病学会 / 消化器病専門医 日本救急医学会 / ICLS ディレクター
氏名：内田 真人 専門領域：総合診療 循環器内科 (2021年4月入職) (2022年3月退職)	日本救急医学会 / ICLS インストラクター
氏名：松山 依子 専門領域：総合内科 血液内科	
氏名：千田 修平 専門領域：総合内科	
氏名：岡部 友香 専門領域：総合内科 (2022年3月退職)	
氏名：石亀 慎也 専門領域：総合診療 (2021年4月入職)	
氏名：宮井 優 専門領域：内科 (2021年4月入職) (2022年3月退職)	
氏名：渡辺 航大 専門領域：総合内科 (2021年9月退職)	

## 業績 発表

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2021年4月	第19回 Kinki Hokuriku Airway disease Conference	喘息モデルマウスにおけるインフルエンザ A (H1N1) pdm09 感染による気道過敏性の検討	有吉 平	安戸 裕貴、坂田 恭史、中村 圭李、松重 武志、長谷川秀樹、伊藤 浩史、調恒 明、熱田 了、大賀 正一、長谷川俊史	Web 開催 (大阪市)
2	2021年4月	第124回日本小児科学会学術集会	喘息モデルマウスにおけるインフルエンザ A (H1N1) pdm09 感染による気道過敏性の検討	有吉 平	安戸 裕貴、坂田 恭史、中村 圭李、松重 武志、大賀 正一、長谷川俊史	Web 開催 (京都市)
3	2021年9月	第23回日本病院総合診療医学会学術集会	ネコ咬傷により Pasteurella multocida 菌血症に至った 76 歳男性例	有吉 平	上田 亮太、内田 真人、堀谷 亮介	Web 開催 (仙台市)
4	2021年10月	第53回日本小児呼吸器学会	喘息モデルマウスにおけるインフルエンザ A (H1N1) pdm09 感染による気道過敏性の検討	有吉 平	安戸 裕貴、坂田 恭史、中村 圭李、松重 武志、長谷川秀樹、伊藤 浩史、調恒 明、熱田 了、大賀 正一、長谷川俊史	Web 開催 (福井市)
5	2022年3月	第14回日本医療教授システム学会総会・学術集会	Slack を用いた臨床研修医の非同期型学習の投稿回数と時間の解析	有吉 平	有吉 彰子、橋本 忠幸、青木 達也、平山 陽士、堀谷 亮介	Web 開催 (岐阜市)
6	2022年3月	第14回日本医療教授システム学会総会	Slack を用いた臨床研修医の非同期型学習の質的検討	有吉 彰子	橋本 忠幸、有吉 平、青木 達也、平山 陽士、堀谷 亮介	Web 開催
7	2021年9月	第233回近畿地方会 (日本内科学会)	持続する発熱と血小板減少で紹介受診した高齢発症の TAFRO 症候群の 1 例	岡部 友香	田村 志宣、堀谷 亮介、橋本 忠幸、青木 達也、平山 陽士	Web 開催
8	2020年7月	第97回日本呼吸器学会近畿地方会	Loposomal amphotericin B の硬化不良で voriconazol が奏功した播種性クリプトコックス症の一例	宮井 優	早田 敦志、柴木 亮太、小澤 雄一、春谷 勇平、田中 将規、佐藤 孝一、村上 恵理子、杉本 武哉、寺岡 俊輔、藤本 大智、徳留なほみ、小島 史好、小泉 祐介、上だ 弘樹、赤松 弘朗、洪 泰浩、中西 正典、山本 信之	Web 開催

## 講演

No	発表月	会名	演題名	発表者	開催都市
1	2021年9月	第4回臨床推論カンファレンス	臨床力を磨く！「脱力」患者へのアプローチ	岡部 友香 (症例提示) / 鈴木 富雄 先生(解説)	Web開催
2	2021年11月	プライマリー・ケアレクチャーシリーズ/カンファレンス	いま見直したい！-身体診察-	岡部 友香	Web開催 (砂川市)

## 論文・雑誌掲載

No	採択月	著書名	題名	筆頭著者	共著者
1	2021年6月	Internal Medicine	The Association between the Establishment of a General Internal Medicine Department and an Increased Number of Blood Cultures in other Departments: An Interrupted Time Series Analysis	Tatsuya Aoki	Hajime Yamazaki, Tadayuki Hashimoto, Ryosuke Horitani, Shunichi Fukuhara
2	2021年7月	レジデントノート 23 (7) 940 - 948, 2021	危険・異常な徴候の発熱とは？	岡部 友香	橋本 忠幸

## 座長・パネリスト等

No	発表月	会名	演題名		開催都市
1	2022年3月	第14回日本医療教授システム学会総会	教育企画 自ら学ぶ、を促すカリキュラム (演者: 橋本 忠幸)	有吉 彰子 (座長)	Web開催
2	2022年3月	第14回日本医療教授システム学会総会	さらば、ひどい非同期学習設計 (演者: 平岡 齊士)	有吉 彰子 (座長)	Web開催



# 消化器内科

## 【概要】

消化器内科は、主に消化器病を中心とした一般内科で腹痛、嘔吐、下痢、血便といった消化管（食道、胃、小腸、大腸）の疾患と、胆石、肝炎、胆嚢炎や膵炎などの肝胆膵の疾患があります。これらの消化器内科疾患に対し薬剤による治療、内視鏡治療、エコー下透視下での治療を積極的に行っています。

日々の診療においては「患者さんの話をよく聞くこと」、「時間と経費を無駄にしない診療」、「患者さん一人一人の病状に合わせた治療」を心がけ、また、開業医の先生方、近隣の病院との連携、情報提供や紹介入院治療などを行っています。

## 【診療実績】

当院で完結することを目指して、積極的治療を行ってきました。

2021年の入院患者は544人で、2020年と比べ44人以上の増加となりました。

1日平均患者数

外来 23.4名

入院 13.9名

2021年度の内視鏡治療症例数

食道 ESD	4例
食道 EIS・EVL	7例
胃 ESD	19例
上部内視鏡的止血術	22例
小腸カプセル内視鏡	5例
大腸ポリペクトミー	214例
大腸 ESD	18例
下部内視鏡的止血術	29例

2021年度の総内視鏡検査件数

上部内視鏡	1,066件
下部内視鏡	718件
ERCP	80件
EUS	22件
小腸カプセル内視鏡	5例

## 【取り組みや今後の展望、その他一言】

内視鏡治療の需要は年々高くなってきております。消化管癌については早期発見に力を入れ、積極的に拡大観察を施行しております。今後も当院で完結できるように、低い合併症率、高いクオリティを維持できるようにしたいと考えております。

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>よしだ さとし</small> 吉田 悟 補職名：医長 専門領域：消化器内科	医学博士（和歌山県立医科大学）
氏名： <small>くわしま ふみあき</small> 桑島 史明 補職名：副医長 専門領域：消化器内科 （2021年4月入職） （2022年3月退職）	日本内科学会 / 認定内科医
氏名： <small>なかはた あきや</small> 中畑 明耶 専門領域：消化器内科 （2021年10月入職）	
氏名： <small>わだ あずさ</small> 和田 梓 専門領域：消化器内科 （2021年4月入職） （2021年9月退職）	

# 代謝内科

## 【概要】

内科（代謝・内分泌）は主として糖尿病・脂質異常症・肥満症・高血圧・メタボリックシンドローム等のいわゆる「生活習慣病」の診断・治療・管理をおこなっています。生活習慣病は動脈硬化の危険因子として、特に高齢者のQOLに大きな影響を及ぼすと考えられ、2007年以降、超高齢化社会に突入したわが国では生活習慣に早期から積極的に介入して個々の患者さんに良質な日常生活を送っていただくことが社会的にも最重要課題となってきました。これらの疾患を有する患者さんに対して長期間にわたる日常生活への介入、病態・病期に即した薬物治療の選択を行っていくためには、地域全体で医療連携を推進していく必要があります。当地域の基幹医療施設である当院においては総合病院の利点を生かして各専門科や各専門職（看護師・栄養士・薬剤師・検査技師・理学療法士等）との連携を図って、重症度や合併症の評価を行い、それに基づいた生活指導や治療介入を行います。

内分泌疾患領域では甲状腺疾患をはじめ、副腎疾患、下垂体疾患も当科で担っています。比較的特殊な検査を要するこれらの内分泌疾患の診断及び治療方針の決定を行います。

## 【診療実績】

1日平均患者数

外来 30.8名

入院 1.8名

## 【取り組みや今後の展望、その他一言】

2021年度における当科診療体制は常勤医が2名、近畿大学医学部内分泌・代謝・糖尿病内科から週3回、外来診療を応援していただいています。2021年4月～2022年3月の当科受診患者は延べ7463名、そのうち初診患者数は116名でした。2021年4月～2022年3月に当科で担当した入院患者は68名でした。院内で「糖尿病教室」を医師、看護師、栄養士、薬剤師、検査技師、理学療法士が2週で1サイクルの内容でそれぞれ開催しており、教育入院患者だけでなく、入院中の糖尿病患者はだれでも参加でき、糖尿病についての大きな知識が得られるように構成されています。コロナ禍前までは集まって開催していましたが、コロナ禍ではマンツーマンで開催する方法に変えて感染対策をしています。また、糖尿病療養指導士の育成にも積極的にすすめており、現在7名のCDEJと14名のWLCDEが現場で活躍しています。糖尿病療養支援外来（療養相談・フットケア・糖尿病腎症透析予防）を実施しています。‘糖尿病ワーキングチーム’は、毎月第3火曜日に集まって、糖尿病医療チーム内での意見交換や11月14日の‘世界糖尿病デー’に際して市民病院のブルーライトアップの実施、また「糖尿病とその予備軍を対象とした行事」の企画等をおこなっています。また、毎年11月に和歌山県立橋本体育館で開催される‘すこやか橋本まなびの日’に‘糖尿病ワーキングチーム’で出展し、血糖・血圧測定と糖尿病クイズをおこなっていましたが、2021度はコロナ禍で出店を見送りました。その代わりとして、来院された方へ糖尿病の予防の必要性・合併症などについてニュースレターを作成し配布させていただきました。今後も、行政などとも連携して、地域での健康教室などの催しにワーキングチームで参加し、近隣地域の医療を提供できるよう努めて参ります。

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：宮田 佳穂里 補職名：医長 専門領域：糖尿病	日本内科学会 / 認定内科医 (同上) / 総合内科専門医 日本糖尿病学会 / 糖尿病専門医、研修指導医
氏名：中尾 友美 専門領域：代謝内科一般 (2022年3月退職)	日本内科学会 / 認定内科医

## 座長・パネリスト等

No	発表月	会名	演題名	開催都市
1	2021年6月	糖尿病 Online Seminar	新規規格ルゴン測定系の糖尿病診断への応用の可能性 (演者：北村 忠弘)	宮田 佳穂里 (座長) Web開催
2	2021年11月	これからの糖尿病治療を考える会	糖尿病経口薬の次の一手～ファースト・インジェクション導入術 (演者：金沢 一平)	宮田 佳穂里 (座長) 和歌山市
3	2021年11月	GLP-1 Web 講演会	経口 GLP-1 受容体作動薬の使い方 (演者：島田 健)	宮田 佳穂里 (座長) Web開催

# 呼吸器内科

## 【概要】

診療スタッフは常勤医（日本呼吸器学会専門医、指導医）2人で、外来は近畿大学医学部附属病院 呼吸器・アレルギー内科、近畿大学医学部奈良病院呼吸器・アレルギー内科より 応援していただいています。日々の診療は和歌山県立医大附属病院から前期研修医の先生が来られ病棟診療を共に、実践しています。

施設は 日本アレルギー学会、日本呼吸器学会、日本内科学会の認定または 関連認定施設で、主として気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、慢性呼吸不全、胸部異常陰影（肺腫瘍等）、呼吸器感染症、急性呼吸不全、睡眠時無呼吸症候群等、一般呼吸疾患の診断、治療を行います。

気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患の診断、加療を中心に、一般呼吸器疾患全般で、患者様の QOL（quality of life）の向上を目指したいと考えています。

## 【診療実績】

検査については 肺機能検査（年間 242 例）、気管支鏡検査（年間 74 例）、睡眠時無呼吸検査等（年間 72 例）施行しています。呼吸不全での在宅酸素療法の導入、非侵襲的人工呼吸管理（NIPPV）も症例により導入しています。

1 日平均患者数  
 外来 24.7 名  
 入院 15.3 名

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <sup>する だ だとし</sup> 駿田 直俊 補職名：病院長 専門領域：呼吸器内科	日本内科学会 / 総合内科専門医 日本呼吸器学会 / 呼吸器専門医・指導医 日本プライマリ・ケア連合学会 / プライマリ・ケア認定医、指導医 日本結核病学会 / 結核・抗酸菌症認定医・指導医
氏名： <sup>ふじた えつお</sup> 藤田 悦生 補職名：副病院長 部長 専門領域：呼吸器内科 アレルギー疾患	日本内科学会 / 認定内科医 （同上） / 総合内科専門医 日本呼吸器学会 / 呼吸器専門医、指導医 日本アレルギー学会 / アレルギー専門医・指導医 日本気管食道科学会 / 気管食道科専門医（内科気道系） 日本化学療法学会 / 抗菌化学療法認定医 日本呼吸器内視鏡学会 / 気管支鏡専門医、指導医 日本心療内科学会 / 登録医 日本感染症学会 / インфекションコントロールドクター（ICD 制度協議会）

## 業績

### 発表・講演

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2021年6月	第44回日本呼吸器内視鏡学会	Hemorrhagic pneumonia から左完全無気肺を合併し BF で改善した E coli VAP の1例	藤田 悦生	匹本 樹寿、堀谷 亮介、平山 陽士、橋本 忠幸、岡部 友香、野田 幸治、山田 晃佑、中村安寿左、阪本 博貴、青木 達也、千田 修平、松山 依子、清水 雄平、榊野 富造、寒川 浩道、星谷 博信、河原 正明、山本 勝廣、嶋田 浩介、駿田 直俊	名古屋
2	2021年7月	第97回日本呼吸器学会 近畿地方会	Gastric tube 併用下でのII型呼吸不全での Nasal mask NIPPV 施行例 (Rapport と換気について)	藤田 悦生	平山 陽士、山田 晃佑、清水 雄平、青木 達也、堀谷 亮介、千田 修平、野田 幸治、橋本 忠幸、松山 依子、岡部 友香、星屋 博信、服部 舞子、田中 章夫、小川 敦裕、坂田 好史、河原 正明、山本 勝廣、嶋田 浩介、駿田 直俊	Web (大阪)
3	2021年10月	第70回アレルギー学会	気道去痰管理での NO 測定と Self growing up egogram (SGE) の活用について	藤田 悦生	駿田 直俊、青木 達也、堀谷 亮介、松山 依子、岡部 友香、千田 修平、平山 陽士、橋本 忠幸、河原 正明、星谷 博信、山本 勝廣、嶋田 浩介	横浜
4	2021年11月	第58回日本臨床生理学会	呼吸器疾患でのトレッドミル、アームエルゴメトリなどを用いた呼気ガス分析施行例の比較	山田 弦太	藤田 悦生、青木 達也、堀谷 亮介、宮井 優、宮田佳穂、中尾 友美、星屋 博信、山本 勝廣、吉川 和也、松本 久子、東田 有智、嶋田 浩介、駿田 直俊	Web (名古屋)

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
5	2021年12月	第234回日本内科学会 近畿地方会	Pulmonary fibrosis 加療中での dental implant 誤飲の colonoscopy での摘出例	藤田 悦生	中井 博章、星屋 博信、加藤 智也、中村 公紀、河原 正明、宮田佳穂里、宮井 優、嶋田 浩介、駿田 直俊	Web (大阪)
6	2022年3月	第235回日本内科学会 近畿地方会	睡眠時無呼吸症候群 (SAS) に合併した saber-sheath trachea の1例	藤田 悦生	清水 雄平、山田 弦太、横山 陽春、宮井 優、青木 達也、堀谷 亮介、河原 正明、星屋 博信、駿田 直俊	Web (京都)

### 講演

No	発表月	会名	演題名	発表者	開催都市
1	2021年4月	第61回日本呼吸器学会学術講演会	OSAS patients with a mandibular advancement splint evaluated with the Empey index (FEV1/PEF)	Etsuo Fujita, Akio Tanaka, Tadatoshi Suruda, Hironobu Hoshiya, Katsuhiko Yamamoto, Tatsuya Aoki, Hideko Nishimura, Kazuya Yoshikawa, Yuji Tohda, Kousuke Shimada	Tokyo
2	2021年7月	ラスビック点滴静注キット 150mg 発売記念 Web 講演会	一般診療における肺炎の診断と治療	岡部 友香	和歌山市
3	2021年7月	第425回伊都医師会診療談話会	COPD、喘息のオーバーラップ (ACO) について - ガイドラインと最近の話題を含め -	岡部 友香	橋本市

### 論文・雑誌掲載

No	採択月	著書名	題名	筆頭著者	共著者
1	2022年	J Clin Physiol (日本臨床生理学雑誌) vol 52 No.1	Comparison among treadmill, arm ergometry and leg crank ergometry with exhaled gas analyses in respiratory diseases	Genta Yamada	Etsuo Fujita, Yuhei Shmizu, Tatsuya Aoki, Ryouyuke Horitani, Yu Miyai, Kaori Miyata, Tomomi Nakao, Sei Ohishi, Takashi Odajima, Yuta Sakaguchi, Yuki Izumi, Haruka Yokoyama, Kenichi Furukawa, Akio Tanaka, Hironobu Hoshiya, Katsuhiko Yamamoto, Kazuya Yoshikawa, Hisako Matsumoto, Yuji Tohda, Kousuke Shimada, Tadatoshi Suruda
2	2021年	Wakayama Med Soc (和歌山医学) 72 (3)	A case of anomalous bifurcation of the right upper bronchi complicated with postoperative ureteral cancer	Sung-il Park	Etsuo Fujita, Yoji Hirayama, Tatsuya Aoki, Saori Mochida, Syuhei Senda, Takeshi Inagaki, Yasuo Hirabayashi, Saeko Ohnishi, Kazuyuki Tsunoi, Toshiharu Maekura, Hironobu Hoshiya, Katsuhiko Yamamoto, Hiroo Takidani, Yozo Aoki, Masaaki Kawahara, Tadatoshi Suruda, Kazuya Yoshikawa, Yuji Tohda, Kousuke Shimada
3	2022年7月	New Horizons in Medicine and Medical Reseach Vol.1, p29-34.	A Case of Primary Recemose Hemangioma: An Approach 永久 RDS Disappearance ob Endobronchial Lesion	Kazumi Kawbe	Seigo Sasaki, Yuichiro Azuma, Hideya Ono, Tadatoshi Suruda, and Yoshiaki Minakata

# 小児科

## 【科の概要と取り組み】

小児科は、常勤医師が3名で月曜から金曜の午前診、午後診と月、木、土曜の時間外診療をしています。一般的な小児急性疾患から2次救急まで担当するとともに、小児心身症、アレルギー疾患などに漢方薬、小児鍼等も活用し、専門的かつ総合的な治療に力を入れています。小児循環器疾患には和歌山県立医科大学附属病院から派遣の非常勤医師が担当しています（週1回水曜午前診）。

今年度年間入院数は約140人で、その多くは肺炎、気管支炎、胃腸炎などの急性疾患及び気管支喘息、けいれんなどですが、川崎病、ネフローゼ症候群、化膿性髄膜炎も少数みられます。新生児（年間出生約200人）の対応、処置も行っています。

1日外来患者数は約28人で急性疾患のほか、気管支喘息、アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患、てんかんなどの痙攣性疾患にも対応しています。院内出生児の1ヶ月健診、各種予防接種（アレルギーやけいれんのあるこどもにも対応）も行っています。

小児救急医療は近隣の南奈良総合医療センター、和歌山県立医科大学附属病院紀北分院、公立那賀病院と広域連携し、また地域の開業医院と平日ミニ輪番制で漏れのない対応を目指しています。

橋本市の4ヶ月健診（月1回）、1歳8ヶ月健診（年8回）、3歳6ヶ月健診（年6回）や、あやの台チルドレンセンターとつくしんぼ園の内科健診（年2回）に出務しています。

## 【診療実績】

1日平均患者数

外来 28.1名

入院 4.5名

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>おおいし こう</small> 大石 興 補職名：副病院長 副診療部長 部長 専門領域：感染症 免疫アレルギー疾患 心身症 漢方治療 小児鍼	日本小児科学会 / 小児科専門医、指導医
氏名： <small>むかいやま ひろのぶ</small> 向山 弘展 補職名：医長 専門領域：小児科 腎臓病	日本小児科学会 / 小児科専門医 日本小児腎臓病学会 / 代議員 臨床研修指導医 小児慢性特定疾病指定医 難病指定医
氏名： <small>たちばな しんや</small> 立花 伸也 補職名：副医長 専門領域：小児科 小児循環器 川崎病	



# 産婦人科

## 【科の概要と取り組み】

### (1) 婦人科の特徴

子宮体がん、子宮頸がん、卵巣がんなどの悪性腫瘍は、手術、放射線療法、化学療法を組み合わせた集学的治療を行っています。子宮体がん、卵巣がんでは傍大動脈リンパ節郭清術を積極的に行い完全な腫瘍の摘出を目指しています。子宮頸がんは、子宮頸部円錐切除から広汎性子宮全摘術までガイドラインに従って手術を行っています。Ⅲb期以上の子宮頸がんに対しては、化学療法同時併用放射線療法を行っています。

子宮筋腫は、薬物療法にて月経困難症や月経過多症などの症状の軽減を図りますが、このような保存的治療に効果がないときは手術を行います。手術には従来から行われてきた腔式や腹式手術だけでなく、内視鏡手術（腹腔鏡、子宮鏡）も行っています。特に子宮鏡下手術は、1～2日間の入院で、退院翌日より職場復帰が可能であるため適応のある子宮筋腫には積極的に選択しています。

卵巣良性腫瘍は、原則的に腹腔鏡下手術を行っています。

子宮脱や膀胱瘤は、骨盤支持装置が障害され発生する疾患で排尿障害や排便障害、外陰部不快感などQOLが大きく損なわれる疾患です。当科では膀胱瘤、子宮下垂に対しては経膈メッシュ手術、子宮脱に対しては腔式子宮全摘術+膈断端仙骨子宮靱帯固定術、膈閉鎖術と病状に合わせて術式を選択しています。

### (2) 産科の特徴

当院では安全で快適な分娩を目指しています。妊娠、分娩、育児に対する不安をできるだけ小さくして安心して出産を迎えられるように助産師が指導させていただきます。どのようなお産をしたいか希望を伺い、母体自身が積極的に出産に臨めるようにと考えています。例えば、仰向けの分娩だけでなく、側臥位や四つん這いなど母体が楽な姿勢での分娩（フリースタイル）も行い、満足度の高い分娩を目指しています。分娩後は、母児の早期接触を行い、その後の母児同室により自宅での哺育が順調に行えるように指導しています。

## 【診療実績】

1日平均患者数

外来 34.8名

入院 23.3名

分娩数	210件
主要手術件数	224件
婦人科悪性腫瘍手術	26例
子宮悪性腫瘍手術	5例
卵巣悪性腫瘍手術	3例
子宮頸部円錐切除	18例
婦人科良性腫瘍手術	18例
子宮全摘術	14例
腹式	7例
腔式	7例
子宮筋腫核出術	2例
付属器切除術	2例
鏡視下手術	104例
腹腔鏡下手術	39例
LM	5例
LAVH	4例
子宮鏡下手術	65例
子宮鏡下子宮筋腫摘出術	7例
性器脱手術	26例
TVM	15例
帝王切開	31例
帝王切開率	14.8%

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <sup>ふるかわ けんいち</sup> 古川 健一 補職名：病院長代理 診療技術部長 部長 専門領域：生殖内分泌 不妊症 婦人科腫瘍学 周産期医学	日本産婦人科学会 / 産婦人科専門医、指導医 和歌山県立医科大学医学部 臨床教授 母体保護法指定医師 医学博士（和歌山県立医科大学）
氏名： <sup>ほりうち ゆうこ</sup> 堀内 優子 補職名：医長 専門領域：産婦人科 （2022年3月退職）	日本産婦人科学会 / 産婦人科専門医 日本がん治療認定医機構 / がん治療認定医 医学博士（和歌山県立医科大学） 母体保護法指定医師
氏名： <sup>いけしま みわ</sup> 池島 美和 補職名：医長 専門領域：産婦人科 （2021年10月入職）	日本産婦人科学会 / 産婦人科専門医 日本専門医機構 / 産婦人科専門医 母体保護法指定医師
氏名： <sup>ふじの</sup> 藤野 めぐみ 専門領域：産婦人科 （2021年4月入職）	

## 業績

### 発表・講演

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2021年7月	母体保護法指定医講習会	令和2年度近産婦医療安全部会報告	古川 健一	-	和歌山市
2	2021年7月	第10回和歌山母性衛生学会学術集会	産褥期に劇症型溶血性A群溶連菌感染症を発症し救命し得た1例	藤野めぐみ	松田 香穂、八木 重孝、 芝田あゆみ、南 佐和子、 堀内 優子、古川 健一、 井鏡 一彦	和歌山市
3	2021年7月	日本婦人科腫瘍学会	初診時から心臓内血栓を認め急速な転帰をたどった子宮頸部腺癌の一例	堀内 優子	芝田あゆみ、匹本 樹寿、 稲垣 武、古川 健一	大阪市



## 【概要】

### (1) はじめに

外科スタッフは5名で、全スタッフが和歌山県立医科大学第二外科教室に所属しています。治療には外科専門医・指導医、消化器外科専門医・指導医、日本内視鏡外科学会技術認定医が中心となり、主に消化器・一般外科手術を担当しています。2021年度は445件の手術を実施しました（内訳は後述）。

手術内容は胃癌・大腸癌をはじめ、食道癌・肝癌・胆道癌・膵臓癌の全領域の消化器癌手術と、胆石・鼠径ヘルニア・痔疾患・皮下腫瘍などの良性疾患、虫垂炎・腸閉塞（イレウス）・消化管穿孔、穿孔性腹膜炎などの緊急手術を行っています。

消化器癌診療については、各々の癌治療ガイドラインに則り標準治療を実施しており、手術は可能な限り低侵襲手術（腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術）を導入しています。胃癌と大腸癌では全例、腹腔鏡下手術を、食道癌では胸腔鏡下手術を推進しています。これらの手術には、鮮明な4Kモニターの腹腔鏡装置と止血能力の高いヴェッセルシーリングシステムや超音波凝固切開装置を用いて、手術に臨んでいます。これにより、創部の整容性だけでなく、詳細な外科解剖を得ることができ、開腹手術に勝るとも劣らない繊細な手術が可能となっています。また、理学療法士の協力のもと、術前・術後のリハビリテーションを積極的に行い、術後の合併症予防、早期の社会復帰に取り組んでいます。毎週火曜日、消化器内科のスタッフとカンファレンス（キャンサーボード）を実施し院内での消化管グループの活性化に務め、また、毎週水曜日、メディカルスタッフと共に術前患者の治療法を検討するカンファレンスを行い、情報共有を行っています。術後には病理カンファレンスを実施し、手術した患者様の今後の治療法の検証を実施しています。

一方、消化器癌以外の手術においても、胆石や鼠径ヘルニア・腹壁癒痕ヘルニア、食道裂孔ヘルニアでも腹腔鏡下手術を導入し、早期退院・社会復帰に寄与しています。痔疾患については、内痔核への通常の切除術だけでなく、硬化療法や痔瘻・裂孔手術および直腸脱手術（経肛門的、腹腔鏡下）も実施しています。急性虫垂炎や消化管穿孔などの腹部救急疾患でも腹腔鏡下手術を施行しています。

手術以外の治療としては、内視鏡治療やX線透視下の治療も担っています。内視鏡的治療としては、大腸ポリープに対する内視鏡的粘膜切除（EMR）、一部の早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）、総胆管結石に対する内視鏡的乳頭切開（EST）による碎石術、食道静脈瘤に対する内視鏡的食道静脈瘤結紮術（EVL）、摂食障害者への内視鏡的胃瘻造設術（PEG）を行っています。X線透視下には、急性胆嚢炎に対する経皮経肝胆嚢ドレナージ（PTGBD）や細菌性胆管炎に対する経皮経肝または内視鏡的胆道ドレナージ術（PTBD、ENBD）、腸閉塞に対するイレウス管留置術も実施しています。

消化器癌の薬物療法やがん終末期の患者様に対する緩和ケアについては、薬剤師やがん化学療法認定看護師、緩和ケアチーム（緩和ケア認定看護師）や医療ソーシャルワーカー、訪問看護ステーションと連携をとって対応しています。

### (2) 診察内容

一般外科、消化器外科、腹部救急疾患に対応しています。

対象疾患：消化器癌（胃・大腸、食道、肝・胆・膵）、胆道良性疾患、各種ヘルニア（鼠径、臍、腹壁、食道裂孔）、肛門疾患

### (3) 検査、処置、手術

検査：内視鏡（上部消化管、大腸、胆道）、消化管透視、腹部超音波、CT、MRIなど

処置：内視鏡的処置（EMR、ESD、消化管出血に対する止血、EVL、ESTほか）

胆道感染に対する経皮経肝胆嚢ドレナージ（PTGBD）、経皮経肝胆管ドレナージ（PTBD）

イレウス管留置術

メタリックステントを用いた胆管・消化管狭窄治療

経皮内視鏡的胃瘻造設術（PEG）

ジオンによる痔核の4段階硬化療法（ALTA）

（手術日）月、水曜日の全日、金曜日の午前、月2回の木曜日の全日

#### (4) 主な医療機器

4K とハイビジョンの腹腔鏡装置、電子内視鏡装置、超音波画像診断装置ほか

#### 【診療実績】

1日平均患者数

外来 29.3名

入院 33.5名

手術件数

全身麻酔 366件

腰椎麻酔 30件

局所麻酔 49件

合計 445件

#### 疾患別

疾患、術式別	件数（うち鏡視下手術）
食道がん	3 (3)
胃がん	24 (23)
結腸がん	43 (37)
直腸がん	17 (17)
肝切除	2
膵頭十二指腸切除	2
イレウス	16 (3)
胆石症	62 (60)
そけい部ヘルニア	87 (65)
痔核・痔瘻	19
食道裂孔ヘルニア	4 (4)
直腸脱	4 (2)
虫垂炎	32 (25)
急性腹膜炎手術	11 (4)
その他	119
合計	445

#### 【取り組みや今後の展望】

- ① 患者主体の身体に優しい医療を提供する
- ② 医療過誤・事故を生じないように努め、安全な医療を提供する
- ③ がん診療連携拠点病院として、標準がん治療を地域住民に提供する
- ④ 救急医療、災害医療の地域拠点病院としての役割を果たす
- ⑤ 地域の医療施設と密に連携をとる
- ⑥ 主要学会の指導医・専門医を取得、維持する
- ⑦ 学会・論文活動を継続する

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <sup>しまだ こうすけ</sup> 嶋田 浩介 補職名：病院管理者 専門領域：消化器外科 栄養療法 排便機能 災害医療	日本外科学会 / 専門医、指導医 日本消化器外科学会 / 専門医、指導医 (同上) / 消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会 / 消化器病専門医 日本臨床栄養代謝学会 / TNT 修了 日本医師会認定産業医 厚生労働省医師臨床研修指導医 緩和ケア指導医 BLS、ACLS 修了 JPTEC 修了 JATEC 修了 DMAT
氏名： <sup>まえだ つねひろ</sup> 前田 恒宏 補職名：筆頭部長 専門領域：消化器外科 栄養療法	日本外科学会 / 専門医 日本消化器外科学会 / 認定医 日本消化器内視鏡学会 / 消化器内視鏡専門医 日本消化器病学会 / 消化器病専門医 日本臨床栄養代謝学会 / 認定医 PEG・在宅医療学会 / 専門胃瘻造設者 (同上) / 専門胃瘻管理者 (同上) / 認定胃瘻教育者 日本がん治療認定医機構 / がん治療認定医 厚生労働省医師臨床研修指導医 日本医師会認定産業医
氏名： <sup>なかわら まさき</sup> 中村 公紀 補職名：部長 専門領域：消化器がん治療 特に上部消化管（食道・胃）外科 内視鏡外科 (2021年4月入職)	日本外科学会 / 認定医、専門医、指導医 日本消化器外科学会 / 専門医、指導医、評議員 (同上) / 消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構 / がん治療認定医 日本食道学会 / 食道科認定医、食道外科専門医、評議員 日本内視鏡外科学会 / 日本内視鏡外科学会技術認定（胃） 日本胃癌学会 / 代議員 近畿外科学会 / 評議員 Certificate of da Vinci console surgeon（手術支援ロボット） 厚生労働省医師臨床研修指導医 和歌山県立医科大学非常勤講師 医学博士
氏名： <sup>なかい ひろあき</sup> 中井 博章 補職名：部長 専門領域：消化器外科	日本外科学会 / 外科専門医 医学博士
氏名： <sup>しみず あつし</sup> 清水 敦史 補職名：医長 専門領域：消化器外科 肝胆膵外科 (2021年4月入職) (2022年2月退職)	日本外科学会 / 外科専門医、指導医 日本消化器外科学会 / 消化器外科専門医 (同上) / 消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構 / がん治療認定医 日本胆膵外科学会 / 評議員 日本膵臓学会 / 日本膵臓学会認定指導医 医学博士
氏名： <sup>かとう ともや</sup> 加藤 智也 補職名：医長 専門領域：消化器外科	日本外科学会 / 外科専門医 日本消化器外科学会 / 消化器外科専門医 (同上) / 消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会 / 消化器病専門医 日本がん治療認定医機構 / がん治療認定医 近畿外科学会 / 評議員
氏名： <sup>あおき ようぞう</sup> 青木 洋三 補職名：名誉院長 専門領域：消化器外科 外科栄養学 胆膵生理機能 健康管理学	日本外科学会 / 専門医、指導医、評議員 日本消化器外科学会 / 消化器外科専門医・指導医、消化器がん外科治療認定医、特別会員 日本消化器病学会 / 消化器病専門医 日本化学療法学会 / 抗菌化学療法認定医、評議員 (同上) / インフェクションコントロールドクター（ICD 制度協議会） 和歌山医学会 / 功労会員 日本人間ドック学会 / 人間ドック認定医 (同上) / 人間ドック健診専門医・指導医 (同上) / 人間ドック健診情報管理指導士 検診マンモグラフィ読影認定医（日本乳がん検診精度管理中央機構） 日本医師会認定産業医 地域包括医療・ケア認定医（全国国民健康保険診療施設協議会） 日本臨床外科学会 / 特別会員 日本外科代謝栄養学会 / 評議員 日本肝胆膵外科学会 / 評議員

## 業績 発表

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2021年4月	第121回日本外科学会定期学術集会	(ディベート) 審査腹腔鏡は胃癌腹膜転移症例の治療方針決定に必須である	中村 公紀	尾島 敏康、勝田 将裕、早田 啓治、北谷 純也、竹内 昭博、中井 智暉、速水 晋也、上野 昌樹、松田 健司、中森 幹人、山上 裕機	幕張市 / WEB
2	2021年7月	第76回日本消化器外科学会総会	(シンポジウム) Phase I study of NSOX regimen for gastric cancer patients with peritoneal metastasis (NSOX study)	Masaki Nakamura	Toshiyasu Ojima, Masahiro Katsuda, Keiji Hayata, Junya Kitadani, Akihiro Takeuchi, Tomoki Nakai, Masaki Ueno, Kenji Matsuda, Hiroki Yamaue	京都市 / WEB
3	2021年9月	第75回日本食道学会学術集会	六君子湯による食道癌術後のサルコペニア予防効果の検討	中村 公紀	尾島 敏康、勝田 将裕、早田 啓治、合田 太郎、北谷 純也、竹内 昭博、中井 智暉、山上 裕機	東京 / WEB
4	2022年2月	第29回日本がんチーム医療研究会	免疫チェックポイント阻害薬により発症した副腎不全に対する介入の課題	米本加奈子	沖 鮎美、横芝 真紀、宮本 賢典、駿田 直俊、中村 公紀	大阪市

## 講演

No	発表月	会名	演題名	発表者	開催都市
1	2021年6月	大鵬薬品工業 社外講師勉強会	胃癌に対する最新治療	中村 公紀	和歌山市
2	2021年7月	第25回日本がん免疫学会総会 モーニングセミナー	胃癌治療の最前線-殺細胞性抗がん薬と免疫チェックポイント阻害薬の位置付け	中村 公紀	和歌山市
3	2021年9月	第75回日本食道学会学術集会 ランチョンセミナー	食道癌術後管理と漢方の役割-六君子湯の有用性-	中村 公紀	東京 / WEB
4	2021年10月	第23回和歌山消化器外科診療ネットワーク懇話会 (WACCS)	栄養管理を含めた連携の在り方	中村 公紀	和歌山市
5	2021年10月	科研製薬株式会社 紀和営業所 社外講師勉強会	食道癌に対する最新治療	中村 公紀	和歌山市
6	2021年11月	JDDW 2021 KOBE サテライトシンポジウム	食道癌術後管理と六君子湯-臨床試験から見た漢方薬の可能性-	中村 公紀	神戸市 / WEB
7	2022年1月	令和3年度 きのくにがん薬物療法チーム研修会	胃がんの薬物療法	中村 公紀	WEB
8	2022年2月	第7回縦隔アプローチ食道癌根治術研究会	胸部食道癌に対する縦隔鏡・腹腔鏡下食道切除術	中村 公紀	WEB
9	2022年3月	第206回浜松外科医会研修会	食道癌術後管理と漢方の役割 -六君子湯の有用性-	中村 公紀	WEB

## 論文・雑誌掲載

No	採択月	著書名	題名	筆頭著者	共著者
1	2021年10月	JAMA Surg. 2021;156 (10) :954-963.	Short-term Outcomes of Robotic Gastrectomy vs Laparoscopic Gastrectomy for Patients With Gastric Cancer: A Randomized Clinical Trial	Toshiyasu Ojima	Masaki Nakamura, Keiji Hayata, Junya Kitadani, Masahiro Katsuda, Akihiro Takeuchi, Shinta Tominaga, Tomoki Nakai, Mikihiro Nakamori, Masaki Ohi, Masato Kusunoki, Hiroki Yamaue

## 座長・パネリスト等

No	発表月	会名	演題名	発表者	開催都市
1	2021年7月	第76回日本消化器外科学会総会	(座長) 一般演題 98 胃・十二指腸:腹腔鏡5	中村 公紀	京都市 / WEB
2	2021年10月	第36回近畿過大侵襲研究会	(コメンテーター) エネルギーデバイスによる血管損傷の検討	中村 公紀	大阪市
3	2022年3月	第94回日本胃癌学会総会	(座長) 一般演題 ポスター 37 「化学療法 / その他 4」	中村 公紀	横浜市 / WEB

# 整形外科

## 【概要】

整形外科は常勤医師5名で診療にあたります。施設として、当院は日本整形外科学会認定研修施設および日本手外科学会認定基幹研修施設に指定されております。

コロナウイルス感染が長期慢性化する中であっても、四肢外傷で当院を受診される患者さんは後を絶ちません。整形外科疾患の治療に対する需要はこの状況下においてなお増加傾向にあります。

当院の入院症例の多くは大腿骨近位部骨折、橈骨遠位端骨折に代表される高齢者の四肢骨折で、早期のADL回復を目指し、積極的に手術治療を行っています。その他変形性関節症に対する人工関節置換術など四肢運動機能障害に対する手術治療も積極的に行っています。

また特に緊急性の高い四肢外傷（切断肢指、開放性骨折、広範皮膚欠損創など）に対しては、休日時間外も整形外科医師がオンコールで待機し、診療治療にあたります。

## 【診療実績】

1日平均患者数

外来 67.5名

入院 40.8名

2021年度全手術件数（R3.4.1～R4.3.31） 総症例 651

骨折	382件
大腿骨近位部	137件
人工骨頭	57件
観血的整復固定術	80件
大腿骨骨幹部～下腿	87件
足部足趾	7件
骨盤	0件
肩甲骨・鎖骨	14件
上腕骨	42件
前腕	62件
近位・骨幹部	10件
遠位	52件
手部手指	33件
関節外科	48件
人工関節置換術	40件
股関節	15件
膝関節	25件
膝半月板手・縫合術	5件
肘関節授動術	3件
手外科・足外科	92件
絞扼性末梢神経障害	34件
手根管症候群	30件
肘部管症候群	4件
腱鞘切開	36件
ばね指	36件
再接着、腱損傷、神経損傷、血管損傷、靭帯断裂等	5件
皮弁等	3件
遊離	1件
有茎	1件
植皮	1件
関節形成術等	7件
手関節形成術	4件
骨切り術	2件
関節固定術	1件
デュプイトラン拘縮手術	2件
アキレス腱断裂手術	3件
四肢、指切断	2件

脊椎	5件
頸椎	3件
腰椎	2件
骨軟部腫瘍	18件
軟部腫瘍	17件
骨腫瘍	1件
その他	106件
骨内異物除去術	69件
感染・創傷処理	37件

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：林 未統 補職名：筆頭部長 専門領域：手外科 四肢外傷 マイクロサージャリー	日本手外科学会 / 専門医 (同上) / 専門研修指導医 日本整形外科学会 / 専門医 中部日本整形外科学会災害外科学会 / 評議員 日本マイクロサージャリー学会 身体障害者(肢体) / 認定医 小児運動器疾患指導管理医師
氏名：木岡 雅彦 補職名：部長 専門領域：整形外科一般 脊椎外科	日本整形外科学会 / 専門医 日本脊髄病学会、日本脊髄障害医学会 日本整形外科学会脊椎脊髄病医 日本整形外科学会スポーツ医 身体障害者(肢体) / 認定医 中部日本整形外科学会災害外科学会
氏名：峰 巨 補職名：医長 専門領域：整形外科一般 関節外科	日本整形外科学会 / 専門医 日本股関節学会、日本人工関節学会 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 日本骨折治療学会 身体障害者(肢体) / 認定医
氏名：出口 剛士 補職名：医長 専門領域：整形外科一般	日本整形外科学会 / 専門医 中部整形外科学会災害外科学会
氏名：藤木 隆顕 補職名：副医長 専門領域：整形外科一般	日本整形外科学会 / 専門医

## 業績

### 発表

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2022年1月	第19回和歌山MIOSフォーラム	小指PIP関節掌側脱臼骨折に対しPIP-WING創外固定を用いた一例	藤木 隆顕	林 未統、木岡 雅彦、峰 巨、出口 剛士	和歌山市

### 論文・雑誌掲載

No	採択月	著書名	題名	筆頭著者	共著者
1	2021年12月	和歌山医学 (0043-0013) 72巻4号 Page254	稀な月状骨舟状骨内ガングリオンの一例	山下 実輝	林 未統、木岡 雅彦、峰 巨、出口 剛士



# 脳神経外科、脳血管内治療センター

## 【概要】

当科は一般外来および入院患者さんの診療に加え、伊都、橋本地域の頭部外傷、脳卒中に対応しております。入院患者内脳卒中患者は7割近くに及び、年々増加しています。2021年度は2人体制となり、すべての脳卒中に対応することが困難な状況が生じ、地域住民の方々や開業医の先生方にも大変ご迷惑をおかけしました。

2022年4月脳血管内治療科をオープンし、tPA、急性期血行再開術の恩恵をより多くの患者様にうけていただくよう、Code Stroke systemを整備し、救急隊からの連絡を直接聞き、早期に対応準備し、治療までのtimeを短縮し、超急性脳梗塞には経静脈的血栓溶解療法に加え、急性期血栓機械的血栓捕捉術をシームレスに行えるよう努めています。

またLEICA社の顕微鏡システムを導入し、術中蛍光色素による脳血管撮影が可能となり、脳腫瘍手術では、腫瘍と正常脳との境界を明らかにする、蛍光色素をもちいた、臨床研究も行っています。

当科では県下で3施設でしか行えない「画像支援ナビゲーション手術」を行っています。この手術で 사용되는Medtronic社製のニューロナビゲーターStealth Stationは、自動車の道案内に用いられる「カーナビ」のようなものです。病変部と周辺組織の立体的位置を正確に表示してくれるため、手術の際にどこを切開しどのように進めば安全に病変部まで到達できるのか、といったことが一目瞭然です。その結果、神経や血管を傷つけることなく安全に病変部を取り除くことができるようになり脳腫瘍の治療で成果をあげています。さらに、重要脳神経や重要機能を司る脳（手足の動き、言語）近傍脳腫瘍摘出時には神経モニタリングを併用し画像支援ナビゲーションと共に病変部を切除する精度を高めるだけでなく安全性の向上に努めています

また和歌山県下では数少ない専門外来 2013年9月からは、「物忘れ外来」（担当：大饗医師）を開設しております。

1日平均患者数

外来 35.8名

入院 15.6名

## 【診療実績】

手術実績 70例

脳血管障害	
開頭ネッククリッピング術	5例
開頭血腫除去術	1例
定位的血腫吸引除去術	0例
脳動静脈奇形摘出術	0例
バイパス術	0例
脳室ドレナージ術	1例
外減圧術	1例
脳腫瘍	
開頭脳腫瘍摘出術	5例
経蝶形骨洞下垂体腫瘍摘出術	1例
生検術	2例
神経血管減圧術	0例
外傷	
開頭血腫除去術	1例
頭蓋形成術	1例
慢性硬膜下血腫穿頭洗浄術	34例
水頭症	
脳室腹腔シャント術	5例
腰椎くも膜下腔腹腔シャント術	0例
感染	
脳膿瘍排膿術	1例
その他	5例
血管内手術	
脳動脈瘤コイル塞栓術	2例

頰動脈ステント留置術	3例
鎖骨下動脈ステント留置術	1例
頭蓋内血管拡張術	1例
急性期血栓回収術	1例
慢性硬膜下血腫（動脈塞栓術）	1例

### 【今後の課題】

新しい手術技術の導入を行い、新規患者の獲得  
地域社会への啓蒙活動の強化

### 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <sup>かきた こうじ</sup> 垣下 浩二 補職名：筆頭部長 専門領域：脳腫瘍 脳卒中の外科治療 神経機能の外科治療	日本脳神経外科学会 / 脳神経外科専門医、指導医 日本脳卒中学会 / 脳卒中専門医、指導医 日本定位・機能神経外科学会 / 機能的定位脳手術技術認定医 日本頭痛学会 / 認定頭痛専門医
氏名： <sup>おおい よしひろ</sup> 大饗 義仁 補職名：部長 専門領域：脳腫瘍の外科治療 認知症治療	日本脳神経外科学会 / 脳神経外科専門医 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 / 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

### 業績 発表

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2021年10月	第79回日本脳神経外科学会総会	前方循環系脳主幹動脈閉に対する機械的血栓回収術後再開通後急性増悪例の検討	垣下 浩二	大饗 義仁、吉村 良	岡山市
2	2021年11月	第49回日本頭痛学会総会	頭蓋内動脈解離における頭痛と臨床症状	垣下 浩二	大饗 義仁	静岡市
3	2022年3月	第47回日本脳卒中学会学術総会	機械的血栓回収術後再開通後急性増悪例の検討	垣下 浩二	大饗 義仁、吉村 良	大阪市 (WEB併催)
4	2021年10月	和歌山脳神経疾患フォーラム	片頭痛治療のNEXT STAGE 急性期治療から予防まで	垣下 浩二		和歌山市
5	2021年10月	日本脳神経外科学会 第80回学術総会	「TIAを生じた後大脳動脈狭窄病変に対して、間接的血管吻合術を施行した症例」	大饗 義仁	垣下 浩二	横浜市
6	2022年3月	第47回日本脳卒中学会総会	「PCA領域の血流低下により脳梗塞を生じた頭蓋内狭窄病変に対して、間接的血管吻合術(EDAS)を施行した症例」	大饗 義仁	垣下 浩二	大阪市 (WEB併催)

### 講演

No	発表月	会名	演題名	発表者	開催都市
1	2021年7月	大塚製薬和歌山出張所社内研修会	MRに知ってほしいパーキンソン病の知識	垣下 浩二	橋本市
2	2022年3月	レビー小体型認知症地域WEBセミナー	「脳神経外科医が診るDLB」	大饗 義仁	堺市
3	2021年11月	令和3年度いきいきシニアリーダーカレッジ和歌山校第8回講座	「認知症を正しく知って楽しく予防」	大饗 義仁	和歌山市
4	2021年12月	大日本住友製薬社内勉強会	「脳外科からみる認知症～トレリーフの使用も含めて～」	大饗 義仁	橋本市 (WEB)

### 座長・パネリスト等

No	発表月	会名	演題名	発表者	開催都市
1	2021年9月	レビー小体型認知症地域WEBセミナー	「精神科医が診るDLB」	大饗 義仁	堺市 (WEB)



# 眼科

## 【科の概要と取り組み】

2020年7月以降、常勤医1名体制となりましたが、2021年7月にくろしお寄付講座の白井久美教授をお迎えし、2名体制で診療にあたっています。

眼科手術は主に白内障手術を行っております。近隣で手術を取り扱っている施設が少ないため、近隣の先生方にご協力いただき、術術期は当院で、術後の経過観察については診療所等という連携を推進し、手術件数を維持して待ち期間が長くならないように取り組んでいます。

## 【診療実績】

1日平均患者数

外来 37.8名

入院 2.6名

手術件数（2021年度） 計 524 件

（内訳）

白内障手術	518 件
その他の手術	6 件

COVID-19 感染症拡大の影響で、2021年5月に一時手術を停止した他、いわゆる受診控えもあり、件数が減少しました。

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：金 桂洙 補職名：部長 診療情報部長 医療安全管理部長 感染管理室長 専門領域：眼科一般 白内障	医療安全管理者
氏名：白井 久美 補職名：部長 専門領域：眼科 (2021年7月入職)	日本眼科学会 / 日本眼科学会専門医 医学博士（和歌山県立医科大学）

# 泌尿器科

## 【概要】

これまで行ってきた上部尿路結石に対する細径尿管鏡を用いた経尿道的手術（TUL）、前立腺肥大症に対する経尿道的前立腺レーザー核出術（HoLEP）や膀胱がんに対する経尿道的膀胱腫瘍切除術（TUR - Bt）、女性泌尿器科疾患に対する手術も安定して行っています。加えて、上部尿路がん（腎盂がんや尿管がん）や腎がんなどの泌尿器科悪性腫瘍に対する腹腔鏡手術も積極的に実施するようになり、別記の通り一定の症例数を重ね、安定した手術成績を示しております。2017年1月に腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術の施設認定を獲得し、限局性前立腺がんに対する腹腔鏡下手術も継続実施しております。2018年1月からは難治性の過活動膀胱に対する仙骨神経刺激療法（SNM）についても施設認定を受けました。2020年度からは、難治性過活動膀胱に対するボツリヌストキシン膀胱壁注入療法も取り入れ症例を重ねつつあります。

これまでどおり、患者さんの生活の質（QOL）を重視しつつ診療に取り組みたいと考えております。

## ●診療内容

次のような泌尿器科疾患を対象としています。

- ① 泌尿器科悪性腫瘍（腎がん、腎盂がん、尿管がん、膀胱がん、前立腺がん、精巣腫瘍など）
- ② 排尿障害（前立腺肥大症、神経因性膀胱など）
- ③ 尿路結石（膀胱結石、腎結石、尿管結石など）
- ④ 尿路性器感染症（膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎、性感染症など）
- ⑤ 小児泌尿器科（停留精巣、包茎など）
- ⑥ 性機能障害（ED、男性更年期など）
- ⑦ 女性泌尿器科（尿失禁、性器脱など）

## 【診療実績】

1日平均患者数

外来 59.8名

入院 8.2名

手術日は火曜日、木曜日、金曜日の午後です。主に火曜日に全身麻酔手術を予定しております。手術実績に関しては1月から12月のものを掲載いたします。

手術名	2018年	2019年	2020年	2021年
副腎摘除術（鏡視下）	3 (3)	1 (1)	4 (4)	1 (1)
根治的腎摘除術（鏡視下）	1 (1)	9 (9)	3 (3)	3 (3)
単純腎摘除術	1	0	0	1 (1)
腎部分切除術	1 (1)	1 (1)	4 (4)	6 (5)
腎尿管全摘膀胱部分切除術（鏡視下）	5 (5)	11 (11)	4 (4)	4 (4)
経尿道的尿管碎石術（TUL）	72	69	84	86
腹腔鏡下腎盂形成術	3 (2)	1 (1)	0	0
膀胱全摘除術（開腹）	2	1	1	1
回腸（結腸）導管造設術	1	0	1	1
経尿道的膀胱腫瘍切除術	49	59	42	65
尿失禁手術（TVT、TOT）	9	11	3	6
高位精巣摘出術	3	2	1	3
経尿道的前立腺レーザー核出術	83	73	54	74
前立腺全摘除術（鏡視下）	6 (6)	13 (12)	15 (14)	23 (22)
膀胱碎石術	12	3	7	5
陰嚢内小手術	7	10	8	7
ボツリヌストキシン膀胱壁注入療法	0	0	14	26
その他手術	6	22	34	30
合計	264	286	279	342

（ ）内は腹腔鏡下手術件数

### 【取り組みや今後の展望、その他一言】

常に患者さんに寄り添い、生活の質をできる限り損なわないできるだけ低侵襲な治療を考えながら診療を進めていきたいと考えております。地域医療に少しでも貢献できるよう努力いたします。

### 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <sup>いながき たけし</sup> 稲垣 武 補職名：筆頭部長 専門領域：泌尿器一般 悪性腫瘍 腹腔鏡手術	日本泌尿器科学会 / 泌尿器科専門医、指導医 日本泌尿器科内視鏡学会 / 泌尿器腹腔鏡技術認定医 医学博士
氏名： <sup>ひらばやし やすを</sup> 平林 康男 補職名：部長 専門領域：泌尿器一般 尿路結石 尿失禁 前立腺肥大症 下部尿路機能	日本泌尿器科学会 / 泌尿器科専門医、指導医 日本性感染症学会 / 日本性感染症学会認定医 医学博士
氏名： <sup>ぼく そんいる</sup> 朴 聖一 専門領域：泌尿器一般	

# 麻酔科

## 【概要】

スタッフは常勤1名と非常勤が週4日各1名です。

麻酔科が担当する麻酔症例は全身麻酔が中心で、硬膜外麻酔、脊椎麻酔も行っています。当院は外科系診療科が多く、症例も一般的な手術は殆ど行っているため、麻酔症例の偏りはありません。

全身麻酔は、レミフェンタニルを併用した吸入麻酔、静脈麻酔で行っており、症例によっては硬膜外麻酔を併用しています。

## 【診療実績】

2021年度の総手術件数は2387症例、そのうち麻酔科が管理した症例は901症例、全身麻酔症例は807症例です。

## 【取り組み・今後の展望】

患者の高齢化、ハイリスク患者の増加、手術の複雑化に伴い、麻酔科の必要性はますます増加しています。また、日本医療機能評価認定や施設認定規準等にも麻酔科は必須項目になってきています。

今後とも、麻酔科の必要性が増し、その地位、待遇の改善が進むと見込まれます。

麻酔科関係の新しい薬剤や機器が日々開発され、麻酔の安全性は飛躍的に向上しています。麻酔の進歩に遅れることなく、それらの新しい薬剤、機器、知識を速やかに取り入れ麻酔の安全性の向上に努めていきます。

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>にしうら のりひろ</small> 西浦 徳裕 補職名：部長 専門領域：麻酔科領域全般	日本麻酔科学会 / 麻酔科専門医

# 放射線科

## 【科の概要と取り組み】

スタッフは、2004年10月に当院で放射線科開設以来、一人体制(放射線科専門医)で画像診断、アンギオ撮影、TAE、動注などのIVR、放射線治療などを行っていましたが、2020年4月より大西先生を迎え、2人体制となりました。

画像診断は、X線、CT、MRI、RI、血管造影検査などによって、得られた画像を読影して、病気の診断をします。2人体制になったため、読影量は増加し、CT、MRIの約8割強を読影しています。

血管造影では、診断だけでなく、肺、肝、腎、膀胱、子宮などの臓器に対して、塞栓術(ジェルパート、コイルなど)、抗がん剤の動注なども行っています。

放射線治療は、新病院移転に伴い、2005年1月より稼動し、2006年は70名、その後徐々に治療患者数が増加し、2009年に当院では初めて100件を超え、8年連続で100件を越えていましたが、今年は超えませんでした(放射線治療患者数の計算は1月～12月で計算)。

部位は、頭部、肺、肝、子宮、前立腺など多岐にわたっています。CTシミュレーターのため、照射部位がしぼれ、周囲の照射による副作用を軽減でき、しいては、照射線量を増加させることができます。

放射線治療、アンギオ治療はがん診療連携拠点病院には欠かせない治療です。末期治療、疼痛緩和治療としても放射線治療は必要です。

5年前より前立腺がんの治療薬であるゾーフィゴが当院でも使用可能になりました。これは、核医学製剤としては2番目の治療薬であり、骨転移のある患者さんに対して効果が期待出来ます。一ヶ月に一回を6度、6ヶ月かかります。患者さんの疼痛緩和、QOLの意味からも有用な薬剤となることが期待されています。

## 【診療実績】

1日平均患者数

外来 9.8名

入院 1名

画像診断 (CT、MRI、RI等)	約 16,300 件
検診の画像診断 (胸部単純、胃透視)	約 2,450 件
アンギオ	5 件
放射線治療	70 件、80 部位

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>つのい かずゆき</small> 角井 一之 補職名：部長 専門領域：放射線科	日本医学放射線学会 / 放射線科専門医 (同上) / 放射線科研修指導医
氏名： <small>おおにし さえこ</small> 大西 佐江子 専門領域：放射線科	日本医学放射線学会 / 放射線科専門医

# 歯科口腔外科

## 【概要】

### (1) 科の紹介（特徴）・取り組み等

2019年4月から、常勤医2名（和歌山医科大学・口腔外科学教室）、歯科衛生士3名、歯科技工士1名、火曜日のみ非常勤医+1名（隔週）で診療を行っています。

地域の歯科医師会ならびに医師会と病診連携をとりながら、病院歯科口腔外科としての特徴を最大限に活かして外来診療・入院治療を行えるように取り組んでおります。

なお2021年10月より日本口腔外科学会の「研修施設」の認定を受けています。

### (2) 診察内容

口腔外科として診療対象は一般の歯科医院では対応困難な埋伏歯や顎口腔領域の炎症、顎骨の骨折や歯の脱臼などの外傷、嚢胞、腫瘍、顎変形症、先天異常、口腔粘膜疾患、唾液腺疾患と多岐にわたります。また、ウイルス感染症による口内炎や神経性疾患などの口腔内科的な診断・診療も範疇となります。多様な基礎疾患をもつ患者様に対しても、各科と協力しながら身体機能の早期回復を目指して治療に取り組んでおり、睡眠時無呼吸症候群の治療の一環として口腔内装具の作成なども行っています。

また病院歯科として口腔機能の維持・改善を行うことにより早期の経口摂取の開始、誤嚥性肺炎の防止などにつとめ、1日も早い回復を目指した口腔ケアにも積極的に取り組んでいます。近年、オーラルマネージメントの重要性が取り上げられており、当院でも栄養サポートチーム（NST）、呼吸サポートチーム（RST）、摂食嚥下リハビリチーム、緩和ケアサポートチームに参加しております。また糖尿病の教育入院の一環として口腔衛生指導にも取り組んでいます。

なお、地域の歯科医師会との病診連携を明確にしているため、循環器疾患や脳血管障害、糖尿病などの有病者の方の抜歯などは当科で担当し、その後の一般歯科治療は紹介元の歯科医院に逆紹介させていただいています。

## 【診療実績】

1日平均患者数

外来 22.7名

入院 2.9名

### 外来初診件数 1,032件

外傷（骨折：16件、歯の外傷16件、軟組織創傷33件）

炎症（膿瘍23件、顎骨炎28件、上顎洞炎19件、インプラント周囲炎2件）

睡眠時無呼吸症候群11件

口腔粘膜疾患（口腔乾燥症49件、白板症6件、扁平苔癬17件、ウイルス性疾患2件、

その他の口腔粘膜疾患99件）

嚢胞（歯原性嚢胞32件、非歯原性嚢胞1件、軟組織嚢胞11件）

良性腫瘍および腫瘍類似疾患（歯原性腫瘍2件、非歯原性腫瘍8件、腫瘍類似疾患38件）

歯科心身症42件

顎関節疾患（顎関節症59件、顎関節脱臼6件）

神経性疾患（神経麻痺2件、その他の神経疾患0件）

唾液腺疾患（唾液腺炎7件、唾石症9件、唾液腺腫瘍2件）

悪性腫瘍（癌腫9件、その他1件）

歯（P/Perなど218件、Perico/埋伏歯/位置異常256件）

先天異常・発育異常6件

### 入院手術件数137件

歯・歯槽外科手術（智歯抜歯術38件、智歯以外の抜歯術33件、歯根端切除術3件、その他の手術3件）

補綴前外科手術・顎堤形成手術（骨隆起形成術1件、その他の手術2件）

インプラント摘出術 1 件

消炎手術（膿瘍切開術 5 件、顎骨骨髓炎消炎手術 1 件、腐骨除去術 9 件）

良性腫瘍・嚢胞・腫瘤形成性疾患等の手術（顎骨腫瘍切除術 2 件、顎骨嚢胞摘出・開窓術 13 件）

唾液腺関連手術（唾石摘出術 2 件、唾液腺良性腫瘍手術 1 件、唾液腺悪性腫瘍手術 1 件）

口腔上顎洞瘻閉鎖術 1 件

顎顔面外傷手術 / 異物除去手術（上顎骨骨折 1 件、下顎骨骨折手術 1 件、関節突起骨折手術 1 件、  
頬骨・頬骨弓骨折手術 4 件、異物除去術 2 件、その他の手術 1 件）

癌 / 前癌病変関連手術（舌部分切除術 4 件、頬粘膜・口底切除術 4 件、上顎部分切除術 1 件、  
下顎辺縁切除術 1 件）

再建外科手術（人工材料を用いた顎骨再建術 1 件）

## 【今後の課題】

高齢化社会による疾病構造の変化とともに有病者率は年々増加傾向にあります。それにあわせ抗凝固・抗血小板療法や免疫抑制剤の使用、ビスフォスフォネート製剤による顎骨壊死のリスクなど、歯科治療に際して注意を要する対象も増加しています。今後は更に安心・安全な医療の提供が求められるようになり、悪性腫瘍の手術や放射線・化学療法における周術期の口腔ケアなど、病院歯科としての口腔外科のニーズはますます高まってきています。また、地域における中核病院の歯科口腔外科として、医科・歯科の病診連携がよりスムーズになるように頑張りますので、今後とも宜しくお願い致します。

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：田中 章夫 <small>たなか あきお</small> 補職名：部長 専門領域：口腔外科全般	日本口腔外科学会 / 口腔外科専門医、指導医 日本がん治療認定医機構 / がん治療認定医（歯科口腔外科） 日本口腔ケア学会 / 口腔ケア認定 4 級 AHA BLS インストラクター 歯科医師臨床研修指導医
氏名：家田 晋輔 <small>いえだ しんすけ</small> 補職名：副医長 専門領域：口腔外科全般	日本口腔外科学会 / 口腔外科認定医

## 業績

### 論文・雑誌掲載

No	採択月	著書名	題名	筆頭著者	共著者
1	2021年 8 月	日本口腔外科学会雑誌 67 巻 8 号 P468 ~ P472	HTLV-1 キャリアの頬部に初発症状を示した濾胞性リンパ腫の 1 例	家田 晋輔	田中 章夫、上田 眞道、岡本 健二郎、鈴木 滋、東條 格



# 皮膚科

## 【概要】

皮膚科は2009年より常勤体制となり、現在も常勤医師1名、応援医師数名交代制で主に外来を中心に診療を行っています。周辺に皮膚科専門の開業医の数が少ないため、common skin diseases 中心ですが、原因究明のため血液検査やDLST検査、金属パッチテストなどの貼付試験、皮内反応などを可能な限り行っています。病理組織学的検査により診断精度の上がることを期待できる症例に関しては、積極的に皮膚生検検査や外来で行える範囲での小切除も行っています。

2012年11月より紫外線治療機器が導入となり、尋常性乾癬や菌状息肉症などの皮膚疾患に対して光線療法を行えるようになりました。

また、他科と連携し褥瘡をはじめ入院中の皮膚疾患に対しても積極的にかかわり治療に携わっています。入院加療が必要な場合（熱傷、帯状疱疹、薬疹など）は入院による加療も行っています。

## 【診療実績】

1日平均患者数

外来 21.1名

入院 0.8名

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：服部 舞子 補職名：医長 専門領域：皮膚科一般	日本皮膚科学会 / 皮膚科専門医



# 病理診断科

## 【科の概要と取り組み】

日本病理学会研修登録施設となっており、和歌山県内でも数少ない病理専門医が常勤する病理診断科です。担当職員は常勤病理専門医1名、非常勤病理専門医1名、臨床検査技師3名（うち細胞検査士は2名）です。生検および手術検体の病理組織診断、細胞診断、および病理解剖を担当しています。

## 【診療実績】

組織件数：2,364件、 ブロック数：9,354個  
HE染色標本枚数：9,354枚、 特殊染色標本枚数：304枚、 免疫染色標本枚数：1,886枚  
細胞診件数：4,895件、 プレパラート枚数：9,504枚  
迅速組織診件数： 34件、 迅速細胞診件数：10件  
剖検件数：1件  
臨床との症例検討：適時  
外科-病理症例検討会（毎週金曜日8時30分より）35回  
CPC 1回

## CPC 症例

- ・2021年12月21日  
亜急性腎障害に急性重症呼吸不全を呈した70歳代女性の1症例  
主治医 総合内科 平山陽士、岡部友香  
研修医 清水雄平、横山陽香、阪本博貴、山田弦太  
病理医 木村雅友

## 研修医受け入れ

- 2021年9月 清水雄平
- 2021年10月 横山陽香
- 2021年12月 土山実可子（和歌山県立医大）

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：木村 雅友 補職名：部長 専門領域：病理診断 (2021年4月入職)	日本病理学会 / 病理専門医 日本臨床細胞学会 / 細胞診専門医

## 業績

### 論文・雑誌掲載

No	採択月	著書名	題名	筆頭著者	共著者
1	2021年4月	Science Report 29: 11: 9242	Clinicopathological analysis of hepatic immune-related adverse events in comparison with autoimmune hepatitis and graft-versus host disease.	Hagiwara S.	Kimura M. et al
2	2021年7月	Frontiers in Medicine 19: 8: 678268	Case report: regulatory Tcell-independent induction of remission in a patient with collagenous colitis	Honjo H.	Kimura M. et al

## 座長・パネリスト等

No	発表月	会名	演題名		開催都市
1	2021年10月	第65回日本医真菌学会総会・学術集会	一般演題 臨床2（座長）	木村 雅友	東京都

# 循環器内科

## 【概要】

心臓疾患（心不全、狭心症、心筋梗塞、不整脈、心臓弁膜症、心筋症など）を中心に、大動脈、肺動脈、末梢動脈などの血管に関わる疾患、高血圧症を専門に扱う科です。具体的には息切れ、胸・背中の痛みや圧迫感、動悸や脈の乱れ、歩行時の下肢の痛みなどの症状を有する方や、健康診断で心電図異常や高血圧、脂質異常症を指摘された方が受診されます。また、むくみの原因がわからない方や眼前が暗くなり意識が遠のいたりする発作がある方も心臓病の可能性があります。一度、外来でのチェックをお勧めします。

心臓救急の代表的な疾患としては急性冠症候群（急性心筋梗塞、狭心症）と急性心不全が挙げられます。特に急性心筋梗塞では、発症後いかに早く再疎通療法を行うかが重要となります。当院周辺には循環器専門施設がなく、循環器救急疾患の搬送先はほぼ当院に限られます。当科では24時間体制の循環器救急医療を実施し、急性心筋梗塞症を中心とした緊急症例の受け入れを行っています。当科の業務はこのような急性期心臓疾患の管理、治療が中心となっており、入院患者の過半数を緊急入院患者が占めています。

本邦では超高齢社会を迎え、合併症を持たれた心不全患者数が増加しています。わが国の高齢者心不全の予後を見た研究では、80歳以上の心不全患者の再入院率は1年で約30%です。その意味で、高齢者心不全においては、症状緩和と再入院予防を行い、その人らしいQOLの維持が治療目標となります。心不全の治療に関しては、急性期の治療のみならず長期の予後、疾患管理も含めた診療を行うため、各診療科との連携に加え、看護部・検査科・臨床工学科・薬剤部・栄養科やソーシャルワーカーなどの多職種による包括的な診療をチームで対応するように心掛けています。

これからも、さらに精力的に高度・先進医療を提供することで地域の医療者の方々から信頼される循環器内科を目指していきます。

## 【診療実績】

2021年度の循環器疾患の入院患者は452人で、そのうち心不全患者は167人、急性冠症候群患者は65人でした。

1日平均患者数

外来 44.7名

入院 27.9名

### 非観血的検査

心エコー	2459件
心臓核医学（RI）検査	65件
冠動脈CT検査	149件
心臓MRI検査	13件

### 観血的検査・治療

総心臓カテーテル検査	269件
冠動脈インターベンション（PCI）	153件
末梢動脈疾患のカテーテル治療（EVT）	32件
永久ペースメーカー植え込み術 新規	15件
交換	10件

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>ほしや ひろのぶ</small> 星屋 博信 補職名：副病院長 診療部長 地域医療連携部長 部長 専門領域：循環器内科	日本内科学会 / 認定内科医 日本循環器学会 / 循環器専門医
氏名： <small>くき しんたろう</small> 九鬼 新太郎 補職名：部長 専門領域：循環器内科 (2021年10月入職)	日本内科学会 / 認定内科医 日本循環器学会 / 循環器専門医 医学博士 (和歌山県立医科大学)
氏名： <small>そうがわ ひろみち</small> 寒川 浩道 補職名：医長 専門領域：総合診療 心血管カテーテル治療 構造的心疾患治療 消化器内視鏡治療 内科感染症 (2021年6月退職)	日本プライマリ・ケア連合学会 / プライマリ・ケア認定医、指導医 日本内科学会 / 認定内科医 日本心血管インターベンション治療学会 / 心血管インターベンション治療認定医、近畿支部運営委員 日本感染症学会 / インフェクションコントロールドクター (ICD 制度協議会) 日本循環器学会 / 循環器専門医 日本消化器病学会 / 消化器病専門医 日本化学療法学会 / 抗菌化学療法認定医 臨床研修指導医 浅大腿動脈ステントグラフト実施医 -BLS、ACLS プロバイザー IN.PACT DCB (薬剤溶出性バルーン) 実施研修修了 日本脳卒中学会 / 脳梗塞 rt-PA 適正使用講習会修了
氏名： <small>ますの とみぞう</small> 榊野 富造 補職名：医長 専門領域：循環器内科	日本内科学会 / 認定内科医
氏名： <small>ひきもと しげとし</small> 匹本 樹寿 補職名：副医長 専門領域：循環器内科	
氏名： <small>ひきだ りょう</small> 疋田 稜 専門領域：循環器内科 (2021年7月入職)	
氏名： <small>ひきもと なつき</small> 東本 菜月 専門領域：循環器内科 (2021年4月入職) (2021年9月退職)	

# 救急科

## 【概要】

2014年4月より専従常勤医が配置され、救急科の運営がスタートしました。従来は各科が持ち回りで担当していた時間内の救急患者を救急科で受け持ちしています。必要に応じて院内の各科専門医と連携し、引き継ぎや入院診療を円滑に行うようにしています。

当院の位置付けとしては2次救急となっておりますが、実態として当科では1次から3次まで様々な疾患に対応しており、初療の後に必要に応じて高次医療機関への搬送を行っています。また、地域のメディカルコントローラーとして、消防とのホットラインを救急科にて所持しております。

## 【診療実績】(2021年4月～2022年3月)

救急車受入数

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
救急者数	175	179	168	166	166	164	181	186	193	186	163	174	175.1

救急科受付患者数

(人)

	時間内	時間外	合計
患者数	1,059	4,903	5,962
うち入院	470	1,232	1,702

紹介患者数

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
紹介患者数	31	32	34	40	32	28	30	44	46	20	21	27	32.1

## 【取り組み・今後の展望・その他一言】

医療圏内救急搬送での応需率は約半数を占めており、橋本市のみならず医療圏内の地域貢献ができていると考えております。新型コロナウイルス感染症の流行のため控えておりますが、流行が落ち着けば、週1回の当市の救急隊がERに常駐する救急ワークステーションを再開いたします。

消防本部と定期的実施しているメディカルコントロール会議も継続的に行い、地域の中核病院としての役割を果たして行きます。今後ともいっそうの体制充実に、救急科一同努めて参ります。

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：前田 恒宏 補職名：部長 専門領域：※省略 外科参照	※省略 外科参照
氏名：小川 敦裕 補職名：副医長 専門領域：救急医学	日本内科学会 / 認定内科医 日本救急医学会 / 救急科専門医 日本集中治療医学会 / 集中治療専門医
氏名：稲田 麻衣子 専門領域：救急科 (2021年10月入職) (2022年2月退職)	

## 業績

### 発表

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2021年11月	第49回日本救急医学会総会・学術首魁	尿閉・尿路感染症で意識障害に至った肝機能正常の高アンモニウム欠症の一例	小川 敦裕	橋本 忠幸	東京

### 座長・パネリスト等

No	発表月	会名	演題名	開催都市
1	2021年11月	第49回日本救急医学会総会・学術首魁	病院前医療・救護・MC③ 座長	小川 敦裕 東京

# 健診センター

## 【概要】

健診センターは2006年4月からは常勤医1人体制で、週に3日間運営していましたが、2008年4月からは名誉院長と2人体制となり毎日の健診が可能となり、現在は事務員5名とともに健診業務を行っています。

当健診センターでは、人間ドック（一日ドック、二日ドック等）、生活習慣病健診（協会けんぽ等）、がん検診（肺がん、胃がん、大腸がん等）、脳ドック、女性検診（乳がん検診、子宮がん検診等）、その他の健診（各企業の定期健診、雇用時や入学時の健診等）、さらには職員健診も含め、様々な健診業務を、診療各科や診療技術部の協力も得ながら実施しています。

また、2008年度から特定健康診査、特定保健指導が義務付けられ、当健診センターでも当面は特定健康診査のみではありますが実施しています。

なお、2011年7月からは禁煙治療のための禁煙外来が、2週間に1回ではありますが健診センター内に開設されています。2021年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一時的に休診していたため実績はありません。

## 【診療実績】

2021年度健診センター実績（2021年4月～2022年3月）

健診受診者総数	3,481名
（内訳）	
人間ドック（一日、二日、生活習慣病健診）	800件
特定健康診査（国保、社保）	514件
がん検診（肺、胃、大腸）	1,817件
脳ドック	199件
女性検診（子宮がん、乳がん）	1,155件
その他の健診	1,004件

2021年度禁煙外来実績なし（2021年4月～2022年3月休診）

## 【取り組みや今後の展望、その他一言】

2008年度から特定健康診査が開始されていますが、2022年4月から新たに保健師が配属されることになり、今後は特定保健指導も行うことで、特に生活習慣病の早期発見、予防に取り組んでいきたいと思っています。

健診センターでは、二次予防である一般的な健康診断のほか、生活習慣の指導、啓蒙等の一次予防も行い、これら予防医学全般を通じて地域住民の健康の保持、増進に貢献出来ればと考えています。

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>たきだに ひろお</small> 瀧谷 裕緒 補職名：部長 専門領域：内科 糖尿病	日本内科学会 / 認定内科医 （同上） / 総合内科専門医 日本糖尿病学会 / 糖尿病専門医 （同上） / 糖尿病研修指導医 臨床研修指導医 日本医師会認定産業医
氏名： <small>あおき ようぞう</small> 青木 洋三 補職名：名誉院長 専門領域：※省略 外科参照	※省略 外科参照



# V 看護部紹介





## V 看護部紹介

看護部

外来

3階西病棟

3階東病棟

4階西病棟

4階東病棟

5階西病棟

5階東病棟

HCU病棟

中央手術室 / 中央材料室

## 【概要】

## ●看護職

看護部長	西 未知子
副看護部長	井上 敏江

外来	看護師長	廣西 和代
3階西病棟	看護師長	福島 治美
3階東病棟	看護師長	西林 和美
4階西病棟	看護師長	神保 昌世
4階東病棟	看護師長	船野 真樹
5階西病棟	看護師長	東本 桂
5階東病棟	看護師長	狩谷 真紀
中央手術室	看護師長	川北 ひさ
中央材料室	看護師長	川北 ひさ（兼務）
HCU	看護師長	川北 ひさ（兼務）
入退院支援室	室長	恋中 理恵

## 看護職スタッフ総数（2022年3月31日現在）

助産師	： 14人
看護師	： 206人
准看護師	： 4人
看護補助者	： 77人

## 【理念・目標】

## ●理念・基本方針・目標

## 看護部理念

私たちは、「患者の権利」を尊重し、安心、安全、安楽な看護を提供します。

## 看護部基本方針

1. 患者の生命の尊厳と人権を尊重した看護をおこないます。
2. 急性期病院の看護専門職として、常に自己研鑽を重ね、行進の育成に努めます。
3. 病床機能に応じて、それぞれの職種が専門職性を活かした看護を提供します。
4. 多職種連携に努め、地域完結型看護をめざします。

## 看護部教育理念

患者満足と安心・安全を基本とし、急性期病院の医療に対応した専門的な看護を提供できる看護職を育成する。

## 看護部教育方針

- ＋ 病院の理念、看護部の理念に基づいて、質の高い看護を提供できる看護職を育成する。
- ＋ 現任教育・新人教育・看護補助者教育・後進育成・看護研究の5つの柱とし、それぞれの立場と段階に応じた教育と教育的な援助を行う。
- ＋ 看護の専門職人として看護実践能力を高め、看護の質的向上を図ることを支援する。
- ＋ 職位、役割に応じた研修、学会などに参加する機会を提供する。

## 看護部目標

魅力ある職場づくりと選ばれる病院づくりに参画する。

2021年度 スローガン

K	K	K
気づき	考え	看護の力

1. 医療の質と安全の向上
  - 1) 情報共有を活かした安全の保障
  - 2) 実践からのリフレクションを通して新たな発見へ
  - 3) 100%の感染対策
2. 無駄・無理・ムラをなくし、働きやすい職場づくり
  - 1) 業務内容を改築して効率よい時間管理
  - 2) 教え合い、声かけ合い、皆でチーム力向上
3. 地域医療機関の信頼と満足の向上
  - 1) 入院から退院後の生活を見据えた退院支援
  - 2) 専門職として誇りをもち、誠実な態度で患者サービス

### 【取り組み】

- ・ 一貫して「考えられる看護師を育てる」ということを念頭におき、看護部委員会や研修会を通して指導を行っている
- ・ 部署の取り組みについて発表会を行いお互いに認め合う機会としている
- ・ 管理職においては、その都度OJTを行い管理能力が高められるようにしている

### 【今後の課題】

1. 管理職の能力向上
2. 自己研鑽に努める
3. 職場環境改善に取り組む

### 【実績】

別紙参照

2020年度委員会・会議参加者リスト

	部署	氏名	月日	時間	委員会名	場所
1	3西	福島 治美	4月19日(月)	10:00～17:00	第1回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
2	5西	東本 桂	4月21日(水)	14:00～16:00	令和3年度 第3回推薦委員会	和歌山県看護連盟事務所
3	手術室	川北 ひさ	4月23日(金)	13:30～17:00	第1回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
4	HCU	前垣内 真由美	5月7日(金)	13:30～16:00	第1回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護協会
5	看護管理	横芝 真紀	5月12日(水)	10:00～16:00	第1回 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター
6	5西	東本 桂	5月14日(金)	14:00～16:00	令和3年度 第4回推薦委員会	和歌山県看護連盟事務所
7	3西	福島 治美	5月17日(月)	10:00～17:00	第2回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
8	3西	福島 治美	5月18日(火)	9:00～17:00	新人看護技術研修会	和歌山県看護研修センター
9	看護管理	西 未知子	5月25日(火)	13:30～16:00	令和3年度 第1回理事会・第1回合同運営会議	和歌山県看護研修センター
10	3西	福島 治美	6月3日(木)	9:00～17:00	「新人看護職員への指導場面におけるポイント」の協力員	和歌山県看護研修センター
11	HCU	前垣内 真由美	6月4日(金)	13:30～16:00	第2回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護協会
12	手術室	川北 ひさ	6月7日(月)	9:15～17:00	「医療安全とレジリエンスエンジニアリング」の協力員	和歌山県看護研修センター
13	HCU	前垣内 真由美	6月12日(土)	10:30～15:30	令和3年度 和歌山県看護連盟通常総会	勤労福祉会館 プラザホープ
14	看護管理	西 未知子	6月17日(木)	9:30～12:30	令和3年度 認定看護管理者教育課程ファーストレベル演習支援(第1回支援)	和歌山県看護研修センター
15	看護管理	横芝 真紀	6月19日(土)	9:15～17:00	「災害看護」の協力員	和歌山県看護研修センター
16	3西	福島 治美	6月21日(月)	10:00～17:00	第3回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
17	看護管理	西 未知子	6月30日(水)	13:30～16:00	令和3年度 第2回理事会・第2回合同運営会議	和歌山県看護研修センター
18	3西	前垣内 真由美	7月2日(金)	13:30～16:00	第3回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護協会
19	3西	福島 治美	7月6日(火)	9:00～17:00	「チーム力を高めるリーダーシップ」の協力員	和歌山県看護研修センター
20	看護管理	横芝 真紀	7月7日(水)	10:00～16:00	第2回 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター
21	看護管理	西 未知子	7月7日(水)	13:30～16:30	令和3年度 認定看護管理者教育課程ファーストレベル演習支援(第2回支援)	和歌山県看護研修センター
22	3東	田中 早苗	7月9日(金)	10:00～16:00	第1回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
23	看護管理	西 未知子	7月16日(金)	9:30～12:30	令和3年度 認定看護管理者教育課程ファーストレベル演習支援(第3回支援)	和歌山県看護研修センター
24	3西	福島 治美	7月19日(月)	10:00～17:00	第4回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
25	看護管理	横芝 真紀	7月26日(月)	8:50～17:00	「災害看護Ⅰ JNA収録DVD研修 災害支援ナースの第一歩」の協力員	和歌山県看護研修センター
26	看護管理	西 未知子	7月26日(月)	14:00～15:00	伊都地区支部役員会(7月)	橋本市民病院
27	外来	廣西 和代	7月26日(月)	14:00～15:00	伊都地区支部役員会(7月)	橋本市民病院
28	看護管理	西 未知子	7月29日(木)	9:30～12:30	令和3年度 認定看護管理者教育課程ファーストレベル演習支援(計画書発表日)	和歌山県看護研修センター
29	手術室	川北 ひさ	7月30日(金)	13:30～17:00	第2回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
30	HCU	前垣内 真由美	8月6日(金)	13:30～16:00	第4回 県役員・委員会委員合同会議	各自 リモートのできる場所
31	3東	田中 早苗	8月10日(火)	10:00～16:00	第2回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
32	HCU	田中 君枝	8月11日(水)	14:00～16:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
33	看護管理	西 未知子	8月12日(木)	13:30～16:30	令和3年度 第3回理事会	和歌山県看護研修センター
34	3西	福島 治美	8月16日(月)	10:00～17:00	第5回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
35	3東	田中 早苗	8月21日(土)	9:30～16:00	第1回 助産師研修会	和歌山県看護研修センター
36	3西	福島 治美	8月27日(金)	9:00～17:00	「看護現場をいきいきさせるファシリテーション」の協力員	和歌山県看護研修センター
37	HCU	前垣内 真由美	9月3日(金)	13:30～16:00	第5回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護協会
38	3東	田中 早苗	9月4日(土)	12:30～16:30	令和3年度 「三職能合同研修会」の協力員	和歌山県看護研修センター
39	HCU	田中 君枝	9月8日(水)	14:00～16:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所

	部 署	氏 名	月 日	時 間	委員会名	場 所
40	3 東	田中 早苗	9月14日(火)	10:00～16:00	第3回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
41	看護管理	西 未知子	9月15日(水)	14:00～15:00	伊都地区支部役員会(9月)	橋本市民病院
42	外来	廣西 和代	9月15日(水)	14:00～15:00	伊都地区支部役員会(9月)	橋本市民病院
43	看護管理	西 未知子	9月28日(火)	13:30～16:30	令和3年度 第4回理事会	和歌山県看護研修センター
44	看護管理	西 未知子	9月29日(水)	15:00～17:00	伊都地区支部役員会(9月)	橋本市民病院
45	外来	廣西 和代	9月29日(水)	15:00～17:00	伊都地区支部役員会(9月)	橋本市民病院
46	HCU	前垣内 真由美	10月1日(金)	13:30～16:00	令和3年度 第6回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護協会
47	3 西	福島 治美	10月5日(火)	10:00～17:00	「第2回 潜在看護局員復職支援研修(紀北)」看護技術研修の協力員	和歌山県看護研修センター
48	看護管理	横芝 真紀	10月7日(木)	10:00～16:00	第3回 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター
49	HCU	前垣内 真由美	10月9日(土)	12:30～15:30	令和3年度 和歌山県看護協会・看護連盟合同研修会への協力員	和歌山県看護協会
50	看護管理	西 未知子	10月11日(月)	14:00～15:00	伊都地区支部 (すこやか橋本まなびの日 説明会)	県立橋本体育館
51	3 東	田中 早苗	10月12日(火)	10:00～16:00	第4回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
52	HCU	田中 君枝	10月13日(水)	14:00～16:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
53	手術室	川北 ひさ	10月15日(金)	9:15～17:00	「医療安全チームステップス」の協力員	和歌山県看護研修センター
54	看護管理	西 未知子	10月16日(土)	13:30～15:30	令和3年度 第1回施設会員代表者会	和歌山県看護研修センター
55	3 西	福島 治美	10月18日(月)	10:00～17:00	第7回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
56	看護管理	西 未知子	10月20日(水)	14:00～15:00	伊都地区支部役員会(10月)	橋本市民病院
57	外来	廣西 和代	10月20日(水)	14:00～15:00	伊都地区支部役員会(10月)	橋本市民病院
58	3 東	宮本 靖代	10月25日(月)	15:00～16:30	第1回 推薦委員会	和歌山県看護研修センター
59	手術室	川北 ひさ	10月29日(金)	9:30～17:00	第3回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
60	HCU	前垣内 真由美	11月5日(金)	13:30～16:00	令和3年度 第7回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護協会
61	3 東	田中 早苗	11月9日(火)	10:00～16:00	第5回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
62	HCU	田中 君枝	11月10日(水)	14:00～16:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
63	3 東	田中 早苗	11月13日(土)	9:00～12:00	助産師職能集会	和歌山県看護研修センター
64	3 東	田中 早苗	11月13日(土)	13:00～15:00	産科管理者交流会	和歌山県看護研修センター
65	外来	廣西 和代	11月14日(日)	8:30～14:00	令和3年度 「すこやか橋本まなびの日」の協力員	和歌山県立橋本体育館
66	3 西	福島 治美	11月22日(月)	10:00～17:00	第8回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
67	看護管理	横芝 真紀	11月29日(月)	9:15～17:00	「災害フォローアップ研修」の協力員	和歌山県看護研修センター
68	看護管理	西 未知子	12月2日(木)	14:00～15:00	伊都地区支部役員会(12月)	橋本市民病院
69	外来	廣西 和代	12月2日(木)	14:00～15:00	伊都地区支部役員会(12月)	橋本市民病院
70	HCU	前垣内 真由美	12月3日(金)	13:30～16:00	令和3年度 第8回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護協会
71	看護管理	横芝 真紀	12月6日(月)	10:00～16:00	第4回 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター
72	看護管理	西 未知子	12月6日(月)	13:30～16:30	令和3年度 第5回理事会	和歌山県看護研修センター
73	HCU	田中 君枝	12月8日(水)	14:00～16:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
74	手術室	川北 ひさ	12月10日(金)	8:45～17:00	「日本看護協会医療安全管理者養成研修」の演習支援者	和歌山県看護研修センター
75	3 東	田中 早苗	12月11日(土)	10:00～13:00	近畿地区助産師職能合同研修会	和歌山県看護研修センター
76	3 東	田中 早苗	12月14日(火)	10:00～16:00	第6回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
77	3 西	福島 治美	12月16日(木)	9:00～17:00	「看護職に求められる社会人基礎力とは」の協力員	和歌山県看護研修センター
78	3 西	福島 治美	12月20日(月)	10:00～17:00	第9回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
79	3 東	田中 早苗	2022年 1月11日(火)	10:00～16:00	第7回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
80	看護管理	横芝 真紀	1月12日(水)	10:00～16:00	臨時 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター

	部 署	氏 名	月 日	時 間	委員会名	場 所
81	HCU	田中 君枝	1月12日(水)	14:00～16:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
82	HCU	前垣内 真由美	1月14日(金)	13:30～16:00	令和3年度 第9回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護協会
83	看護管理	横芝 真紀	1月21日(金)	10:00～16:00	第5回 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター
84	3 東	宮本 靖代	2月7日(月)	15:00～16:30	第2回 推薦委員会	和歌山県看護研修センター
85	3 東	田中 早苗	2月8日(火)	10:00～16:00	第8回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
86	手術室	川北 ひさ	2月18日(金)	13:30～17:00	第5回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
87	3 東	田中 早苗	2月19日(土)	9:30～12:00	第2回 助産師研修会	和歌山県看護研修センター
88	看護管理	横芝 真紀	2月21日(月)	10:00～16:00	第6回 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター
89	看護管理	西 未知子	3月7日(月)	13:30～16:30	令和3年度 第6回 回理事會	和歌山県看護研修センター
90	3 東	田中 早苗	3月8日(火)	10:00～16:00	第9回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
91	3 西	福島 治美	3月14日(月)	10:00～17:00	第12回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
92	5 西	東本 桂	3月14日(月)	14:00～16:00	令和3年度 第2回推薦委員会	和歌山県看護連盟事務所
93	HCU	田中 君枝	3月16日(水)	14:00～16:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
94	手術室	川北 ひさ	3月18日(金)	13:30～17:00	第6回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
95	看護管理	西 未知子	3月23日(水)	14:00～17:00	伊都地区支部役員会 (3月)	橋本市民病院
96	看護管理	西 未知子	3月24日(木)	14:00～16:00	令和3年度 「伊都地区支部施設会員代表者会議」	橋本市民病院
97	外来	廣西 和代	3月24日(木)	14:00～16:00	令和3年度 「伊都地区支部施設会員代表者会議」	橋本市民病院

2021年度 新人看護師研修（ラダーⅠ）

【院内・院外】

	月 日	研修内容	参加人数
1	4月1日・4月2日 4月5日～4月9日	新採用職員オリエンテーション	16名
2	4月14日	新人看護師技術研修	16名
3	4月21日・4月30日		17名
4	5月26日	「医療安全（KYT）」研修	18名
5	6月9日	「看護倫理」研修	18名
6	7月17日	【院外研修】 和歌山県看護協会主催 新人を育成する教育 「もう悩まない！深める倫理、使えるコミュニケーションスキル」研修	17名
7	7月28日	「褥瘡管理」研修	18名
8	8月25日	「フィジカルアセスメント」研修	18名
9	9月8日	「輸血管理」研修	18名
10	9月16日	【院外研修】 橋本應其寺体験研修 《写経》	18名
11	10月5日	【WEB研修】 和歌山県看護協会主催 新人を育成する教育 「新人ナースのためのフィジカルアセスメント～事例から学ぶフィジカルアセスメント～」研修	17名
12	10月13日	「急変対応」研修	18名
13	11月10日	「エンゼルケア」研修	18名
14	11月24日	「緩和ケア」研修	18名
15	12月8日	「糖尿病看護」研修	17名
16	12月15日	【院外研修】 和歌山県看護協会主催 新人を育成する教育 「新人のための医療安全」研修	17名
17	12月22日	「麻薬管理」研修	19名
18	2022年1月12日	「ナラティブ」研修	16名
19	2022年2月05日	【WEB研修】 和歌山県看護協会主催 「和歌山県看護研究学会」	16名

院外研修

2021年度 ラダーⅡ研修

	月 日	研修名	参加人数
1	5月13日	「メンバーシップ」研修	10名
2	6月4日	「ケーススタディ」研修	10名
3	7月2日	「医療安全（KYT）」研修	10名
4	9月3日	「看護倫理」研修	7名
5	10月1日	「フィジカルアセスメント」研修	7名
6	11月～12月	「部署別ローテーション」研修	7名
7	12月3日	「ケーススタディ 《成果発表》」研修	6名

2021年度 ラダーⅢ研修

	月 日	研修名	参加人数
1	2022年2月24日	「リーダーシップ 《華道》」研修	10名

2021年度 看護補助者研修

	月 日	研修名	参加職種	参加人数	講 師
1	7月16日・7月30日	「感染対策」研修	ケアワーカー (外来・病棟)	38名	感染管理認定看護師 栢田 美加子
2	8月5日・8月20日	「医療安全」研修		34名	医療安全管理者 近藤 史子
3	9月17日・9月24日	「車イス移乗」研修		38名	平家 智子・木村 友有子
4	10月14日・10月22日 10月29日	「ストレッチャー移乗・移送」研修	ケアワーカー (病棟)	40名	山本 陽子・岡本 麻里
5	11月5日・11月11日	「寝衣交換」研修	ケアワーカー (病棟)	17名	宮本 靖代・中岡 明子
6	12月9日・12月10日	「オムツ交換」研修		21名	市村 智子・山口 カスミ



2021年度 院外研修参加リスト

月	研修名	主催	人数
1	4月 2021年度 和歌山県看護教育機関連絡協議会 第19回総会および研修会 4/24 (土)	和歌山県看護教育機関連絡協議会 / 和歌山看護専門学校	9
2	[45] 医療安全とレジリエンスエンジニアリング 6/7 (月)	公益社団法人和歌山県看護協会	2
3	[長期研修] 【43】 認定看護管理者教育課程 ファーストレベル 6/11 (金) 開講式～7/29 (木) 閉講式 * 全日程 21日間	公益社団法人和歌山県看護協会	1
4	6月 [長期研修] 【41】 (県受託事業) 令和3年度和歌山県保健師助産師看護師実習指導者講習会 6月16日(水) 開講式 ～ 8月6日(金) *土・日・祝を除く30日間	公益社団法人和歌山県看護協会	2
5	新型コロナウイルス感染症 WEB 講演会「新型コロナウイルスの変異株、ワクチンの作用機序、効果と安全性」 6/24 (木)	和歌山県福祉保健部健康局健康推進課	1
6	令和3年度 公益社団法人和歌山県看護協会 通常総会 6/26 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会	1
7	7月 【36】 明日からの看護管理に自信をつけよう!! ～これからを担う看護管理者の皆さん必見～ 7/3 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会	1
8	【新人研修】 【3】 もう悩まない! 深める倫理、使えるコミュニケーションスキル 7/17 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会	17
9	【38】 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 (DVD 視聴) 7/31 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会	2
10	令和3年度 第1回 脳卒中地域連携バス情報交流会 7/31 (土)	和歌山県立医科大学附属病院	1
11	《オンラインセミナー》 '21 「重症度、医療・看護必要度」評価者及び院内指導者研修 《配信期間》 8/1 (日)～8/31 (火)	一般社団法人日本臨床看護マネジメント学会 ヴェクソンインターナショナル株式会社	17
12	8月 【職-4】 令和3年度 第1回 助産師研修会 テーマ 「分娩期の胎児心拍数陣痛図 (CTG) に関する研修」 8/21 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会 助産師職能委員会	4
13	【職-4】 令和3年度 第1回 助産師研修会 テーマ 「フィジカルアセスメント : 新生児」 8/21 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会 助産師職能委員会	3
14	令和3年度 (第2回) 和歌山県看護協会・和歌山県看護連盟合同研修会 8/28 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会 / 和歌山県看護連盟	2
15	【職-7】 令和3年度 看護師職能委員会 I・II 合同研修会 テーマ 「病院と地域をつなぐ看・看連携」 9/4 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会 / 看護師職能委員会 I・II	3
16	【職-1】 令和3年度 「保健師・助産師・看護師職能合同研修会」 9/4 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会 / 職能委員会	1
17	9月 [長期研修] 2021年度 地域ケアスキル・トレーニングプログラム 7/30 (金) オリエンテーション・8/9 (月)～10/31 (日) eラーニングを用いた学修	自治医学大学 看護学部 地域ケア実践開発事業事務局	1
18	【57】 令和3年度 認定看護師フォローアップ研修会 9/20 (月)	公益社団法人和歌山県看護協会	3
19	【19】 誰もが関わる! 糖尿病の理解と看護 (基礎編) 9/21 (火)	公益社団法人和歌山県看護協会	1
20	自治体病院経営幹部必聴! 地域医療の未来を考える オンラインセミナー 2021 《配信期間》 9/27 (月)～2022/1/7 (金)	公益社団法人 全国自治体病院協議会	1
21	【新人研修】 《WEB研修》【4】 新人ナースのためのフィジカルアセスメント ～事例から学ぶフィジカルアセスメント～ 10/5 (火)	公益社団法人和歌山県看護協会	17
22	10月 令和3年度 (第3回) 和歌山県看護協会・和歌山県看護連盟合同研修会 10/9 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会 / 和歌山県看護連盟	9
23	自治体病院経営幹部必聴! 成功事例から学ぶ経営改善ノウハウ オンラインセミナー 《配信期間》 10/18 (月)～2022/1/17 (月)	公益社団法人 全国自治体病院協議会	1
24	【54-1】 (和歌山県委託事業)《紀北》 令和3年度 看護職員認知症対応力向上研修 11/2 (火)・11/9 (火)・12/14 (火)	公益社団法人和歌山県看護協会	1
25	《オンデマンド配信》 和歌山県立医科大学附属病院 専門看護師・認定看護師学習会 《配信期間》 11/1 (月)～11/30 (火)	和歌山県立医科大学 看護キャリア開発センター	1
26	【26】 糖尿病患者指導のポイント (応用編) 11/8 (月)	公益社団法人和歌山県看護協会	1
27	第50回 機能強化検討ワークショップ 11/8 (月)	NEC MegaOakHR-is ユーザーフォーラム	1
28	11月 【職-5】 令和3年度 助産師職能集会 テーマ 「妊娠期から育児期までの切れ目のない多職種連携を考える」 ～香川県における母子支援の取り組み～ 11/13 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会 助産師職能委員会	2
29	【職-11】 令和3年度 看護師職能委員会 II・和歌山県訪問看護ステーション連絡協議会合同研修会 テーマ 「LIFE～病気と共に生きる～」 11/20 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会 / 看護師職能委員会 II	1
30	第26回 和歌山県病院協会学術大会 11/23 (火・祝)	公益社団法人和歌山県病院協会	8
31	《オンラインセミナー》 認知症看護認定看護師から学ぶ 認知症の方との接し方～7つの症例から考える適切な排泄ケアと多職種連携～ 11/30 (火)	Livedo	4
32	医療安全管理者養成研修 12/10 (金)	公益社団法人和歌山県看護協会	1
33	【新人研修】 【5】 新人のための医療安全 12/15 (水)	公益社団法人和歌山県看護協会	17
34	12月 令和3年度 近畿地方 DMAT ブロック訓練 12/18 (土)	和歌山県福祉保健部健康局医務課長	3
35	2021年度 和歌山県看護教育機関連絡協議会 第20回研修会 12/18 (土)	和歌山県看護教育機関連絡協議会 / 和歌山看護専門学校	2
36	2022年1月 令和3年度 病院協会新春研修会 2022/1/8 (土)	公益社団法人和歌山県病院協会	1
37	2月 《WEB研修》【49】 和歌山県看護研究会 2022/2/5 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会	17
38	3月 《動画配信》 認知症ケアオンラインセミナー 《配信期間》 2022/3/4 (金)～5/31 (火)	公益社団法人全国自治体病院協議会	2
研修参加者合計			162

- 新人看護師の研修
- 長期研修



2021 年度 学会発表

	学会名	主 催	月 日	演 題	発表者	共同演者
1	【WEB開催】 第35回日本手術看護学会 年次大会	日本手術看護学会	10月16日(土)	災害シミュレーション訓練を通して見えた結果と課題 -携帯可能なポケットサイズのアクションカードの導入-	古垣 秀治	川北 ひさ
2	第29回 日本がんチーム医療研究会 テーマ: チームで取り組む、サポータティブケア	日本がんチーム医療研究会/ NPO 法人 堺臨床研究支援センター	2022年2月11日(金) 9:00~17:00	免疫チェックポイント阻害薬により発症した副腎不全に対する介入の課題	米本 加奈子	沖 鮎美 横芝 真紀 宮本 賢典 駿田 直俊 中村 公紀

2021 年度 施設見学

	イベント名	主 催	月 日	参加者
1	NEC 電子カルテシステム視察のため	茅ヶ崎市立病院	12月17日(金)	川北 ひさ・ 戸川 千佳

2021 年度 講師派遣

	担当科目・単元	主 催	月 日	総時間数 (回数)	場 所	講師名
1	成人看護活動論Ⅳ (脳・神経機能障害のある患者の看護)	和歌山県立高等看護学院 看護学科一部2年	(1) 6月25日(金) 10:40~12:10 (2) 7月2日(金) 13:00~16:10 (3) 7月8日(木) 9:00~12:10	10 (4)	和歌山県立高等看護学院	山本 奈保美
2	成人看護活動論Ⅱ (循環機能障害をもつ人の看護)		(1) 5月7日(金) 9:00~12:10 (2) 5月14日(金) 9:00~12:10 (3) 5月21日(金) 9:00~10:30	10 (4)		神谷 好美
3	母性看護活動論Ⅱ (妊娠・分娩・産褥・新生児の異常時の看護)		(1) 11月19日(金) 半日 (2) 12月3日(金) 半日 (3) 12月10日(金) 半日	10 (4)		東 季映
4	臨床看護実務Ⅱ (災害看護)	和歌山県立高等看護学院 看護学科一部3年	10月14日(木) 9:00~12:10 試験予定: 12月16日(木)	4 (4)		天野 健一
5	統合分野 看護の統合と実践Ⅱ (医療安全)	学校法人平成医療学園 和歌山看護専門学校3年	① 4月26日(月) 3限 ② 5月6日(木) 2限 ③ 5月21日(金) 3限 ④ 5月31日(月) 3限 ⑤ 6月14日(月) 3限 ⑥ 6月21日(月) 3限 ⑦ 6月28日(月) 3限 * 2限 11:00~12:30 3限 13:30~15:00	15 時間 (7 回)	学校法人平成医療学園 和歌山看護専門学校	川北 ひさ

	項 目	主 催	月 日	場 所	講 師
1	日本感染管理ベストプラクティス "Saizen" 研究会 第15回セミナー	日本感染管理ベストプラクティス "Saizen" 研究会	4月17日(土) 9:30~16:40	会場及び Web 開催	神保 昌世
2	救急研修会 (分娩介助)	橋本市消防本部	9月6日(月) 半日	橋本市消防本部	田中 早苗
			9月7日(火) 半日		高水 佳代
3	第152回 中材業務及び感染対策研究会	中材業務及び感染対策研究会	10月3日(日) 10:00~16:00	ドーンセンター ホール(7F)	神保 昌世
4	令和3年度「第2回潜在看護職員復職支援研修(紀北)」講師派遣依頼	公益社団法人和歌山県看護協会	10月5日(火) 10:30~12:00	公益社団法人和歌山県看護協会	栢田 美加子
5	「急変を見逃さないフィジカルアセスメント(応用編)」講師派遣依頼	公益社団法人和歌山県看護協会	10月26日(火) 10:00~16:00	和歌山県看護研修センター	池田 景子
6	高齢者施設等における 感染防止対策研修に係る 協力依頼 * 1施設あたり2時間程度	和歌山県福祉保健部長寿社会課	11月11日(木)	養護老人ホーム 国城寮	神保 昌世
			11月16日(火)	特別養護老人ホーム ひかり苑	
			11月16日(火)	特別養護老人ホーム 天佳苑	
			11月26日(金)	特別養護老人ホーム やまぼうし	

2021年度 認定・その他学会資格取得者 / 研修修了一覧

	資格・研修修了	主催	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31-R1年度)	2020年度 (R2年度)	2021年度 (R3年度)
1	認定看護管理者ファーストレベル	公益社団法人 和歌山県看護協会・大阪府看護協会	23名	23名	26名	26名	24名
2	認定看護管理者セカンドレベル	公益社団法人 和歌山県看護協会・奈良県看護協会 / 学校法人 藍野大学 キャリア開発・研究センター	9名	11名	11名	11名	10名
3	認定看護管理者サードレベル	公益社団法人 大阪府看護協会		1名	1名	1名	1名
4	【認定看護師】 感染管理認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	2名	2名	2名	2名	2名
5	【認定看護師】 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	1名	1名
6	【認定看護師】 がん化学療法看護認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	1名	1名
7	【認定看護師】 皮膚・排泄ケア認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	1名	1名
8	【認定看護師】 緩和ケア認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	2名	1名
9	【認定看護師】 救急看護認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	1名	1名
10	【認定看護師】 認定看護管理者	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	1名	1名
11	ACLS プロバイダー (ADVANCED CARDIOVASCULAR LIFE SUPPORT)	NPO 法人 日本 ACLS 協会	2名	2名	3名	3名	3名
12	JTAStm コース	一般社団法人 日本臨床救急医学会 / 一般社団法人 日本救急看護学会	1名	1名	1名	1名	1名
13	日本臨床救急医学会認定 ISLS コース	和歌山 ISLS 研究会	8名	23名	25名	30名	23名
14	ICLS (Immediate Cardiac Life Support) 二次救命処置コース	一般社団法人 日本救急医学会	18名	23名	23名	23名	18名
15	災害支援ナース登録者	公益社団法人 和歌山県看護協会	6名	7名	7名	7名	5名
16	近畿ブロック DMAT 技能維持研修	厚生労働省	1名	1名	1名	1名	1名
17	JADM (Japanese Association for Disaster Medicine)	日本集団災害医学会	2名	4名	4名	4名	4名
18	医療安全管理者養成研修	公益社団法人 日本看護協会	2名	1名	1名	1名	2名
19	医療安全管理者養成研修	公益社団法人 和歌山県看護協会	18名	21名	24名	20名	20名
20	医療安全管理者養成研修	一般社団法人 医療の質・安全学会	2名	3名	3名	3名	3名
21	医療安全管理者養成研修 (専門コース)	公益社団法人 全国自治体病院協議会	3名	3名	3名	3名	3名
22	医療安全管理者養成研修 (管理コース・実践コース)	公益社団法人 全国自治体病院協議会	3名	3名	3名	3名	2名
23	医療安全対策に係る研修 (第2回 PSP セミナー)	公益社団法人 日本医療機能評価機構	2名	2名	2名	2名	2名
24	医療安全分科会研修	特定非営利活動法人 日本医療マネジメント学会	1名	1名	1名	1名	1名
25	臨床指導者 (保健師助産師看護師実習指導者講習会)	都道府県知事	23名	21名	21名	19名	21名
26	新人看護職員実習指導者研修	公益社団法人 和歌山県看護協会	13名	13名	12名	12名	12名
27	看護師特定行為研修	公立大学法人 和歌山県立医科大学 / 公益社団法人 日本看護協会 / 特定行為研修管理委員会			1名	3名	4名
28	看護教員養成課程	厚生労働省認定 (大阪府)	1名	1名	1名	1名	1名
29	和歌山県 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム	和歌山県がん診療連携協議会	4名	5名	5名	5名	4名
30	退院支援看護師養成研修	公益社団法人 和歌山県看護協会	8名	8名	6名	4名	3名
31	退院支援看護師研修	都道府県知事	3名	3名	3名	2名	2名
32	院内臓器移植コーディネーター	都道府県知事	3名	3名	4名	4名	4名
33	和歌山県院内臓器移植コーディネーター養成研修	公益財団法人わかやま移植医療推進協会		1名	1名	1名	1名
34	栄養サポートチーム専門療法士	一般社団法人 日本静脈経腸栄養学会	1名	1名	1名	1名	1名
35	看護管理者研修 「看護管理者のための経営分析セミナー」	公益社団法人 医療・病院管理研究協会	1名	3名	3名	3名	2名
36	看護管理者研修 「看護補助者の活用推進のための看護管理者研修」	公益社団法人 和歌山県看護協会・奈良県看護協会	7名	7名	7名	7名	6名
37	看護管理者研修 看護補助者の活用と成長支援	有限会社ビジネスブレン	6名	6名	6名	6名	6名
38	看護管理研修「看護の評価マネジメント」	公益社団法人 医療・病院管理研究協会	1名	1名	1名	1名	1名
39	看護管理研修「看護における機能連携」	公益社団法人 医療・病院管理研究協会	1名	1名	1名	1名	1名
40	緩和ケア研修会 (がん診療に携わる医師以外の医療従事者に対する)	都道府県知事	19名	19名	19名	19名	14名
41	緩和ケア研修会 (がん等の診療に携わる医師等に対する)	厚生労働省		5名	10名	9名	10名
42	がん看護専門分野指導者研修	国立研究開発法人 国立がん研究センター	3名	3名	3名	3名	2名
43	がん看護コース (インテンシブ)	7大学連携先端のがん教育基盤創造プラン組織運営委員会	3名	3名	3名	3名	3名
44	がんリハビリテーション研修	和歌山がんリハ研修会実行委員会 / 和歌山県立医科大学附属病院	2名	2名	2名	3名	3名
45	糖尿病重症化予防 (フットケア) 研修会	公益社団法人 和歌山県看護協会	4名	5名	7名	8名	8名
46	日本糖尿病療養指導士	一般社団法人 日本糖尿病療養指導士認定機構	4名	4名	6名	6名	5名
47	和歌山県地域糖尿病療養指導士 (WLCDE)	和歌山県地域糖尿病療養指導士認定委員会	10名	10名	10名	11名	11名
48	フットケア指導士認定セミナー (第8回)	一般社団法人 日本フットケア学会 学術委員会	1名	1名	1名	1名	1名
49	認知症ケア専門士認定	一般社団法人 日本認知症ケア学会	2名	2名	2名	2名	2名
50	認知症対応力向上研修	厚生労働省	6名	13名	18名	19名	18名
51	認知症高齢者の看護実践に必要な知識の研修	公益社団法人 日本看護協会	11名	13名	13名	13名	10名
52	JASCS 日本禁煙科学会 禁煙支援士	日本禁煙科学会	4名	4名	4名	4名	3名
53	排尿機能検査士	一般社団法人 日本泌尿器科学会学会	1名	1名	2名	2名	2名
54	オムツフィッター (3級)	株式会社 はいせつ総合研究所	2名	2名	2名	2名	2名
55	アドバンス助産師	一般社団法人 日本助産評価機構	4名	4名	4名	4名	4名
56	ALSO (Advanced Life Support in Obstetrics)	ALSO JAPAN	2名	2名	2名	2名	2名
57	分娩期の胎児心拍数陣痛図 (CTG)	公益社団法人 和歌山県看護協会					3名
58	フィジカルアセスメント: 新生児のフィジカルアセスメント	公益社団法人 和歌山県看護協会					2名
59	高血圧・循環器病予防療養指導士	高血圧・循環器病予防療養指導士認定委員会			1名	1名	1名
60	3学会合同 呼吸療法認定士	3学会合同呼吸療法認定士認定委員会	4名	4名	5名	5名	5名
61	消化器内視鏡技師	一般社団法人 日本消化器内視鏡学会	3名	3名	4名	4名	4名
62	医療リハビリテーションセラピスト養成講習会	特定非営利活動法人 日本医療リハビリテーション協会	1名	1名	1名	1名	1名
63	関西ストーマケア講習会修了	関西ストーマケア講習会	1名	2名	3名	3名	3名
64	CRC 養成研修会修了	一般社団法人 日本病院薬剤師会	1名	1名	1名	1名	1名
65	弾性ストッキング・コンダクター講習会	日本静脈学会		3名	3名	3名	2名
66	周術期管理チーム	公益社団法人 日本麻酔科学会	1名	1名	2名	2名	2名

## 【概要】

2019年末より、新型コロナ肺炎の感染拡大が繰り返され、外来診察の流れは大きく変化しています。発熱外来だけでなく、救急搬送される患者や一般診察に来られる患者の状態にも十分注意を払い、患者の不安の軽減や感染対策に取り組んでいます。

そんな中で、患者満足度が向上出来るように、外来看護師は患者の症状や訴えだけでなく、家族構成やキーパーソンなど生活状況を知り、情報収集を行うことで、その人にとって必要な支援を考えています。また、外来診療がスムーズに受けられるように診療クラークの増員、それに伴いクラークの教育に努めています。

スタッフの構成は、看護師長1名・副看護師長1名・主任看護師4名・看護師25名・クラーク20名です。

## 【外来目標】

1. 医療の質と安全の向上
  - 1) 正確なPPE着脱と、適切な標準予防策を全員で100%
    - ・感染対策理解度調査を外来スタッフ全員が100点
    - ・1人の患者にアルコールジェルを確実に3プッシュ以上
  - 2) 書類紛失ゼロ!!
    - ・書類取り扱い運用フローを6月中旬までに作成
    - ・各ブロックリーダーが運用フローを理解し、全員に周知し7月から運用開始する
2. 無駄・無理・ムラをなくし、働きやすい職場づくり
  - 1) 各ブロック単位で、1回/月ブロック会を開催しチーム力向上
    - ・診療クラークの業務マニュアル、チェックリストの見直しを実施し6月中に改訂する
    - ・7月には診療クラーク全員に最新業務マニュアルを提示し、チェックリストを用いて評価する
    - ・業務マニュアル作成や改訂については、看護師だけでなく診療クラークの意見や考えを言葉にして、必ず全員発言する
3. 地域医療機関の信頼と満足の向上
  - 1) 状況に応じた患者支援が行える
    - ・事例を挙げ、スタッフ会で発表し振り返り意見交換する
  - 2) 目指せ！院長伝書箱「外来ネガティブ意見0件」
    - ・全ての人に（患者・家族・他職種など）笑顔で挨拶、対応しよう

## 【取り組み】

- ・インシデント報告からの内容や救急外来での事例を用いて検討会を1回/3ヶ月開催しました。自分たちの行動を振り返り、スタッフ間で意見交換し問題を共有しました。引き続き、事例検討会を開催することでスタッフが専門職としての役割を考える機会としていきます
- ・『感染しない!!』『感染拡大させない!!』感染予防の徹底を継続・向上していきます
- ・病棟、地域との継続看護につなげるための情報提供と情報共有を意識し、患者支援に努めます

## 【概要】

消化器外科28床、脳神経外科12床、泌尿器科7床、総合内科4床、呼吸器内科3床による54床の混合病棟です。急性期から回復期を経て、在宅へ帰られる患者さん・ご家族さんの要望をお聞きしながら、受け持ち看護師を中心に医師・看護師・薬剤師・理学療法士・医療ソーシャルワーカー等の多職種で関わりを持ち、社会復帰や在宅に向けた支援を行っています。またカンファレンスを行いながら手術後、状態に合わせて安全かつスムーズな離床の促進、異常の早期発見や合併症の予防に努めています。

## 【スタッフ配置】

病棟スタッフ構成は看護師長1名、副看護師長1名、主任看護師1名、看護師26名、ケアワーカー2名、医療ソーシャルワーカー1名、病棟クラーク1名を含む33名で構成し、ペアナーシングと受け持ち制で看護を展開しています。

## 【病棟目標】

1. 医療の質と安全の向上
  - 1) 積極的なコミュニケーションの実施
    - ・疑問に思ったら、声に出してお互い確認
    - ・お互い指摘し合える間柄、協力し合える関係を作る
  - 2) 危機意識を持ち、安全意識を高める
    - ・細かい気づきで、インシデント0レベル報告件数アップ
    - ・指さし呼称や6Rの確認の継続
  - 3) 適切な手指衛生と感染対策の実施
    - ・PPEの適正使用に努め、無駄をなくす
    - ・適切なタイミングで手指消毒を行い、感染防止に努める
    - ・毎日の環境整備を確実に（整理・整頓・清掃）
2. 無駄、無理、ムラをなくし、働きやすい環境づくり
  - 1) 看護に対する積極的な意見交換
    - ・ケースカンファレンスを通し、患者さんに寄り添える看護の継続を図る
    - ・ケースカンファレンス結果を患者さんへフィードバックする
  - 2) 業務整理を行い仕事にメリハリ
    - ・ハドル、デブリーフィングの機会を活用し、みんなで協力
3. 地域との連携を図る
  - 1) 入院から退院まで、患者・ご家族のサポートを行う
    - ・入院時から退院を見据えた継続看護を提供できるよう、受け持ち看護師の支援強化

## 【取り組み等】

病棟内で医師とも相談しながら定期的に勉強会を開催し、専門性の高い看護を提供できるように努力しています。

6月	ヘルニア手術勉強会	9月	緩和について
7月	ドレーン管理について	11月	胃切除術 薬剤の取り扱い勉強会
8月	胆石手術について	12月	退院支援について

## 【今後の課題】

患者さんが安心・安全で療養生活を送ることができ、できるだけ早期に元の生活に戻ることを目標とし、受け持ち看護師が責任を持って多職種と連携を図りながら患者さんやご家族さんに合わせた看護を提供していきます。

また、専門性を高めていけるよう、より自己研鑽に努めていきます。

## 【概要】

病棟の紹介（特徴）

産科・婦人科・消化器内科・眼科・皮膚科の40床の混合病棟です。産科では、日本助産評価機構より認定を受けた助産師が中心となり、妊娠初期から産後のケアまで、助産外来、病棟と継続した支援を行っています。また地域の保健師、訪問看護師と連携を図ることで妊婦、褥婦さんを支援しています。婦人科は手術、化学療法を受けられる方、また終末期患者さんの看護を行っています。消化器内科では、内視鏡手術を受けられる患者さんが多く、ほぼ毎日内視鏡治療が行われています。それらの患者さんを他職種と連携し支援しています。眼科は白内障手術を受けられる患者さんに、術前、術後の看護をおこなっています。

## 【病棟目標】

- 1) 医療の質と安全の向上
  - ・受けもち患者さんとの関わりの中で、実践した場面について振り返る。倫理カンファレンスを実施する。
  - ・感染予防策の徹底。
  - ・0レベル記入の推進（月に1人2枚以上を目標とする）
- 2) 働きやすい職場作り
  - ・新人助産師、看護師・中途採用者の教育充実を図る
  - ・病棟内、病室内の整理整頓を行う
- 3) 地域医療機関との信頼と満足の向上
  - ・退院前カンファレンスで継続が必要なことをきちんと地域につなげることができる
  - ・産後うつとなる褥婦を昨年度より減らすことができる
  - ・白内障患者への「生活・退院パンフレット」を作成して活用する。

## 【取り組み・実績】

- ・倫理カンファレンス、勉強会を実施

6月	療安全について	9月	肺炎治療と看護
7月	倫理カンファレンス	10月	倫理カンファレンス 「ターミナル患者・家人」への対応
8月	神経食思不振症と妊娠について 倫理カンファレンス 「抑制・食事制限」について		

- ・橋本市の産後ケア事業として産後ケア対象者の受け入れ  
受け持ち助産師による、退院後1週間目の電話訪問の実施
- ・COVID-19陽性妊婦の受け入れ
- ・和歌山県立高等看護学校へ「母性看護」の講師派遣
- ・橋本消防署へ、「自宅出産・救急車内での出産時の対応」についての講義に講師派遣
- ・白内障「生活・退院」パンフレットの完成し、患者指導に活用
- ・助産師が日本看護協会の「糖尿病認定看護師」として認定される

## 【今後の課題】

- ・引き続き倫理カンファレンスの実施
- ・産後うつ軽減にむけての取り組みの継続（助産外来・産後ケア・電話訪問等）
- ・感染対策を実施してのCOVID-19妊婦の受け入れの実施
- ・新人助産師・看護師の育成



## 【概要】

4階西病棟は、循環器内科30床、脳神経外科12床、歯科口腔外科4床、代謝内科4床、の混合病棟です。心臓・脳血管疾患患者を24時間体制で入院対応しており、歯科口腔外科では、主に手術患者を受け入れしています。代謝内科では、糖尿病の教育入院を受けており、多職種が協働してパンフレットに沿った教育を行い、自己血糖測定やインスリン注射の指導も実施しています。

病棟スタッフの構成は、看護師長1名、副看護師長1名、主任看護師2名、看護師24名、看護補助者3名、クラーク1名の28名体制です。今年度は、個人スケジュールを基に病棟スケジュールを立て時間管理と業務効率化に取り組みました。また、PNSと受け持ち制を導入し、医師だけでなく、PT、OT、ST、管理栄養士、MSW、ME等の多職種と連携を図り、安全・安心な看護ケアを実践しています。

## 【病棟目標】

1. 医療の質と安全の向上
  - 1) 情報共有を活かした安全の保証
    - ①日勤・夜勤帯でのブリーフィング・ハドル・デブリーフィングの100%実施
    - ②安全カンファレンスの100%実施と記録・0レベル提出件数50件/月を目指す
  - 2) 実践からのリフレクションを通して新たな発見へ  
リフレクションの実施（1回／3ヶ月）し、スタッフ全員が参加する
  - 3) 100%の感染対策
    - ①アルコールジェル消毒の1日使用回数目標値（30回/日）の達成
    - ②標準予防策について、10月までに全員がテストで満点を取る
    - ③病棟内アウトブレイク発生事例の「ゼロ」を保つ
- 2 無駄・無理・ムラをなくし、働きやすい職場づくり
  - 1) 業務内容を改築して効率よい時間管理  
個人スケジュール表、病棟スケジュール表を活用する
  - 2) 教え合い、声かけ合い、皆でチーム力向上  
チーム（PNS・スケジュール表・内服・勉強会）による取り組みを推進
- 3 地域医療機関の信頼と患者満足の向上
  - 1) 入院から退院後の生活を見据えた退院支援  
退院支援カンファレンス100%開催
  - 2) 専門職として誇りを持ち、誠実な態度で患者サービス  
入院時、看護サマリ必要項目を100%入力

## 【取り組み】

- ・個人スケジュール表を基に病棟スケジュールを掲示し、「業務の見える化」を図り、時間管理と業務の効率化に取り組みました。その結果、平均時間外業務は短縮してきています。
- ・医師による「脳梗塞」「心不全」、看護師による「心筋梗塞」、認定看護師による「化学療法」の部署勉強会を開催しましたが、次年度は年間計画を立案しさらに多くの勉強会を企画しています。
- ・転院や福祉施設、在宅での看護・介護介入が必要なケースにおける入院早期の看護サマリ入力は定着化してきています。

次年度は、スケジュール管理／PNS、内服薬管理、勉強会、ステーション美化、0レベルの5チームに分かれ、『みんなで病棟づくり』に取り組む予定です。

## 【概要】

4 階東病棟は整形外科45床 小児科5床の混合病棟です。病棟スタッフの構成は、看護師長1名、副看護師長1名、主任看護師1名、看護師21名、看護補助者3名の27名体制です。整形外科では24時間体制で外傷により骨折され、主に手術が必要となる患者さんを受け入れています。手術前から手術後、その後の退院支援まで、患者様が退院後も安心して生活できるように努め、病棟スタッフ全員で患者様・家族様との関わりを大切にしています。

## 【病棟目標】

病棟スローガン K（考え） K（声だし） K（確認を）

1. 医療の質と安全の向上
  - 1) 速やかな報告、連絡、相談
  - 2) 危険予測から、注意喚起できる環境づくり
  - 3) 適切な感染防止対策
2. やりがいと楽しさが感じられる病棟づくり
  - 1) ムダを省き、効率的な時間活用
  - 2) 積極的な行動、発言をしよう
3. 患者から信頼が得られる病棟
  - 1) 受け持ち看護師の責任を果たす
  - 2) 患者の立場となって考え、寄り添う看護を行う

## 【病棟の取り組み】

情報共有と看護師が安全で質の高い看護を提供することを目的とし、以下の取り組みを行いました。

- ・ 5S活動（スタッフ全員で療養環境を整備する）
- ・ 整形外科術後合併症の防止と対策（事例検討・現場指導・学習課題など）
- ・ 適宜勉強会を実施

5月	大腿骨骨折について	9月	接遇について
6月	上腕骨折について	10月	疼痛コントロール
7月	深部静脈血栓症について	12月	BLS
8月	胸椎・腰椎圧迫骨折	2月	川崎病について

## 【今後の課題】

- ・ 今年度の取り組みを定着に向け評価と修正を行い、さらなる充実を図ります。
- ・ 受け持ち看護師が責任を持って、退院後を見据えた看護を目指します。
- ・ 専門性を高めていけるよう、自己研鑽に努めていきます。
- ・ 接遇面の強化を図る。

## 【概要】

5階西病棟は、新型コロナウイルス感染症（以後コロナと略す）患者を受け入れるようになり、2年目になる。2021年4月17日からは受け入れ病床が20床に、8月10日からは4床室多床運用が開始され44床、9月1日からは50床と感染拡大に伴い増床された。コロナ患者の病態把握や起こりうる合併症、治療薬の作用・副作用など、毎日の医師を交えたカンファレンスも継続しました。受け入れは、成人以外に、小児科、産婦人科（妊婦）、多国籍患者の対応も行い、その人の生活習慣をともに患者の状態にあった適切な看護の提供、治療だけではなく患者様の心理的、精神面のサポートも行うよう心がけました。院内感染ゼロを目標に、変化するウイルス株の特徴も勉強し感染対策の徹底を継続しました。

## 【スタッフ配置】

病棟スタッフ構成は、病棟看護師長1名、副看護師長1名、主任看護師2名、看護師10名、ケアワーカー2名、病棟クラーク1名の構成である。

コロナ患者対応病棟として、疾患の理解とそれに応じた患者観察には、スタッフ同士の連携と多職種を交えた日々のカンファレンスで、個別に応じた看護を提供できるようにしています。

## 【病棟目標・取り組み】

## 『医療の質と安全の向上』

1. 100%感染対策の実施 <院内感染「0」へ>
  - 1) 感染経路に応じた適切な感染対策が確実にできる。  
(PPE着脱時にペアナースが着脱順序をチェック)
  - 2) 患者の過ごしやすい環境作りができる環境整備の実施  
(環境ラウンドの実施：毎週金曜日実施)
2. 無駄・無理・ムラなくし、働きやすい職場づくり
  - 1) コロナのクリニカルパスを作成し100%適応  
「クリニカルパス：COVID19陽性患者入院用」を作成し、入院対応は時間短縮となり患者受け入れがスムーズになる。
3. 感染症患者対応・業務マニュアルの作成と周知徹底
  - 1) 日々変更されCOVID19対策のマニュアルは、変更した内容をわかりやすく紙面におこし、スタッフが周知するまで、スタッフステーション内に掲示
  - 2) 既存のマニュアルは、適宜見直しを行い修正
4. スタッフ主体となる勉強会を実施しスキルアップ（2ヶ月に1回）
  - 1) 疾患について2ヶ月/1回：ナーシングスキル併用（課題視聴100%）
  - 2) 院内、外研修参加者からの研修の学びを伝達

## 【今後の課題】

- ・院内感染ゼロを目標にさらに感染対策徹底を継続する
- ・スタッフのスキルアップを行い、患者が安心できる看護を提供する



## 【概要】

5 東病棟は、地域包括ケア病棟として、退院後も、その方に適した療養が受けられるように退院支援を行っています。看護師配置13：1、看護補助者配置25：1で、看護を提供しています。

## 【病棟目標】

1. 医療の質と安全の向上
  - ①接遇改善に取り組む
  - ②報告・連絡・相談は必要な時に確実に実施する
  - ③安全環境ラウンドの導入と定着 実施率 100%を目指す
2. 無理・無駄・ムラをなくし、働きやすい職場づくり
  - ①業務改善し、無駄のない働きやすい環境調整
  - ②チーム制を導入し定着させ、看護師とケアワーカーが協働しチームで入院環境を整える
3. 地域医療機関の信頼と患者満足の向上
  - ①患者状態・情報を正確に把握することができる
  - ②相手に患者や看護が見える看護サマリーの記載ができる

## 【病棟の取り組み】

1. 患者・家族・職員間への対応で、言葉使いや対応に注意し、その時・その場で簡潔できるように心がけ、情報を共有して協力するように取り組んでいます。
2. 安全カンファレンスやリハビリカンファレンスで患者の状態を共有し、セラピストの意見を取り入れて、より安全な環境調整を行う。また、思い込みではなく実際にベッドサイドに行き、みんなで状況を確認して対応を統一することで、安全に過ごす事ができるように取り組んでいます。
3. 看護サマリーの内容に、継続看護や、どんな支援が必要なのか等、患者の生活を視点とした内容が記載できるように、継続して指導を行っています。

## 【今後の課題】

自宅退院を希望される患者さんのために、必要な看護や、自宅生活でどのような支援が必要なのかを考え、入院中から看護支援・指導が行えるように、5 東スタッフ一同、心を込めた看護を提供したいと考えています。そのためにも患者・家族の想いや状態の把握を適切に行え、自己学習を継続することが課題です。1人ではなくみんなの力で、協力して看護ができるように改善していきます。

**【概要】**

主に呼吸・循環管理が必要な急性期疾患や救急患者、開腹手術や全身麻酔後の患者等、24 時間体制で受け入れを行い、看護を展開している。

**【看護職員の構成】**

看護師長 1名、副看護師長 1名、主任看護師 1名、看護師 12名  
4対1の看護体制により、患者の安全管理を主とした安心・安楽な看護に努めている。

**【HCU目標】**

1. 医療の質と安全の向上
  - (1) 安全を守るための行動を!! 「確実な確認と速やかな報告」
    - ①指差し呼称の定着でインシデント要因「確認不足」を前年度の50%以下にする
    - ②点滴シングルチェックの導入・定着させる
    - ③ゼロレベルを1人最低、1枚/月提出し、リスク感性を養う
  - (2) 現場での感染対策を理解し、正しい実践ができる。
    - ①アルコールジェルは「1患者30回/日」を目標とし、感染予防に努める
    - ②標準予防策を理解し、正しい防護具の着脱を全員が100%実施できる
2. 無駄・無理・ムラをなくし、働きやすい職場づくり
  - ①ブリーフィング・ハドル・デブリーフィングでは全員が発言、意見が言える
  - ②リーダーによる業務調整を明確にし、時間外を前年度より30%削減する
3. 地域医療機関の信頼と患者満足の向上
  - ①月1回接遇チェックを実施し当院を利用する全ての方々に信頼される接遇を実施する。
  - ②HCU入室パンフレットを導入し定着させる

**【取り組み】**

「全ての確認行為時に指差し呼称が確実に実施できる」を目標に、指差し呼称、6Rの確認についての勉強会開催や「指差し呼称実践チェック」の他者評価を定期的に行い確認行動が常に実践できるように取り組み、確認不足のインシデントが減少した。またフィジカルアセスメント能力を身につけ、実践に繋げるよう定期的に勉強会を開催した。

**【今後の課題】**

HCUは医療機器、重症患者の対応などアセスメント能力、危機管理能力、看護実践能力を育成し、患者に安全で安心できる医療や看護を提供することが必要である。そのためには、フィジカルアセスメント、医療機器、安全対策への知識の習得は必須であり、今後も部署全体での取り組みを継続していきたい。また、多職種や、医師との連携を行うことで確認不足等のインシデントを減らすように努めたい。看護実践においては、ブリーフィングやカンファレンスを行い、日々の看護の振り返りと評価を行い、「気づき力」や「倫理観」を高めることも課題である。

**【概要】**

手術室は5ルームあり、消化器外科、整形外科、脳神経外科、眼科、産婦人科、心臓血管外科、泌尿器科、歯科口腔外科の手術を行っています。今年度の手術件数は、2,387件（全身麻酔症例914件）でした。手術体制は365日24時間待機体制としており緊急手術にも迅速に対応しています。スタッフは、看護師長1名、主任看護師1名、看護師11名、臨床工学技士3名で構成されています。それぞれの役割を定め、手術室の質を担保するために専門性を発揮し業務を行っています。

手術室では、患者に安全な医療・看護が提供できるようカンファレンス、研修会などを通じ日々研鑽しています。今年度も、コロナ禍における資材の不足、出荷調整、コロナ罹患中の緊急手術に備え、速やかに対応できるようリユースリネンの導入、物品管理、患者対応訓練に取り組みました。

**【目標】**

1. 医療の質と安全の向上
  - 1) 褥瘡（皮膚損傷）、神経障害「0」を目指す
  - 2) 「やりっぱなし」を無くす
  - 3) 100%の感染対策
2. 無駄・無理・ムラをなくし、働きやすい職場作り
  - 1) 業務改善と時間管理
  - 2) お互い声を掛け合い、活気ある職場づくり
3. 地域医療機関の信頼と患者満足の上向

**【部署の取り組み】**

- ・手術特殊体位による褥瘡予防対策の研修・実施
- ・大規模地震時の災害シミュレーション訓練の実施
- ・新型コロナウイルス陽性患者の手術室対応訓練3回実施
- ・消毒薬の変更による皮膚トラブルの対策およびSSIの低減に向けた取り組みの実施
- ・独歩による手術室出棟への取り組み
- ・リユースリネンの導入による材料確保およびゴミの削減

**【今後の課題】**

リユースリネン類を導入し、ガウン類はほぼ全てにおいてリユースで定着しました。キット類に関しても使用を推奨しゴミ削減、環境改善に向けた取り組みを今後も継続してとりくんでいきたいと考えています。



# VI 診療技術部紹介



## VI 診療技術部紹介

薬剤部

臨床検査科

放射線科

臨床工学科

リハビリテーション科

栄養管理科

歯科技工室

地域医療部

医療安全管理部

## 【概要】

### 1. 薬剤部の理念

- (1) 薬の知識を活用し公衆衛生の保持および増進に寄与し、地域住民の健康と利益を支えていく。
- (2) 専門職能を生かしチーム医療に貢献する。

### 2. スタッフ

薬剤部長 : 河崎 尚史  
 主 任 : 小山 恵理、井上 裕子、宮本 賢典、木村 ナオ子、村田 典代  
 指 導 員 : 北島 正大、西 千尋、松山 真範  
 薬 剤 師 : 森崎 潤瑩、三星 マヤカ、朝倉 瑞季、畑中 星輝、野沢 健太郎（非常勤）  
           森脇 竜太（非常勤）、森中 美和（非常勤）、伏見 麻衣子（非常勤）  
           北村 侑基（非常勤）、柚木 彩実（非常勤）  
           李 美和（派遣）、春名 柚佳（派遣）  
 助 手 : 櫻木 花織、矢原 典子、西田 祐子、織田 和隆  
           海堀 智子、得原 かなこ

薬 剤 師……………計21名（常勤 13名、非常勤 6名、派遣 2名）

助 手……………6名

### 3. 主な業務と取り組み

- (1) 電子カルテ・調剤部門システムを含むマスタ管理業務
- (2) 全入院患者への一包化調剤業務
- (3) 注射剤の個別払い出し調剤業務
- (4) 医薬品安全管理業務
- (5) 麻薬・覚醒剤原料・毒薬・向精神薬・血液製剤等管理業務
- (6) 医薬品情報提供業務
- (7) 中心静脈栄養および抗悪性腫瘍注射薬の混合調製業務
- (8) 入院・外来患者への薬剤管理指導業務
- (9) 入院患者の持参薬調査および報告業務
- (10) 各種チーム医療への参画
- (11) 適切な薬物治療を提供するための病棟薬剤業務
- (12) コロナワクチン集団接種の調製業務

## 【実績】

### 1. 2021年度 薬剤管理指導統計

（単位：人、回）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総指導人数	284	416	541	492	499	449	469	473	438	429	419	479	5,388
服薬指導件数	411	678	916	816	899	803	786	845	830	769	724	790	9,267
ハイリスク指導件数	154	198	260	266	282	282	273	319	329	295	277	260	3,195
通常指導件数	218	375	494	456	548	456	446	472	436	430	418	479	5,228
麻薬指導件数	6	6	14	9	15	5	6	9	10	6	5	0	91
退院指導件数	129	137	175	161	210	183	178	185	194	167	153	186	2,058
外来がん指導3件数	26	22	21	35	24	37	33	37	33	43	40	31	382



## 2. 2021年度 TDM件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
VCM	10	10	5	8	6	17	10	13	20	15	5	24	143
TEIC	2	0	2	0	0	0	0	3	1	0	0	0	8
GM	0	0	0	0	2	2	2	1	0	0	0	0	7

## 3. 2021年度 無菌製剤調整件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
TPN	34	29	45	69	19	15	49	13	21	16	28	20	358
抗癌剤(外来)	123	101	103	105	105	123	127	101	96	100	94	120	1,298
抗癌剤(入院)	9	18	25	5	6	7	13	10	12	13	7	16	141

### 【今後の課題】

- ① 適切な薬物治療を提供するため、病棟薬剤業務を実施する体制を整える。
- ② チーム医療に積極的に参加し NST・糖尿病・がん・感染・緩和・腎臓・医薬品情報等の認定薬剤師制度や専門薬剤師制度などの取得をバックアップする。
- ③ 医薬品安全管理の観点から医師・看護師・他のコメディカルや患者に適切な情報提供を行い、各診療ガイドライン等に基づき医薬品の適正使用に貢献できる業務を展開する。
- ④ 腎機能低下時・肝機能低下時・高齢者などの投与量の減量が必要な患者に対しては、ポリファーマシーの観点に注目しながら適切な処方提案を実施する。
- ⑤ 薬品購入に際して購入方法の見直しを含め、医薬品採用品目の適正化を図り、院内採用薬で代用可能な薬剤の処方提案を推進するとともに適切な在庫量の維持に努める。
- ⑥ 実務実習生を継続して受入れ薬剤師の育成に貢献する。

## 業績

### 発表・講演

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2021年11月	第26回和歌山県病院協会学術大会	橋本市民病院における多職種ポリファーマシー対策チームの活動報告	北島 正大	総合内科（橋本 忠幸、青木 達也） 看護部（奥田 昌子） 診療情報課（名村 隆）	和歌山市
2	2022年3月	第18回和歌山県病院薬剤師会新人スキルアップ研修会	硬膜外 PCA ポンプにおける疼痛コントロール調査	三星 マヤカ	薬剤部（河崎 尚史、村田 典代）	WEB開催

### 参加した学会・研修会等

年月	学会・研究会名	開催都市
2021年5月	第69回日本化学療法学会総会	WEB開催
2022年3月	第86回日本循環器学会学術集会	WEB開催
2022年3月	2021年度日本循環器学会コメディカルセミナー	WEB開催

## 【1. 概要】

臨床検査科は「検体検査部門」「生理検査部門」「病理検査部門」「細菌検査部門」「中央採血室」で構成されています。スタッフ個人を診療部門に向けた役割で置き換えると、『チーム医療に参画し直接関わる臨床検査技師』『組織運営の中で各種委員会に属する臨床検査技師』『科内各部門で医師や看護師からの相談や質問に応える臨床検査技師』『本業である検査情報の提供を実践する臨床検査技師』となります。臨床検査科ではそれぞれの役割を認識してレベルアップを図り、且つ科内・科外とも連携できる組織を構築し、目標を達成できるよう努力しています。

## 【2. 人員配置】

○検体検査部門	5名
○生理検査部門	5名
○病理検査部門	3名
○超音波検査室	1名
○細菌検査部門（委託）	3名
○中央採血室看護師	3名
○採血室および生理検査受付事務	2名

## 【3. 活動実績】

COVID-19関連

- ①和歌山県からの依頼で、一般外来患者を対象としたCOVID-19抗体疫学調査実施  
実施時期：8月および1月 検体数：合計1,000検体
- ②PCR検査担当者の増員  
10月1日より2名体制を5名体制に増員し、ナビダイヤル輪番日は出勤待機
- ③PCR検査装置の増設  
3月8日に2台目のPCR検査装置を設置
- ④生理検査部門および採血室にHEPAフィルタ付空気清浄機を設置
- ⑤面会者制限に伴う入院患者への荷物搬送支援  
受付事務員2名が病棟へ搬送支援

細菌検査室

- ①抗酸菌検査開始準備のため細菌検査室の陰圧工事を実施
- ②喀痰材料に限定し、直接塗抹検査を9月1日から開始

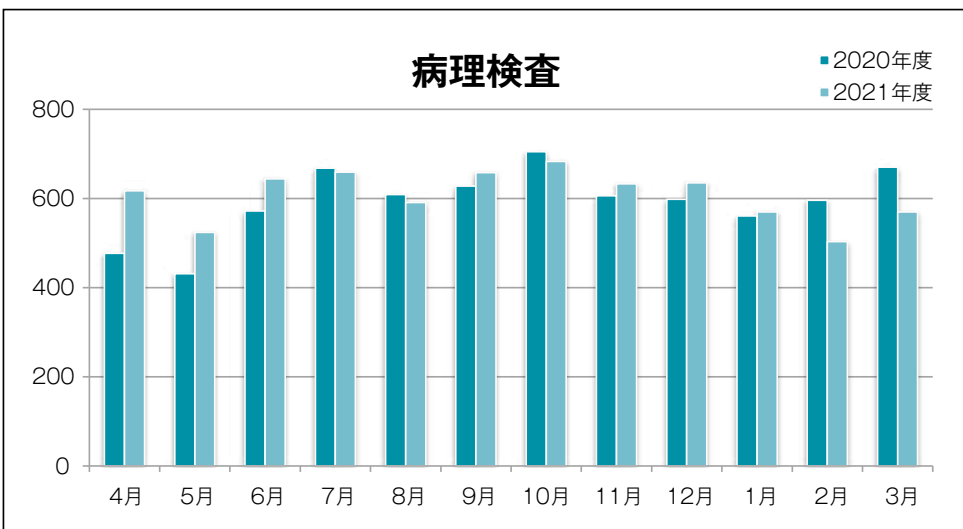
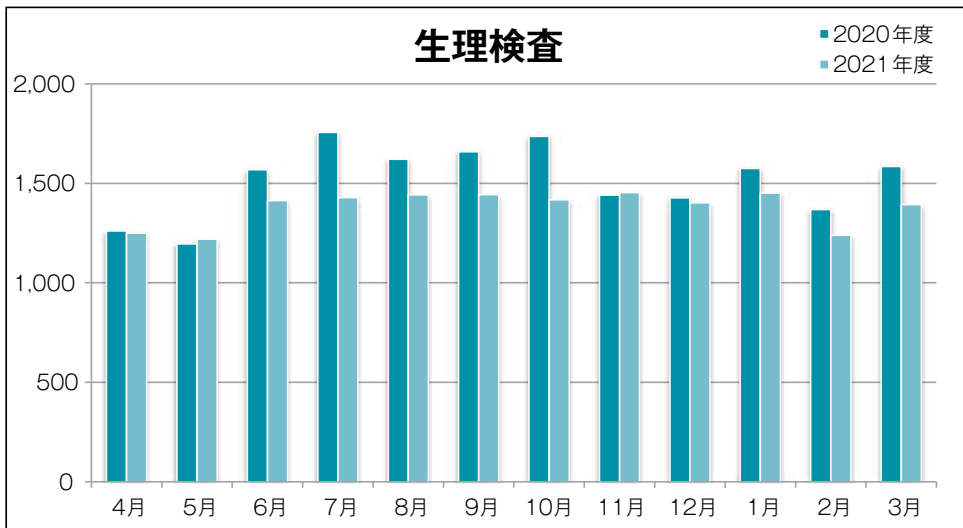
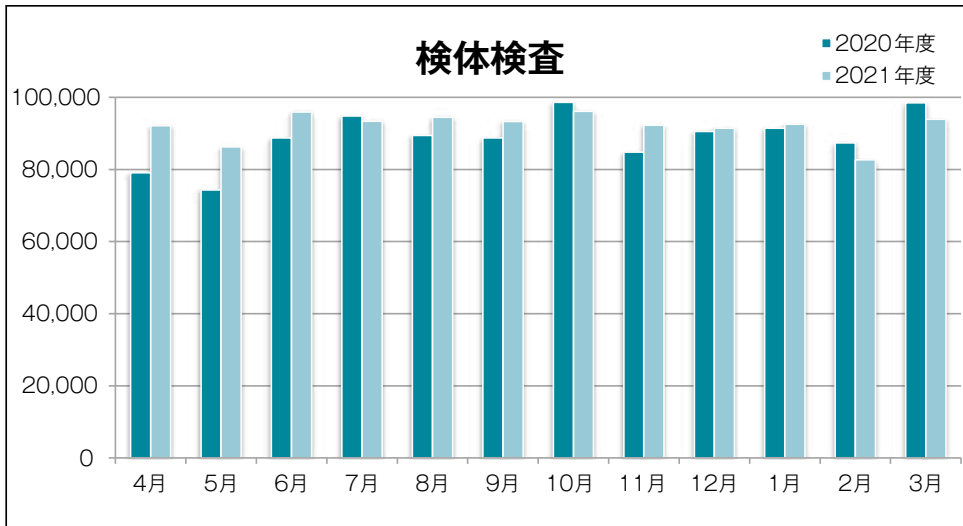
検体検査関連

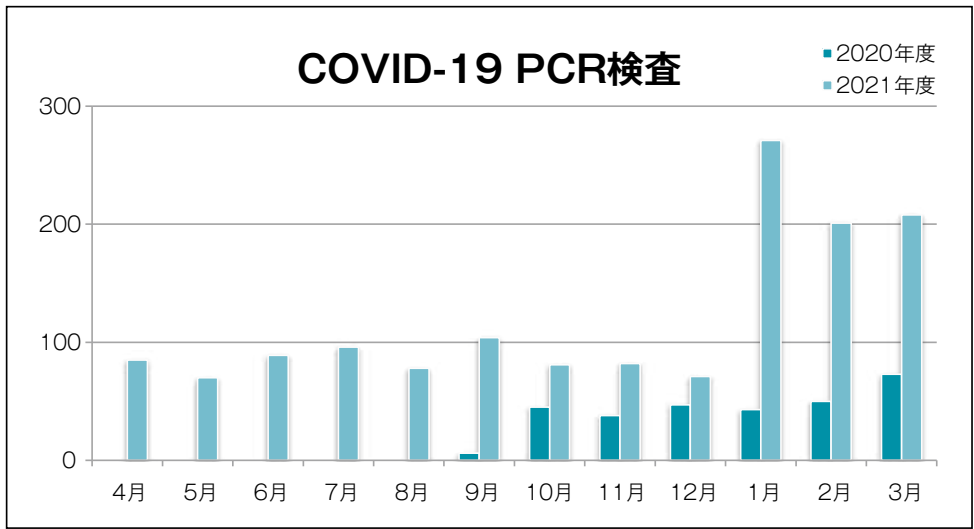
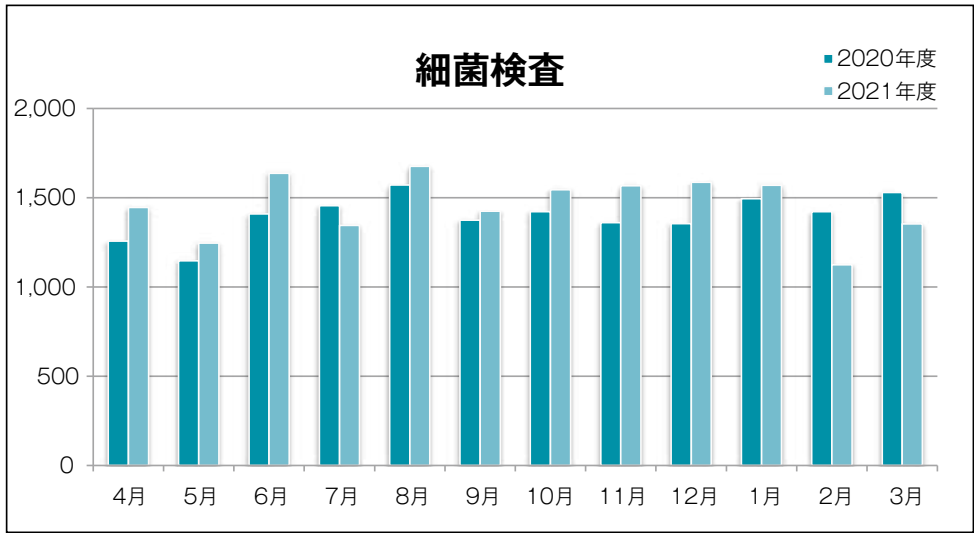
- ①7月1日より髄液検査を自動化
- ②電子カルテ更新時に免疫検査装置を更新  
免疫検査装置3台を1台に集約し、ダウン対策として同機種の2台体制としました。また測定項目は24時間対応としました。

外部精度管理結果

- ①令和3年度日臨技サーベイ：98.7点
- ②令和3年度日本医師会サーベイ：97.3点

【4. 検査実績】





## 業績 講演会

No	発表月	会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2021年11月	第26回和歌山県病院協会学術大会	COVID-19 ワクチン接種後副反応の発生状況～臨床検査科スタッフを対象に～	秋田 豊和		和歌山市
2	2022年2月	令和3年度和歌山県医学検査学会精度管理報告会	令和3年度和歌山県医学検査学会精度管理報告会（免疫部門）	前原 純		Web開催

## 座長・パネリスト等

No	発表月	学会・研究会名	演題名		共同発表者	開催都市
1	2021年11月	第26回和歌山県病院協会学術大会	(座長) I群 一般演題4演題	秋田 豊和		和歌山市
2	2022年2月	第41回和歌山県医学検査学会	学会長	秋田 豊和		Web学会
3	2022年2月	第41回和歌山県医学検査学会	(座長) コロナ禍を乗り越えるための臨床検査技師へのリクエスト：特別講演2演題	秋田 豊和		Web学会

## 1. 【概要】

放射線科では様々な大型医療機器を搭載する中で、各診療科の一助として画像提供を行っています。装置ごとの医療安全の確保と専門性を高めると共に、認定資格を所有したSTAFFを装置責任者として配置しています。

### 『理念』

- ・よりよい画像情報を提供します
- ・安心して、安全に検査を受けてもらえるよう心がけます
- ・待ち時間の短縮など、サービスの向上に努めます

### 『行動指針』

- ・はっきり わかりやすく話す
- ・相手の気持ち 立場に立って行動する
- ・不安を取り除き、緊張をほぐしてあげる

## 2. 【STAFF】

技師長：藤本 佳文

副技師長：三木田 正夫

主任：新田 伸一・小坂 将弘・森本 拓也・宮田 政明  
：武田 有紀・西村 一真・森本 勝士

技師：阿比留 功大・小坂 恵子

専属看護師：1名

助手：1名

### 【有資格】

- ・日本血管撮影インターベンション専門診療放射線技師
- ・日本磁気共鳴専門技術者
- ・検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師 2名
- ・日本消化器がん検診学会 胃がん検診専門技師
- ・X線CT認定技師
- ・救急撮影認定技師
- ・日本診療放射線技師会 アドバンス診療放射線技師
- ・放射線機器管理士
- ・医用画像情報管理士
- ・放射線管理士
- ・第1種放射線取扱主任者 2名
- ・塩化ラジウム注射液を用いたRI内用療法における適正使用に関する安全取扱講習修了
- ・医療安全管理者（日本医師会医療安全推進者養成講座修了）

## 3. 【実績】

年々需要が高まるマンモグラフィや乳房MRI撮影に対して、女性技師が対応することにより検査・検診への抵抗を可能な限り取り除くよう努め、選ばれる病院を目指しています。

また、各検査に於いても高度な専門性が求められる傾向にあり、各種研修会等への参加および専門資格（認定技師）の取得など、積極的な取り組みを行うと共に、情報を共有し的確な画像提供を行える状況と環境を整備しています。

2021年度 放射線科実績（検査件数）・放射線治療（新患者数）（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般撮影	2,333	2,070	2,235	2,125	2,106	2,096	2,141	2,342	2,084	2,122	1,455	1,684
C T	1,406	1,234	1,390	1,303	1,363	1,330	1,339	1,312	1,341	1,353	894	1,099
CT (外注件数)	29	31	19	33	29	25	32	32	40	26	20	31
M R I	383	357	412	367	390	404	382	425	384	343	329	369
MRI (外注件数)	36	29	29	41	35	30	40	36	42	39	24	38
T V	104	124	123	101	136	137	154	156	125	83	85	71
Angio	45	45	52	32	38	40	44	45	43	42	25	34
マンモ	59	62	97	97	95	104	113	129	120	80	82	26
歯科撮影	80	73	104	96	95	72	97	76	104	82	73	87
骨塩	49	36	37	47	57	63	63	53	48	30	31	61
ポータブル	294	229	309	229	217	220	320	210	216	237	207	226
核医学検査	35	11	24	16	30	22	22	26	31	29	26	18
放射線治療	5	10	10	5	2	6	4	14	6	7	5	11

#### 4. 【今後の展望と課題】

2022年度内に放射線治療装置の更新が決定しており、これまでのコンベンショナルな治療だけにとどまらず、定位照射（以下=SRT）や画像誘導放射線治療（以下=IGRT）といった高精細な放射線治療が可能となります。

SRTでは、病巣部に集中したピンポイント照射が可能で、脳腫瘍への治療効果はガンマナイフに匹敵するものです。体幹部においても3cm以内の肺癌や肝癌では手術に匹敵する局所制御率が得られているとも言われています。

またIGRTでは、治療装置に併設されたイメージャーやコーンビームCTによって、照射直前に治療部位の画像を確認して照射を行うことが可能となり、より精度の高い治療を提供できるものとなっています。

将来的には強度変調放射線治療（IMRT）への対応も可能な装置となっており、地域外の病院へ足を運ぶことなく、地元で高精度な放射線治療を受けていただけることを目指しています。

## 1、概要

2005年度臨床工学科新設

2015年度4月より業務拡大の1つとして、内視鏡業務開始

2016年度4月より手術室業務開始

それに伴いスタッフ増員し、現在ME業務5名、手術室業務2名（専従）体制で業務を実施

## 【理念】

ME機器を安全かつ効率よく使用できる環境を整える

チーム医療に参加し、医療の質を上げる

## 【スタッフ】

ME業務	小嶋 宏之	手術室業務（専従）	宮本 征士
	田嶋 勇介		松本 拓巳
	岩谷 亮佑		
	西 真吾		
	皿谷 悠之助		

## 【業務内容】

## （カテ室業務）

心臓カテーテル検査およびPCIにおけるポリグラフ及び周辺機器の操作、使用する医療材料の取り扱い。  
永久ペースメーカー植込み時のプログラマー操作

## （手術室業務）

各科手術機器の操作。

専従技士による手術介助業務（直接・間接）

注 手術室業務実績は下表【実績】には件数は入っていません

## （血液浄化業務）

病棟における持続血液濾過透析をはじめとする各種血液浄化法の実施。

## （人工呼吸器管理業務）

院内で使用する人工呼吸器の保守及び点検業務。

## （医療機器管理業務）

人工呼吸器（13台）、輸液ポンプ（136台）、シリンジポンプ（78台）、低圧持続吸引器（14台）などの機器を効率よく使用できるよう中央管理を行う。院内の医療機器の管理台帳を作成し各ME機器の保守点検及び修理業務の管理。

## （ペースメーカー外来）

毎月ペースメーカー外来日を設け、定期的にペースメーカーチェックを行う。

## （在宅呼吸療法）

在宅での呼吸療法で使用する機器の手配、使用説明およびその指導、管理。

## （内視鏡業務）

内視鏡室での検査・治療の補助及び機器の洗浄・管理を行う。

小腸カプセル内視鏡検査の準備・装着・回収・解析記録の処理を行う。

## 2、実績

2021年度臨床工学科実績

(数字は件数)

		2020年度	2021年度	
臨床業務	カテ室業務	P C I	157	157
		心カテ	107	125
		その他	448	349
	内視鏡業務※	内視鏡	3,688	3,791
		カプセル	8	7
	病棟業務	C H D F + H D	31	9
		その他	121	95
ペースメーカーチェック		328	362	
呼出件数		65	49	
修理・点検業務	修理業務	193	278	
	点検業務	1,325	1,248	
合計		6,471	6,470	

## 3、今後の展望と課題

今後、ますます医療が発達しそれに伴い新しい医療機器を使用する治療が増えてきます。それらの機器を安心・安全に使用できるよう、研鑽に努めていきたいと思いを。また、ME機器の更新についても積極的に関わっていききたいと思いを。



## 【概要】

リハビリテーション科は、基本的動作能力の回復等を目的とする理学療法、応用的動作能力、社会的適応能力の回復等を目的とした作業療法、言語聴覚能力や摂食嚥下機能の回復等を目的とした言語聴覚療法等の治療法より構成され、いずれも実用的な日常生活における諸活動の実現を目的として行われます。それぞれ理学療法士（PT）23名、作業療法士（OT）4名、言語聴覚士（ST）3名が携わっており、その役割は入院後や発症早期からの急性期リハビリテーションを担い、ベッドサイドからの介入により早期離床、廃用症候群の予防を行い、日常生活動作の早期再獲得をめざすことです。リハビリ対象疾患は、高齢化や複数の疾患障害を持つ方も多く、運動器疾患や脳血管疾患に加え、循環器疾患や内科・外科の内部障害、がん患者へのリハビリテーションなどです。

また地域の回復期リハビリ医療施設あるいは介護保険下の療養施設や老人保健施設と連携して、適切な転院を模索することで役割を明確にした効率的なリハビリ医療を行っています。一部運動器疾患を中心に退院後も必要に応じて外来での継続的なリハビリも提供しています。現在、和歌山県立医科大学リハビリテーション科より週一回医師を招請し臨床においてアドバイスをいただいています。

<施設基準>	<有資格者>
・運動器リハビリテーション（I）	・3学会合同呼吸療法認定士：5名
・脳血管疾患等リハビリテーション（I）	・がんのリハビリテーション研修修了者：14名
・呼吸器リハビリテーション（I）	・地域包括ケア推進リーダー：3名
・がん患者リハビリテーション	・介護予防推進リーダー：3名
・心大血管疾患リハビリテーション（I）	・和歌山県糖尿病療養指導士：2名
・廃用症候群リハビリテーション（I）	・リンパ浮腫療法士：1名
	・医療安全管理者：1名

## 【スタッフ紹介】（2021年4月）

理学療法士23名			作業療法士4名	言語聴覚士3名
梶木 重裕	左海 登子	尾家 千尋	水野 恵子	坂井 俊文
浅倉 洋司	兼井 奈保	則岡 優佑	汐崎 敦子	木村 奈央実
吉岡 徹	小原 準矢	中谷 竜也	佐藤 将人	岩橋 幸奈
松本 隆幸	井向 博信	橋角 亮佑	大原 元	
内田 利加	濱田 知也	大江 光司		
松田 恒輝	櫻井 諒	中西 翔大		
菅野 徳央	佐本 善紀	浅野 佑太		
阪部 陸	松島 宏治			

## 【科の取り組み】

### ・理学療法部門

病気やケガ等により身体に障害を来した患者さんの基本的動作能力（寝返り・起き上がり・座る・立つ・歩く）の維持・回復を主な目的としての運動療法（関節可動域運動・筋力増強運動・基本動作練習等）に加

え、日常生活に必要な日常生活動作練習を行うことによりADL・QOL向上を目的に寝たきり予防、家庭復帰、社会復帰をめざしています。

疾患別	2020年度	2021年度
運動器疾患	14,187	12,218
脳血管疾患	5,622	5,366
廃用症候群	9,658	9,348
呼吸器疾患	3,385	2,981
心大血管疾患	3,364	2,756
がん疾患	2,446	1,691
合計	38,662	34,360

※増減率 - 11.1%

疾患別	2020年度	2021年度
運動器疾患	24,249	20,526
脳血管疾患	8,210	8,275
廃用症候群	12,392	12,358
呼吸器疾患	4,095	3,889
心大血管疾患	4,777	4,042
がん疾患	3,652	2,258
合計	57,375	51,348

※増減率 - 10.5%

#### ・作業療法部門

上肢や手指の運動機能回復、着替え・トイレといったような日常生活動作練習、家事・職業など生活関連動作練習、認知・注意・記憶力などの低下といった高次脳機能障害に対するアプローチを行っています。また、手の装具の製作や自助具の紹介・製作、福祉用具や家屋改造の相談なども行っています。

疾患別	2020年度	2021年度
運動器疾患	3,746	3,625
脳血管疾患	3,354	3,066
廃用症候群	573	1,196
呼吸器疾患	93	93
心大血管疾患	12	0
がん疾患	181	64
合計	7,959	8,044

※増減率 + 1.06%

疾患別	2020年度	2021年度
運動器疾患	5,119	5,112
脳血管疾患	5,287	5,198
廃用症候群	850	1,856
呼吸器疾患	142	132
心大血管疾患	12	0
がん疾患	247	121
合計	11,657	12,419

※増減率 + 6.5%

#### ・言語聴覚療法部門

脳卒中後遺症により話す、聴く、書く等が困難となる失語症、麻痺で正しく発音ができない構音障害に対しコミュニケーション能力向上、記憶力や判断力の低下などの高次脳機能障害を対象とします。また、飲み込むことが困難となる嚥下障害に対しても口から食べることを目標として評価・訓練・指導を行います。近年増加の一途をたどる摂食嚥下障害に対するニーズが高く、各診療科から依頼の多い分野です。

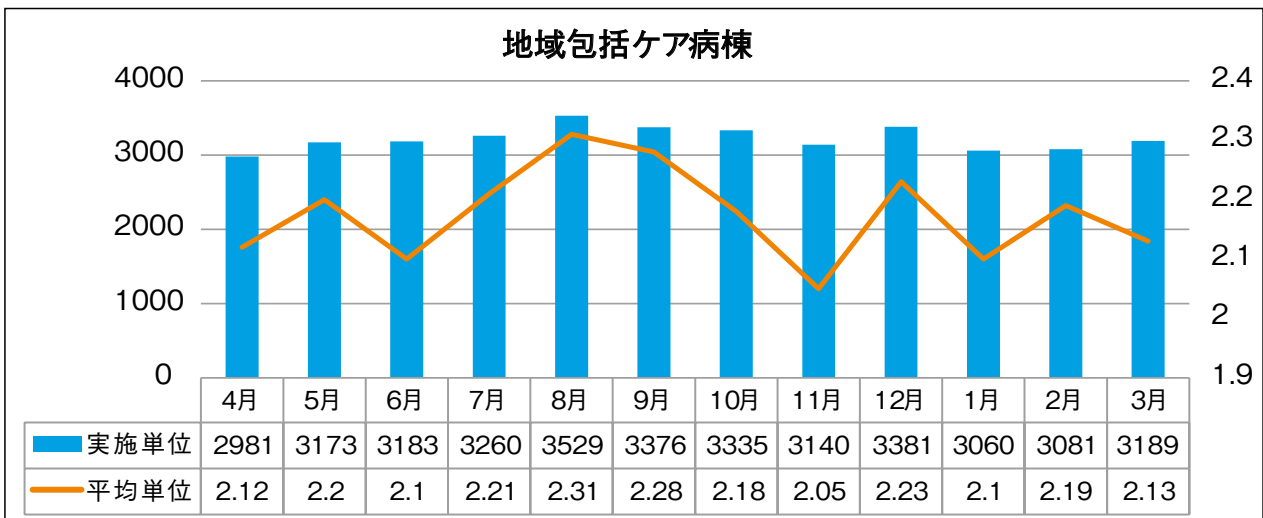
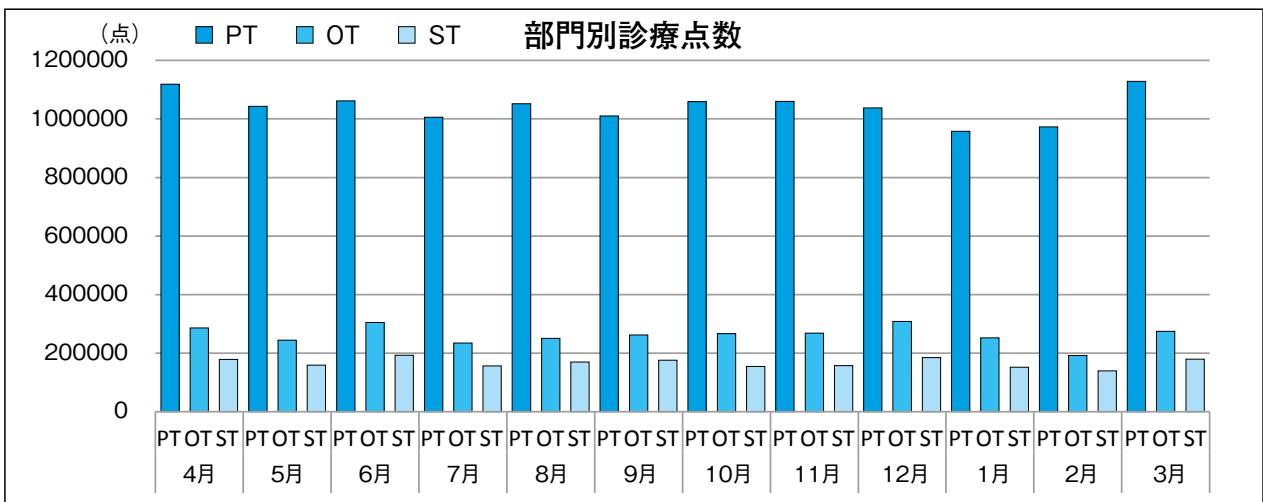
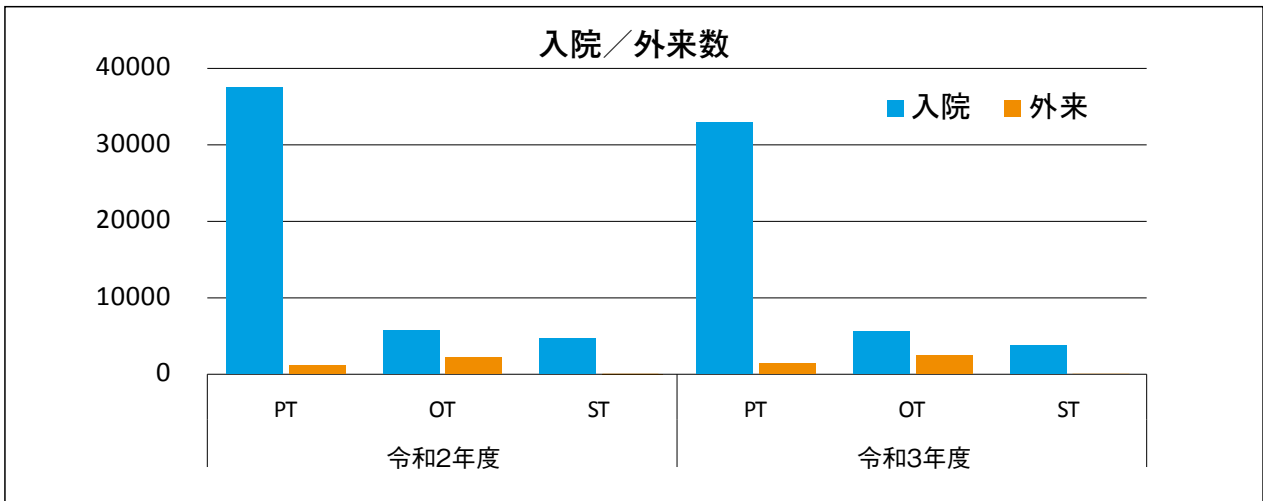
疾患別	2020年度	2021年度
脳血管疾患	3,341	2,921
廃用症候群	0	5
呼吸器疾患	1,033	837
がん疾患	235	0
摂食機能療法	3,520	3,039
合計	8,129	6,802

※増減率 - 16.3%

疾患別	2020年度	2021年度
脳血管疾患	5,308	4,093
廃用症候群	0	5
呼吸器疾患	1,461	1,208
がん疾患	318	0
摂食機能療法	3,520	3,039
合計	10,607	8,345

※増減率 - 21.3%

【診療実績】



当院の地域包括ケア病棟では、急性期治療を終えた方を中心に在宅復帰をめざしています。担当療法士が機能訓練、日常生活動作訓練、生活関連動作訓練、屋外訓練などの個別リハビリを行い、患者さんが安心して在宅復帰できるように一人一人の目標に合わせて支援しています。

地域包括ケア病棟入院中の患者に対する月平均のリハ実施患者数は48.7名/50床中、月平均の総実施単位数は3224単位、患者一人1日当たりの平均実施単位数は2.17単位でした。

【今後の課題】

早期離床を図り身体機能の回復や廃用症候群の予防、ADL改善により社会復帰のために早期から継続的にリハビリテーションを行うことが推奨されており、理学療法部門は365日リハビリテーションを実施していま

す。そのためには専門職として院内外の研修会や学会等へ参加し、知識や技術の向上に努めることが必要です。各々が課題を見つけ明確な目標を立てて取り組みスキルアップのために研鑽を積む必要があり、高い専門性を獲得し患者さんへ良質なリハビリテーションを提供することを心掛けています。

## 業績

### 発表・講演

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2022年3月	和歌山中枢神経麻痺研究会	身体の自己管理	佐藤 将人		和歌山市 (Zoom)
2	2022年2月	第16回日本医療マネジメント学会和歌山支部学術集会	急性期脳卒中片麻痺者における知覚探索アプローチの効果 - 麻痺側上肢と生活機能の関連性 -	佐藤 将人	槻木 重裕、汐崎 敦子、水野 恵子、三上 幸夫	和歌山市 書面発表
3	2022年2月	第16回日本医療マネジメント学会和歌山支部学術集会	リハビリテーション科における感染対策の見直しによる効果	水野 恵子	佐藤 将人、浅倉 洋司、槻木 重裕、吉岡 徹	和歌山市 書面発表
4	2021年6月	第27回日本心臓リハビリテーション学会学術集会	心不全患者の退院後、運動療法における情報提供が再入院に与える影響についての検討	松島 宏治	松田 恒輝、左海 登子、中谷 竜也、高橋 新	千葉市 (Zoom)
5	2022年2月	令和3年度紀北局症例検討会	深部静脈血栓症による長期間の介入中断に対して検討した大腿骨転子部骨折術後の一症例	浅野 佑太		Zoom

### 論文・雑誌掲載

No	採択月	著書名	題名	筆頭著者	共著者
1	2021年5月	Asian Journal of Occupational Therapy Vol. 17, p65-68	An Intervention to Overcome Eating Difficulties in a Patient with Autism Spectrum Disorder -A Case Study	Masato Sato	Yukio Mikami, Yoji Asakura, Kiya Katayama, Fumihiko Tajima
2	2021年8月	Asian Journal of Occupational Therapy Vol. 17, p79-82	An Intervention to Overcome Locomotion Difficulties in a Patient with Oculomotor Nerve Palsy :A Case Study	Masato Sato	Atsuko Shiosaki, Yoshiki Samoto, Ryo Yoshimura

## 【概要】

栄養管理科は管理栄養士3名体制で、主な業務は外来および入院患者の栄養管理です。その中で最も中心となるのは栄養食事指導業務であり、外来個人栄養食事指導、入院個人栄養食事指導を行っています。糖尿病ワーキングでは糖尿病教室、院内、院外でのイベント活動や栄養食事指導、NSTでは回診、カンファレンスの参加や定例勉強会等の活動にも力を注いでいます。各診療科カンファレンスにも参加し栄養療法を提案しています。病院管理栄養士は専門性を高め、個々の患者の栄養管理、栄養補給法を提案する活動に変化しつつあります。

嚥下ワーキング活動においては、食べやすい食事形態の要望も多く、当院の嚥下食の現状と課題について「日本摂食・嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類2013」に基づき、重曹や酵素を導入した調理方法や献立の見直しを行い嚥下食の充実に向け改良を重ねてきました。2020年度には糖尿病嚥下食の取り組みを行い、2021年度は評価を行いました。食欲不振は、化学療法、高齢者の食欲不振時の食事としてさらに改良し、がん領域として新たに外来がん化学療法の質向上のための総合的な取り組みを行っています。給食部門は平成11年に直営から給食会社へ全面委託となり、入院患者の食数管理、献立作成、食材発注、在庫管理、調理、盛り付け、配膳、下膳、洗浄は給食会社が行っています。

## <理念>

- ◇ 患者様の病態に応じて適切な食事を提供し、その治癒あるいは回復の手助けをする
- ◇ 治療食であっても個人の嗜好と生活習慣を考慮した食事を提供する
- ◇ 衛生的で、安全・安心な食事を提供する
- ◇ 栄養指導を行い、食事・栄養管理できるように行動の変容に導く
- ◇ 栄養管理を行い、患者様のQOLを高める手助けをする

## <行動指針>

- ◇ いつも笑顔でまごころをこめた対応
- ◇ 「ありがとう」という感謝の気持ちを持って行動
- ◇ 「すみません」という謙虚な気持ちを持って行動

## <スタッフ>

技師長 藤本 佐和子  
主任 高橋 佐智  
指導員 下垣内 愛奈

## <有資格：専門・認定管理栄養士>

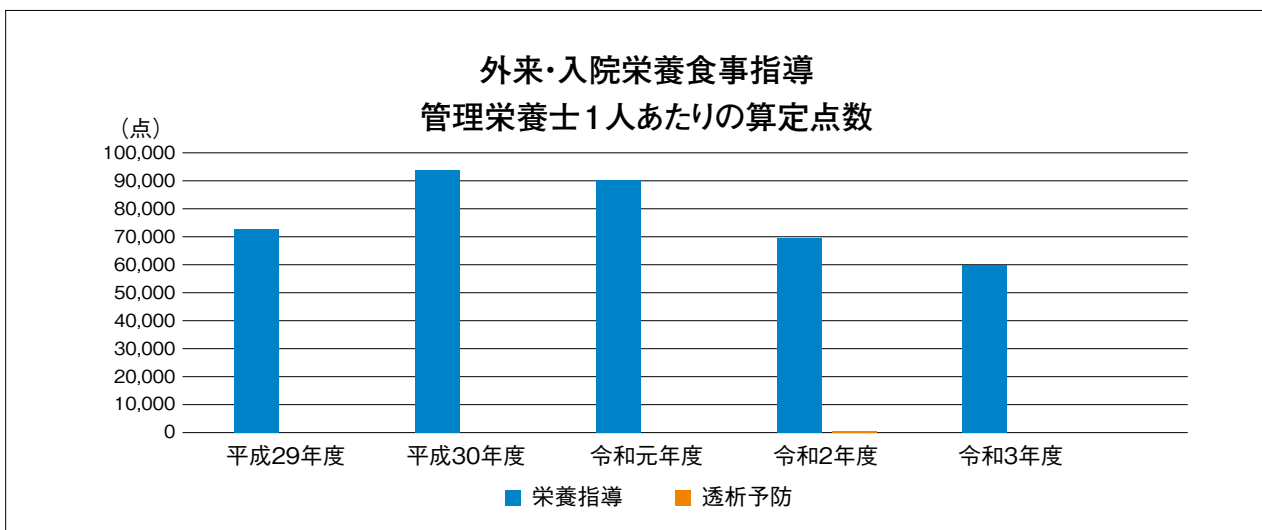
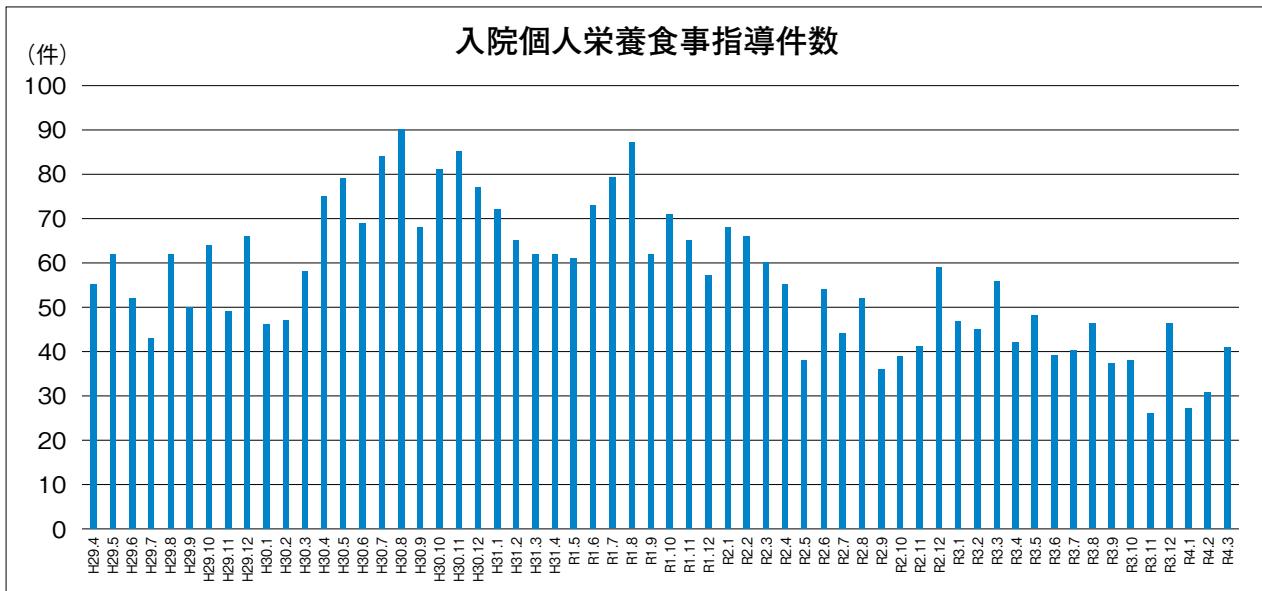
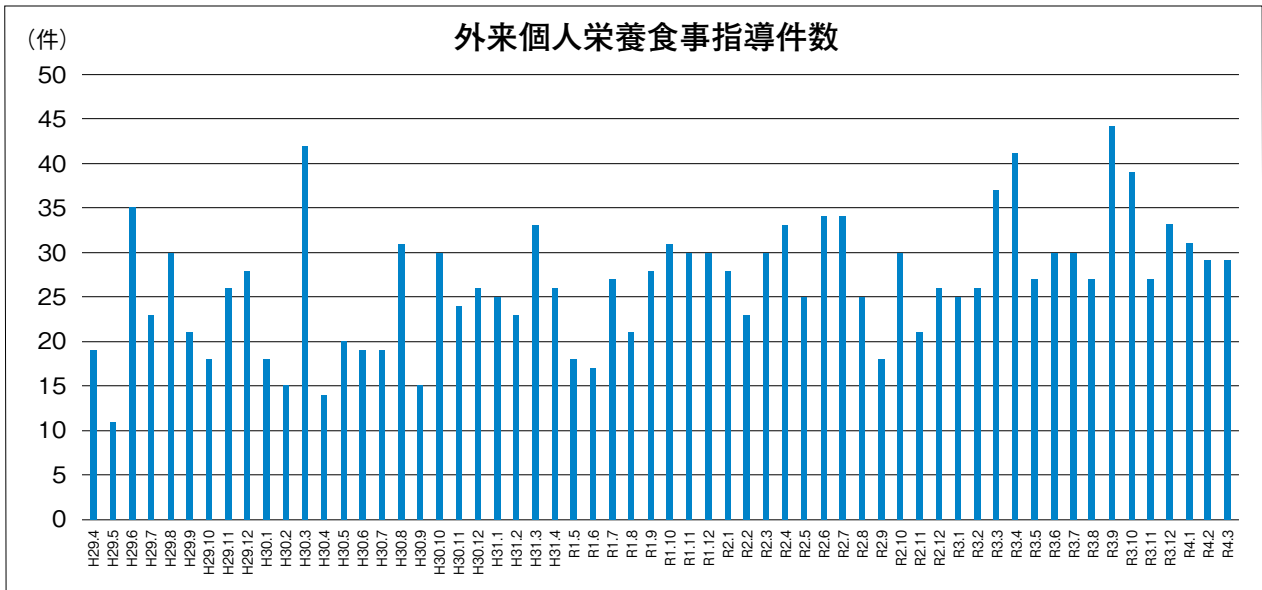
がん病態栄養専門管理栄養士 1名  
病態栄養認定管理栄養士 1名  
日本糖尿病療養指導士（CDEJ）2名  
栄養サポートチーム（NST）専門療法士1名  
和歌山地域糖尿病療養指導士（WLCDE）2名

給食部門：委託 シダックスフードサービス株式会社 35名

## 【実績】

### 2021年度給食提供実施件数および栄養指導件数 (件)

食種		月												年度平均
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
一般食	常食	7,132	8,022	7,090	6,693	9,318	7,926	7,112	6,315	6,416	9,085	7,571	7,661	7,528
	軟食等	6,973	6,032	6,545	5,496	6,126	6,085	6,315	6,393	5,360	5,834	6,535	7,189	6,240
特別食	加算	5,756	5,814	4,786	5,017	4,923	5,111	4,913	5,265	5,516	5,097	4,823	4,694	5,143
	非加算	376	286	298	275	433	317	390	478	346	449	500	639	399
計		20,237	20,154	18,719	17,481	20,800	19,439	18,730	18,451	17,638	20,465	19,429	20,183	19,311
患者外食	職員食	466	418	490	444	451	388	374	373	407	429	344	448	419
その他	託児所	62	44	63	46	86	74	103	127	123	102	97	115	87
計		528	462	553	490	537	462	477	500	530	531	441	563	506
栄養指導	外来集団	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院集団	0	0	1	2	2	0	1	3	0	0	1	2	1
	外来個人	41	27	30	30	27	44	39	27	33	31	29	29	32
	入院個人	42	48	39	40	46	37	38	26	46	27	31	41	38
計		83	75	70	72	75	81	78	56	79	58	61	72	72



【栄養管理委員会】  
 <栄養管理委員会>

2021年11月25日

- \* 入院時栄養スクリーニングMNA-SF 現状の課題と問題点報告
- \* 糖尿病嚥下食追加について報告

- \*小児食の患者 誕生日祝い食
- \*アイソトニックゼリーの現状
- \*濃厚流動食の取り扱い種類について
- \*令和3年度（2021年度）嗜好調査について

2022年1月26日

- \*糖尿病嚥下食稼働に向けて（コード3，コード4）
- \*アイソトニックゼリー提供に関する試験運用の報告と今後の運用について
- \*小児食の誕生日祝いデザート

### 【食事についての紹介】

行事食は毎月1～2回行われ、暦行事にちなんだ料理・普通食～治療食（特別食）の行事食を提供しています。オリジナルメッセージカードも添えて提供しています。

### 【行事食の紹介】

1月1日～1月3日	正月料理（雑煮・黒豆・田作り・数の子・紅白なます・赤飯・鯛）
1月7日	七草粥
2月3日	節分（巻き寿司・鯛・節分豆）
3月3日	ひな祭り
4月4日	お花見弁当
5月5日	子供の日
6月	入梅
7月7日	七夕
8月15日	夏祭り
9月15日	敬老の日
10月	秋祭り
11月	開院記念日
12月	冬至、クリスマス、大晦日

### 【食種】

院内食事箋規約より、普通食（A～D）、軟菜食（3分粥、5分粥、7分粥、全粥、軟飯）、流動食（流A、流B、流2）食欲不振食（なごみ食）陣痛食、産褥食、嚥下食、経管栄養食、術前食、各術後食（術A、術B、術C、術E）、糖尿病食、糖尿病嚥下食、脂質異常症食、腎臓食、ネフローゼ食、透析食、心臓食（A、心B I、心B II、心C）、肝臓食（A～C）、膵臓食（3分粥～米飯）、胆嚢炎・胆石食（流動～米飯）、潰瘍食（1分粥～米飯）、腸炎食（3分粥～全粥）、貧血食、低残渣食、低ヨード食、大腸検査食、小児食（A～D）、離乳食（A～D）、小児腸炎食（A～D）、小児腎臓食（A-A～D、B-A～D、C-A～D）小児ネフローゼ食（A-A～D、B-A～D）があり、合計200種類以上の食種となる。この食種に加え、多様な個人対応（アレルギー除去食含む）も行っています。

### 【今後の課題】

安全・安心で且つ患者様に喜んでいただける食事作りと、各専門性を活かした栄養管理や栄養食事指導を通して、近隣地域にも貢献できるよう発信していきたいと考えております。



## 【概要】

歯科技工室は、歯科口腔外科外来に設置構成された歯科専門技術職です。

### <理念>

- 1) 専門職として患者様に対応する。
- 2) 他職種とのコミュニケーションづくりをする。
- 3) 患者様が来院しやすい病院づくりをする。

### <スタッフ>

歯科技工士 下坂洋二  
 歯科衛生士 北河寛子（会計年度任用職員）  
 福井恵子（会計年度任用職員）  
 藺田尚乃（会計年度任用職員）

### (1) 技工部門

歯科医師の指示の下、他科から依頼のさまざまな技工物や睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置、手術後の顎欠損患者様の顎補綴、止血用のシーネ、顎関節治療用のスプリント、歯ぎしり防止用ナイトガード等を迅速に作製し、入院患者様の生活の質向上に努めています。

### (2) 診療部門

歯科衛生士は、歯科診療補助業務の他、外来患者様と入院患者様に専門的口腔ケアなどを行います。周術期口腔機能管理では、医科と連携し、歯科医師と共に口腔管理を行います。また、嚥下機能が低下している他科の入院患者様などを歯科医師と共に往診し、病棟看護師の協力の下、専門的口腔ケアを行います。チーム医療では、NSTチーム、緩和ケアチームに積極的に参加しています。

## 【実績】

### 2021年度 周術期口腔ケア患者人数 (人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
11	14	13	16	11	9	14	15	12	6	9	14	144

### 2021年度 往診口腔ケア・外来口腔ケア・周術期口腔ケア (延べ件数) (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
往診口腔ケア	23	14	29	29	28	21	29	46	26	20	14	16	295
外来口腔ケア	32	44	39	28	26	17	19	25	34	22	18	20	324
周術期 (往診)	10	8	17	14	9	10	11	14	10	4	7	11	125
周術期 (外来)	25	37	31	33	31	28	30	42	36	25	21	32	371

## 【今後の課題】

周術期では、術前・術後の口腔機能管理を行うことにより、術後肺炎などの合併症予防ができることが期待されています。診療部門では、通常外来診療と並行して、歯科医師と共に周術期口腔機能管理を行っているため、術後の口腔ケア介入のタイミングを検討し取り組んでいく必要があると考えています。



## 【1. 概要】

地域医療部では前方支援を地域医療連携室、後方支援を入退院支援室とし、地域における中核病院として地域医療機関及び関係機関と連携を深め、患者様に対してより質の高い医療を提供できるよう活動しています。

2021年度も地域の医療機関からの診療・検査の予約受付や転院受入れを行うとともに、医師・看護師・その他のコメディカル等と連携して、急性期治療後の在宅復帰・転院の退院調整などの支援を患者様・ご家族に対して実施しました。

## 【2. 人員配置】

組織名	補職名	氏名 (職種)	備考
地域医療部	部長	星屋 博信 (副院長兼務)	
	副部長	兼平 龍一 (地域医療連携室長兼務)	
地域医療連携室	室長	兼平 龍一 (副地域医療部長兼務)	
	室長補佐	池田 知将 (事務員)	2021年9月まで
		山内 壯一 (事務員)	2021年10月から
	主幹	山本 茂晴 (事務員)	
		染原 佳代子 (看護師)	
		土居 美佳 (事務員)	
		澤本 真由美 (事務員)	
		西山 真由 (事務員)	
		上田 喜代美 (事務員)	
		山本 愛 (事務員)	
入退院支援室	室長	恋中 理恵 (退院支援看護師)	
	主任	木村 久美子 (退院支援看護師)	2022年1月まで
	主任	泉本 大祐 (社会福祉士)	
	主任	橋爪 祥人 (社会福祉士)	
	主任	上中居 幹太 (社会福祉士)	
		吉鶴 伸太郎 (社会福祉士・精神保健福祉士)	
		畑中 里香 (社会福祉士)	2021年8月から
	田中 佐知 (事務員)		

## 【3. 実績】

### 【地域医療連携室】

前方支援業務では、連携業務の推進強化のための渉外活動を促進し、「かかりつけ医」を推奨するため伊都医師会及び五條市医師会を中心に「連携登録医」を締結し、外来に連携登録医ポスターを配置しています。また、院内・院外ホームページでの連携登録医を検索できるようにしています。2021年度の橋本市民病院連携登録医数は、新規開院1診療所、閉院が4診療所で、130診療所となっています。(2022年3月31日時点)

地域医療連携室の窓口で専属の看護師を配置することで地域の医療機関からご紹介いただいた患者様の速やかな受入れに努め、受診予約や結果連絡等に関する業務を行うとともに、土曜日や平日の19時までの受診予約も行っています。

### (1) 紹介率・逆紹介率

	紹介率	逆紹介率
2017年度	24.8%	43.6%
2018年度	27.8%	46.0%
2019年度	29.1%	47.1%
2020年度	32.9%	50.0%
2021年度	35.8%	54.4%

(2) 渉外活動の状況

近隣施設、医療機関との医療連携の強化を図る目的で定期的に訪問している。

	伊都郡・橋本市	五條市	その他	合計
2019年度	338件	42件	18件	398件
2020年度	116件	7件	1件	124件
2021年度	93件	6件	0件	99件

(3) 「橋本市民病院連携登録医制度」の運用状況

連携登録医契約状況 130診療所（2022年3月31日現在）

- 〈医科〉伊都医師会登録医数 67診療所  
五條市医師会登録医数 22診療所  
他地域医師会登録医数 1診療所  
〈歯科〉伊都歯科医師会登録数 40診療所  
（詳細は巻末連携登録医を参照ください。）

(4) 地域医療機関向け広報誌の発行

- ①「2021年度橋本市民病院診療科紹介パンフレット」 7月発行  
②「橋本市民病院診療科だより」 外科

(5) 診療の予約業務等

地域医療機関からの診療依頼に対して適切な診療科への予約取得を行うとともに、診療経過・検査結果・入院経過などの報告支援や、当日緊急受診の要請・入院要請に対して、迅速かつ適切な受診調整、入院の受け入れ調整を行った。また、画像診断用の診療情報提供書及び栄養食事指導予約申込み用の診療情報提供書の様式等を一部変更し運用を見直すことで、医療機関相互の診療情報提供依頼について利用し易い改善に努めました。

(6) 研修会等開催

新型コロナ禍の影響により、地域の医療機関の皆様を対象とした研修会等の開催は中止となりました。

【入退院支援室】

入退院支援室では、病床の効率的な運用を図ると共に、患者様の入院から退院まで円滑に安心して医療を受けられるよう、入院前から一人一人の状況を身体的、社会的、精神的背景から把握し、入院病棟と他職種で情報を共有し、入院中の一貫した支援を行っています。

また、ソーシャルワーク業務を中心に各種相談業務に取り組みました。がん相談支援センターでは、がんに関する情報の発信や外来通院時からの療養支援、がん情報コーナーを設置すると共に、がん相談や緩和ケアチームの活動にも携わり、がん医療に係る相談業務等にも積極的に取り組みました。橋本市民病院がん患者サロン「サロン・ド・サクラ」は、新型コロナの影響で中止しておりましたが、感染状況を鑑みWEB開催を行っています。

【今後の課題】

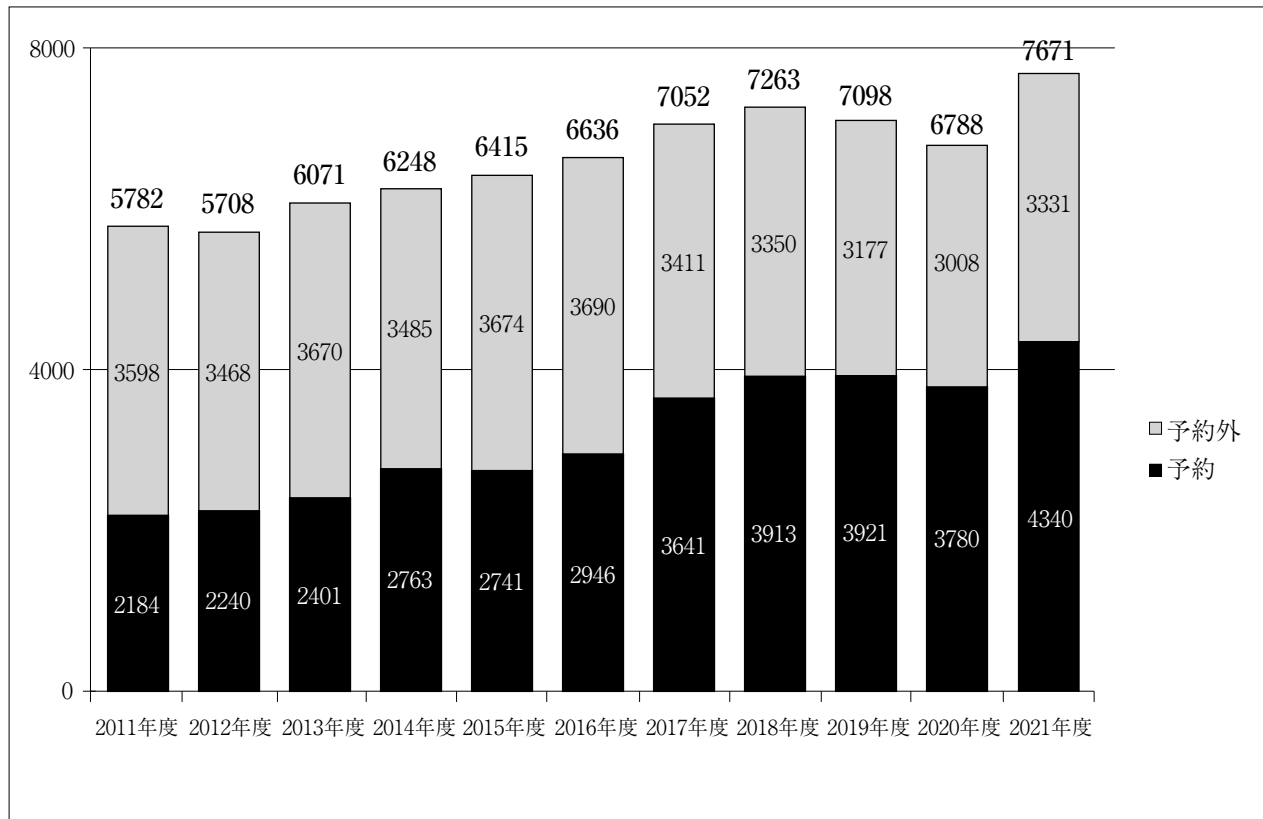
退院前カンファレンスの実施を積極的に行い、在宅医、訪問看護、ケアマネージャー、介護施設等と連携を密にして退院支援・調整の質の向上を図る。

また、紹介率・逆紹介率の向上を目的として、地域医療機関とのよりよい医療連携の構築を目指すこと、および、医療・介護・福祉行政が一体となり、地域住民のケアをスムーズに行えるような支援を目指していく。

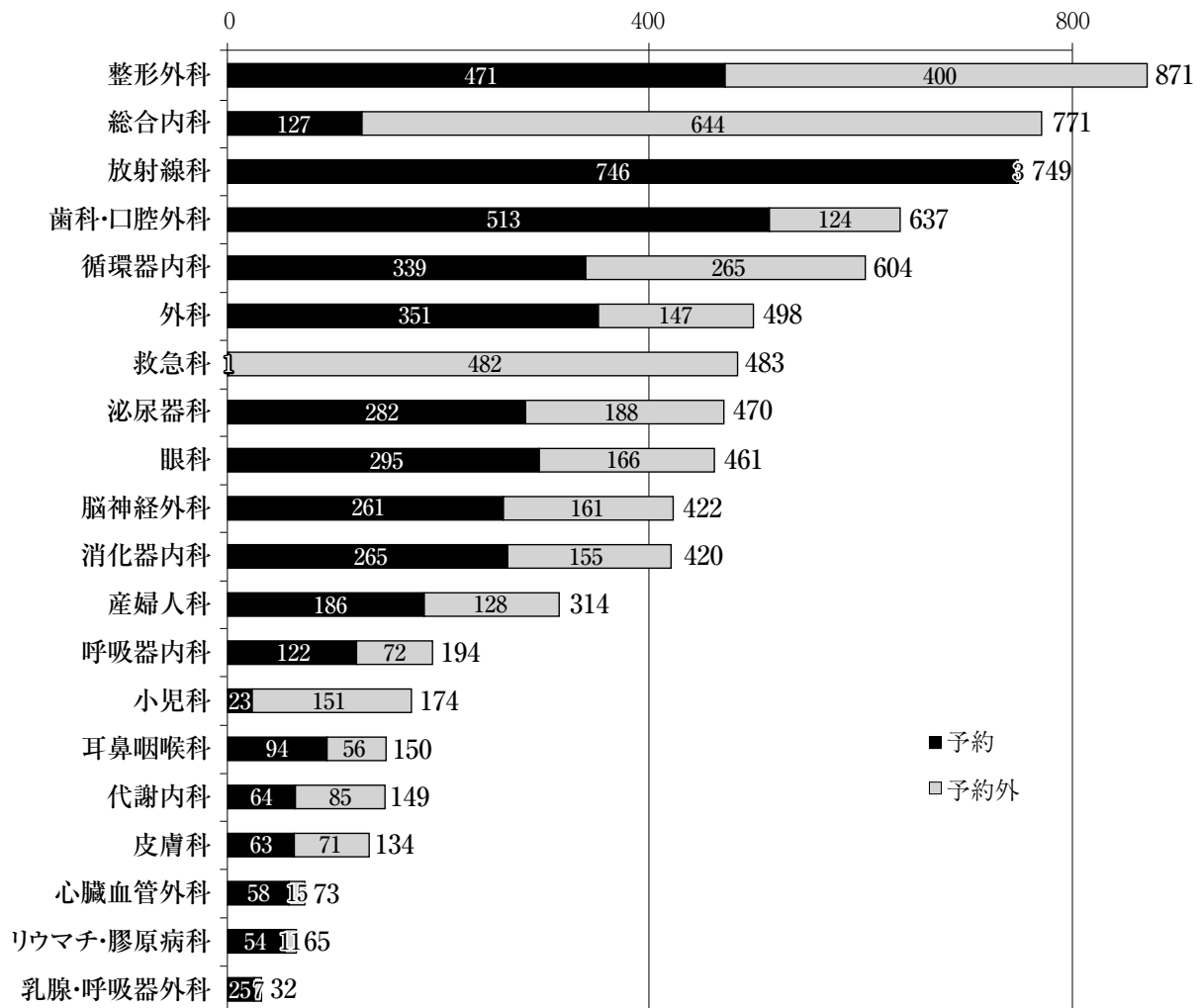
## 2021年度 地域医療連携室 事務業務件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
電話対応	2,099	1,946	2,399	2,126	2,541	2,555	2,384	2,495	2,244	2,226	2,062	2,325	2,283.5
FAX 対応	2,776	2,083	2,372	2,884	2,628	2,608	2,666	2,829	2,716	3,663	2,513	2,801	2,711.6
受診報告書	71	62	82	100	81	55	60	77	62	39	26	29	62.0
入院報告書	123	124	129	126	160	140	134	173	116	147	151	188	142.6
退院報告書	105	86	115	127	140	106	130	135	118	121	129	175	123.9
死亡報告書	12	3	4	8	8	1	9	10	6	13	10	11	7.9
未受診報告書	9	6	2	8	12	8	14	5	10	9	10	7	8.3
紹介予約取得	283	261	325	322	299	336	335	340	290	324	265	346	310.5
逆紹介予約取得	45	34	61	50	60	55	53	70	58	47	42	61	53.0
画像診断結果送付	54	54	78	64	69	63	65	87	55	48	64	68	64.1
経過報告書送付	500	368	450	514	542	498	499	501	478	437	415	495	474.8

紹介患者数 2021年度推移

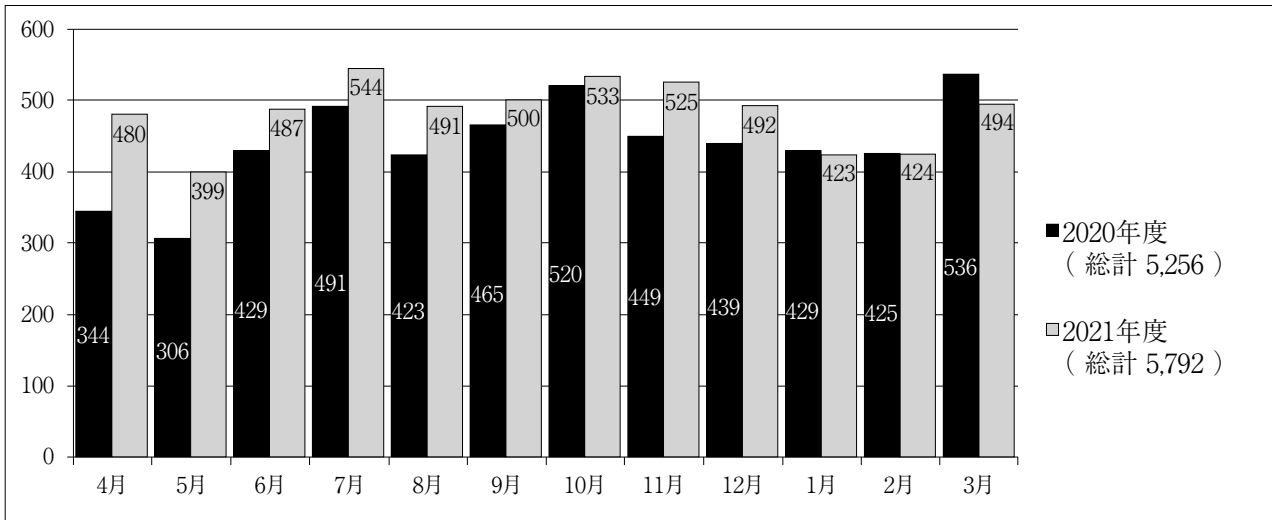


2021年度 診療科別 紹介患者数

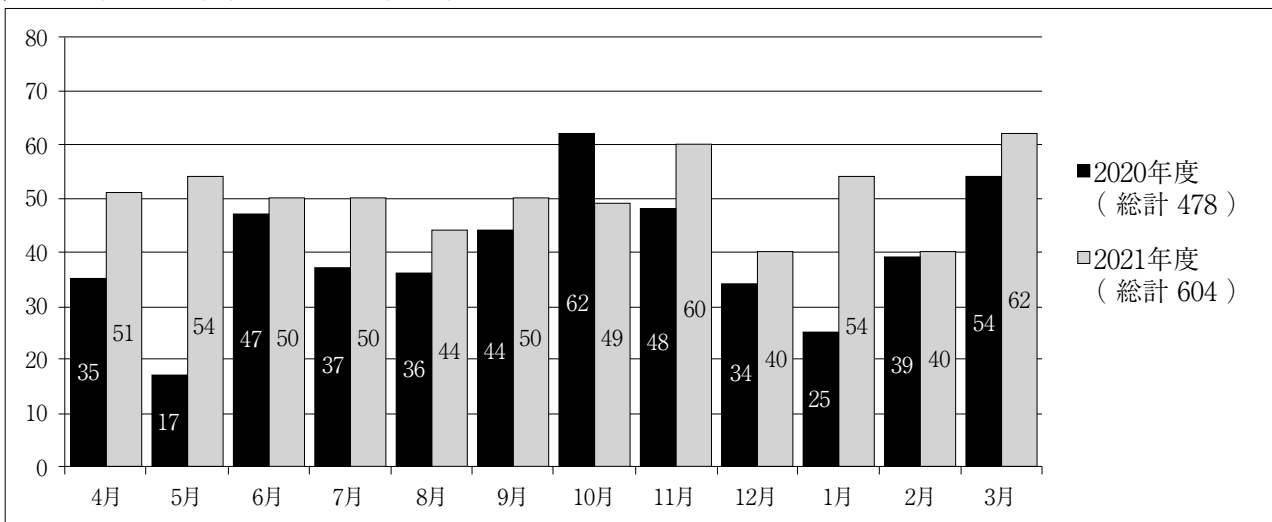


地域別 紹介患者数

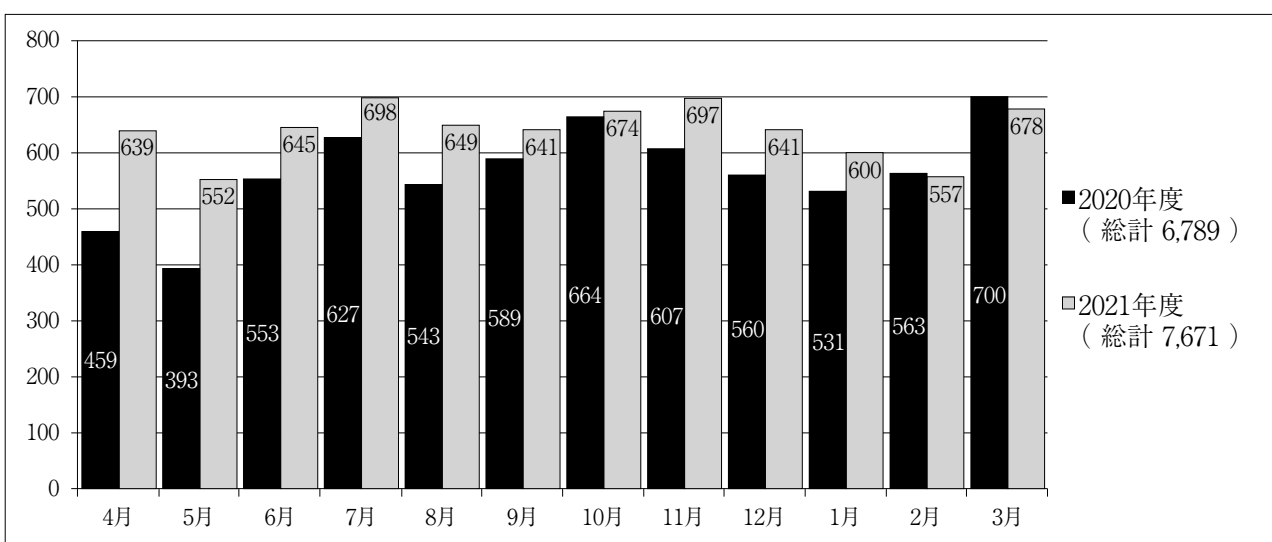
➤ 伊都橋本地域医療機関からの紹介患者数



➤ 五條市医療機関からの紹介患者数

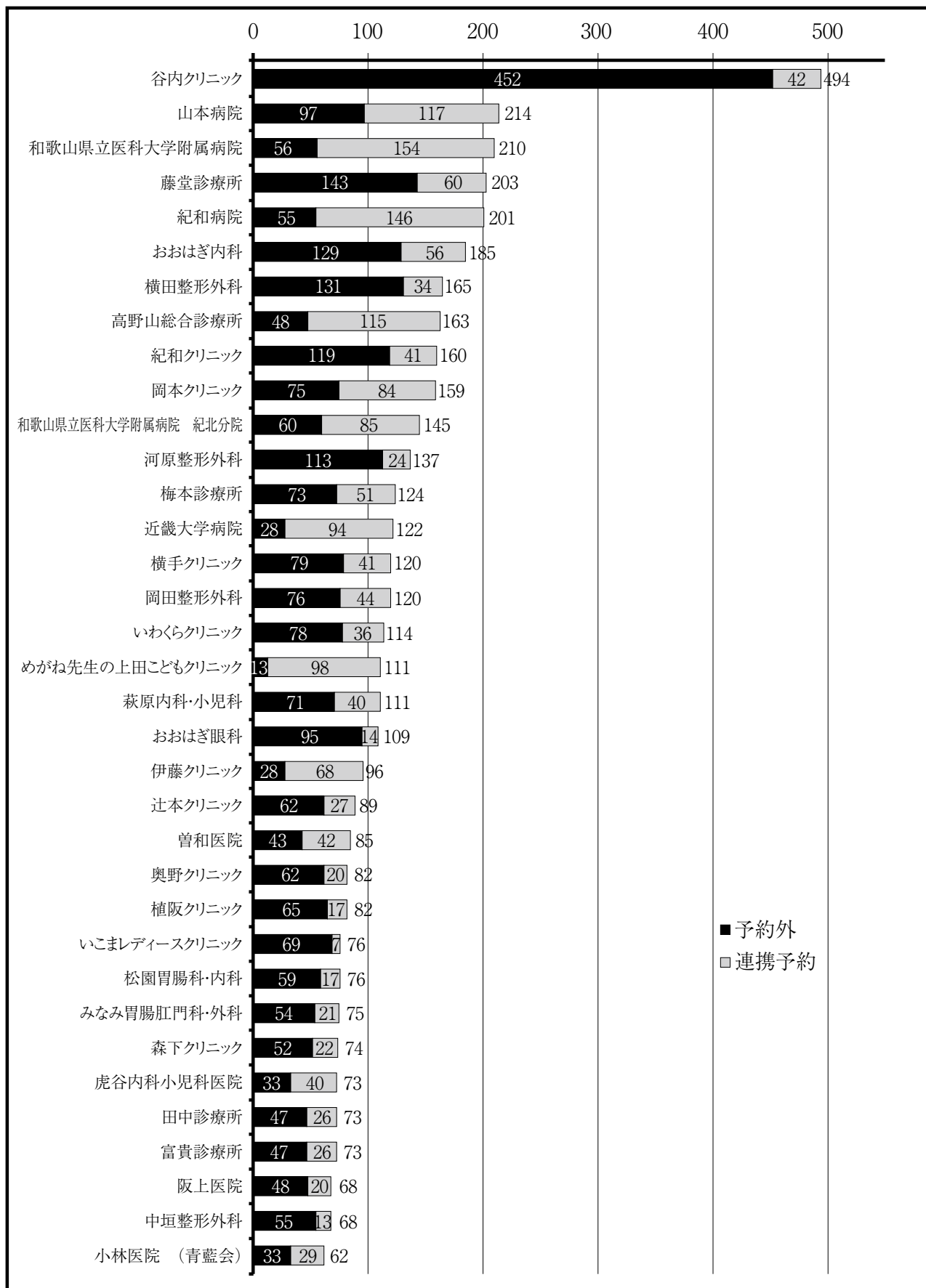


➤ 全地域医療機関からの紹介患者数

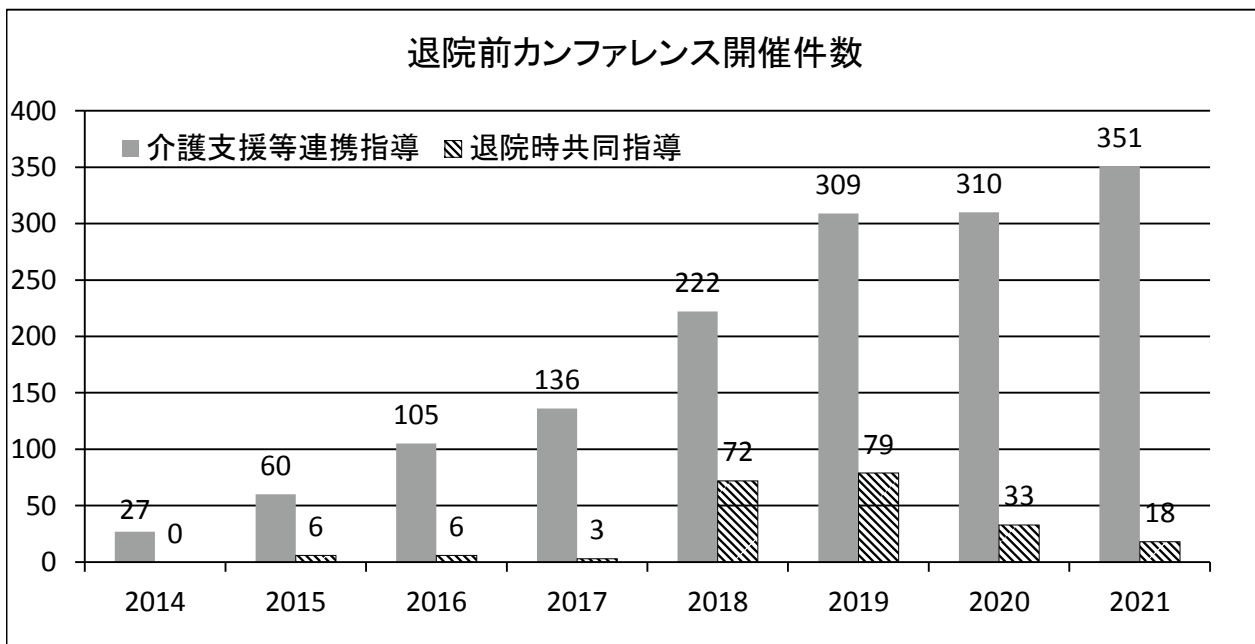
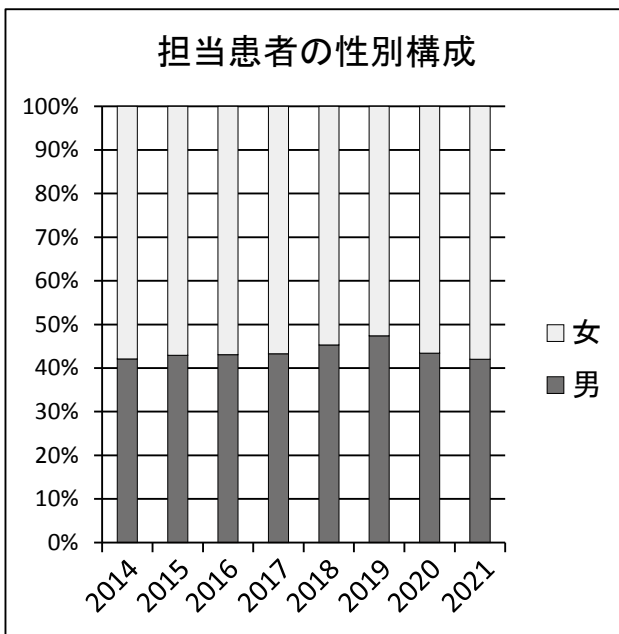
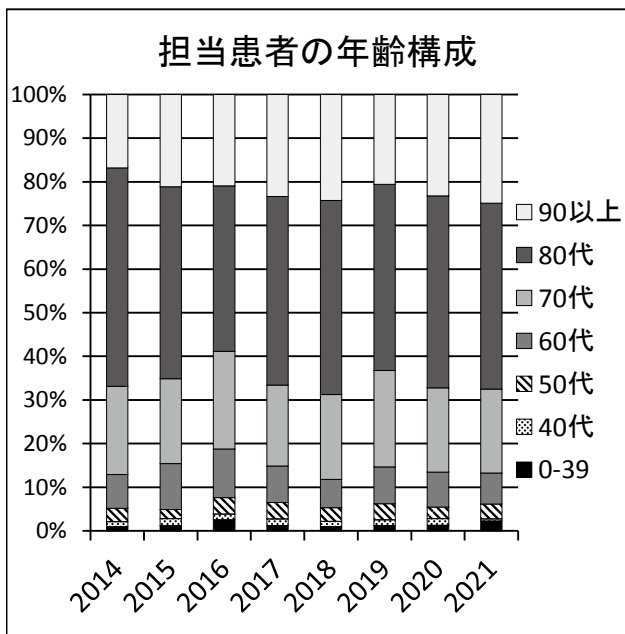
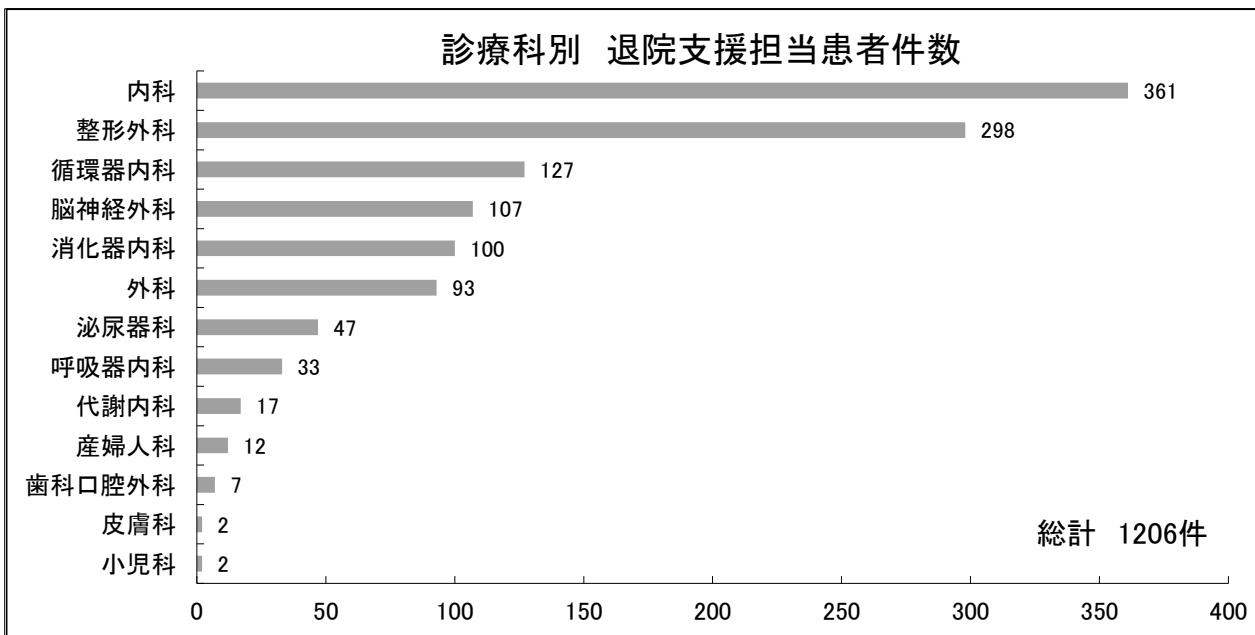


《 地域医療連携統計 》

医療機関等 紹介患者数（2021年度TOP35）

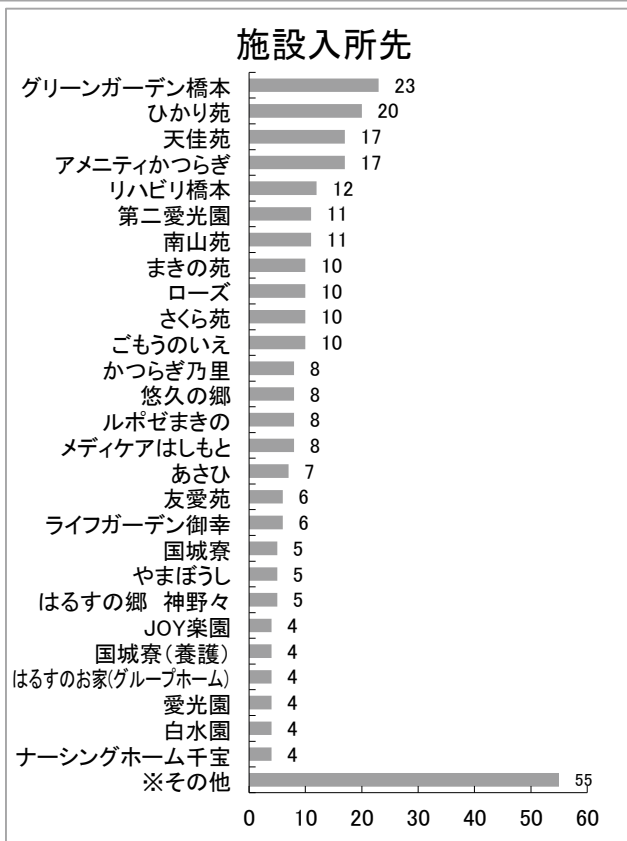
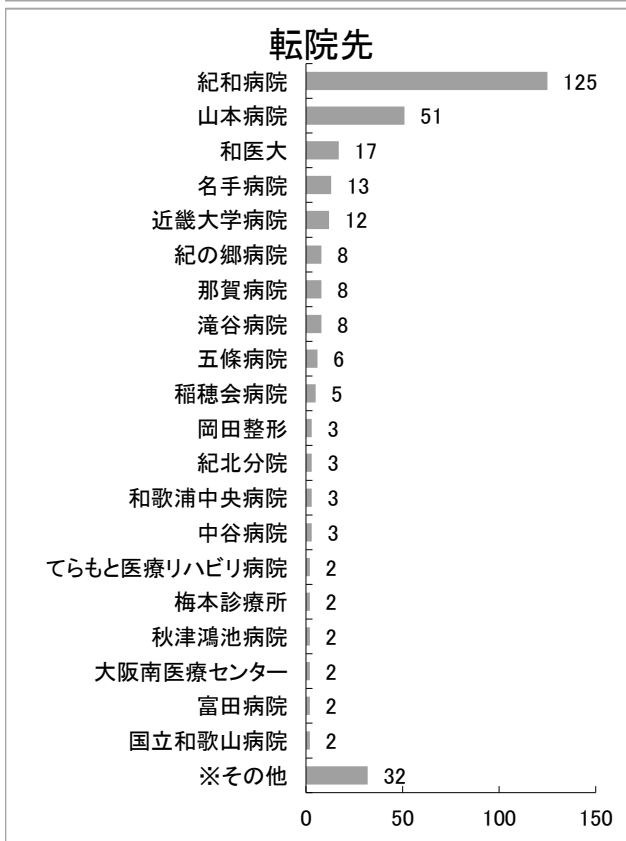
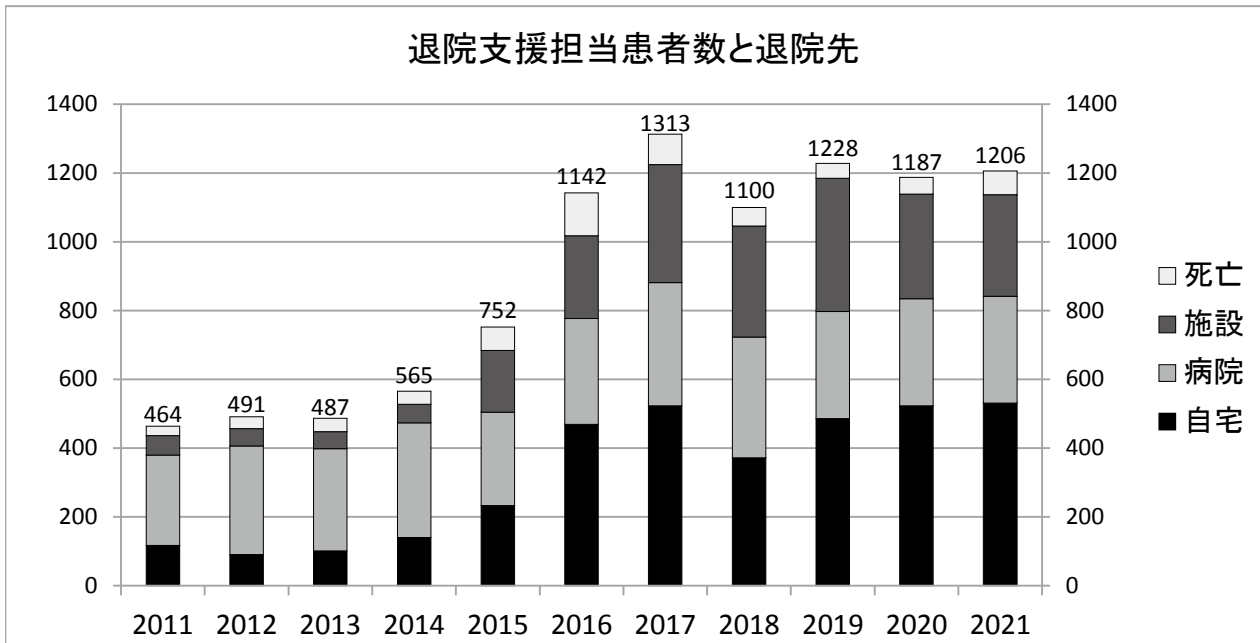


◀ 退院支援統計 ▶



VI 診療技術部紹介

◀ 退院支援統計 ▶



※ その他の転院先に含まれる医療機関

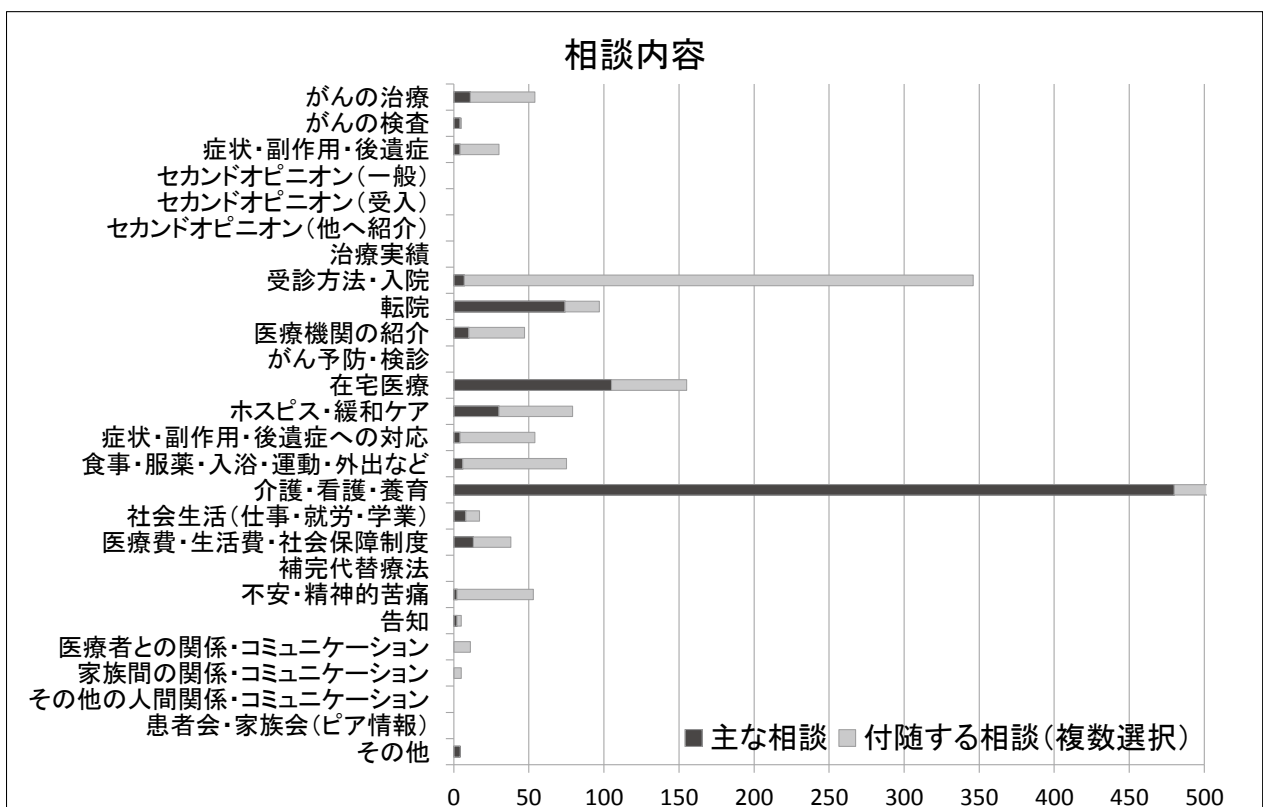
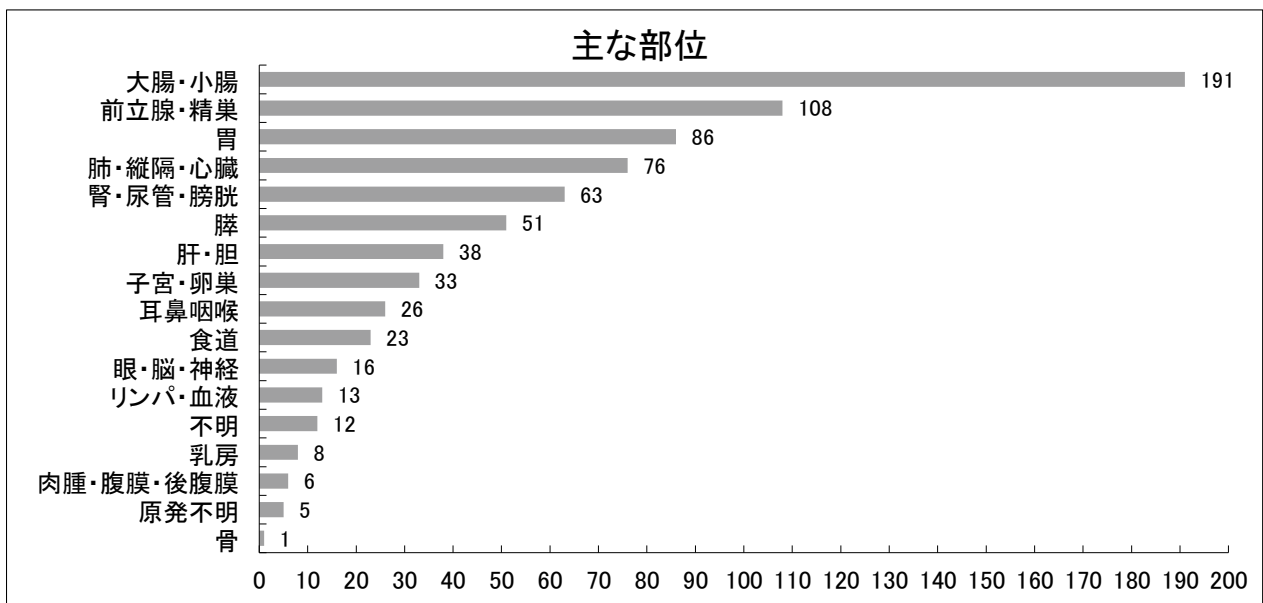
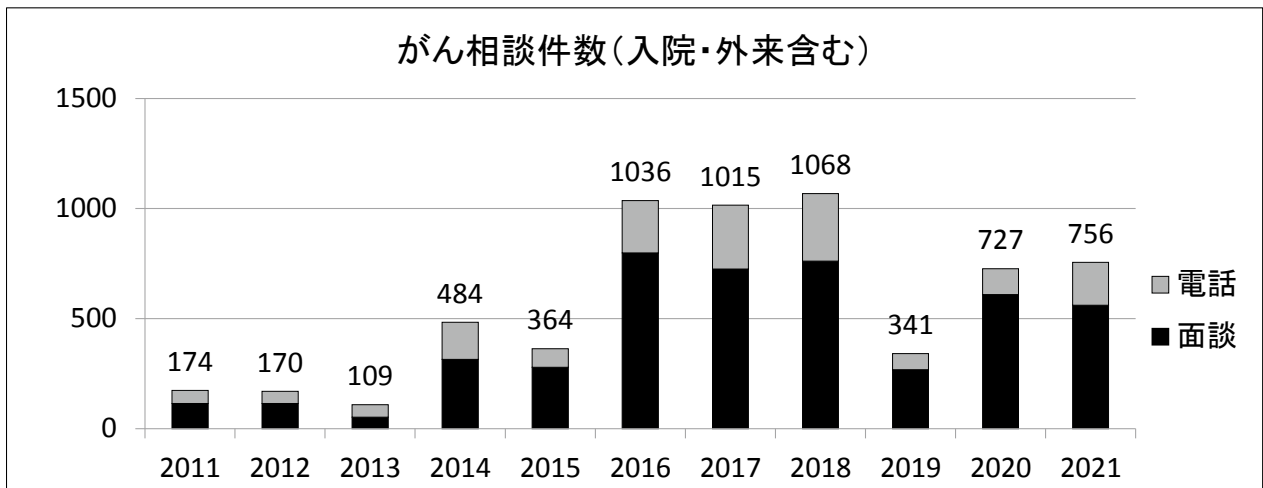
- |           |            |          |
|-----------|------------|----------|
| 和歌山ろうさい病院 | 国立循環器病センター | 天理よろず病院  |
| 和歌山生協病院   | 阪和第二泉北病院   | 香芝生喜病院   |
| 嶋病院       | 岸和田徳州会病院   | 平成まほろば病院 |
| 藤民病院      | ベルランド総合病院  | 南和病院     |
| 日赤和歌山     | 橋本病院       | 浜病院 など   |

※ その他の施設入所先に含まれる施設

- |             |           |             |
|-------------|-----------|-------------|
| つくしの宿       | ハートランド五條  | グループホーム幸楽の里 |
| みとうの里       | 伊都シルバーハイム | グループホーム愛光園  |
| ヴィレッタ椿      | 祥水苑       | やすらぎ苑       |
| シニアヴィラジュレ橋本 | 森のこかげ     | 白寿荘         |
| 愛がある        | ケアハウス幸楽の里 | 友喜苑 など      |



《 がん相談統計 》



VI 診療技術部紹介

## 【概要】

医療安全管理と感染管理活動は、院内活動だけでなく、地域の医師会及び歯科医師会・薬剤師会や近隣病院、保健・福祉施設、行政機関との情報交換や連携の強化に努めています。医療安全、感染管理のそれぞれの立場から、院内外の多職種との協働・連携を推進し、役割を遂行しています。

## 【スタッフ紹介】

・ 医療安全管理部部长	金 桂洙	(眼科部部长)
・ 医療安全管理副部长	橋本 忠幸	(総合内科副医長)
・ 医療機器安全管理責任者	小嶋 宏之	(臨床工学科技師長)
・ 医薬品安全管理責任者	河崎 尚史	(薬剤部部长)
・ 医療安全管理者(専従)	近藤 史子	(医療安全管理室長)
・ 感染管理認定看護師(専従)	栞田 美加子	(感染管理認定看護師・副師長)
・ 医療安全管理室主幹	山口 博志	(医療安全管理室兼感染管理室)
・ 感染管理事務	小島 文子	
・ 感染管理事務	中谷 仁美	

## 【実績】

### 医療安全管理室

- ・ 医療安全カンファレンス(週1回)
- ・ 医療安全対策委員会(月1回)
- ・ セーフティマネジメント委員会(月1回)
- ・ 患者サポートカンファレンス(週1回)
- ・ 自治病医療安全管理対策研修会(web研修)
- ・ 院内医療安全ラウンド(28回【14部署2クール】)
- ・ 医療事故事例検討会(4例)
- ・ 新規採用者研修、ラダー研修(ラダーI受講者)、補助者研修など
- ・ モニターアラーム説明会(12回)
- ・ DC説明会(12回)
- ・ 麻薬管理説明会

### 感染管理室

- ・ 感染制御会議(週1回)
- ・ 院内感染管理ラウンド実施(週2回)
- ・ 抗菌薬適正使用支援チーム会議(週1回)
- ・ ICTワーキング(月1回)
- ・ 感染研修会(年2回:資料研修)
- ・ 抗菌薬適正使用支援研修会(年2回:資料研修)
- ・ 新規採用者、補助者研修(適宜)
- ・ 新型コロナ感染症関連説明会(3回)
- ・ 新型コロナ感染症感染対策会議(適宜)
- ・ 地域感染症研修会(年4回)
- ・ 伊都橋本地区病院感染症連絡会(年4回)
- ・ サーベイランス:全入院患者(月1回)
- ・ サーベイランス:SSI(年2回)
- ・ 症状サーベイランス(毎日)
- ・ 定点把握感染症発生報告(週1回)

# VII 事務局紹介



## Ⅶ 事務局紹介

総務課

医事課

診療情報課

## 【概要】

総務課は、庶務係、経理係、用度係の3係で構成しています。

庶務係は、職員の人事、給与、労務、服務や福利厚生などの庶務業務を主な業務。

経理係は、病院事業に関する総合計画の策定及び推進、病院事業の経営健全化の推進、予算の調整と執行管理を主な業務。

用度係は、施設の整備や維持管理、薬品、診療材料物品などの購入・調達、医療機器の新規購入及び更新などの用度業務を主な業務としています。

2021年度は、新型コロナウイルス禍により入院患者は減少しましたが、外来患者は戻りつつありますが、以前経営状態は厳しいものとなっています。また、本来の業務以外の様々な業務を行いました。新型コロナウイルスにだれ1人感染することなく高い意識で業務を遂行しております。

## 【課題】

- ・高額医療機器の更新や、新築後18年となることから建物及び設備等の更新・修繕が増加に対し費用の確保と迅速対応。
- ・新型コロナウイルス感染症関連補助金の確保。
- ・病院経営が多様化し、人の入れ替わりの激しいなかにおいて、迅速な人材の確保。
- ・過去の慣習だけで運営しているさまざまな事案についてのマニュアル化。
- ・企画経営担当を中心に、収益改善のための継続的な取組みや原価計算の活用、病院改革プランの見直し。

## 【2021年度目標】

- ・人事給与制度を見直しと働き方改革を推進する。
- ・人事考課制度を構築する。
- ・過去の慣習だけで運営しているさまざまな事案についてマニュアル化を進める。
- ・長期的な医療機器や建物・設備の更新計画を作成する。
- ・新型コロナウイルス禍に1人の感染者も出さないように注意を払い、病院運営を支える。

## 【スタッフ紹介】

総務課長・・・・・・・・・・上垣 芳樹（2021年9月迄）  
 藤本 昇三（2021年10月から）  
 総務課長代理・・・・・・・・高木 誠  
 総務課長補佐兼経理係長・・・・藤本 昇三（2021年9月迄）  
 総務課長補佐・・・・・・・・山内 壯一（2021年9月迄）  
 池田 知将（2021年10月から）  
 総務課庶務係長・・・・・・・・香川 貴俊  
 総務課用度係長・・・・・・・・鈴木 昇太

## 【概要】

医事課の主な業務は保険請求であり、医師の指示の下、ライセンスを持った全ての職員が行う医療行為をお金に変換し、窓口でご負担いただく分と保険請求する分の計算を行う業務です。また、保険請求に必要な近畿厚生局への届け出業務、窓口未収金の管理業務、各種患者数・医業収益等の医療データの作成・管理等々を行っております。また、未収金の回収業務、患者さんからのご相談・お問い合わせの対応も行っております。

医事課には、医師事務作業補助者も在籍しております。現在、厚生労働省は医師の働き方改革を推進しており、2022年度診療報酬改定でも重点課題とされ、医師事務作業補助者は欠かせない存在となっております。医師事務作業補助者は、医師が行う医療行為以外の事務的な業務の補助、すなわち、診断書の作成・データの入力代行等の業務を行い医師の負担軽減に努めております。

院内での諸所の課題改善に努めながら、医事課では収益を上げることができるよう努力してまいりました。2022年度は診療報酬改定もあり、新型コロナウイルス感染症等にも対応できる効率的・効果的で質の高い医療体制の構築や安心・安全で質の高い医療の実現のための医師等働き方改革等の推進などが検討され、より情報収集に努めなければなりません。今後も、医事課として可能な限り経営改善に繋がる取り組みに努めてまいります。

また橋本市民病院を利用される患者さんに、より快適にご利用いただけるよう、職員の接客改善にも力を注ぎ、いつも笑顔で業務に当たれるよう心掛けてまいります。

## 【目標】

1. 知識の向上に研磨し、診療報酬請求業務を正確に行う。
2. 常に患者さんの立場になって考え、奉仕する心で行動する。
3. 救急搬送時等の受付や会計について、迅速な対応を行う。
4. 業務知識・スキルの向上。
5. 未収金を極力少なくする。

## 【課題】

医業収益の分析を行い、新たな収益増加を検討、診療報酬を基本とした病棟編成の提案、地域医療における役割を含めた今後の当院のあり方について検討すること。

## 【スタッフ紹介】

医事課課長・・・野口 朋弘

医事課主幹・・・堀 芳彰

医事課課長補佐・・・浅田 浩嘉

医事課職員・・・片山 倫誠 他 8名（E V前職員 6名を含む）

医師事務作業補助者・6名

## 【概要】

診療情報課は、診療情報管理係、システム係で業務を行っております。

診療情報管理係は、患者管理医療データの作成・報告・提出業務、また、紹介状・手術記録等紙ベースでの運用を行っているデータの取り込み、カルテデータの取り出しを行っております。

医療データと言え多岐にわたっており、主には退院患者の病名コーディング、身体状況、入院経路、退院後の動向等々1人1人の細かい患者データをまとめた様式関係、診療内容をデータ化したE Fファイル等厚労省から提出を義務付けられたデータを初め、がん拠点病院として提出を義務付けられた癌登録を行い、データを作成・報告し、キャンサーボード等がん診療に関する様々な会議・勉強会を開催し、基準が高度化したがん拠点病院の認定が維持できるよう努めております。

また、作成データから見えてくるD P Cコーディング・請求漏れ等も医事課と連携しながら、検討・助言を行い収益UPの手助けも行っております。

システム係は、電子カルテの管理を主な業務とし、病院内の通信ネットワーク、院内電話の管理までシステム全般に保守・管理を行っております。

今年度は、2022年2月の新電子カルテシステムの稼働に向けて準備を行い、無事電子カルテシステムが稼働いたしました。まだまだ課題が多く残っており、日々、対応に追われております。

診療情報課は、システム内の個人情報保護の核で有り、個人情報漏洩事故が起これないように努めております。

## 【実績】

・提出データ数	様式1等	5,945	件／年
	E Fファイル	120,500	件／年
	がん登録	500	件／年

## 【目標】

1. がん拠点病院の維持
2. より正確な患者データの作成し、期日までに提出すること【D P C係数の維持】
3. 個人情報の漏洩が起これないようにすること
4. システム停止などに迅速に対応すること
5. 新電子カルテシステムの課題に対する迅速な対応

## 【課題】

新電子カルテの課題に対し迅速に対応運用していけるか。

## 【スタッフ紹介】

診療情報課課長・・・・・・・・上垣 芳樹

診療情報課課長補佐・・・・名村 隆（診療情報管理士・がん登録実務中級者）

診療情報課係長・・・・・・・・井上 正輔（診療情報管理士・がん登録実務初級者） 他2名

システム係長・・・・・・・・飯田 淳



# VIII 委員會介紹

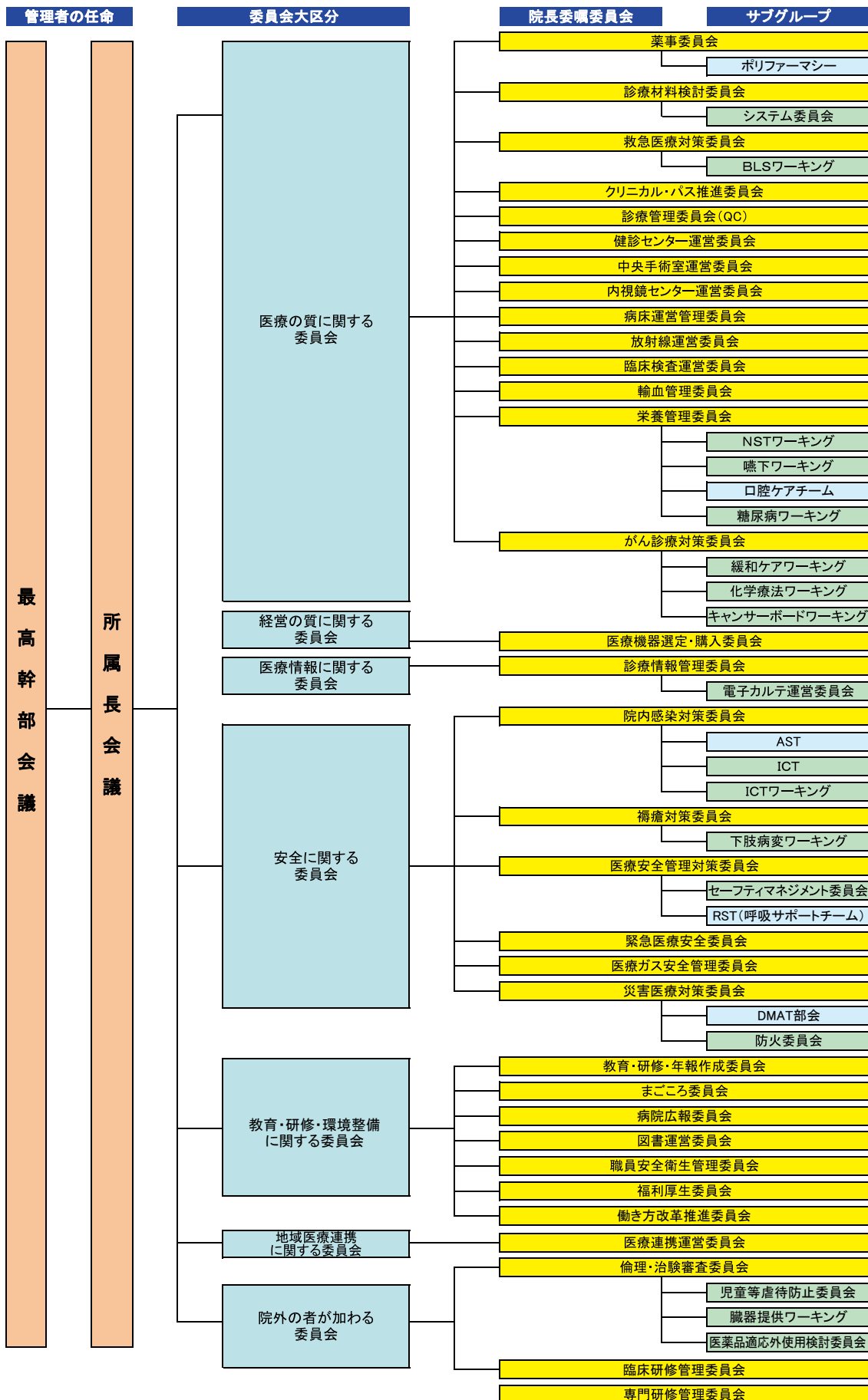


## Ⅷ 委員会紹介

薬事委員会  
診療材料検討委員会  
診療材料システム委員会  
救急医療対策委員会  
クリニカル・パス推進委員会  
診療管理（QC）委員会  
健診センター運営委員会  
中央手術室運営委員会  
内視鏡センター運営委員会  
病床運営管理委員会  
放射線運営委員会  
臨床検査運営委員会  
輸血管理委員会  
栄養管理委員会  
NST ワーキング  
嚥下ワーキング  
糖尿病ワーキング  
がん診療対策委員会  
緩和ケアワーキング  
化学療法ワーキング  
がんセンターボードワーキング  
医療機器選定・購入委員会  
診療情報管理委員会  
電子カルテ運営委員会  
院内感染対策委員会  
AST  
ICT  
ICT ワーキング  
褥瘡対策委員会  
医療安全管理対策委員会  
医療ガス安全管理委員会  
災害医療対策委員会  
DMAT 部会  
防火委員会  
教育・研修・年報作成委員会  
まごころ委員会  
病院広報委員会  
図書運営委員会  
職員安全衛生管理委員会  
福利厚生委員会  
働き方改革推進委員会  
医療連携運営委員会  
倫理・治験審査委員会  
臓器提供ワーキング  
医薬品適応外使用検討委員会  
臨床研修管理委員会  
専門研修管理委員会

# 委員会組織図

## 院内各種委員会一覧



## 【目的】

医薬品の新規採用、医薬品の不良在庫防止、その他における薬剤関連業務の合理化に資する事項を検討することで、病院経営の効率化を図っています。

## 【開催状況】

原則3ヶ月に1回開催しています。

2021年度は10月、11月の計2回、開催しました。

## 【取り組み（実績）】

2019年度に病院規模に対して適正な品目数とされる1,200品目を達成出来たため、年間使用量が少ない薬剤や複数規格が採用されている薬剤、薬効が類似している薬剤は臨時採用薬剤とし、必要時に購入することで常時在庫を持たない運用への変更を継続し、必要な新規薬剤を採用後も院内採用薬剤の品目数が増えないことを目標として、不良在庫の防止に努めました。

2021年度は12品目の採用を中止としました。

院内臨時採用薬剤から院内採用薬剤に変更となった薬剤はありませんでした。

新規採用薬剤は院内採用5品目、院外採用9品目です。

今年度は新規薬剤を採用後も院内採用薬剤の品目数の増加を防止することができました。

今後は、現取り組みを継続しつつ、抗がん剤や高額薬剤のバイオシミラーへの変更を検討し、薬剤の購入金額の抑制に努めます。

# 診療材料検討委員会

## 【目的】

委員会は、各部署からの要望あるいは材料コスト等を考慮し、適正な診療材料の採用や変更をおこなうことを目的としています。

## 【開催状況】

今年度はコロナウイルス感染対策のため開催を自粛しています。

## 【取り組み】

委員会では、下記の事項についての取り組みを行っています。

- ①医療材料等新規購入の採用に関する事項
- ②既採用医療材料等の削除に関する事項
  - ・発売中止・製造中止になった品目
  - ・同種医療材料等の採用により不要となった材料もしくは不要となる見込みの材料
- ③医療材料等の適正な使用及び管理に関する事項

## 【今後の課題】

今後の課題としては、下記3点であり今後改善していく必要があります。

- ①委員会にて議論されずに現場または他委員会で既に採用させられている材料が多く、当委員会で採用決定してから使用する等のルール化をする必要がある。
- ②職員間においてもコスト意識の差が顕著であり、材料の過剰使用や期限切れ材料の発生などコスト意識の徹底を図る必要がある。
- ③同じ用途の材料を何種類も購入している材料があり、採用材料をスリム化し、採用材料のコストメリットを出しやすく工夫し、材料の標準化する必要がある。

## システム委員会

委員長 川北 ひさ

### 【目的】

委員会は、橋本市民病院における医療材料諸管理の適正化、標準化、並びに定数の適正化を目的としています。

### 【開催状況】

委員会は原則偶数月に開催しています。今年度は未開催。

### 【取り組み】

委員会では、下記の事項についての取り組みを行っています。

- ①材料・物品の定数設定に関する事項
- ②長期連休前の物品・材料供給スケジュールの周知に関する事項
- ③診療材料検討委員会にて採用となった材料の取扱いに関する事項

また、都度請求している物品についてはコスト意識もあるが、定数配置されている物品についてはコスト意識が低いため使用量が増える傾向があります。定数配置されている物品についてもコスト意識を高めていく必要があります。

## 救急医療対策委員会

委員長 小川 敦裕

### 【目的】

救急医療の充実を目的とし、院内及び地域の救急体制について検討を行います。メディカルコントローラー機能検討、消防との連携、受け入れの検証、外来救急体制等幅広く議論を行っています。また、症例検討会も委員会主導で開催しています。

### 【開催状況】

本委員会は、基本的には2ヶ月に1回程度開催しています。運用等即座に検討が必要な場合はその都度開催しています。2021年度は新型コロナウイルス感染症対応のため、2020年度同様に定期開催を実施していませんが、必要な議案については委員持ち回りで検討を実施しました。

### 【取り組み】

- (1) 院内救急医療体制の整備
- (2) 地域救急医療体制の確立
- (3) 救急救命士の研修
- (4) 救急に関する研修会
- (5) その他

救急科の専従医が配置されてからは、メディカルコントローラー会議の開催、救急ワークステーションの設置など、消防との連携について充実できております。同様に医療圏の救急受入件数も増加しております。今後は、受け入れ事例での細やかなフィードバックを行い、スムーズな救急の受け入れ体制を構築していくことを目標とします。

## 【目的】

医療の質の向上のため、院内クリニカルパスの使用推進を行い、適用率の向上を目的としています。

## 【開催状況】

2021 年度開催回数 5 回（9/29、10/27、1/26、3/2、3/24）

## 【取り組み】

2004 年に電子カルテが導入されてからは、電子パスの増加に向けて取り組んでいます。パスを使用することによって、医療の標準化、負担軽減や質の向上に寄与すると考えています。

今年度の 2 月には電子カルテの更新があり、適用率が下がるか危惧していましたが Covid-19 のパスを作成し運用することで、内科においては大幅に適用率をあげることができました。

今後もさらにパス適用率の向上に取り組むと考えています。現在、パスの精査が出来ていないため、適用率を向上させることはもちろんのこと、医療の標準化と、DPC 制度に沿った効率化とを目指して取り組みたいと考えています。

## パスの例（一部抜粋）

眼科	白内障	整形外科	人工骨頭挿入術
代謝内科	糖尿病教育入院	整形外科	転子部骨折
外科	鼠径ヘルニア	整形外科	人工膝関節置換術
外科	大腸ポリペク	乳線呼吸器外科	肺部分切除術
外科	腹腔鏡下胆嚢摘出術	乳線呼吸器外科	肺葉切除術
産婦人科	子宮全摘出術（腹式・膣式）	乳線呼吸器外科	乳癌手術
産婦人科	帝王切開術	乳線呼吸器外科	乳房再建術
泌尿器科	TUL・TURBT	乳線呼吸器外科	気管支鏡検査
泌尿器科	前立腺生検	呼吸器内科	気管支鏡検査
循環器内科	心カテ	呼吸器内科	睡眠時無呼吸検査
総合内科	Covid-19	消化器内科	大腸 EMR

等

# 診療管理委員会（QC）

委員長 星屋 博信

## 【目的】

外来・病棟部門の業務及び業務連携を円滑にすること、ならびに患者に対する医療の質の向上について検討することを目的としています。

## 【開催状況】

例年は毎月 1 回開催していますが、2021 年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催を休止しています。

## 【取り組み】

毎月の委員会では、主に QC 手法の知識を周知・共有するための演習や、QC サークル活動に対してのレビューやアドバイス等を行っています。

職種関係なく全職員を対象に QC サークルへの参加を促し、問題を解決に導くために必要なものの見方・考え方を身につけ、業務改善活動の一環として自己啓発と相互啓発を行い、QC サークル発表大会で全職員に報告し、今後の業務改善に生かしていけるように努めています。

2021 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により QC サークル大会の開催についても中止となりましたが、各部門での QC 活動については引き続きおこない、業務改善や医療の質の向上に努めています。

## 健診センター運営委員会

委員長 瀧谷 裕緒

### 【目的】

橋本市民病院健診センターにおける方針管理、運用、各部門の調整を目的としています。健診部門においては、他部署との健診調整が重要であり、計画的な運用のためには密に連携をとっていく必要性が高く、健診センター長を中心に運用方針を決定しています。また、市役所など他機関との調整・連携も行っています。

### 【開催状況】

適時開催しています。2021年度の開催はありませんでした。

### 【取り組み】

健診全体の協議を行っています。

- ・ 検査部門、画像部門との調整
- ・ 多種にわたる健診種別の調整
- ・ 職員健診への取り組み
- ・ 健診啓発への取り組み
- ・ 収益性の拡大

## 中央手術室運営委員会

委員長 西浦 徳裕

### 【目的】

中央手術室運営委員会の目的は、中央手術室の適切な管理と運営に関する検討を行うことを目的としています。

### 【開催状況】

密になることを回避するため、今年度の開催は必要時にメール、文書にて回覧とし、会議開催は1回でした。

### 【取り組み】

2021年度は、以下について取り組みを行いました。

- ・ 消毒薬の変更および消毒方法の見直し
- ・ COVID19 陽性者の帝王切開術の対応フローの改訂
- ・ 看護師特定行為修了者の活用（Aライン挿入、動脈血採血）

今後も患者さんに安全な手術が提供できるよう、医師、手術室に関わるスタッフ全てが協力し、効率的な手術運営を図るための委員会を開催していきたいと考えています。

### 【手術件数実績】

2017年度	2,508件
2018年度	2,507件
2019年度	2,436件
2020年度	2,394件
2021年度	2,387件



## 内視鏡センター運営委員会

委員長 吉田 悟

### 【目的】

当院内視鏡室の適正な管理と運営を検討することを目的としています。

### 【開催状況】

委員長が必要と認めたときに開催します。

2021年度の開催回数 1回（3/24）

### 【取り組み】

4月以降の内視鏡施行医について

他科からの依頼方法の再確認

夜間緊急内視鏡当番について

内視鏡検査・治療の説明・同意書について

JEDについて

カプセル内視鏡の継続について

その他の要望・連絡について（医師より、放射線科より、看護部より）

## 病床運営管理委員会

委員長 星屋 博信

### 【目的】

当委員会は、病床の適切な管理と効率的な運営に関する検討を行い、高度急性期のHCU、急性期の一般病棟、回復期の地域包括ケア病棟を患者の病状に応じて適切な選択すること等を目的としています。

### 【開催状況】

2021年度開催回数2回（10/29、12/21）

### 【取り組み】

- 地域医療構想策定ガイドラインによる最低病床数稼働の遵守
- HCU、地域包括ケア病棟の要件の遵守とチェックを行う
- 各データによる入院患者、病床状況管理
- 各診療科の割り当て病床数の決定
- 各病棟内の診療科と病床の決定
- 病床の有効利用に関する事項

今後とも適正かつ効率的な病床（300床）フル稼働を行うために「環境」や「業務」の情報収集を行い、病院事業の健全経営が図られるよう病床利用率の向上を目指します。

## 【設置目的】

放射線運営における患者および従事者の安全に関する検討と、  
その他 放射線に関する事項全般について審議を行います。

## 【開催状況】

2021 年度開催回数 1 回（5/28）

## 【取り組み】

患者ならびに職員の安全を確保し、放射線検査の有意利用を推進しています。

- ・放射線検査の円滑な実施および検査室の有効利用を促進します。
- ・放射線の安全利用に対する取り組みを進めています。
- ・オーダーに対する的確な検査結果（画像）の提供を目指しています。
- ・安心して安全な検査を行うために、確実な問診の運用を推進しています。
- ・環境整備、整理整頓ならびに感染防止にも努めています。

## 【今後の展望】

2022 年度には、放射線治療装置の更新が予定されています。

新装置の導入により、コンベンショナルな治療だけでなく、より高精度な治療を行うことが可能になります。  
高精度化により副作用の低減や治療効果の向上が期待されます。

内用療法・外科的手術に加えて、放射線による治療がより一層身近なものになると考えています。

## 【設置目的】

橋本市民病院における臨床検査の適正な管理及び合理的な運営を図ることを目的としている。

## 【開催状況】

開催なし

## 【取り組み】

委員会では下記のような臨床検査についての話し合いが行われている。

- ・定期的な臨床検査の精度管理に関すること
- ・臨床検査の適正化に関すること
- ・その他、必要な事項に関すること

## 【実績】

1. 外部精度管理調査結果
  - ・2021 年度日臨技サーベイ：98.7 点 D 評価 3 件、是正済み
  - ・2021 年度日本医師会サーベイ：97.3 点 CD 評価なし
2. COVID-19 の院内 PCR 検査
  - ・2022 年 3 月 8 日に 2 台目の機器を導入しました。
  - ・検査対象に「転院前」が追加されました。
  - ・ナビダイヤル輪番日には PCR 担当者が出勤待機となりました。
3. 自動免疫検査機器の更新
  - ・AIA-2000 (東ソー) と HISCL-5000 (Sysmex)、AQT90 (ラジオメーター) の 3 台から Alinity (abbott) 2 台に集約しました。
  - ・新規項目として NT-pro BNP を導入しました。
  - ・機器更新に伴い、休日・夜間当直帯の Alinity 測定項目の 24 時間対応を実現できました。
4. 新規臨床検査実施要望申請
  - ・FCM,G バンド,T 細胞受容体遺伝子再構成 ,JH 再構成 , 骨髓像分類・・・電子カルテ掲載
  - ・NT-proBNP・・・院内導入
  - ・sFlt-1/PIGF 比・・・電子カルテ掲載

## 【設置目的】

輸血委員会は安全で適正な輸血の在り方をサーベイランスするために設置されています。輸血療法の適応、血液製剤の選択と適正使用、輸血マニュアルの整備、血液製剤の保管・管理と使用状況調査、事故・副作用・合併症の把握と対策、輸血関連情報の伝達、院内採血・自己血採血などのマニュアルの整備などを話し合い、検討しています。

## 【開催状況】

- ・年間6回（5/25・7/27・9/28・11/30・1/25・3/18）
- ・臨時議案がある場合は委員長が別途招集します。

## 【取り組み】

### 1 血液製剤使用に関する統計報告

検査科で血液製剤を一元管理し、使用状況と廃棄率、6単位以上依頼のあった事例の輸血実績などを報告します。（表1. 2021年度血液製剤の動向）

### 2 事故・副作用・合併症の把握

副作用事例があった場合、その状況や治療に関して調査します。

### 3 輸血に関する情報の伝達

血液センターや厚労省からの輸血関連情報の伝達を行います。

## 【今後の課題】

### 1 血液製剤廃棄率の低下

過度な血液製剤依頼や発注ミスのないようにし、廃棄率を下げる重要性を考えます。

### 2 適正な輸血依頼を目指す

手術時のT & Sなど、医師に適正な輸血依頼を行ってもらうように、今一度アナウンスします。

表1. 2021年度血液製剤の動向

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
赤血球製剤使用単位数	208	236	240	174	156	198	174	180	174	172	180	144	2,236
赤血球製剤入庫数	210	250	240	172	168	198	172	180	180	186	188	152	2,296
赤血球製剤廃棄数	4	4	4	4	8	4	0	0	4	10	10	6	58
A型	0	0	2	0	4	0	0	0	0	2	0	0	8
AB型	0	0	2	0	4	4	0	0	2	2	2	0	16
B型	4	2	0	2	0	0	0	0	2	2	6	6	24
O型	0	2	0	2	0	0	0	0	0	4	2	0	10
赤血球製剤廃棄率	1.9%	1.6%	1.7%	2.3%	4.8%	2.0%	0.0%	0.0%	2.2%	5.4%	5.3%	3.9%	2.5%
FFP使用数	42	14	32	16	10	2	42	48	38	18	20	14	296
FFP入庫単位数	42	14	44	16	4	4	52	54	28	18	24	14	314
FFP廃棄単位数	0	0	4	2	0	2	6	0	0	0	0	0	14
FFP廃棄率	0.0%	0.0%	9.1%	12.5%	0.0%	50.0%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%
血小板製剤使用数	80	130	190	60	110	140	220	160	80	30	100	110	1,410
血小板製剤入庫数	80	140	180	60	130	140	220	160	100	30	100	110	1,450
血小板製剤廃棄数	0	0	0	0	10	0	0	0	20	0	0	0	30
血小板製剤廃棄率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%
自己血使用単位数	8	2	4	10	6	2	8	4	4	2	4	6	60
自己血入庫単位数	2	10	10	8	12	4	12	10	4	4	7	6	89
自己血廃棄単位数	0	0	6	4	2	2	2	6	4	2	0	1	29
自己血廃棄率	0.0%	0.0%	60.0%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	60.0%	100.0%	50.0%	0.0%	16.7%	32.6%

## 【目的】

栄養管理委員会の目的は患者給食および栄養管理の質向上に資するため、栄養管理、栄養改善に関する事項の検討を目的としています。

## 【開催状況】

委員会は委員長が必要と認めた際に招集し開催しています。

第1回 2021年11月25日

第2回 2022年1月26日（書面決議）

## 【取り組み】

- \*入院時栄養スクリーニング MNA - SF 現状の課題と問題点の報告
- \*糖尿病嚥下食について報告
- \*小児食の誕生日祝い食について
- \*小児食の誕生日祝いデザート
- \*アイソトニックゼリーの現状
- \*アイソトニックゼリー提供に関する試験運用の報告と今後の運用について
- \*濃厚流動食の取り扱い種類について
- \*令和3年（2021年度）度嗜好調査について

## NST ワーキング

委員長 前田 恒宏

### 【設置目的】

患者の栄養状態や QOL 向上のため、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士など他職種が連携し、栄養管理・栄養改善について検討することを目的としています。

### 【開催状況】

毎週木曜日 15 時 00 分～ 回診およびカンファレンスを実施  
※ 2022 年 1 月 27 日以降は感染対策のため回診は実施せず

### 【取り組み】

- \* 栄養管理の必要性の判定および栄養評価の施行
- \* 適切な栄養管理が行われているかのチェック
- \* 各症例に適した栄養管理方法の提案
- \* 栄養管理に伴う合併症の予防・早期発見
- \* 栄養管理上のコンサルテーションへの対応
- \* 早期退院や社会復帰の促進と QOL の向上
- \* 栄養治療ガイドラインに則った新しい知見の修得と啓蒙

### 【2021 年度 N S T 症例件数】

- \* 新規介入患者数 51 件（前年度からの継続患者は含まず）
- \* 介入延べ件数 211 件
- \* 依頼件数 35 件（医師:24 件、看護師:2 件、コメディカル:6 件、栄養評価シート（MNA）からの抽出:3 件）

## 嚥下ワーキング

委員長 大饗 義仁

### 【目的】

嚥下障害に対する共通認識を持ち、スムーズに退院できることを目指しています。

### 【開催状況】

毎週火曜日に開催しています。（17 時～）

### 【取り組み】

- ・ 看護師による「改訂水飲みテスト」嚥下障害患者を抽出。
- ・ 入院中の絶食患者・経腸栄養患者を抽出し嚥下リハの早期介入。
- ・ 食事量減少患者抽出と嚥下リハの介入、NST との連携。
- ・ 嚥下食の調整・試食会。
- ・ 入院中誤嚥性肺炎の防止。

## 【目的】

外来及び入院患者の糖尿病療養生活を多職種連携し支援します。  
院内・院外問わず、地域住民の方々に糖尿病への理解と関心を深めて頂けるように啓蒙活動を行います。  
糖尿病治療にあたり療養支援に関する知識の共有とスキルアップを図ります。

## 【開催状況】

毎月第3火曜日 16時30分～開催 全9回（2021年4月・2022年1月・2022年2月は中止）

## 【取り組み】

- ・糖尿病教育入院を受け入れています。糖尿病に関する知識の習得を目指し、患者や患者家族に各専門スタッフが療養指導を行います。
- ・他の診療科に入院中の糖尿病患者や高血糖患者を抽出し、チームで情報共有を図ります。必要な患者については個々に応じた療養支援を行います。

### \*ブルーライトアップ

日時：2021年11月12日（金）18時00分～22時00分

場所：橋本市民病院6階レストラン

### \*ニュースレター発行

日時：2021年11月1日～2021年12月末日

場所：外来内科系診察室で配布、採血室受付に設置、入院患者への配布

内容：コロナ時代の糖尿病との付き合い方

糖尿病デーの周知のためブルーライトアップの写真掲載

糖尿病の病態説明、感染症対策やシックデイについて、糖尿病食、室内での運動、

社会資源の活用について紹介

### \*外部講師による勉強会

講師：太成学院大学 看護学部 糖尿病看護認定看護師 金本純子先生

対象：糖尿病ワーキングスタッフ

時間：16：30～17：00

内容：2021年6月 「インスリンおよびGLP-1受容体作動薬について」

2021年7月 「インスリンの固定打ちとスライディングの考え方（シックデイを含む）」

2021年8月 「糖尿病患者への退院支援」

2021年9月 「1型糖尿病と2型糖尿病／糖尿病とステロイド」

2021年10月 「症例検討（グループワーク）」

2021年11月 「糖尿病患者への療養支援のポイント」

2021年12月 「症例検討（グループワーク）」

## 【目的】

委員会は、がん診療連携拠点病院としてその役割を果たし、機能強化にかかる事業を推進することを目的としています。

## 【開催状況】（2021年度実績）

- ・委員会は、通常、年1回開催しています。
- ・緩和ケア研修会を11月3日に開催しました。
- ・開催を予定しておりましたピアレビュー、化学療法セミナー、放射線治療勉強会等は、新型コロナウイルスの感染拡大から開催しておりません。

## 【取り組み】

地域がん診療連携拠点病院を担うため、以下の事を念頭に置き各種研修会・勉強会などを企画・開催し職員にがん拠点病院としての自覚と専門知識の向上に努めています。

- (1) 手術や放射線、化学療法などを効果的に組み合わせた専門的ながん医療を提供する
- (2) 治療の初期段階から、不安や痛みなどを和らげる緩和ケアを実施する
- (3) 診療所や一般病院に診療支援を行い、在宅医療と連携する
- (4) 『がん相談支援センター』を設置して、患者、医療関係者などからの相談を受け付ける

今後は、がん診療の質の向上及びがん診療の連携協力体制の構築の為に、Zoom等のICTを活用し感染対策を実施しながら、より多くの研修会・勉強会の機会を増やし、職員の育成に取り組むと考えています。

# 緩和ケアワーキング

## 【目的】

当院における緩和ケアの充実を図ることを目的としています。

## 【開催状況】

原則として、毎月第4火曜日に開催しています。

2021年度開催回数 9回（5/25、6/22、7/27、8/24、9/28、10/27、11/30、12/21、3/22）

## 【取り組み】

当ワーキングは毎月第4火曜日に開催し、医師・薬剤師・看護師・MSW・作業療法士など多職種により構成されています。当ワーキングでは、緩和ケアに関する組織や運営に必要な事項を決定することを主としています。当ワーキングの中のメンバーから構成された緩和ケアチームが、毎週カンファレンスと病棟ラウンドを行い、緩和ケア対象患者について対策・対応を検討しています。

精神科のない当院では、精神的サポートとしてなかいクリニックの中井先生に月2回来て頂き、精神的ケアの必要な患者を診療し、カンファレンスで助言を頂いています。

緩和ケアワーキング・緩和ケアチームでは、主に以下のことについて話し合っています。

- ・がん性疼痛の緩和（痛みのアセスメント・医療用麻薬の適正使用・用量調整）
- ・疼痛以外の症状の緩和（消化器症状・倦怠感・せん妄など）
- ・告知・再発・終末期の患者の精神的サポート
- ・患者家族の支援、急変時の対応、最期の療養場所の選択

入院患者に限らず、国の進めている『がんと診断されたときから緩和ケア』をスローガンに身体的・精神的な苦痛をやわらげるためのケアを目指して取り組んでいます。



## 化学療法ワーキング

委員長 中村 公紀

### 【目的】

がん化学療法に関わる諸問題の討議や治療計画（レジメン）を科学的根拠に基づき審査し、組織学的に統括、管理し安全に化学療法を行うことを目的としています。

### 【開催状況】

原則、毎月第4木曜日に開催（今年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止した月もあり）  
2020年度開催回数10回（4/22、5/27、6/24、7/29、8/26、9/30、10/28、11/25、12/23、3/25）

### 【取り組み】

- ・レジメン審査および管理
- ・がん化学療法施行に伴う安全管理、副作用対策等の情報共有
- ・がん化学療法により発症するB型肝炎ガイドラインを遵守し全抗がん薬におけるスクリーニング検査の徹底
- ・外来化学療法の運営
- ・消化器外科において薬剤師外来の運用を継続しがん化学療法の質向上に努める
- ・免疫チェックポイント阻害薬使用により発症する免疫関連有害事象（irAE）に対する院内統一スクリーニング検査の統一

### 【化学療法件数】

総数：1,415件  
（入院：144件 外来：1,271件）※ホルモン剤、ビスホスホネート製剤は除く

## カンサーボードワーキング

委員長 稲垣 武

### 【目的】

がん患者さんの病態に応じたより適切ながん医療の提供ができるよう、また、地域がん診療連携拠点病院として院内におけるがん治療の把握と共有を図ることを目的としています。

### 【開催状況】

月1回以上開催。臨時検討症例あれば随時開催。

### 【取り組み】

当院ではカンサーボードを毎月定期的で開催しており、問題点を多く抱えた悪性腫瘍や希少がんや多重がんに対し様々な治療法（手術、抗がん剤治療、放射線治療など）を検討するため、各科の医師や画像診断医、病理診断医、看護師、薬剤師、社会福祉士など多くの職種により、意見交換を行い患者さんにとって最良の治療を提供することを目指して行っています。

重複がんや原発不明がん、稀ながん腫など診断や治療に難渋する症例があった場合に、速やかに関係する担当者を招集しカンサーボードを開催できるよう、症例が発生した際の開催依頼先（招集担当部署）を明確にするなどしています。

## 医療機器選定・購入委員会

委員長 嶋田 浩介

### 【目的】

委員会は、橋本市民病院の医療機器等の新規導入または更新に際し、業務効率及び患者サービス向上にふさわしい機器を整備することを目的としています。

### 【開催状況】

不定期開催となっている。2021年度は1月に2回開催しました。

### 【取り組み】

委員会では、医師の要望、病院としての収益、患者サービス向上等、多角的な視点から翌年度に購入する医療機器の選定を実施しています。また、限られた予算内でいかに効率よく医療機器を購入・更新出来るかを協議し、綿密な計画を策定しています。

高額医療機器の更新の平準化は引き続き行っていく必要があります。多くの少額機器が未更新状況であり新規購入機器購入の予算を圧迫しています。

## 診療情報管理委員会

委員長 金 桂洙

### 【目的】

診療情報の適切な記録と管理及び、医療情報システムの運営、開発についての諸問題を検討し、診療情報の適切な管理と業務の効率化を図ることを目的としています。

### 【開催状況】

隔月の第3水曜日に開催しています。

2021年度開催回数 5回（4/21、6/16、8/18、10/20、12/15）

### 【取り組み】

委員会では、診療記録を含むすべての診療情報の管理や保管、運用に関するさまざまなことを検討しています。また、診療情報＝個人情報であることから、院内での取り扱いについて厳重な管理にも注力しています。その一環として、診療録の閲覧履歴の監視を定期的に行い、不正閲覧防止に努めています。

その他に、退院サマリーの記載率や詳細不明傷病名の使用率などの管理や、適切なコーディングに関する症例の傷病名検討などを行っています。

電子カルテシステムを導入していることから、小委員会である電子カルテ運営委員会と連携し、診療情報管理業務の質向上と効率化を図っています。

## 【目的】

橋本市民病院での電子カルテの適切な運営・管理・改善に係わる事項を審議することを目的としています。

## 【開催状況】

毎月第一火曜日に開催しています。

## 【取り組み】

委員会では、電子カルテシステムだけでなく院内で運用している全ての病院情報システムの安定稼働を目指して、障害対応だけでなく、業務改善になるシステム改造の要望などを検討し、より安全で効率の良いシステム運営を目指し取り組んでいます。

## 【病院情報システムについて】

2022年2月に日本電気製電子カルテ「MegaOakHR」から同社製「MegaOakIS」へパッケージ更新を行いました。システム構築期間中は、要求仕様の相違や、新型コロナウイルスの感染等、アクシデントが発生しましたが、関係者の頑張りのおかげで、何とかスケジュール通り進めることができました。

また、新カルテ稼働当初は、旧電子カルテとの仕様の違いから操作に混乱し、設定の不備による不具合が発生しましたが、現在では安定稼働になりつつあります。新カルテは、VerUpに費用が発生せず、病院の要望を伝えることができるので（ユーザー会の案件になるため希望が叶うとは限らない）、当委員会において、最適な運用を検討し採用されるよう提言していきます。



## 【目的】

院内感染予防と拡大防止を積極的に推進し、院内感染管理の万全を期するとともに、院内感染が発生した際にはその対策を樹立させ、ICT と連携して周知徹底することを目的としています。

## 【開催状況】

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、資料閲覧会議へと変更。新型コロナウイルス感染症に関する決定事項は COVID-19 対策本部にて検討、決定となっています。

## 【取り組み】

- ・定期的な研修会の開催を行っています。
- ・ICT 活動を支援し、ICT からの報告（耐性菌等の監視対象菌報告、特定感染症報告、抗菌薬使用状況、その他感染対策に関する事項）について院内感染対策で検討しています。
- ・院内感染の発生状況について、継続したサーベイランスを実施し、院内感染の低減を図っています。
- ・感染防止対策加算、地域連携感染防止対策加算に伴う共同カンファレンス開催、相互ラウンド評価や感染症連絡協議会などの ICT 活動を支持しています。
- ・院内感染の発生状況に応じた対策を樹立し、周知徹底しています。
- ・院内アウトブレイクの連絡体制の確立に努めています。
- ・感染管理に関する地域連携に努めています。

## 【今後の課題】

- ・AST による抗菌薬の使用適正化の支援
- ・院内感染対策マニュアルの見直し・改訂
- ・ICT と連携した院内清掃手順の見直し
- ・地域連携の強化

**【目的】**

院内感染対策委員会での決定事項に沿って、感染症患者への適時介入や診断の支援、抗菌薬適正使用を現場で支援する組織です。また抗菌薬適正使用に向けたサーベイランスや教育・啓発を行うことを目的としています。

**【開催状況】**

毎週火曜日に開催

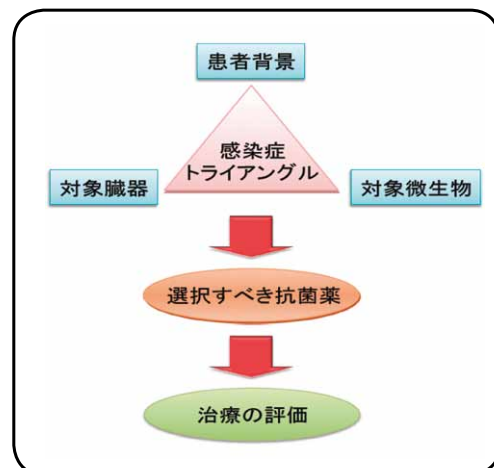
**【取り組み】**

右記感染症トライアングルを基に患者の全体像を捉えながら、適切な抗菌薬使用について協議を行っています。

- ・ 抗菌薬の使用原則
- ・ 抗菌薬の適正使用を推進
- ・ 抗菌薬適正使用支援
- ・ 感染症治療コンサルテーション
- ・ 研修会開催（年2回）
- ・ 血液培養フォロー
- ・ 外部医療機関からの抗菌薬コンサルテーション

**【今後の課題】**

- ・ AST 介入後の評価
- ・ 根拠に基づいた抗菌薬使用支援の啓発活動
- ・ 抗菌薬適正使用の充実
- ・ 分かりやすい情報発信
- ・ マニュアル作り



**【目的】**

院内感染対策委員会の下部組織であり、感染対策を現場で推進する実働組織です。院内感染状況を把握・介入・評価を行い、感染対策の改善と感染率の低減に努めることを目的としています。

**【開催状況】**

毎週火曜日に開催

**【取り組み】**

- ・サーベイランスの実施、感染管理ベストプラクティス導入
- ・有効な感染対策の推進
- ・感染管理教育の実施
- ・コンサルテーション
- ・抗菌薬の適正使用を推進
- ・アウトブレイク時の対応を実施
- ・職業感染対策の実施
- ・他医療機関との地域連携  
(感染防止対策加算、地域連携感染防止対策加算に伴う共同カンファレンス開催、相互ラウンド評価や感染症連絡協議会などの ICT 活動、地域での感染対策研修会開催)
- ・地域貢献（地域周辺施設、地域住民への情報提供）
- ・クラスター支援（3施設）

**【今後の課題】**

- ・院内感染対策実施の推進
- ・感染管理における地域連携の拡大
- ・職業感染対策の充実
- ・現場における感染管理能力の向上

## 【目的】

ICTW は院内感染対策委員会での決定事項に沿って ICT の指示により、感染対策を実践現場で実施・指導する実働組織です。

また、ICT と共にサーベイランスを実施し、感染対策改善と感染率の低減に努めることを目的としています。

## 【開催状況】

毎月第 1 木曜日に開催

\* 年 1 回 ICT と合同会議開催

## 【取り組み】

- ・サーベイランス・感染管理ベストプラクティスの実施
- ・有効な感染対策の推進
- ・感染管理教育の実施

月	内 容
4 月	・ 2021 年度 ICTW 年間計画の調整
5 月	・ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い休止
6 月	・ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い休止
7 月	・ 新型コロナウイルス感染症の状況について共有 ・ 手指衛生サーベイランスについて
8 月	・ 手指衛生実施状況の直接観察ラウンド
9 月	・ 所属における問題点・課題の共有
10 月	・ 手洗いキャンペーン企画
11 月	・ 手洗いキャンペーン開催 / 評価 ・ 手指衛生の実施状況報告
12 月	・ 手洗いキャンペーン振り返り ・ 各所属における手指衛生実施回数決定 ・ 手指衛生ラウンド ・ 病棟ラウンド
1 月	・ 手指衛生実施回数目標達成に向けた取り組み報告
2 月	・ 新型コロナウイルス感染症について情報共有 ・ 環境 / 手指衛生ラウンド
3 月	・ 2021 年度各部署での活動の評価 ・ 次年度の ICTW 活動計画立案

## 【今後の課題】

- ・ ICT と共に院内感染対策を推進する。
  - 手指衛生遵守の向上
  - 防護具適正使用の推進
  - 各部署の感染対策に関する課題の明確化
  - 自らが中心となり活動できる組織作り



## 【目的】

入院患者の褥瘡予防と改善を図り、安心・安全な医療を提供するため改善・対策を検討する。

## 【開催状況】

2ヶ月～3ヶ月に1回 第一水曜日 17時～（定例）

## 【取り組み】

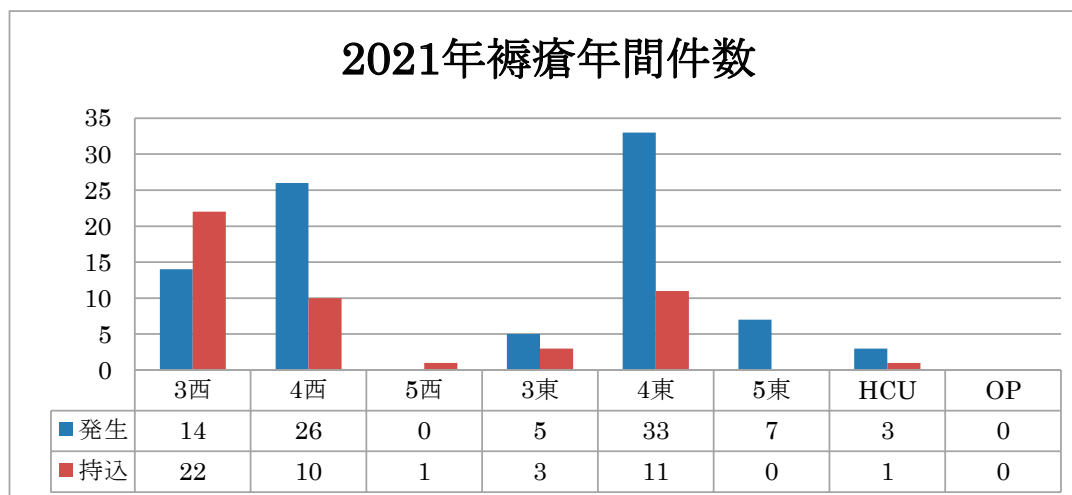
- 皮膚科医師、皮膚・排泄ケア認定看護師、管理栄養士、褥瘡対策委員、病棟看護師等で隔週1回（水曜日）に褥瘡回診を実施し現場指導を行う。
- 褥瘡委員会の開催
- 毎月院内の褥瘡保有率ならびに褥瘡推定発生率を確認し、所属長に報告する。
- 褥瘡予防対策への取り組みで勉強会の開催  
2021年度は、「褥瘡対策に関する診療計画書」の手順書の作成と、リンクナースによる計画書の記載漏れのチェックと指導を実施  
新人看護師、リンクナースへポジショニングの講義と演習の実施

褥瘡発生は増加傾向のため、褥瘡予防対策を現場のスタッフ1人1人が実施できるようにしていくことが今後の課題です

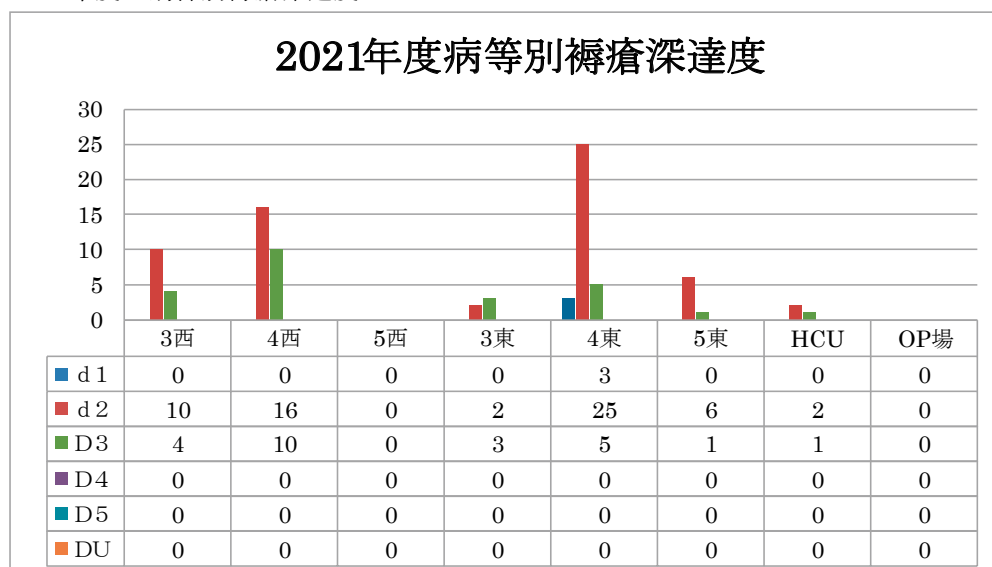
2021年度 院内褥瘡、スキンテア件数

2021年度	発生	持込
件数	144件	64件

2021年度 病棟別褥瘡件数







褥瘡推定発生率、有病率（2019年～2021年）

2019年度	推定発生率	1.5%	有病率	3.4%
2020年度	推定発生率	1.6%	有病率	3.2%
2021年度	推定発生率	1.9%	有病率	4.4%

#### 【今後の課題】

2022年度はマットレスの管理、現場でのポジショニングを徹底していくことが課題です。

## 医療安全管理対策委員会

委員長 金 桂洸

#### 【目的】

医療安全管理対策委員会の目的は、病院における医療事故を防止し、安全かつ適切な医療の提供体制を確立することを目的としています。

#### 【開催状況】

委員会は月1回定期的に開催しています。（第4月曜日 17:00～）  
また必要に応じて臨時にも開催しています。

#### 【取り組み】

委員会では、医療安全管理対策に関するさまざまな事項についての話し合いを行っています。

- ・ 医療安全管理対策の検討及び研究に関する事項
- ・ 医療事故の分析及び再発防止の検討に関する事項
- ・ 医療安全管理対策のための職員に対する指示に関する事項
- ・ 医療事故発生防止のための啓発、教育、広報及び出版に関する事項
- ・ 医療紛争の処理に関する事項
- ・ その他医療安全管理対策に関する事項

#### 【今後の課題】

セーフティマネジメント部会と連携をとり問題点改善のため5グループ（薬剤、ライン管理、転倒転落、書類、食事）に分かれ取り組みを行い、転倒転落のチェックシート5東での運用や、ライン管理では硬膜外麻酔チューブの運用方法の見直し、食事では手術前の対応方法の周知をおこない改善活動につなげた。本年も引き続き問題点の抽出や改善に取り組んでいく。

医療安全ラウンドを定期開催し、現場の問題点の抽出し改善対策の検討を行う。

2021年度の医療安全研修会はコロナ禍の中で行えなかったが、来年度はweb研修等を活用し開催を行い参加率100%目指してきます。

## 緊急医療安全管理対策委員会

委員長 古川 健一

### 【目的】

緊急医療安全管理対策委員会の目的は、病院における重大医療事故の発生時に速やかに対応する体制を整えることを目的としています。

### 【開催状況】

必要に応じて臨時にも開催しています。

### 【取り組み】

委員会では、重大医療事故に関するさまざまな事項についての話し合いを行っています。

- ・医療事故対策の対応と検討に関する事項
- ・医療事故の分析及び再発防止の検討に関する事項
- ・医療紛争の処理に関する事項

### 【今後の課題】

実績なし

## 医療ガス安全管理委員会

委員長 西浦 徳裕

### 【目的】

委員会は、橋本市民病院における医療ガス（診療の要に供する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医療用圧縮空気、窒素等をいう）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的としています。

### 【開催状況】

年2回

### 【取り組み】

委員会では、監督責任者、実施責任者の選定を行うとともに、医療ガス点検等の報告を受け、それについて検討しています。

また、使用済みアウトレットの装着数が減少していますが、未だに装着しているのが確認されています。使用済みアウトレットの取り外しを院内に再度周知し、使用済みアウトレットの装着数ゼロを目指します。

今後とも医療ガス設備の安全管理を図り、患者の安全を確保に努めていきます。

## 災害医療対策委員会

委員長 小川 敦裕

### 【目的】

災害医療全般、防災・防火に関することを取り扱い、地域災害拠点病院としての体制整備、日常の防災対策を主として取り扱うことを目的としています。

### 【開催状況】

今年度については未開催。

### 【取り組み】

災害に対しては日常の取り組みと意識付けが重要となります。今後の課題としては、できるだけ多くの職員に、災害マニュアルの周知や災害フォーラム等訓練の参加を促すとともに、訓練のための準備を行うのではなく、常日頃から災害について知識を深め、いつ起こるかわからない大災害について備えていきたいと考えています。

## DMAT 部会

委員長 小川 敦裕

### 【目的】

災害医療対策委員会の下部に位置し、院内 DMAT の情報共有及び技能維持が目的です。平時において、DMAT メンバーは病院の組織上横断的に配置されているため、院内においてはこの部会が唯一の正式な病院組織となっております。

### 【開催状況】

2021 年度開催状況（4/ 9、6/25、7/ 9、8/13、9/ 9、10/ 8、11/12、11/25、12/ 2、1/14）  
毎月開催を予定しております。

### 【取り組み】

- (1) 研修・訓練情報の共有
- (2) 最新知見の共有
- (3) 物品の管理
- (4) 研修の実施
- (5) その他

新型コロナウイルス感染症の流行により、災害対応も刻々変化しており、最新の情報を共有することが求められております。DMAT の考え方も、厚生労働省から新型コロナウイルス対応への出動要請など、災害に限らず有事の医療資源としての役割も出てきております。どのような場合にでも対応できるよう、平時での準備を怠らないよう努めております。

## 防火委員会

委員長 香川 貴俊

### 【目的】

日常の防火対策及び訓練について検討することを目的としています。

### 【開催状況】

2021 年度開催回数 1 回（8/26）  
2021 年度の訓練は、以下のとおり行いました。

日 程	開催場所	参加人数
2021 年 9 月 17 日	東館 2 階大会議室	15 人
2022 年 3 月 22 日	地下 1 階物品管理室	15 人

### 【取り組み】

- 防火訓練実施の事前準備として
- ① 訓練シナリオの作成
  - ② 関係者との協議、調整

2021 年度の訓練は部署を限定し、訓練の動きについて事前に説明したため、スムーズに進行しました。

## 教育・研修・年報作成委員会

委員長 林 未統

### 【目的】

医療安全管理体制の確立及び、職員の技術・知識等の向上のため、研修会等の開催を企画・管理し、職員の資質向上を図るとともに、病院年報の作成を目的としています。

### 【開催状況】

2021年度開催回数 新型コロナウイルス禍により開催できず。

### 【取り組み】

委員会では、橋本市民病院の医療安全管理の為、各委員会主催の研修会・勉強会の把握し、必要に応じて研修会の企画なども行い、職員の資質向上に取り組んでいます。

今年度の実施状況として、新型コロナウイルス禍の影響により集団研修及びWeb研修も実施できませんでした。

年報については、橋本市民病院の紹介や取り組みなどを掲載し、地域の医療機関関係者の方に橋本市民病院を知って頂くことを念頭におき作成しており、本年度から電子化でも発行することとしました。年報については、更に中身を充実させるとともに、市民病院の取り組みをよりわかりやすくより多くの方に知っていただく事が今後の課題であると考えています。

2022年度においても新型コロナウイルス禍の影響により集団研修が開催できないことが考えられます。医療従事者として技術・知識等の資質向上のためには、研修会の充実化を図ることが重要ですが、集団研修に拘らず、Web研修を活用し、研修内容をクイズ方式にして回答させることにより、習熟度を図るなど、多様化させていくことも必要であると考えています。

## まごころ委員会

委員長 木岡 雅彦

### 【目的】

まごころ委員会の目的は、橋本市民病院におけるコミュニケーションの強化をはかり、患者サービスの向上を目指すことを目的としています。

### 【開催状況】

今年度は、コロナウイルス感染対策のため自粛しています。

### 【取り組み】

委員会では、院内接遇及び、患者サービスに関するさまざまな事項について話し合いを行っています。

- ・ 職員の接遇に対する意識の強化に関する事項
- ・ 患者サービスの向上に関する事項
- ・ 職員間の円滑な関係の保持に関する事項

定期的に院内ラウンドを行い、職員の接遇の問題点の見直しも行っています。定期的に行うことで、職員に『常に見られている』という意識が生まれ、出来ているつもりでも出来ていないところがないか、再確認をする良い機会となっています。

現状では院内ラウンドの結果などの周知が十分にできていません。今まで以上にわかりやすく職員に発信することで、よかった点を伸ばすとともに、問題点を早急に改善できるよう、活用していきたいと考えています。

## 【目的】

橋本市民病院の事業活動を正確かつ迅速に職員に周知させるとともに、市民に対する広報・広聴活動を行うことを目的としています。

## 【開催状況】

年4回開催（病院だより発行毎 4月、7月、10月、1月末開催）しています。

## 【取り組み】

- ・年4回（4月、7月、10月、1月）病院だよりを発行し、市民に対し病院の事業活動や情報発信を行っています。
- ・病院ホームページの在り方について、ホームページのアクセス数等を調査、協議し、魅力あるホームページを構築しています。

2021年度はしもと市民病院だより掲載内容





## 【目的】

図書運営委員会の目的は、橋本市民病院図書室の適切な運営管理と利用促進、図書・文献の整理を目的としています。

## 【開催状況】

委員会は、委員長が必要と認めた時に招集し開催しています。

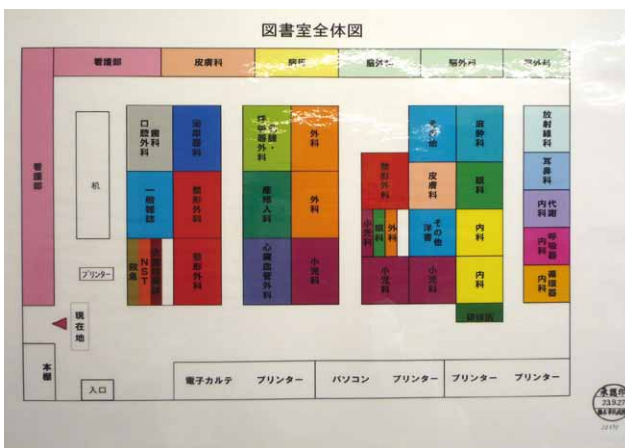
## 【取り組み】

委員会では、図書室の運営管理及び、図書・文献に関するさまざまな事項について検討しています。

- ・ 図書統括と文献検索の管理、運営に関する事項
- ・ 図書の購入に関する事項
- ・ 図書館利用マニュアルに関する事項
- ・ その他病院長が必要と認めた事項

実施状況としましては、2021年度の購入図書について精査を行い各科との調整を行った。その結果、購入図書数は、診療部で98品目、診療技術部で35品目、看護部・その他で34品目となり、合計で167品目となりました。今後も購入図書については、委員会内で精査をおこない購入を進めていきます。

今後の活動としましては、図書室内の文献管理の向上に努め、電子書籍などの導入も検討しています。また、購入図書の精査を強めていく必要があると考えています。



## 【設置目的】

労働安全衛生法第18条の規定により次の事項を調査審議し、職員の意見を収集することを目的としています。

- (1) 労働者の健康障害を防止するための基本となるべき対策にすること
- (2) 労働者の健康の保持増進を図るための基本となるべき対策に関する事
- (3) 労働災害の原因及び再発防止対策で、衛生に係るものに関する事
- (4) 前3号に掲げるもののほか、労働者の健康障害の防止及び健康の保持増進に関する重要事項

## 【開催状況】

2021年度開催回数 10回

(4/28、5/26、6/23、7/28、8/25、9/22、10/26、11/24、1/26、2/25)

## 【取り組み】

- ・ 定期健康診断について（和歌山県民総合医療健診センターに健診業務を依頼）  
子宮がん健診は希望者に対して院内で実施  
2次検診受診対象者への産業医による面談の実施
- ・ 職員への麻疹・風疹・水痘・ムンプス、HBs抗原・抗体検査の実施  
（院内感染対策委員会との連携）
- ・ 結核感染予防対策の実施  
（院内感染対策委員会との連携）
- ・ 針刺し事故予防対策の実施  
（院内感染対策委員会、医療安全管理対策委員会との連携）
- ・ 年次有給休暇の取得促進について
- ・ ストレスチェック制度実施に伴う協議について
- ・ 時間外勤務時間数の削減について
- ・ 「働き方改革」における院内実施に向けての協議について
- ・ 院内ご意見箱の設置について
- ・ ハラスメント及びメンタルヘルス対策について

## 福利厚生委員会

委員長 大饗 義仁

### 【目的】

福利厚生委員会の目的は、院内職員相互の親睦と福利厚生を増進を図ります。

### 【開催状況】

委員会は、委員長が必要と認めた時に招集し開催します。

### 【取り組み】

- ・院内における職員間の親睦を図る活動を行います。
- ・院内職員の福利厚生を増進を図る活動を行います。

例年は、職員運動会・レクリエーション（日帰り旅行等）・送別会を開催していますが、2021年度については、2020年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為すべて中止となっています。

今後は、感染症の状況を見ながらではありますが、たくさんの職員が参加できる企画に取り組んでいきたいと考えています。

## 働き方改革推進委員会

委員長 古川 健一

### 【目的】

2019年6月に働き方改革関連法が成立し、2024年4月から勤務医の時間外労働時間の上限が制限されます。当院においても医師を中心とした働き方改革を進めていくにあたり、「医師の働き方改革ワーキングチーム」と「多職種による働き方改革ワーキングチーム」の2チームを立ち上げ、それぞれのワーキングチームの視点から働き方改革に取り組んでいくことを目的としています。

### 【開催状況】

2021年度開催回数

医師の働き方ワーキングチーム 1回（5/20）

多職種による働き方改革ワーキングチーム 2回（4/30、11/8）

### 【取り組み】

- ・主に下記項目について協議
  - 1 勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制の実施
  - 2 前日の就業時間と翌日の始業開始の一定時間の休息時間の確保（勤務間インターバル）
  - 3 予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮
  - 4 宿直翌日の業務内容に対する配慮
  - 5 交代勤務制・複数主治医制の実施
  - 6 短時間正規雇用医師の活用
- ・年次有給休暇取得の促進について
- ・医師の時間外・休日労働の上限について、当院が目指すべき水準についての協議
- ・医師労働時間短縮計画（案）の策定について
- ・タスクシフト／タスクシェアについて院内アンケート調査の実施



## 【目的】

病病・病診連携推進、保健・介護・福祉機関との連携協力体制の強化、これらに対する院内・院外への啓蒙活動を図ることを目的としています。

## 【開催状況】

医師会との病診連携委員会に合わせ、隔月に開催しています。  
2021年度は4回開催しました。

## 【取り組み】

### ・医師会との連携

病診連携委員会で取り上げられた当院に関する課題について、改善策を検討しました。紹介・逆紹介がスムーズに行えなかった例、救急対応についての要望など、提供いただいた問題事例について、病院としての対応を協議しました。また、当院各診療科の概要や、病院としての新たな取り組みについて情報提供し、紹介してもらいやすい関係作りに努めました。

### ・前方連携について

開業医への渉外活動を強化し、個々のニーズ把握に努め、改善点を抽出して対応を検討しました。

### ・連携登録医制度について

地域の医療機関との連携強化のため、2021年度は90件（伊都医師会67件、五條市医師会22件、その他地域1件）の医療機関の開業医及び伊都歯科医師会（40件）の歯科医院に参加していただきました。（2022年3月31日時点）

### ・後方支援について

入退院支援加算等の算定について協議しました。介護支援連携等指導料、退院時共同指導料の算定について協議し、算定件数を適正に維持するための方法、請求漏れ等の問題点・改善点を把握し、算定件数の確保に努めました。

今後の課題としては、医師会や個々の医療機関との連携を密にとり、患者紹介がよりスムーズに受診が行えるように努め、きめ細やかな対応を目指します。

2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、ネットワーク会議及び地域の開業さんとの勉強会がすべて中止となりました。その時の状況を考え、対面開催またはWeb開催も踏まえ、医師会やその他関係機関と協議を行い、今後のあり方について検討したいと思います。

## 【目的】

倫理・治験審査委員会は下記の目的を以って組織しています。

- ・ 倫理・治験審査委員会の目的は、臨床倫理的課題（医療行為の妥当性、終末期医療、脳死判定、宗教に関する問題など）に対する病院の方針を審議し明確にする。定期的な臨床検査の精度管理に関すること
- ・ 臨床倫理的課題に対する病院の方針を職員に周知する
- ・ 院長が治療及び研究について実施の可否を決定するための諮問機関として審議するため
- ・ 橋本市民病院治験取扱規程（平成18年橋本市病管規程10号）第2条第1項の規定により、橋本市民病院において治験を行うことの適否、その他の治験に関する調査審議を行うため

## 【開催状況】

2021年度開催回数 5回（4/21、7/21、10/20、11/26、1/19）

## 【取り組み】

臨床倫理的課題や治療及び研究の実施可否についての審議

2021年度の実施内容としては、

1. 臨床検査科における COVID-19 ワクチン接種後副反応の出現頻度の把握
2. 肺骨化症症例に関する全国疫学調査
3. 急性期脳卒中患者における舌の味覚探索活動が姿勢制御系に与える効果
4. 気道去痰管理での NO（呼気一酸化窒素）測定と Self Growing up Egogram（SGE）の活用について
5. 令和3年度 新型コロナウイルスに対する抗体保有率調査
6. 災害シミュレーション訓練を通して見えた結果と課題  
- 携帯可能なポケットサイズのアクションカードの導入 -
7. 超高齢者（90歳以上）と大腸癌に関する多施設共同後方視的検討
8. ポリファーマシー対策チームによる減薬効果に関する研究
9. 研修医・医学生のオンライン学習支援の効果
10. 当院における COVID ワクチン被接種者の抗体価推移調査
11. 妊娠16週以降の流産既往妊婦に対する合成プロゲステロン製剤使用
12. 身寄りがない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関するフローチャート
13. 脳卒中後の上肢運動障害における急性期作業療法
14. 喉頭・気管外傷新鮮例の発生原因と治療に関する全国実態調査
15. 深頸部膿瘍後の全国調査
16. 疫学調査「口腔がん登録」
17. 急性心不全患者に対して、自己管理指導の理解が再入院に与える影響について
18. 急性期脳卒中片麻痺者における知覚探索アプローチの効果 - 麻痺側上肢と生活機能の関連性 -  
の計18件が審議されました。

## 【目的】

臓器提供の希望があった時に、患者家族さんからの希望に添えるよう臓器提供体制を構築することを目的としています。

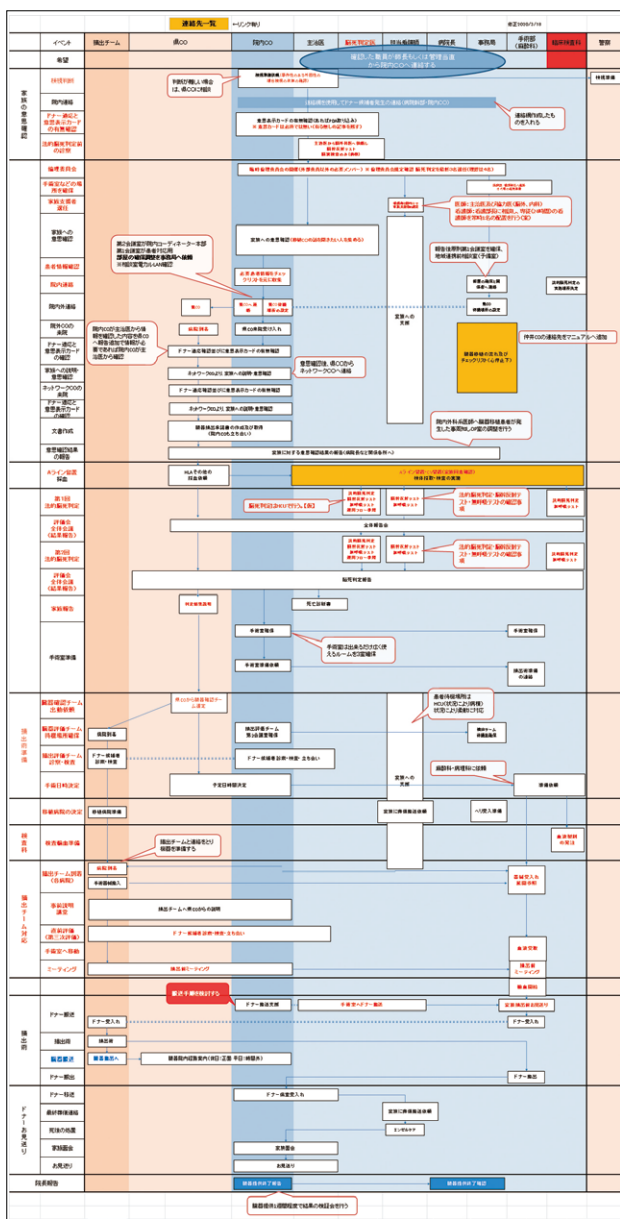
## 【開催状況】

原則毎月第3木曜日に開催しています。  
コロナ禍で開催無し

## 【取り組み】

2018年8月の脳死下での臓器提供対応に基づき脳死下でのフローチャートを見直。

今後は臓器移植希望があった場合にフローチャートに沿って対応していきます。また、修正が必要であれば随時行っていきます。



作成したフローチャート

臓器提供希望者	臓器提供希望者	臓器提供希望者	臓器提供希望者	臓器提供希望者	臓器提供希望者	臓器提供希望者	臓器提供希望者	臓器提供希望者	臓器提供希望者
0003	0002	0001	0004	0005	0006	0007	0008	0009	0010
0011	0012	0013	0014	0015	0016	0017	0018	0019	0020
0021	0022	0023	0024	0025	0026	0027	0028	0029	0030
0031	0032	0033	0034	0035	0036	0037	0038	0039	0040
0041	0042	0043	0044	0045	0046	0047	0048	0049	0050
0051	0052	0053	0054	0055	0056	0057	0058	0059	0060
0061	0062	0063	0064	0065	0066	0067	0068	0069	0070
0071	0072	0073	0074	0075	0076	0077	0078	0079	0080
0081	0082	0083	0084	0085	0086	0087	0088	0089	0090
0091	0092	0093	0094	0095	0096	0097	0098	0099	0100

連絡網

日本臓器移植ネットワーク連絡先		0120-22-0149
項目		
年齢		
性別		
原疾患		
感染症の有無		
循環動態		
脳死とされる状態の確認と有無の確認項目		
本人の意思表示の有無		
家族の状況		
病院側が確認		
コーディネーターの訪問日時		
患者状態の確認		
ベッド移動による搬送は可能かどうかなど		
内容は検討		

チェック表

1) 脳死とされる状態

患者の治療中に次のように、法に規定する脳死判定を行ったとらば、脳死とされる状態の臨床徴候を認め、担当医師等はその正確な診断に努める。次の検査を1回行い、それらの項目全てが満たされる場合に脳死と判定される状態と判断し、次の2)の手続きに進む。

法に規定する脳死とされる状態

器質的脳障害により深昏睡及び自発呼吸を消失した状態と認められ、かつ、器質的脳障害の存在が確実に診断されていて、原疾患に対して行いうるすべての適切な治療を行った場合であっても回復の可能性がないと認められる者に該当する者

ただし、次の1)~4)は除外する。

- 1) 生後12週(在胎週数が40週未満であった者)にあっては、出産予定日から起算して12週)未満の者
- 2) 急性薬物中毒により深昏睡及び自発呼吸を消失した状態にあると認められる者
- 3) 直腸温が摂氏32度未満(六歳未満の者)にあっては、摂氏35度未満)の状態にある者
- 4) 代謝性障害又は、内分泌性障害により深昏睡及び自発呼吸を消失した状態にあると認められる者

かつ、次の①-④のいずれもが確認された場合

① 深昏睡

判定表

# 医薬品適応外使用検討委員会

委員長 古川 健一

## 【目的】

医薬品の適応外使用についての安全供給を検討する。

## 【開催状況】

適時開催しています。(2021年は5月25日)

## 【検討内容】

全身麻酔の導入及び維持のため使用しているプロポフォール静注2% 50ml「マルイシ」がCOVID-19の流行により全国的に人口呼吸器等に使用され、流通量が少なくなっている問題で当院においても在庫が少ないことから、一時的な処置として1Vを分注して使用することは可能か検討結果、限局的に分注はやむなしとの結論。

ただし、可及的速やか（1時間以内）に分注を行うこと。使用可否は供給量により判断するとする。

# 臨床研修管理委員会

委員長 古川 健一

## 【目的】

委員会は、橋本市民病院とその協力病院における初期臨床研修に係わるすべての事項について審議します。

## 【開催状況】

委員長が必要と認めたときに招集し開催します。

2021年度開催状況 第1回臨床研修管理委員会（2021年11月10日）

第2回臨床研修管理委員会（2022年3月9日）

## 【取り組み】

臨床研修プログラムの検討、確認等、医師卒後研修に関するすべての事項を検討しています。

2012年度より再度基幹型臨床研修病院の指定となり、2012年度1名、2013年度2名、2014年度2名、2015年度1名、2016年度4名、2017年度6名、2018年度は7名、2019年度8名、2020年度8名、2021年度8名の臨床研修医が研修を実施しました。

2014年度から和歌山研修ネットワークがスタートし、和歌山県下9箇所の基幹型臨床研修病院が互いに協力型病院として臨床研修医の受け入れを行っています。2021年度については、6病院28名の研修医を受け入れました。また当院からは8名の研修医全員が9病院で研修を行いました。

2015年度には臨床研修医及び医学生のための臨床研修医室が設置、2016年度からは研修医枠が4枠に増枠され、卒後臨床研修センターが設置されました。卒後臨床研修センターでは研修内容の管理及び充実のため毎月第1水曜日に研修センター会議を実施しています。

## 【研修医の修了認定について】

2021年度研修修了の4名については、研修についての問題点等がなく、当委員会において2年間での研修修了が認定されました。

## 【研修医の募集活動】

・病院説明会

① 2021年4月29日（木・祝日）和歌山県医師臨床研修協議会 民間医局 Web 説明会

② 2021年6月15日（日）レジナビ合同 Web 説明会

## 【見学・実習受け入れ実績】

・2018年度実績・・・19名（2018年度卒9名、2019年度卒9名、2020年度卒1名）

・2019年度実績・・・18名（2019年度卒5名、2020年度卒10名、2021年度卒2名）

・2020年度実績・・・21名（2020年度卒2名、2021年度卒10名、2022年度卒1名、  
コロナ禍による中止9名）

・2021年度実績・・・25名（2021年度卒11名、2022年度卒11名、2023年度卒3名）

## 【初期臨床研修医採用実績】

年度	当院枠	マッチング登録		2次募集登録		採用数
		当院枠	マッチング登録	2次募集登録	2次募集登録	
2016年度	4名	4名	2名	2名	2名	4名
2017年度	4名	6名	3名	2名	1名	4名
2018年度	4名	8名	4名	-	-	4名
2019年度	4名	5名	4名	1名	1名	4名
2020年度	4名	10名	4名	-	-	4名
2021年度	4名	13名	10名	-	-	4名

## 【基本的臨床研修能力評価試験】

毎年、初期臨床研修医の日本医療教育プログラム推進機構実施の「基本的臨床研修能力評価試験」に参加している。令和3年度は、1年目研修医で参加病院642病院中129位、2年目研修医で参加病院642病院中35位、総合で642病院中57位の好成績となりました。

## 【今後の課題】

基幹型臨床研修病院として、魅力ある研修プログラム、研修内容の充実を図り、臨床研修医の確保に努めます。研修スケジュールや研修内容の充実をより一層図るとともに、後期研修に繋げていく為にも和歌山県立医科大学附属病院等の和歌山研修ネットワークの臨床研修医の積極的に受け入れ、充実した研修体制を目指します。

研修医募集に関しては、新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、説明会・見学会へ参加するなど、病院独自でWEB説明会を開催するなど、医学生から選ばれる病院を目指して活動を行っていきたいと思います。



(臨床研修医宣誓式)



(臨床研修修了式)



## 【目的】

当委員会は、橋本市民病院における新専門医制度に係わるすべての事項について審議を目的としています。

## 【開催状況】

委員長が必要と認めたときに招集し開催します。

2021年度は11月9日に開催し、3年目から5年目の医師10名の研修状況を確認しました。

## 【取り組み】

専門研修連携施設として、専門研修基幹施設が定めた専門研修プログラムに基づいて専攻医に専門研修を提供するための体制づくりを検討していきます。

## 【今後の課題】

橋本市民病院では専門研修連携施設として指定を受けています。平成30年度より開始された制度の運用等の状況を見ながら、適切な研修体制が整えられるよう検討していきます。

# Ⅸ 連携登録医名簿





# 橋本市民病院連携登録医療機関リスト (130 医療機関)

## 橋本市民病院連携登録医 (医科 90 医療機関)

地区	No.	医療機関名称	連携登録医	往診	標榜
橋本北部	1	おおはぎ眼科	大萩 康子		眼科
	2	おおはぎ内科	大萩 晋也	○	内科 胃腸科 呼吸器科 リハビリテーション科 小児科
	3	医療法人 橋本孝佑会 奥野クリニック	奥野 孝	○	脳神経外科 外科 内科 神経内科 放射線科 整形外科 リハビリテーション科
	4	きみが丘クリニック	康 龍男	○	内科 アレルギー科 血液内科 小児科 皮膚科
	5	しらすぎ台クリニック 山内耳鼻咽喉科	山内 一真		耳鼻咽喉科 アレルギー科
	6	医療法人 曾和医院	曾和 正	○	内科 小児科 消化器科 循環器科 アレルギー科
	7	田倉皮膚科クリニック	田倉 学		皮膚科 内科
	8	藤堂診療所	藤堂 泰三		内科 皮膚科 外科 理学療法
	9	ナサコ内科	名迫 由美子		内科 漢方治療
	10	ひぶせ耳鼻咽喉科	火伏 宏美		耳鼻咽喉科
	11	みなみ胃腸肛門科・外科	南 浩二	○	胃腸科 肛門科 外科 内科 皮膚科 放射線科
	12	めがね先生の上田こどもクリニック	上田 悟史		小児科
	13	医療法人 緑横会 横田整形外科	横田 英史	○	整形外科 リウマチ科 リハビリテーション科 放射線科
	14	吉川こどもクリニック	吉川 明男		小児科
70	いわくらクリニック	岩倉 伸次	○	内科 消化器内科 肛門外科	
橋本東部	15	いこまレディースクリニック	生駒 久男		産婦人科 心療内科 内科
	16	稲垣医院	稲垣 侑		皮膚科 泌尿器科 外科
	17	医療法人 博周会 梅本診療所	梅本 博昭	○	内科 消化器内科 外科 整形外科
	18	医療法人 岡田整形外科	岡田 正道		整形外科 リハビリテーション科 放射線科
	19	医療法人 仁清会 岡本クリニック	岡本 一仁	○	麻酔科 (ペインクリニック) 内科
	20	医療法人 久和会 奥村マタニティクリニック	奥村 嘉英		産婦人科 内科 小児科
	21	医療法人 久和会 奥村レディースクリニック	向林 学		婦人科
	23	小西内科医院	小西 紀彦	○	内科
	24	小林医院	小林 克祐		内科 循環器 東洋医学
	25	医療法人 わかば会 田中診療所	田中 耕治	○	内科 糖尿病 漢方
	26	医療法人 谷内クリニック	谷内 まゆみ / 谷内 俊文		内科 (総合・消化器・循環器・呼吸器) アレルギー科 小児科 リハビリテーション科
	27	医療法人 涼悠会 トメモリ眼科・形成外科	留守 良太 / 留守 祥子		眼科 形成外科 美容整形
	28	豊澤医院	豊澤 浩	○	内科 小児科
	29	医療法人 佑々会 林耳鼻咽喉科	林 泰弘 / 林 佳世		耳鼻咽喉科 アレルギー科
	30	火伏医院	火伏 總子	○	内科
	32	松園胃腸科・内科	松園 泰彦		消化器内科 内科 胃腸科 放射線科
	33	医療法人 南クリニック胃腸肛門科	南 光昭	○	内科 外科 肛門外科 皮膚科 消化器内科
	34	森本胃腸肛門科	森本 悟一	○	胃腸科 肛門科 外科 内科
	134	つきやま眼科クリニック	月山 純子		眼科 コンタクト

地区	No.	医療機関名称	連携登録医	往診	標榜
橋本西部	35	伊藤クリニック	伊藤 洋	○	外科 内科 消化器内科 / 外科 呼吸器内科 整形外科 脳神経外科 泌尿器 循環器内科
	36	植阪クリニック	植阪 和修	○	胃腸内科 外科 内科 肛門外科
	37	医療法人 狩谷産婦人科	狩谷 功		婦人科 内科
	38	医療法人 河原整形外科	河原 史郎		整形外科
	39	栗山クリニック	栗山 司	○	外科 内科 胃腸科 整形外科 脳神経外科 リハビリテーション科
	40	医療法人 青藍会 小林医院	小林 豊和	○	内科 小児科 循環器 放射線科
	41	医療法人 セセラギ会 小林診療所	田中 英治	○	内科 循環器内科
	42	阪上医院	阪上 良行		内科
	43	たきわき皮膚科クリニック	瀧脇 弘嗣		皮膚科
	44	医療法人 辻本クリニック	辻本 俊和	○	循環器内科 消化器内科 内科 小児科 脳神経外科 整形外科 禁煙外来
	45	虎谷内科小児科医院	虎谷 彰久	○	内科 小児科 消化器科 循環器
	46	医療法人 康紀会 なかいクリニック	中井 康人	○	心療内科 精神科 内科 神経科
	47	ハギノ眼科クリニック	萩野 雅洋		眼科
	49	松岡医院	松浦 良光	○	整形外科 外科 内科
	50	医療法人 森下会 森下クリニック	森下 昌亮	○	内科 循環器内科 呼吸器内科 消化器内科 リハビリテーション科 放射線科
かつらぎ町	51	上田内科	上田 和夫		内科
	52	上田消化器・内科クリニック	上田 和樹	○	内科 消化器内科
	53	上田神経科クリニック	上田 英樹		老年精神科
	54	木秀クリニック	横手 秀行		内科 整形外科 脳神経外科 神経内科
	55	医療法人 仁人会 北林医院	北林 佳憲		整形外科 外科
	56	黒岩クリニック	黒岩 丈清	○	内科 胃腸科 循環器科 呼吸器科 放射線科 理学療法科 内視鏡科
	57	阪中外科	阪中 孝三	○	内科 外科 整形外科
	58	たかの耳鼻咽喉科	高野 郁晴	○	耳鼻咽喉科
	59	医療法人 永野医院	永野 公一	○	内科 消化器 循環器 呼吸器
	60	馬場眼科	馬場 幸男	○	眼科
	61	医療法人 九曜會 前田医院	前田 至規	○	内科 小児科
	63	医療法人 幸生会 米田小児科医院	米田 勝紀		小児科 アレルギー科
	九度山町	64	医療法人 萩会 萩原内科・小児科	萩原 正史	○
65		医療法人 淳雄会 保脇整形外科医院	保脇 淳之	○	整形外科 リウマチ科 リハビリテーション科
66		医療法人 英裕会 横手クリニック	横手 英義 / 横手 裕子	○	脳神経外科 整形外科 外科 リハビリテーション科 循環器内科 胃腸内科 呼吸内科
高野町	67	花谷医院	花谷 誠也	○	内科
	68	富貴診療所	田中 利平	○	内科
	69	高野町立高野山総合診療所	廣内 幸雄		総合診療
岩出市	133	レディースクリニック和	帽子 英二		婦人科 産婦人科

地区	No.	医療機関名称	連携登録医	往診	標榜
五條市	71	足立医院	足立 聡	○	内科 小児科 婦人科
	72	医療法人 岩井内科・皮膚科	岩井 務 / 岩井 佐代子	○	内科 循環器科 リハビリテーション科 皮膚科
	73	右馬医院	右馬 文彦		内科
	74	医療法人 南和会 大川橋診療所	小延 知暉	○	内科 外科 小児科 放射線科 整形外科 消化器内科 肛門科 リハビリテーション科
	75	鎌田医院	鎌田 修		内科
	76	医療法人 鎌田医院 賀名生診療所	鎌田 勝三郎	○	内科 放射線科
	77	医療法人 鎌田医院 田園診療所	鎌田 勝三郎	○	内科 婦人科
	78	医療法人 社団厚生会 後藤医院	後藤 寛	○	内科 小児科 放射線科 産婦人科
	79	医療法人 阪口眼科	阪口 昌子	○	眼科
	80	寒川医院	寒川 英明	○	内科 外科
	81	医療法人 素心会 杉崎医院	杉崎 俊照	○	内科 外科 消化器科 乳腺科 肛門科 リハビリテーション科
	82	竹本医院	竹本 成一	○	内科
	83	医療法人 桜翔会 田畑医院	田畑 尚一	○	泌尿器科 内科 人工透析科
	84	辻田クリニック	辻田 重信		内科 消化器科 放射線科
	85	医療法人 中垣整形外科	中垣 公男		整形外科 リウマチ科 リハビリテーション科
	86	中谷内科医院	中谷 吉宏	○	内科
	87	中西クリニック	中西 淳	○	泌尿器科 皮膚科 内科 リハビリテーション科
	88	ひらい内科クリニック	平井 妙代子		内科 呼吸器科 アレルギー科
	89	前防医院	前防 則彦	○	内科
	90	横野医院	横野 久春 / 横野 加代子	○	内科 消化器科 眼科
91	医療法人 水本整形外科	水本 茂		整形外科 リハビリテーション科 リウマチ科	
92	医療法人 山田医院	山田 宏治	○	内科	

橋本市民病院連携登録医(歯科 40医療機関)

地区	No.	医療機関名称	連携登録医	標榜
橋本北部	93	岩上歯科	岩上 正嗣	歯科
	94	おかもと歯科クリニック	岡本 光裕	歯科
	95	加藤歯科医院	加藤 大太郎	歯科
	96	ひまわり歯科医院	花岡 政文	歯科
	97	ひろせ歯科クリニック	広瀬 俊也	歯科
	98	堀切歯科診療所	堀切 卓	歯科
	99	森歯科医院	森 公伸	歯科
	100	森田歯科医院	森田 滋子	歯科
	101	いわかみ歯科医院	岩上 訓男	歯科
	102	おかだ歯科クリニック	岡田 隆秀	歯科
	103	落合デンタルオフィス	落合 茂弘	歯科
	104	海堀歯科医院 (古佐田)	海堀 昭彦	歯科
	105	こじま歯科医院	小嶋 一史	歯科
	106	後藤歯科	後藤 彰基	歯科
	107	隅田歯科医院	隅田 素能子	歯科
高野口町	108	つちだ歯科医院	土田 雅久	歯科
	109	とよざわ歯科クリニック	豊澤 悟	歯科
	110	ほりはた歯科医院	堀畑 幸則	歯科
	111	三木歯科医院	三木 修三	歯科
	112	村上歯科医院	村上 浩孝	歯科
	113	海堀歯科医院 (学文路)	海堀 昭登志	歯科
	114	下田歯科クリニック	下田 隆志	歯科
	115	はたの歯科クリニック	畑野 修一	歯科
高野口町	116	石川歯科医院	石川 哲也	歯科
	117	喜多歯科医院	喜多 義郎	歯科
	118	辻歯科医院	辻 正信	歯科
	119	辻本歯科クリニック	辻本 和弥	歯科
	120	守内歯科医院	守内 一誠	歯科
	121	吉川歯科医院	吉川 武志	歯科
かつらぎ町	122	うちた歯科	内田 憲二	歯科
	123	恩地歯科医院	恩地 良幸	歯科
	124	木村歯科医院	木村 幸弘	歯科
	125	楠井歯科医院	楠井 貴介	歯科
	126	阪中歯科	阪中 孝之	歯科
	127	たえなか歯科クリニック	妙中 泰之	歯科
	128	田村歯科クリニック	田村 修志	歯科
	129	医療法人歯優会 中島歯科医院	中島 毅	歯科
	130	中平歯科医院	中平 良基	歯科
	131	ゆあさ歯科医院	湯浅 祥司	歯科
高野町	132	わしみね歯科医院	鷲峰 賢昭	歯科

(2022年3月31日現在)

## 橋本市民病院 教育・研修・年報作成委員会

委員長	診療部	整形外科筆頭部長	林 未統
副委員長		病院長	駿田 直俊
委員	診療部	脳神経外科部長	大饗 義仁
委員	診療部	歯科口腔外科部長	田中 章夫
委員	看護部	外来師長	狩谷 真紀
委員	診療技術部	薬剤部主任	木村 ナオ子
委員	診療技術部	放射線科副技師長	三木田 正夫
委員	診療技術部	臨床検査科指導員	山崎 いずみ
委員	診療技術部	リハビリテーション科主任	佐藤 将人
委員	診療技術部	栄養管理科技師長	藤本 佐和子
委員	地域医療部	地域医療連携室室長補佐	山内 壮一
委員	事務局	総務課用度係長	武田 朋容
委員	事務局	総務課	阪本 実優
委員	事務局	医事課	片山 倫誠
委員 (年報編集担当)	事務局	診療情報課診療情報係長	井上 正輔

橋本市民病院 2021年度 病院年報

発行・編集 : 橋本市民病院

〒648-0005 和歌山県橋本市小峰台2-8-1

電話(0736)37-1200 Fax(0736)37-1880

ホームページ <http://www.hashimoto-hsp.jp>

発行年月 : 2022年7月

